

外国人留学生の就職率向上に向けた調査報告書

目次

第1章 調査目的と概要	3
1. 調査目的	3
2. 調査概要	3
第2章 調査結果のまとめ	5
1. 調査結果の主要ポイント	5
1-1. 企業アンケート調査	5
1-2. 外国人留学生アンケート調査	6
1-3. ヒアリング調査	8
2. 考察	10
第3章 企業アンケート調査の結果	15
1. 基本情報	15
2. 調査結果	20
2-1. 新卒採用全体の状況	20
2-2. 外国人留学生の採用状況	23
2-3. 外国人留学生の採用	29
2-4. 入社後の状況	37
2-5. 今後の外国人留学生の採用	40
2-6. 外国人留学生のインターンシップ実施状況と課題	41
2-7. 外国人留学生のアルバイト状況	43
2-8. 教育機関への要望	45
第4章 外国人留学生アンケート調査の結果	46
1. 基本情報	46
2. 調査結果	50
2-1. 学生生活の状況	50
2-2. インターンシップの参加状況	52
2-3. 就職への意向	58
2-4. 就職活動の状況	63
2-5. 日本語・文化の習得状況	72
2-6. 就職支援へのニーズ	83
第5章 ヒアリング調査の結果	90
1. ヒアリング先一覧	90
2. 調査結果	91
2-1. 企業の採用・定着状況・新卒紹介等ニーズ	91
2-2. 外国人留学生のキャリアプラン・就職活動・新卒紹介等ニーズ	94
(参考資料1) 企業アンケート調査票	98
外国人留学生アンケート調査票	104
(参考資料2) 比較資料	114

第1章 調査目的と概要

1. 調査目的

企業の外国人留学生の採用を活性化させることを目的に、企業の新卒採用における外国人留学生採用の実態を把握するための調査を行う。また、同時に外国人留学生の日本における就職実態調査を行い、外国人留学生の日本における就職率向上に向けてのキーファクターを探り、外国人留学生の今後の日本での就職率向上に向けた支援の参考資料とする。

2. 調査概要

【企業アンケート調査】

- **調査対象**：全国の民間企業
- **調査方法**：郵送調査
- **調査実施期間**：2017年2月2日～2月24日
- **アンケート回収数**：263件
- **調査内容**：
 - (1) **基本情報**
従業員数、外国人従業員数、本社所在地、創業年数、平均年齢、海外拠点の有無、海外拠点エリア、業種
 - (2) **新卒採用全体の状況**
2016年新卒入社採用実績、採用人数、過去5年間の新卒採用数の変化、新卒採用数の変化の理由
 - (3) **外国人留学生の採用状況**
過去5年間の外国人留学生の採用実績、採用人数、採用人数の内訳、外国人留学生の採用目的、外国人留学生の希望する勤続年数（期間）、過去5年間に於ける外国人留学生の新卒採用数の変化、外国人留学生の新卒採用数の変化の理由、外国人留学生を採用していない理由
 - (4) **外国人留学生の採用**
外国人留学生の採用手法、採用した外国人留学生の国籍、採用した外国人留学生の職種、外国人留学生を採用する際に重視すること、最低限求める日本語コミュニケーションレベル、今後強化していきたい外国人留学生の採用手法、外国人留学生の採用活動の課題、外国人留学生採用の満足度
 - (5) **入社後の状況**
外国人留学生採用後に実施している研修、外国人留学生受け入れのために実施していること、外国人留生活活に向けた課題
 - (6) **今後の外国人留学生の採用・インターンシップ**
今後の外国人留学生の採用予定、2017年入社採用予定数、外国人留学生のインターンシップでの受入実績、外国人留学生を対象にしたインターンシップの課題
 - (7) **外国人留学生のアルバイト状況**
外国人留学生のアルバイト採用実績、外国人留学生のアルバイト採用目的、外国人留学生アルバイトの正社員登用実績、
 - (8) **教育機関への要望**
教育機関に求める、外国人留学生の教育で必要なこと

【外国人留学生アンケート調査】

- **調査対象**：日本の学校に在籍する外国人留学生
(大学3年・4年、大学院修士1年・2年、短期大学2年、専門学校2年、日本語学校)
- **調査方法**：Web調査
- **調査実施期間**：2017年2月6日～2月28日
- **アンケート回収数**：638件
- **調査内容**：
 - (1) **基本情報**
性別、年齢、学校名、学部名・学科名、学年、出身国、住んでいる都道府県、日本を留学先として選んだ理由、日本語能力試験（JLPT）のレベル
 - (2) **学生生活の状況**
学校の授業以外の学内活動の参加状況、学外活動の参加状況、具体的な学外活動
 - (3) **インターンシップの参加状況**
インターンシップ参加の有無、参加したことがない理由、参加した時期、参加した企業の業種、参加期間、内容、得られたこと
 - (4) **就職への意向**
就職意向、日本で最も希望する就職先の勤務エリア、日本で働きたい期間、日本で働きたいと思った一番のきっかけ、企業を選ぶ際に重要視すること、日本での就職活動で不安な点・障害となる点

(5) 就職活動の状況

日本での就職活動の実施の有無、日本で就職活動を始めた時期、就職活動や企業の情報の収集方法、学校で受けた就職支援、学校で受けた就職支援の満足度、日本での就職活動で大変な点、内定状況、内定している企業の本社所在地、内定している企業の業種、内定している企業の従業員規模

(6) 日本語・文化の習得状況

各項目（日本語の日常会話・ビジネス日本語・日本の企業文化・ビジネスマナー）の習得度、各項目の習得方法、日常生活で日本人と話す機会の頻度

(7) 就職支援へのニーズ

外国人留学生向けの就職支援サービスの認知度、外国人留学生向けの就職支援サービスの利用実績、外国人留学生向けの就職支援サービスの利用意向

【ヒアリング調査】

● 調査対象：

[企業]

アンケート調査でヒアリング許諾を頂いた企業のうち、外国人留学生を積極的に採用・活用している企業

[外国人留学生]

2017年4月から日本企業への入社が決定している外国人留学生

● 調査方法：訪問調査

● 調査実施期間：2017年3月

● ヒアリング調査件数：

[企業]5社 [外国人留学生]5名

● 調査内容：

[企業]

(1) 採用・受入

- ・外国人留学生の採用理由・採用方法・状況・課題・採用基準（最低限求める日本語能力）・選考方法
- ・外国人留学生を受入れるための社内の取り組みや業務フローの変更

(2) 採用後・定着・外国人留学生への期待

- ・外国人留学生採用後の取り組み（定着含む）とその効果・課題
- ・外国人留学生を採用しての社内の変化
- ・外国人留学生に期待すること（キャリアパス）

(3) インターンシップ・新卒紹介等ニーズ

- ・外国人留学生のインターンシップ受入有無と理由/効果
- ・外国人留学生の新卒紹介・紹介予定派遣のニーズについて

[外国人留学生]

(1) 就職活動・キャリアプラン

- ・日本で働きたいと思ったきっかけ
- ・就職活動を開始した時期～終了した時期
- ・就職活動をどのように進めたか（使用した媒体等）
- ・就職活動で苦労したこととその解決策
- ・採用・選考方法で日本企業に改善してほしいこと
- ・就職先企業を決めたポイント
- ・キャリアプランについて

(2) 学内外の活動

- ・学内・学外活動の実施有無及び活動を通し得られたこと
- ・就職活動で役に立ったこと

(3) 日本語力理解・新卒紹介等ニーズ

- ・日本企業が外国人留学生に求める日本語力に関する理解
- ・外国人留学生の新卒紹介・紹介予定派遣のニーズ

第2章 調査結果のまとめ

1. 調査結果の主要ポイント

1-1. 企業アンケート調査

- 1) 基本情報について
 - ・ 海外拠点があるは35.0%、「今後設立予定がある」は1.9%であった。
- 2) 新卒採用全体の状況について
 - ・ 2016年新卒入社の採用実績がある企業は67.7%であった。
 - 採用実績がある割合は、300人～1,999人、2,000人以上の企業は9割以上、1～299人の企業は29.8%と、従業員規模により差がみられた。
 - ・ 2016年新卒入社の採用人数は20人以下が56.7%。
 - ・ 過去5年間の新卒採用数の変化は「変化なし」が54.0%、「増加傾向」が31.2%であった。
 - 従業員数別では、300人～1,999人、2,000人以上の企業と比べ1～299人の企業は「増加傾向」が低い。
 - ・ 過去5年間の新卒採用数の変化（「増加傾向」「減少傾向」）の理由は、「将来の経営業績の見通し」（47.4%）、「定年退職者等の退職予定による欠員数」（36.0%）、「従業員の年齢構成」（35.1%）。
- 3) 外国人留学生の採用状況について
 - ・ 過去5年間で外国人留学生の採用実績があった企業は35.4%。
 - ・ 過去5年間の外国人留学生の採用人数は10人以下が約7割を占める。
 - ・ 外国人留学生の採用目的は、「国籍に関係なく優秀な人材の確保」が83.9%で最も高い。
 - ・ 外国人留学生に対して希望する勤続年数（期間）は、「できるだけ長く」が62.4%で最も高い。10年程度より短い期間を希望する企業は少ないものの、「特に想定していない」が24.7%であった。
 - ・ 過去5年間ににおける外国人留学生の新卒採用数の変化は、「変化なし」が58.1%、「増加傾向」が30.1%であった。
 - ・ 過去5年間ににおける外国人留学生の新卒採用数変化（「増加傾向」「減少傾向」）の理由は「将来の経営業績の見通し」（42.9%）が最も高い。「その他」では、国籍に関わらず優秀な人材の確保、ダイバーシティ政策の一環、外国人留学生の応募の増加などの理由が挙げられている。
 - ・ 外国人留学生を採用していない理由は、「海外事業展開の計画がなく外国人社員の必要性がないから」（40.2%）、「外国人社員を受け入れる社内体制が整っていないから」（34.9%）が高い。
- 4) 外国人留学生の採用について
 - ・ 外国人留学生採用の満足度は、「量・質ともに満足している」は45.2%。
 - ・ 採用した外国人留学生の国籍は、「中国」が79.6%で突出して高い。
 - ・ 採用した外国人留学生の職種は、「営業・販売」が47.3%で最も高い。
 - ・ 外国人留学生の採用手法は、「日本人新卒募集と同じプロセスで採用」が79.6%で最も高い。
 - ・ 外国人留学生を採用する際に重視することは、「コミュニケーション力」（61.3%）、「語学力（日本語）」（54.8%）。
 - ・ 最低限求める日本語コミュニケーションレベルは、「ビジネスレベル」が44.1%、「日常会話レベル」が35.5%であった。「ネイティブレベル」は1割以下。
 - ・ 外国人留学生の採用活動の課題は、「求める日本語コミュニケーション能力を有する人材が少ない」（35.5%）、「社内の受け入れ体制が未整備」（30.1%）が高い。
 - ・ 今後強化していきたい外国人留学生の採用手法は、現在の採用手法と同様「日本人新卒募集と同じプロセスで採用」が68.8%で最も高い。
 - 現在の採用手法と比較すると「留学生のネットワークを利用した採用」への意向がやや高い。

- 5) 入社後の状況について
 - 外国人留学生採用後に実施している研修は、「日本人の新入社員と同じ内容の研修を実施」が77.4%で最も高い。
 - 外国人留学生受け入れのために実施していることは、「上司や人事との面談を実施している」(29.0%)、「社員との交流の機会を設けている」(28.0%)。
 - 外国人留生活用に向けた課題は、「社内での日本語コミュニケーション能力の不足」(29.0%)、「取引先での日本語コミュニケーション能力の不足」(25.8%)、「外国人留学生を活用できる日本人管理者の不足」(21.5%)。「特になし」は20.4%であった。
- 6) 今後の外国人留学生の採用について
 - 今後の外国人留学生の採用予定は、「予定がある」が17.9%、「予定はない」が52.1%、「未定・検討中」が27.4%であった。
 - 今後外国人留学生の採用予定がある企業の2017年入社採用予定数は、2名以下が4割弱を占める。
- 7) 外国人留学生のインターンシップ実施状況と課題について
 - インターンシップで外国人留学生を受け入れたことがある企業は20.5%であった。
 - 外国人留学生を対象にしたインターンシップの課題は、「外国人留学生を受け入れる社内体制が整っていない」(44.5%)、「言葉の壁による意思疎通面でのトラブル」(38.4%)。
- 8) 外国人留学生のアルバイト状況について
 - 外国人留学生のアルバイト採用実績がある企業は12.9%であった。
 - 外国人留学生のアルバイト採用目的は、「労働力不足解消のため」が70.6%で最も高い。
 - 外国人留学生アルバイトの正社員登用実績がある企業の割合は23.5%。
- 9) 教育機関への要望について
 - 教育機関に求める、外国人留学生の教育に必要なことは、「日本語能力(日常会話・読み書き)」(63.1%)、「日本企業の基本的なビジネスマナー教育」(41.1%)、「日本の企業文化への理解を促す教育」(39.2%)が高い。日本の企業で働く基礎力の習得や理解に対する要望が高い。

1-2. 外国人留学生アンケート調査

- 1) 基本情報について
 - 日本を留学先に選んだ理由は、「日本に興味があり、日本で生活したかったため」(60.3%)が最も高い。
 - 本調査回答者の日本語能力試験(JLPT)は、「N1レベル相当」が63.3%、「N2レベル相当」が25.5%であった。
 - 学部別では、文系学部は「N1レベル相当」が70.8%と高く、理系学部と差がみられた。
 - 学校別では、専門学校2年、日本語学校の「N1レベル相当」はそれぞれ41.8%、22.7%と大学・大学院に比べ低い。
- 2) 学生生活の状況について
 - 学校の授業以外の学内活動では、「ゼミナール」(56.6%)への参加が最も高い。
 - 学外活動では、「アルバイト・派遣の仕事」が74.6%で最も高い。

3) インターンシップの参加状況について

- ・ インターンシップへの参加率は31.3%。
- 日本での就職意向がある学生の参加率が高く、そのなかでは日本で働く期間を決めていない学生の参加が42.1%で高い。
- 大学4年、大学院修士2年を対象とした内定状況別では、内定している学生は参加が52.3%で高い。
- ・ インターンシップに参加した企業の業種は、「IT・情報通信業」「製造業」が高い。
- ・ インターンシップの参加期間は1週間程度より短い期間（「1日」「2～4日程度」「1週間程度」の合計）が約7割。
- ・ インターンシップで得られたことは、「日本企業の仕事の進め方や人材育成の考え方などが理解できた」（58.5%）、「日本の企業の魅力を発見・理解できた」（43.0%）が高く、日本の企業で働くことへの理解が上位であった。
- ・ インターンシップに参加したことがない学生の理由は「参加するための時間的な余裕がなかった」（34.9%）が最も高い。
- 学年別では、大学・大学院の学生は「参加するための時間的な余裕がなかった」、専門学校2年・日本語学校の学生は「インターンシップに参加できることを知らなかった」が最も高い。

4) 就職への意向について

- ・ 日本での就職意向は75.4%。
- ・ 最も希望する就職先の勤務エリアは「関東地方」が68.4%で最も高い。
- ・ 日本で働きたい期間は、「10年以上」が43.7%で最も高い。
- ・ 日本で働きたいと思った一番のきっかけは、「日本で生活するなかで」（36.2%）、「来日前から希望」（24.5%）が高い。
- ・ 企業を選ぶ際に重視することは、「自分が成長できる」が42.8%で最も高く、「留学生を積極的に採用している」（34.1%）、「専門知識・能力を活かせる」（33.1%）、「仕事にやりがいがある」（31.2%）が続く。
- 理系学部は「専門知識・能力を活かせる」（46.3%）が最も高い。
- ・ 日本での就職活動で不安な点・障害となる点は、「留学生を採用する企業が少ない」（49.9%）が最も高い。

5) 就職活動の状況について

- ・ 日本での就職意向がある学生のなかで、就職活動を行った（行っている）割合は64.0%。
- インターンシップに参加したことがある学生は就職活動を行った（行っている）割合が80.7%で高い。
- ・ 就職活動を2016年3月に始めた割合は、大学4年は34.5%、大学院修士2年は29.1%であった。
- ・ 就職活動や企業の情報の収集方法は、「学校のキャリアセンター・就職課のスタッフ・職員から」（61.0%）が最も高い。
- ・ 学校で受けた就職活動は、「自己分析の仕方」（54.5%）、「エントリーシートの作成」（47.1%）、「業界/企業研究」（40.9%）が高い。
- ・ 学校で受けた就職活動の満足度は61.5%。
- ・ 就職活動で大変だった点は、「エントリーシートの作成」（42.5%）、「筆記試験・WEBテスト」（40.9%）、「自己分析の仕方」（39.0%）、「留学生を採用している企業を探すこと」（37.0%）。
- 就職活動で大変だった点のなかで、「筆記試験・WEBテスト」「集団面接での対応」「グループ討論・ディスカッションの参加」は学校で支援を受けた割合が少ない。
- ・ 内定状況は、大学4年が49.6%、大学院修士2年が41.9%、専門学校2年が21.7%、日本語学校が30.8%であった。
- ・ 内定先企業の本社所在地は、「東京都」（54.7%）が突出して高く、地域別では『関東地方』が70.8%であった。
- ・ 内定先企業の業種は、「IT・情報通信業」（23.4%）が最も高い。
- ・ 内定先企業の従業員規模は、1,000人未満が66.4%。

6) 日本語・文化の習得状況について

- ・ 日本語・文化の習得状況は、『日本語の日常会話』の習得度（95.1%）が最も高い。
- 『ビジネス日本語』『日本の企業文化』『ビジネスマナー』はそれぞれ68.8%、64.3%、60.2%であった。
- アルバイト・派遣の仕事やボランティアを行っている学生、インターンシップに参加したことがある学生は習得度が高い傾向。
- ・ 習得方法は、『日本語の日常会話』『ビジネス日本語』『日本の企業文化』『ビジネスマナー』ともに「学校の授業」「アルバイト・派遣の仕事」が高い。
- ・ 日常生活で日本人と話す機会の頻度は、「毎日」が60.3%。

7) 就職支援へのニーズについて

- ・ 外国人留学生向け就職支援サービスの認知度は、『新卒紹介』が43.3%、『紹介予定派遣』が25.9%であった。
- ・ 外国人留学生向け就職支援サービスを知っている学生の利用実績は、『新卒紹介』が54.3%、『紹介予定派遣』が42.4%であった。
- ・ 外国人留学生向け就職支援サービスの利用意向は、『新卒紹介』が80.2%、『紹介予定派遣』が68.0%と高い。

1-3. ヒアリング調査

1) 企業の採用・定着状況・新卒紹介等ニーズについて

- ・ 外国人留学生の採用目的は、アンケート同様、国籍に関係なく優秀な人材の確保、ダイバーシティ政策の一環、海外拠点との架け橋が挙げられている。各国の文化理解が必要なためとの回答もあった。
- ・ 外国人留学生の採用方法は、日本人と同様の採用手法に加えて、外国人留学生が参加するフェアや合同企業説明会、セミナーへの参加が挙げられていた。新卒紹介を活用し、採用につながっている企業もみられた。
- ・ 外国人留学生の採用基準は、日本人学生と同様であり、どの企業も選考は日本語で行っていた。
- ・ 外国人留学生の選考方法は、日本人学生と同様。
- ・ 外国人留学生を受け入れるために実施していることは、特になかった。
- ・ 外国人留学生採用の課題は、外国人留学生の日本語力をあげる企業が複数みられた。
- ・ 外国人留学生の採用後の取り組みは、対象を限定した研修や教育を行っている企業はなかったが、多文化理解の促進や個別フォローなど行っている企業がみられた。
- ・ 外国人留学生に限定したインターンシップを実施している企業はみられなかった。対象を日本人学生・外国人留学生で分けることなく広く募集し、結果的に外国人留学生が参加しているケースが多い。
- ・ 新卒紹介を外国人留学生の採用の柱としている企業がみられた。

2) 外国人留学生のキャリアプラン・就職活動・新卒紹介等ニーズについて

- ・ 来日のきっかけは、ヒアリング調査を行った外国人留学生5名のうち、3人が母国の大学に入学後、奨学金取得や編入などをきっかけに来日している。他の2名は大学入学以前に日本人・日本文化と接点があり、来日するきっかけとなっている。
- ・ 日本で働きたいと思ったきっかけは、日本で生活や勉強をするなかで決定した学生が多い。
- ・ 就職活動の開始時期は、アンケートと同様遅い傾向。また、卒論作成や就職活動が上手いかないを理由に、途中で就職活動を行っていない期間がある学生がみられた。
- ・ 就職活動の終了時期は、開始して2ヶ月ほどで決定する学生と半年ほど就職活動を行っている学生がみられた。
- ・ 就職活動の内容は、主に外国人留学生向けの合同説明会への参加やナビサイトの活用。
- ・ 就職活動で大変だったことは、面接含めてすべて日本語での選考のため、言葉の壁が挙げられている。対策として行ったことは、学校の先生や日本人の友人から添削やアドバイスを求めているケースが多い。就職活動中に敬語の使い方を習得するために営業のアルバイトをする学生もみられた。

- 就職先企業を決めた要因は、自分のやりたいことができる、学んだことを活かせる、雰囲気が良いなどが挙げられている。外国人社員がいることも要因のひとつ。
- 日本での就職や就職先について、親と相談している学生が複数みられた。
- 日本で働く期間を決めている学生は、日本で働いた後は、母国へ戻って働きたいと考えており、日本と母国の架け橋として働くキャリアプランを描いている。日本で働く期間を決めていない学生は、日本で仕事の実績を積んでいきたいと考えている。
- 学内の活動状況は、大学在籍の留学生はゼミナールに参加していた。
- 学外の活動状況は、アルバイトをしていない学生は1名で、他の学生はアルバイトを行っていた。アルバイトの経験がある学生は、複数のアルバイトを行っており、飲食系のアルバイトが多い。
- 就職活動で役に立ったことは、日本語力を向上することができた活動が多く挙げられた。アルバイトは、敬語の使い方や職場の雰囲気の理解、日本語で考える力がつくなど。日本語でのゼミナールは、強制的に日本語を使う必要があるため、話す聞くだけでなく、書く力が向上するとの意見。
- 就職活動で求められる日本語力は、高いと回答。就職活動を通して、日本の企業が外国人留学生へ高い日本語力を求めていることがうかがえる。日本語能力試験（JLPT）ではN1、最低限N2が必要。ただ、資格のレベルではなく、相手の話していること・伝えたいことへの理解、自分の気持ちを伝えることが大切との意見もみられた。敬語の必要性も挙げられている。
- 一般的に外国人留学生向けの新卒紹介に対して好意的であり、役立つ、便利との声が挙げられた。一方で、企業を自分で調べることで自己勉強になるので、自分で探した方がよいという意見もみられた。
- 外国人留学生向けの紹介予定派遣は、アルバイトの経験がある学生は、派遣というアルバイトに近いスタイルから始めることに親和性があるようで、好意的な意見が多い。正社員になる前に仕事や職場を体験できることが良い点として挙げられている。

2. 考察

本調査では、就学で来日した外国人留学生の日本企業への就職率の向上を目的に実施した。外国人留学生の就職率向上は、日本企業にとってもダイバーシティを推進する組織作りや海外展開促進に役立つものである。20万人を超えた外国人留学生を、2020年には30万人にするという「留学生30万人計画」（文部科学省）もあり、日本への留学促進のためにも卒業後の社会の受入体制を整備し日本企業への就職率をより高めていく必要がある。

そのために重要と思われるキーファクターを抽出するのが狙いである本調査では、日本国内企業に対する調査と、在日外国人留学生を対象とする調査を行った。本解説では各調査のポイントを述べた後、外国人留学生の就職率向上に向けた全体の総括を行う。

2-1. 企業アンケート調査

企業の外国人留学生の採用状況を調べるにあたり、単年度ではなくその流れをみるために、過去5年間の採用実績について聞いたところ、35.4%の企業が外国人留学生を採用していた。2016年新卒入社採用の実績は67.7%であり、外国人留学生の採用の実績はまだ低いことがうかがえる。従業員規模別でみると、2,000人以上の企業では外国人留学生の採用実績が88.2%に対し、300人未満の企業ではわずか11.4%と、従業員数規模によって外国人留学生の採用実績に大きな差がみられた。しかし、ヒアリング調査では300人未満の企業で外国人留学生を対象とした採用を実施している企業もみられ、従業員規模だけでなく、事業内容や今後の経営戦略等も外国人留学生採用に大きく関わると考えられる。

採用した外国人留学生の卒業学校別でみると、大学・大学院のみという企業が64.5%であり、専門学校や日本語学校卒業の学生を採用した企業は少ない。採用人数をみても、専門学校や日本語学校卒に関しては1名のみ採用という企業が多い。しかし、専門学校や日本語学校の外国人留学生は、母国を始め日本以外の大学を卒業後、日本の専門学校や日本語学校に入学している学生も多く、日本の大学生に準じた採用が進み、就職率が向上することが望まれる。

外国人留学生の採用目的をみると、「国籍に関係なく優秀な人材の確保」が83.9%と突出している。従業員規模問わず、「国籍に関係なく優秀な人材の確保」を目的としている割合が高いが、300人未満の企業では「新規に海外への事業展開を行うため」が38.5%と高く、中小企業の新たな海外展開のために外国人留学生の採用が効果的と考える企業が多いと推測される。

外国人留学生の採用手法に関しては「日本人新卒募集と同じプロセス」で実施している企業が79.6%と高く、一方、外国人留学生向けの採用方法を実施している割合は低く、実施しているなかでは「外国人向け合同説明会に出展」が21.5%で高かった。日本人学生と同様の採用プロセスが外国人留学生に求められており、外国人留学生の就職が困難となっている要因のひとつと考えられる。そのなかで、従業員数が300人未満の企業では「インターンシップからの採用」（38.5%）、「通年採用」（23.1%）と、300人以上の企業とは異なる多様な採用活動に取り組んでいる特徴がみられた。

外国人留学生を採用する際に重視することでは、「コミュニケーション力」（61.3%）、「語学力（日本語）」（54.8%）が高く、日本語でのコミュニケーション力が求められていることがわかる。外国人留学生が日本企業へ就職するためには、日本語力がひとつの重要なポイントとなるといえる。採用満足度でみると、質・量とも満足している企業は、採用する際に重視することとして「勤勉さ・真面目さ」が「語学力（日本語）」と同じ数値で高く、日本語でのコミュニケーション力だけでなくヒューマンスキルも評価していることがうかがえる。

最低限求める日本語コミュニケーションレベルは、「ビジネスレベル」が44.1%、「日常会話レベル」が35.5%であり、外国人留学生に求める日本語力は企業によって差がみられた。

今後強化したい外国人留学生の採用手法としては、現在の採用方法と同じ「日本人新卒募集と同じプロセスで採用」が68.8%と突出しており、現状の新卒採用なかで外国人留学生採用に取り組む方向性がみえる。しかし、従業員数が300人未満の企業は、現状の採用方法でも高かった「インターンシップ」「通年採用」に加え、「特定の学校・大学・研究室からの採用」が高く、多様な手法への取り組みを積極的に行う意向がみられる。「日本人新卒募集と同じプロセスで採用」以外の採用方法に取り組む企業の動きが拡大することは、外国人留学生にとって応募しやすい環境が進むきっかけになると考えられる。

外国人留学生のインターンシップ実施状況と課題については、留学生のインターンシップを受け入れたことがある企業が20.5%であるのに対して、受け入れる計画がない企業が67.3%と大幅に上回る状況であり、外国人留学生インターンシップはまだ拡大の余地があるといえる。過去5年間の外国人留学生の採用実績がある企業でもインターンシップの受入は35.5%にとどまっており、今後の受入拡大への取り組みが必要と考えられる。

外国人留学生をアルバイトで採用している企業は、全体の12.9%であった。過去5年間の外国人留学生の採用実績がある企業は、外国人留学生のアルバイト採用実施が25.8%と高く、積極的に外国人材を活用している企業もみられた。アルバイト採用目的としては労働力不足解消のためが高く、アルバイトから正社員に登用している企業は23.5%と、アルバイトでの評価が正社員化につながるケースもみられた。

2-2. 外国人留学生アンケート調査

外国人留学生の日本での就職意向は、「絶対に日本で働きたい」（32.0%）、「できれば日本で働きたい」（43.4%）を合わせると75.4%であり、日本での就職意向は高い。日本での就職意向はアルバイト・派遣経験者77.9%、ボランティア経験者82.0%に対して、これらを経験していない学生は63.7%と差がみられた。また、インターンシップ経験者の日本での就職意向は85.5%に対して、経験していない学生は70.8%と低くなっており、アルバイト・派遣などの活動やインターンシップへの参加が日本での就職意向と関連していると考えられる。日本で働きたい期間としては10年以上の長期を希望している学生が43.7%であり、5年くらいまでと考えている学生36.6%に対して上回っている。

日本での就職意向がある学生が企業を選ぶ際に重要視することは、大きく分けると3つのパターンにわかれる。

- ①自分にとっての価値（成長できる42.8%、知識能力を活かせる33.1%、やりがい31.2%）
- ②外国人の積極活用企業（留学生積極採用34.1%、海外事業展開28.1%）
- ③処遇がいい（高い収入28.3%、福利厚生充実26.0%、労働環境がよい23.9%）

就職活動で不安な点でもっとも高いのは「留学生を採用する企業が少ない」（49.9%）であった。企業調査の結果からみられるように、「日本人新卒募集と同じプロセス」のため、外国人留学生にとっては留学生を採用するかわからないことへの不安が高くなっていると考えられる。広報媒体等での「留学生採用」の明記は外国人留学生を採用する企業にとって効果的な採用方法と考えられる。また、外国人留学生のヒアリング調査では外国人社員がいることは就職先を決めた理由のひとつに挙がっており、外国人留学生の採用実績も外国人留学生を採用する企業にとっては強みとなる要素といえる。

日本での就職意向がある学生のなかで就職活動を行った（行っている）割合は64.0%であり、卒業年次の数字をみても大学4年生67.2%、大学院修士2年67.5%、専門学校2年67.4%と変わらず、就職意向がありながら就職活動を行っていない学生が3割以上みられた。

就職活動や企業情報の収集方法としては、3つの傾向がみられる。

- ①学校関係（キャリアセンター・就職課61.0%、留学生支援スタッフ34.4%）
- ②インターネット&メディア（企業のホームページ38.6%、就職情報誌・サイト31.2%）
- ③イベント（留学生向け企業セミナー24.4%、企業セミナー21.8%）

学校で受けた就職支援としては、2つのテーマが就職支援の主流となっていることがわかる。

- ①就活スキル関係（自己分析54.5%、エントリーシート47.1%、個人面接対応28.6%）
- ②企業研究関係（業界・企業研究40.9%、留学生採用企業探し33.1%、応募企業選び21.8%）

日本での就職意向がある学生のうち内定者は全体で28.5%、卒業年次でみると大学4年49.6%、大学院修士2年41.9%と半数以下の状況である。専門学校2年は21.7%、日本語学校は30.8%とさらに低い結果であった。

外国人留学生の日本語や日本の企業文化の習得度は、日本語の日常会話95.1%、ビジネス日本語68.8%、日本の企業文化64.3%、ビジネスマナー60.2%となっており、それぞれをアルバイト・派遣の経験の有無、インターンシップ参加の有無で比較すると以下ようになる。

	アルバイト・派遣		差	インターンシップ		差
	有	無		有	無	
日本語の日常会話	96.4%	90.3%	6.1%	99.0%	93.4%	5.6%
ビジネス日本語	70.6%	58.9%	11.7%	82.5%	62.6%	19.9%
日本の企業文化	65.3%	58.9%	6.4%	79.5%	57.3%	22.2%
ビジネスマナー	62.4%	50.0%	12.4%	74.5%	53.7%	20.8%

この差をみると、アルバイト・派遣やインターンシップの経験が、日本語や日本の企業文化の習得に好影響を与えていることがわかる。習得方法については学校の授業とアルバイト・派遣の仕事、メディアなどが上位に挙げられている。日常生活で日本人と話す機会の頻度については、「毎日」が60.3%で最も高くなっているが、日々日本人と話す機会がない留学生が40%近くもいるということである。大学4年、大学院修士2年を対象とした内定状況別では、内定している企業がある学生は「毎日」の割合が高く、日本人との日々の接点を学校、アルバイト・派遣、ボランティア、インターンシップなどの機会を通して行っていくことは日本語や日本の企業文化理解につながるとともに、就職活動でも活かすことができると考えられる。

外国人留学生向けの就職支援サービスの認知度をみると、新卒紹介43.3%、紹介予定派遣25.9%であり、そのうち利用実績がある割合は新卒紹介54.3%、紹介予定派遣42.4%となっている。今後の利用意向は新卒紹介80.2%、紹介予定派遣68.0%と高く、日本での就職活動で不安な点・障害となる点で、「留学生を採用する企業が少ない」と考える外国人留学生の就職支援サービスへの期待がみられる。

2-3. まとめ

本調査において、外国人留学生の就職を促進するためのヒントは多々みられた。解決すべき課題は数多くあるが、外国人留学生の就職率向上のためには、以下の3つがポイントであると考えられる。

1：外国人留学生の求人数・求人企業数を増やす

本調査での過去5年間の外国人留学生の採用実績からもわかるように、外国人留学生採用の実績がある企業はまだ少ない。日本企業への就職希望者が一定数いるにもかかわらず、そのうち内定を得ることができている学生がその半数以下という実態をみると、まずは企業の求人を増加させることであり、そのためには企業に対して外国人留学生採用の認知促進と、受入体制への支援が重要と思われる。

求人数・求人企業数を増やすための対応策)

- ・外国人留学生への理解促進と採用意欲醸成
- ・外国人留学生向けの採用選考方法の配慮
- ・外国人留学生向けの採用プロセスの見直し
- ・外国人材の受入体制作りの支援等

が重要と考えられる。本調査では外国人留学生を採用していない理由は「海外事業展開の計画がなく外国人社員の必要性がないから」「外国人社員を受け入れる社内体制が整っていないから」が挙げられていたが、実際外国人留学生の採用目的は「国籍に関係なく優秀な人材の確保」が高く、日本人学生と同様の対象として採用を行っており、外国人留学生の採用拡大につながる可能性があると考えられる。また、実際外国人留学生を採用している企業のヒアリングでは、外国人留学生の受入れのための取り組みは特に行っておらず、選考プロセスでお互いに理解する工夫を行っていた。このような採用実績のある企業の取り組みを共有していくことも外国人留学生の採用促進を進める上で効果的と考えられる。

2：外国人留学生の就職力を向上させる

先ほども述べた通り、企業の外国人留学生目的は、「国籍に関係なく優秀な人材の確保」が高く、そのため日本人学生と同様の採用プロセスで採用活動を行っている企業が多く、日本での就職を希望する外国人留学生は高い日本語のコミュニケーション力が求められている。外国人留学生にとってはハードルの高い問題であるが、日本企業で働くこと・日本の就職活動の理解と、日本語でのコミュニケーション力は日本の企業と外国人留学生が相互に理解するための共通の要素であり、日本での就職を希望する外国人留学生にとっては、習得すべき要素といえる。

外国人留学生の日本語力・日本の企業文化の理解促進)

- ・日本語コミュニケーションのスキルアップ
- ・日本の企業文化・日本企業への理解の深化
- ・日本の就職活動への理解と行動の強化
- ・日本人と行動を共にする機会の増加

等が求められる。しかし、7割以上の学生がアルバイトや派遣の仕事を行っているなかで、学業と両立しながら、日本語力の向上、就職活動の取り組みを実施することが難しい現状がある。そのため、日々の活動のなかで、上記の向上を進めていくためには「日本人との日々の接点」は解決するためのひとつのポイントといえる。外国人留学生のヒアリング調査では、アルバイトを通し敬語の使い方や職場の雰囲気理解、日本語で考える力がついたとの意見がみられたように、現在の学生生活の学校、アルバイト・派遣、ボランティア、インターンシップなどを通して日本人と話す機会を作るための支援が重要となる。

3：外国人留学生と企業を支援できる環境を整える

本調査結果では、少ない割合ではあるが外国人留学生向けの採用手法を実施している企業がみられた。また、外国人留学生への最低限求める日本語コミュニケーションレベルとして「日常会話レベル」と回答した企業もみられ、外国人留学生採用への門戸が広がる可能性がでてきている。そのため、積極的に外国人留学生の採用を希望する企業と、日本での就職を希望する外国人留学生が出会う場、環境を整えていくことが外国人留学生の就職率向上につながると考えられる。1、2にあるように企業側、留学生側の努力も重要だが、それを促進するためには支援者側の活動が重要と考えられる。

支援者と求められる支援内容)

支援者としては、まずは学生たちを受け入れている学校での支援、ハローワークや外国人雇用サービスセンター、企業向けには日本貿易振興機構（JETRO）等の公共機関の支援、そして民間企業や団体による各種サービスによる支援に分けることができる。それぞれの強みを活かしての支援が必要と思われる。

- ・学校の支援：学生の身近な存在として、外国人留学生ならではの悩みや不安、課題にフォーカスした支援を実施する。
- ・公共の支援：広く学生を対象とし、安心して相談できる公共のポジションを活用して、効果的な支援を実施する。企業側に積極的な外国人留学生採用を働きかけることも必要。
- ・民間人材会社の支援：企業との関係性の強さや、個別サービスの質の高さ、対応力等を活用して、双方の仲介・マッチングや外国人留学生の育成・企業の外国人留学生採用力向上につながる支援を実施する。外国人留学生の新卒採用、紹介予定派遣の利用意向が高いことから外国人留学生に特化した採用手法の支援が求められる。

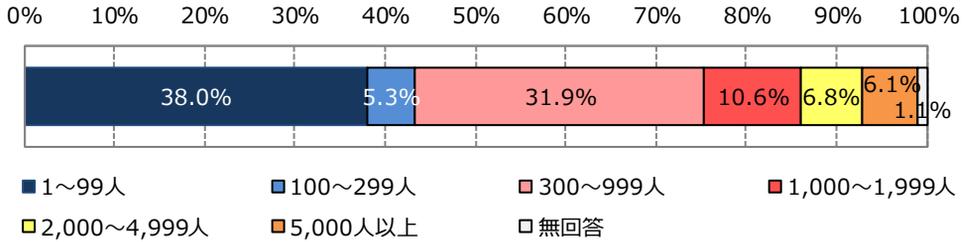
第3章 企業アンケート調査の結果

1. 基本情報

● 従業員数

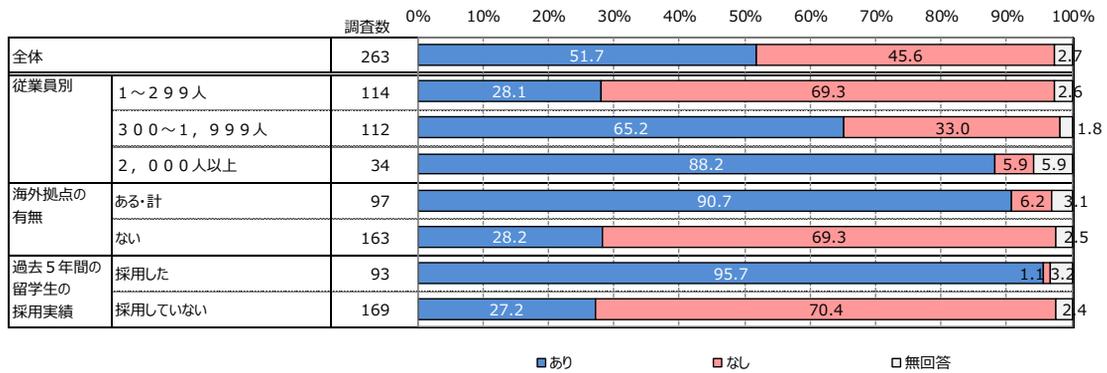
●従業員数 (全体/単一回答)

(n=263)

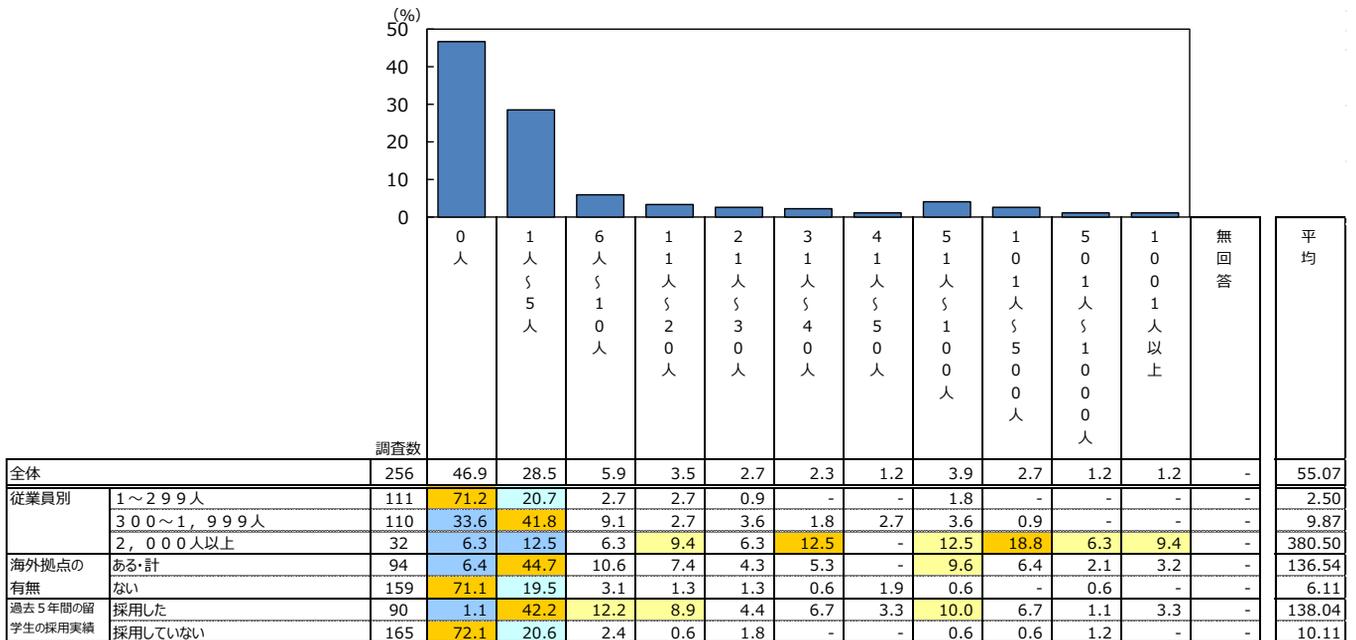


● 外国人従業員の有無

●外国人従業員の有無 (全体/単一回答)



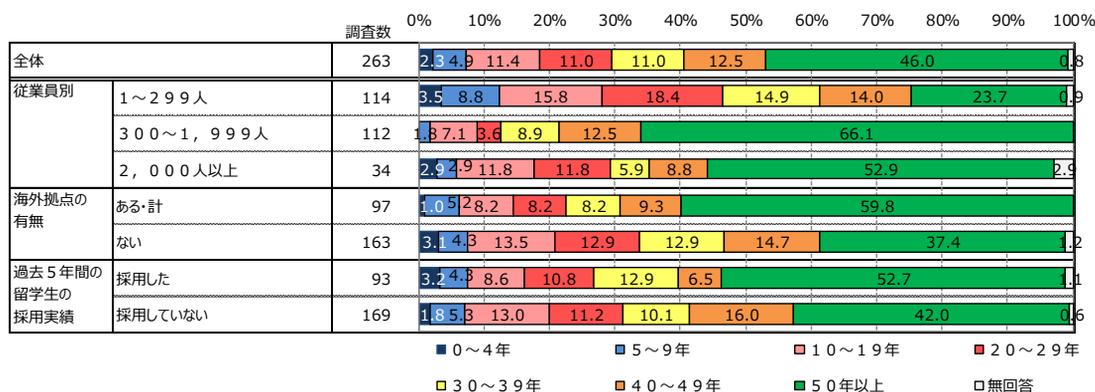
●外国人従業員数 (記入数/単一回答)



※全体と比較して +5pt以上 +10pt以上 -5pt以下 -10pt以下

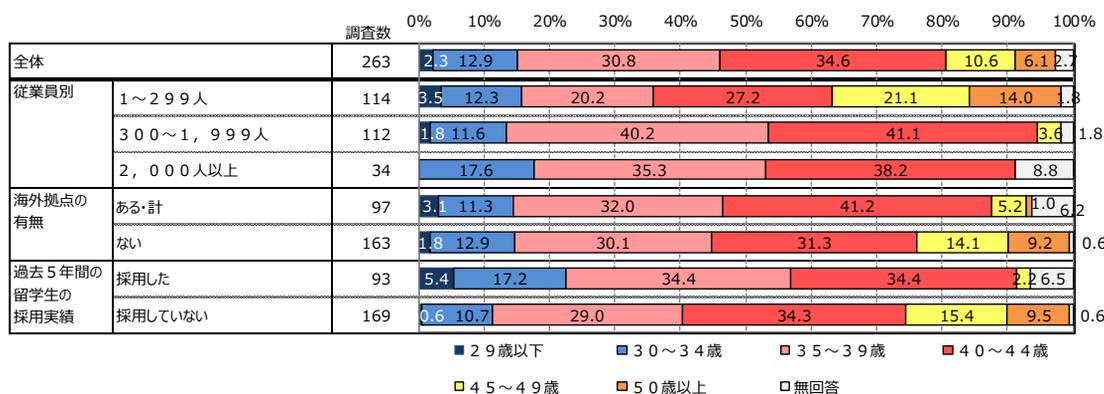
● 創業年数

● 創業年数（全体／単一回答）



● 平均年齢

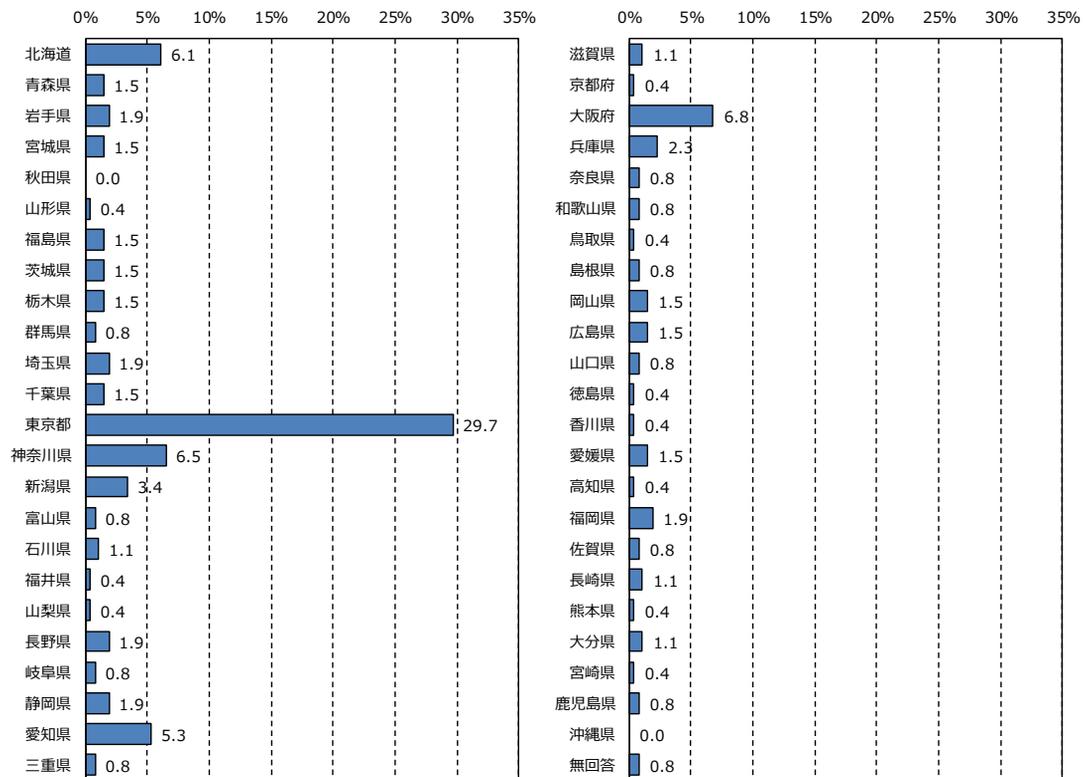
● 平均年齢（全体／単一回答）



● 本社所在地

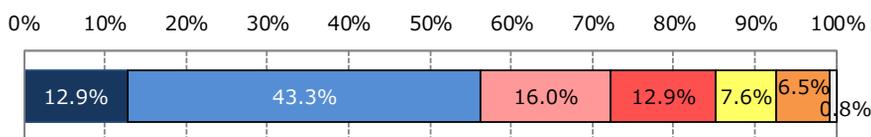
● 本社所在地 (全体/単一回答)

(n=263)



● 本社所在地 (地域別) (全体/単一回答)

(n=263)



■ 北海道・東北地方 ■ 関東地方 ■ 中部地方 ■ 近畿地方 ■ 中国・四国地方 ■ 九州・沖縄地方 □ 無回答

● 海外拠点の有無

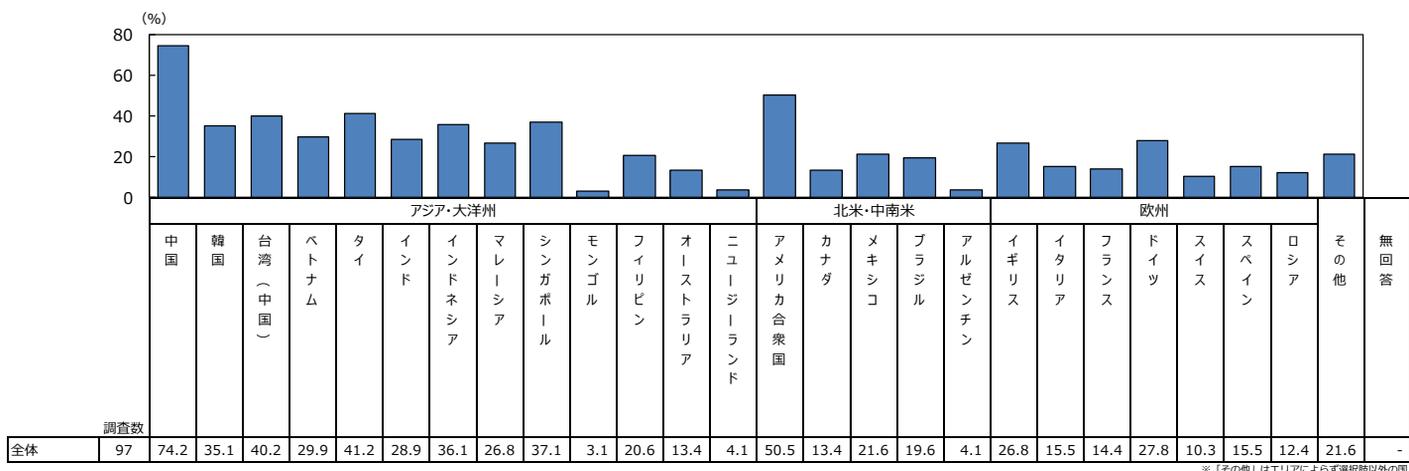
●海外拠点の有無（全体／単一回答）

凡例	ある・計	ある・計		ない	無回答	ある・計
		ある	今後設立予定がある			
全体	263	35.0	1.9	62.0	1.1	36.9
従業員別	1～299人	13.2	2.6	83.3	0.9	15.8
	300～1,999人	42.9	1.8	53.6	1.8	44.6
	2,000人以上	85.3		14.7		85.3
過去5年間の留学生の採用実績	採用した	69.9	3.2	26.9		73.1
	採用していない	15.4	1.2	81.7	1.8	16.6

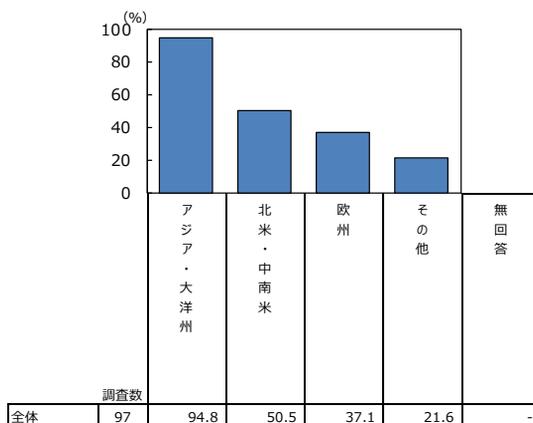
※全体と比較して +5pt以上 +10pt以上 -5pt以下 -10pt以下

● 海外拠点エリア

●海外拠点エリア（海外拠点がある企業／複数回答）

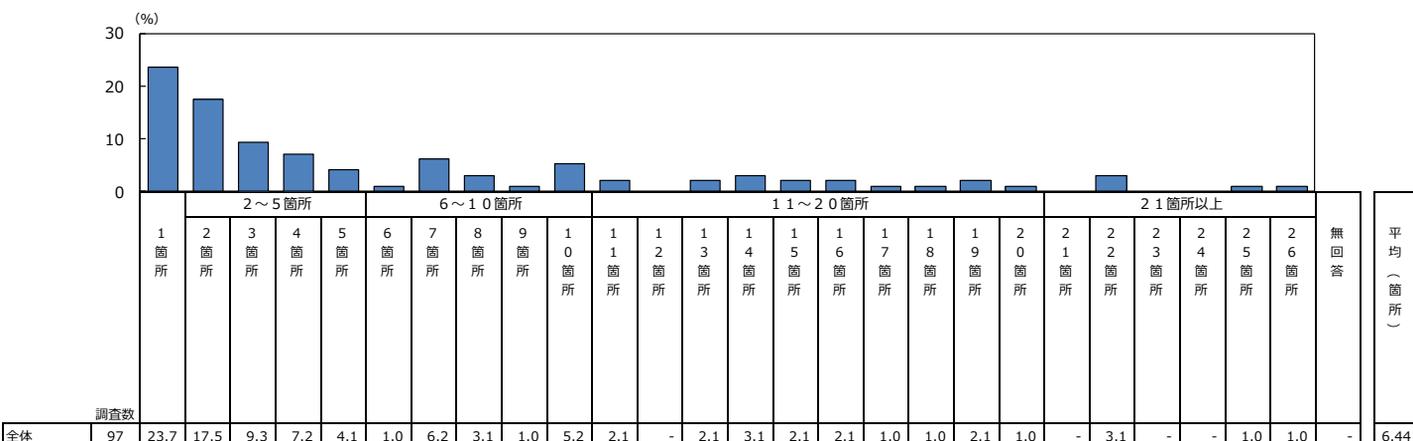


●海外拠点エリア（エリア別）（海外拠点がある企業／複数回答）

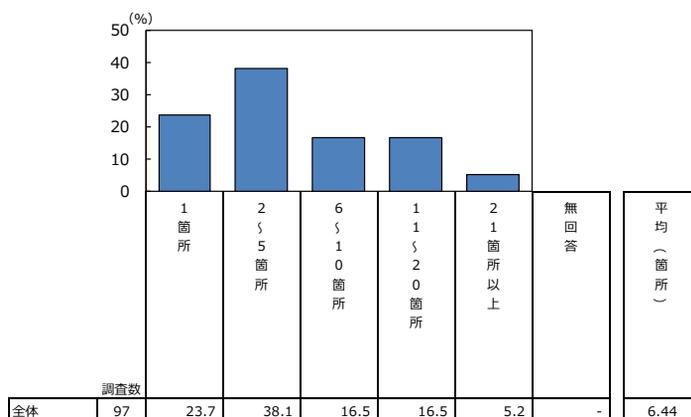


● 海外拠点エリア（拠点数）

●海外拠点エリア（拠点数）（海外拠点がある企業／単一回答）

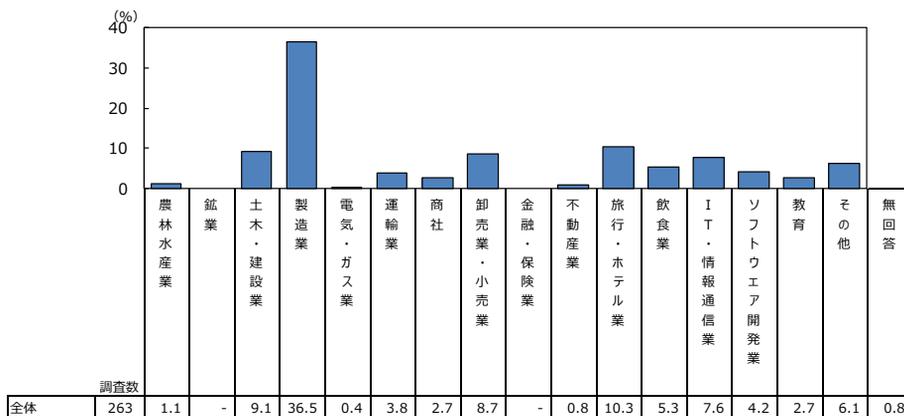


●海外拠点エリア（拠点数）（海外拠点がある企業／単一回答）



● 業種

●業種（全体／単一回答）



2. 調査結果

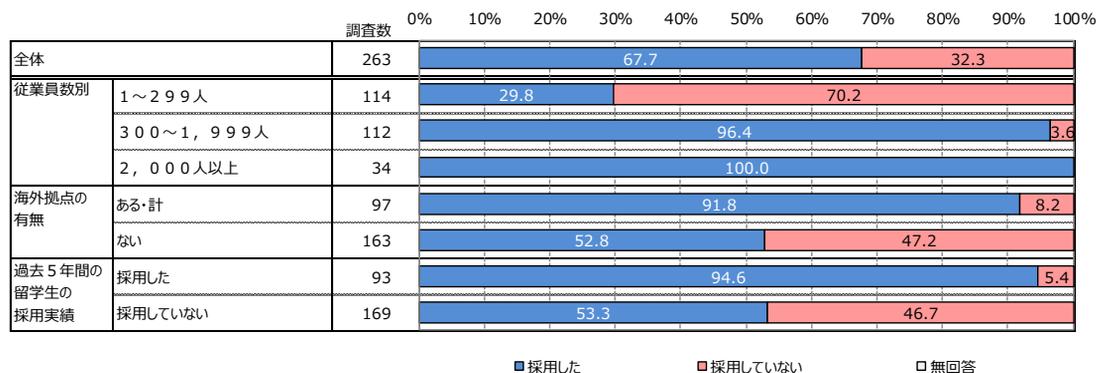
2-1. 新卒採用全体の状況

● 2016年新卒入社の採用実績

2016年新卒入社の採用実績は、「採用した」が67.7%であった。

- ・ 従業員数別では、300～1,999人、2,000人以上の企業は採用実績が9割を超える。一方、1～299人の企業は「採用した」が29.8%であり、従業員規模によって採用実績に差がみられた。
- ・ 海外拠点の有無別では、海外拠点がある企業は海外拠点がない企業に比べ「採用した」が4割近く高い。
- ・ 過去5年間の留学生の採用実績別では、採用した企業は採用していない企業に比べ「採用した」が高い。

● 2016年新卒入社の採用実績（全体／単一回答）

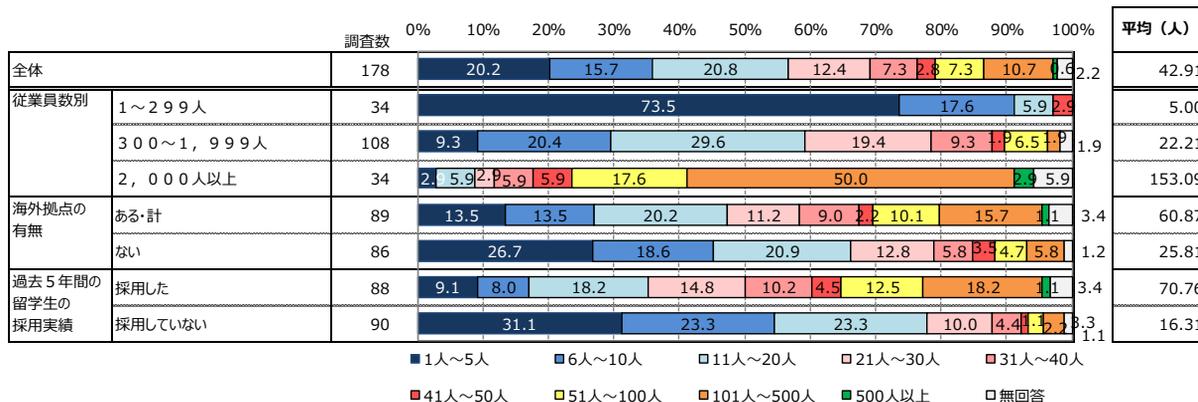


● 採用人数

2016年新卒入社の採用人数は、「11～20人」が20.8%で最も高く、「1～5人」（20.2%）、「6～10人」（15.7%）が続く。20人以下が56.7%であった。

- ・ 従業員数別では、従業員規模が大きくなるほど採用人数が多い傾向がみられる。1～299人の企業は「1～5人」が73.5%で最も高い。
- ・ 海外拠点の有無別では、海外拠点がある企業は海外拠点がない企業に比べ採用人数が多い傾向。
- ・ 過去5年間の留学生の採用実績別では、採用した企業は採用していない企業に比べ採用人数が多い傾向がみられた。

● 採用人数（採用した企業／単一回答）

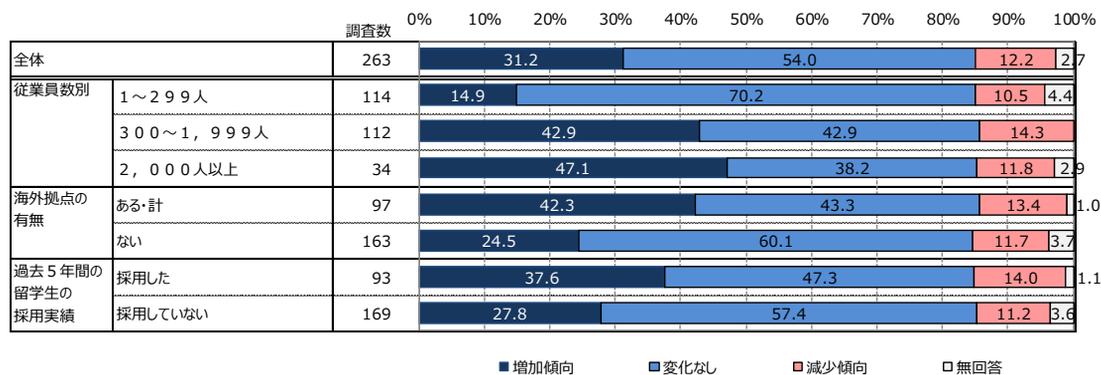


● 過去5年間の新卒採用数の変化

過去5年間の新卒採用数の変化は、「変化なし」が54.0%で最も高い。次いで、「増加傾向」が31.2%で続く。

- ・ 従業員別では、1～299人の企業は「増加傾向」が14.9%であり、300～1,999人、2,000人以上の企業と大きな差がみられた。
- ・ 海外拠点の有無別では、海外拠点がある企業は「増加傾向」（42.3%）が高い。
- ・ 過去5年間の留学生の採用実績別では、採用した企業は採用していない企業に比べ「増加傾向」（37.6%）が高い。

● 過去5年間の新卒採用数の変化（全体／単一回答）

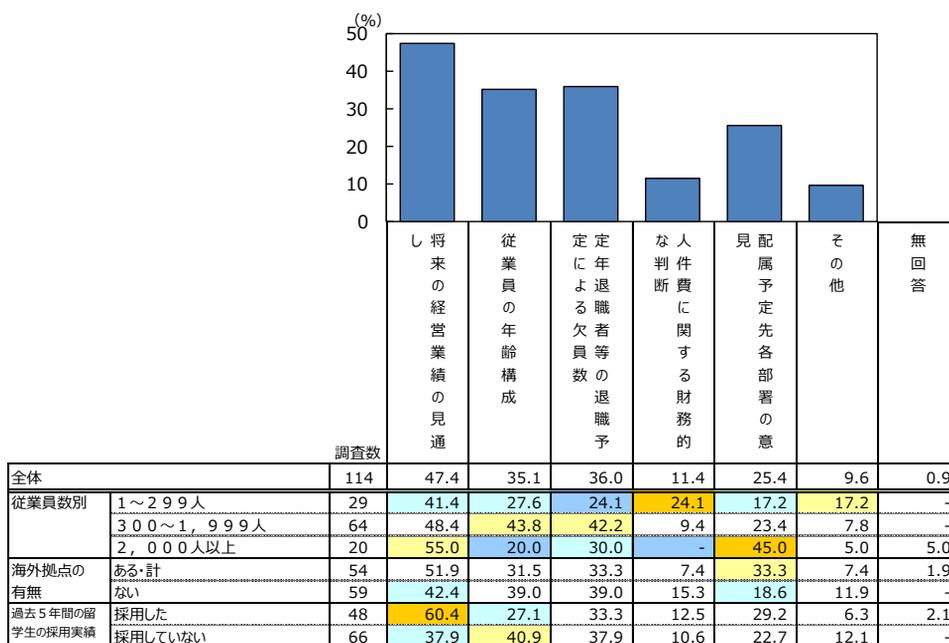


● 新卒採用数の変化の理由

過去5年間の新卒採用数の変化の理由は、「将来の経営業績の見通し」が47.4%で最も高く、「定年退職者等の退職予定による欠員数」(36.0%)、「従業員の年齢構成」(35.1%)が続く。

- 従業員数別では、1~299人の企業は「人件費に関する財務的な判断」(24.1%)が高い。300~1,999人の企業は「従業員の年齢構成」「定年退職者等の退職予定による欠員数」が「将来の経営業績の見通し」と同様に4割を超える。2,000人以上の企業は「配属予定先各部署の意見」(45.0%)が「将来の経営業績の見通し」に次いで高い。
- 海外拠点の有無別では、海外拠点がない企業は「将来の経営業績の見通し」(42.2%)が低く、「配属予定先各部署の意見」(18.6%)でも海外拠点がある企業と差がみられた。
- 過去5年間の留学生の採用実績別では、採用した企業は「将来の経営業績の見通し」が60.4%と高く、「従業員の年齢構成」(27.1%)が低い。採用していない企業は「従業員の年齢構成」(40.9%)が最も高い。

● 新卒採用数の変化の理由 (変化があった(増加・減少)企業/複数回答)



※全体と比較して +5pt以上 +10pt以上 -5pt以下 -10pt以下

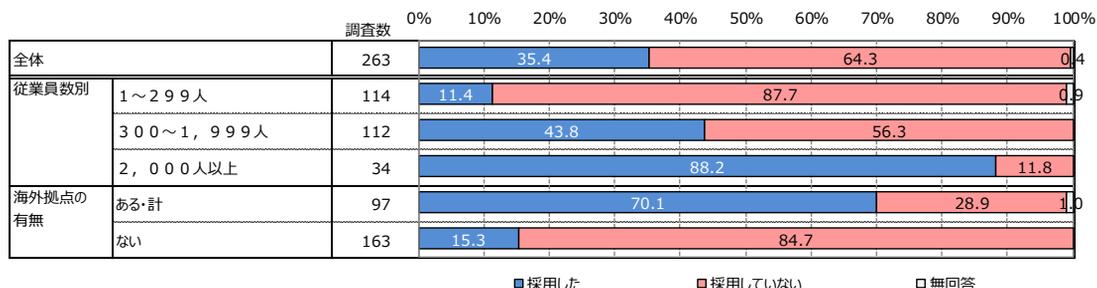
2-2. 外国人留学生の採用状況

● 過去5年間の外国人留学生の採用実績

過去5年間の外国人留学生の採用実績は、「採用した」は35.4%であった。

- ・ 従業員数別では、採用実績がある割合は2,000人以上の企業で88.2%、300人～1,999人の企業で43.8%、1人～299人の企業で11.4%と、従業員数規模により大きな差がみられた。
- ・ 海外拠点の有無別では、海外拠点がある企業は「採用した」が70.1%で高い。

●過去5年間の外国人留学生の採用実績（全体／単一回答）

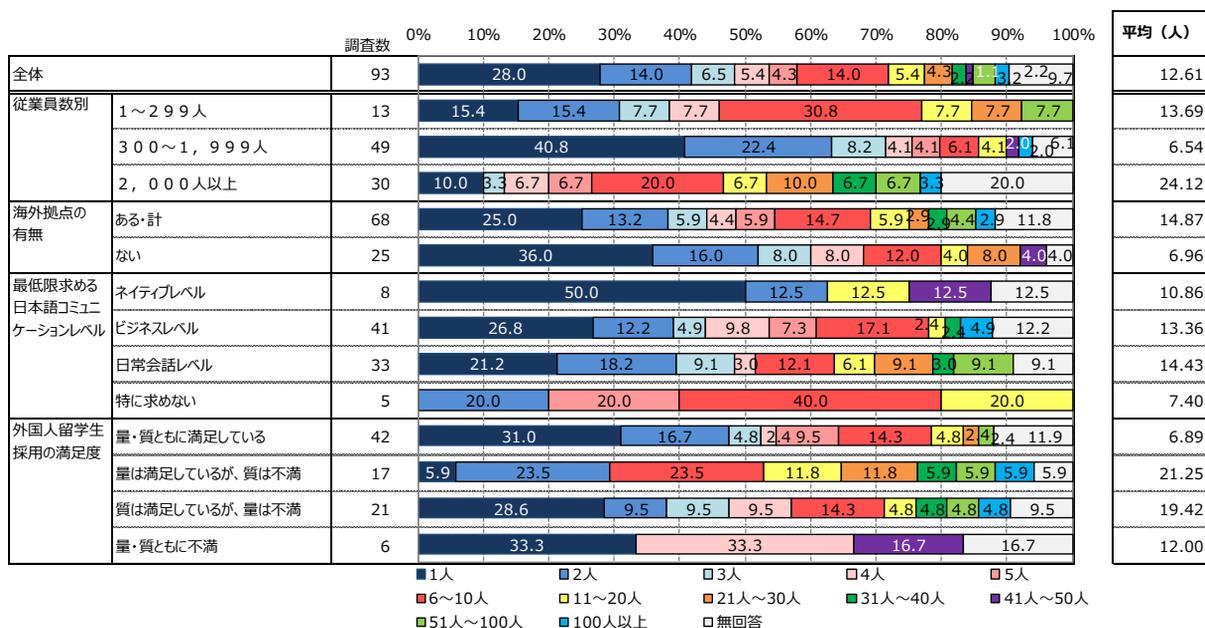


● 採用人数

過去5年間の外国人留学生の採用人数は、「1人」が28.0%で最も高く、「2人」「6人～10人」（14.0%）が続く。10人以下は72.0%であった。

- ・ 従業員数別では、300～1,999人の企業は「1人」「2人」で6割強を占める。2,000人以上の企業は「6～10人」（20.0%）が高い。
- ・ 海外拠点の有無別では、海外拠点がある企業は海外拠点がない企業に比べ採用人数が多い傾向。

●採用人数（過去5年間で採用した企業／単一回答）

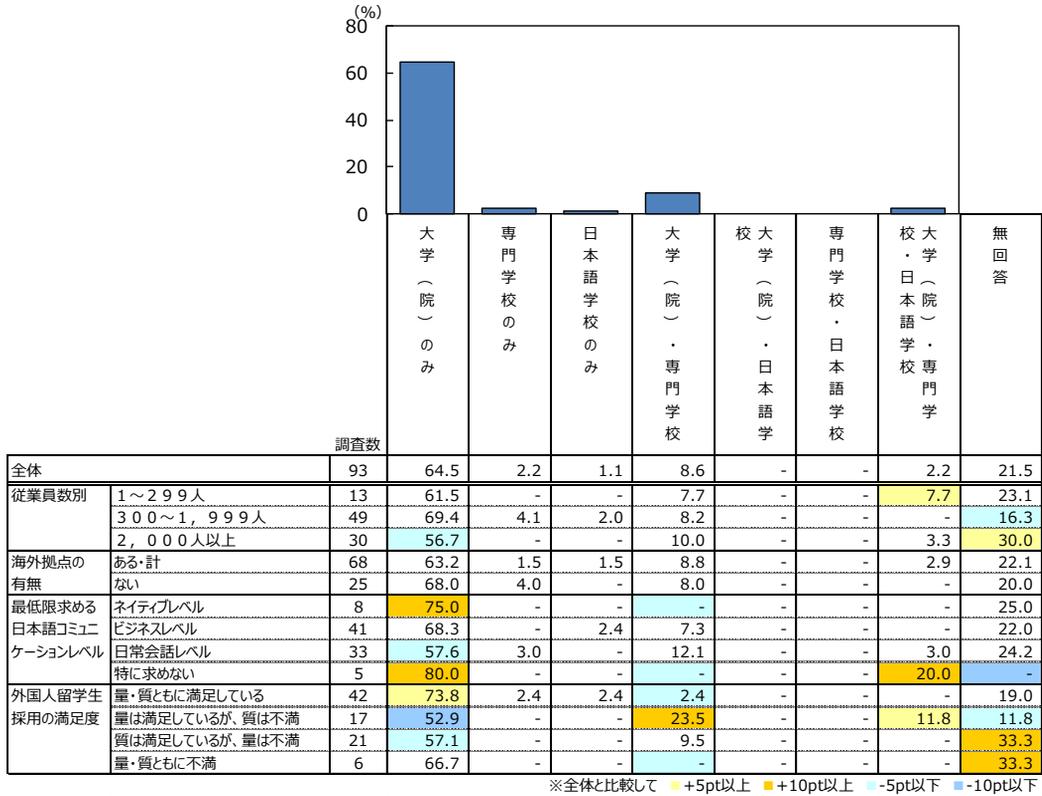


● 採用人数の内訳（卒業学校別）

卒業学校別の外国人留学生の採用状況は、「大学（院）のみ」が64.5%で突出している。

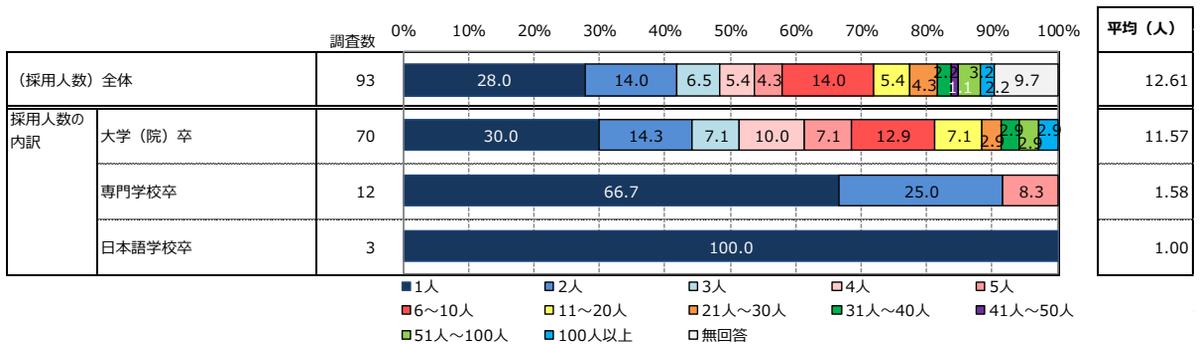
- 最低限求める日本語コミュニケーションレベル別は、日常会話レベルを求める企業は「大学（院）のみ」（57.6%）が低い。
- 外国人留学生採用の満足度別では、量・質ともに満足している企業は「大学（院）のみ」（73.8%）が高い。量は満足しているが、質は不満の企業は「大学（院）のみ」（52.9%）が低く、「大学（院）・専門学校」（23.5%）が高い。

● 採用人数の内訳（卒業学校別）での採用状況（過去5年間で採用した企業/単一回答）



- 専門学校卒の採用人数は5人以下、日本語学校卒の採用数は1名であり、大学（院）卒と比べ少ない。

● 採用人数の内訳（過去5年間で採用した企業/単一回答）

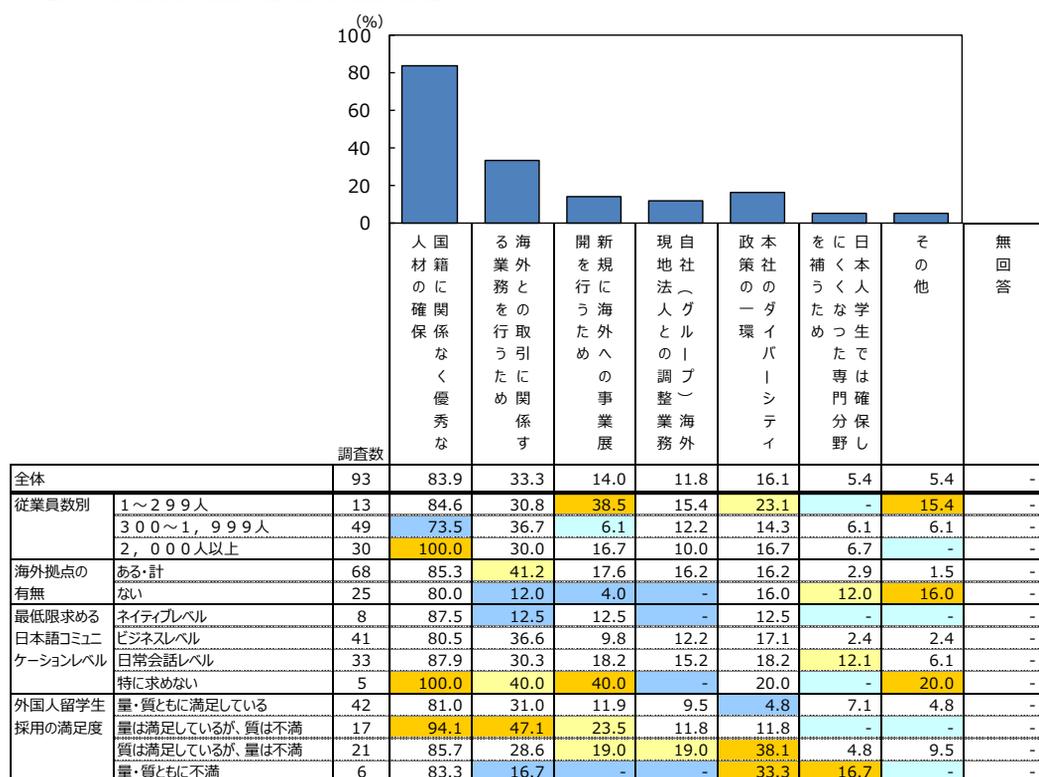


● 外国人留学生の採用目的

外国人留学生の採用目的は、「国籍に関係なく優秀な人材の確保」が83.9%で突出して高い。

- ・ 従業員数別では、従業員規模に関わらず「国籍に関係なく優秀な人材の確保」が最も高い。1～299人の企業は次いで「新規に海外への事業展開を行うため」（38.5%）が高い。
- ・ 海外拠点の有無別では、海外拠点がある企業は海外拠点がない企業に比べ「海外との取引に関する業務を行うため」、「新規に海外への事業展開を行うため」、「自社（グループ）海外現地法人との調整業務」が高い。
- ・ 外国人留学生採用の満足度別では、量は満足しているが、質は不満の企業は「国籍に関係なく優秀な人材の確保」（94.1%）、「海外との取引に関する業務を行うため」（47.1%）が高い。質は満足しているが、量は不満の企業は「本社のダイバーシティ政策の一環」（38.1%）が高い。

●外国人留学生の採用目的（過去5年間で採用した企業／複数回答）



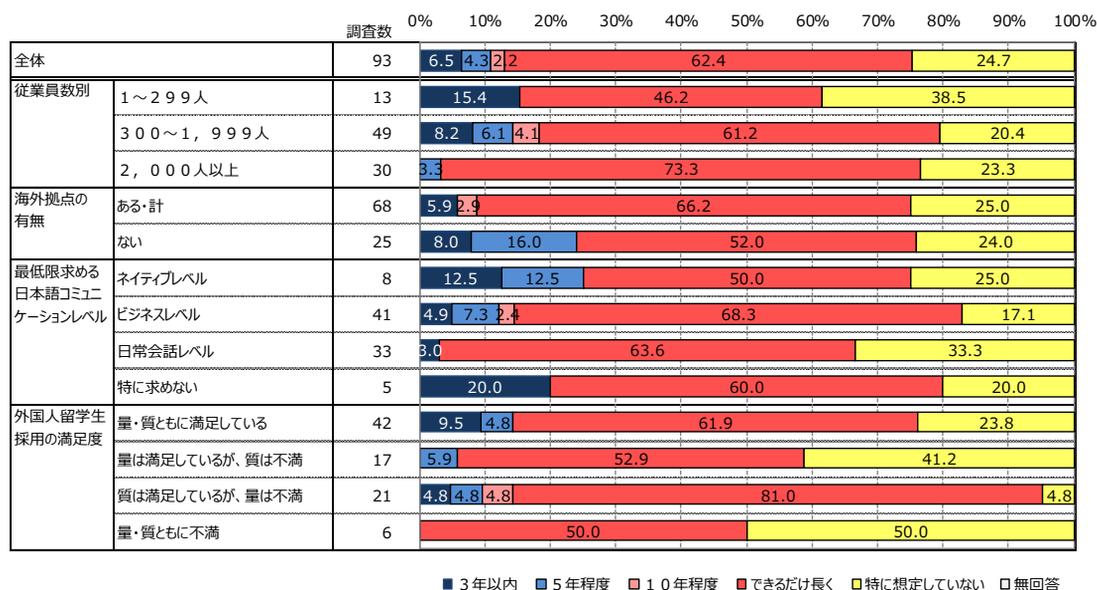
※全体と比較して ■ +5pt以上 ■ +10pt以上 ■ -5pt以下 ■ -10pt以下

● 外国人留学生に対して希望する勤続年数（期間）

外国人留学生に対して希望する勤続年数（期間）は、「できるだけ長く」が62.4%で最も高い。10年程度より短い期間を希望する企業は少ないものの、「特に想定していない」が24.7%であった。

- ・ 従業員数別では、1～299人の企業は「特に想定していない」（38.5%）が高い。
- ・ 海外拠点の有無別では、海外拠点がない企業は「できるだけ長く」（52.0%）が低い。
- ・ 最低限求める日本語コミュニケーションレベル別では、日常会話レベルを求める企業は「特に想定していない」（33.0%）が高い。
- ・ 外国人留学生採用の満足度別では、量は満足しているが、質は不満の企業は「できるだけ長く」（52.9%）が低く、「特に想定していない」（42.1%）が高い。質は満足しているが、量は不満の企業は「できるだけ長く」が81.0%で高い。

●外国人留学生の希望する勤続年数（期間）（過去5年間で採用した企業／単一回答）

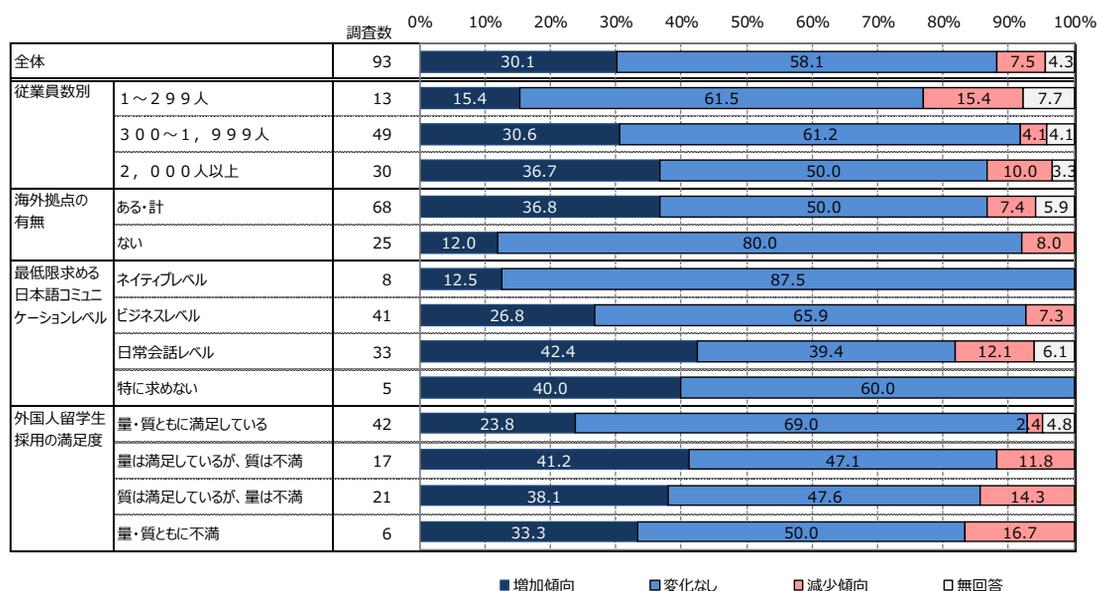


● 過去5年間ににおける外国人留学生の新卒採用数の変化

過去5年間ににおける外国人留学生の新卒採用数の変化は、「変化なし」が58.1%で最も高く、「増加傾向」が30.1%で続く。

- ・ 従業員数別では、「増加傾向」が1～299人の企業と300人以上の企業で15ポイント以上の差がみられた。
- ・ 海外拠点の有無別では、海外拠点がある企業は「増加傾向」が36.8%で高い。
- ・ 最低限求める日本語コミュニケーションレベル別では、日常会話レベルを求める企業はビジネスレベルを求める企業に比べ「増加傾向」が高い。
- ・ 外国人留学生採用の満足度別では、量・質ともに満足している企業は「変化なし」が69.0%。量は満足しているが、質が不満の企業と質は満足しているが、量は不満の企業は「増加傾向」が高い。

●過去5年間ににおける外国人留学生の新卒採用数の変化（過去5年間で採用した企業／単一回答）



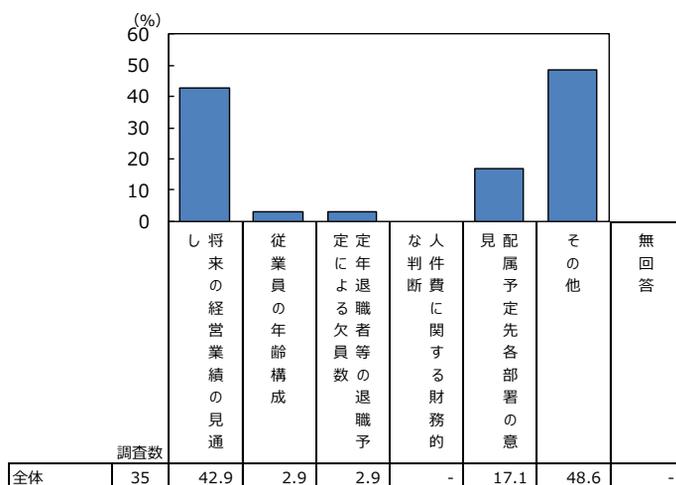
■ 増加傾向 ■ 変化なし ■ 減少傾向 □ 無回答

● 外国人留学生の新卒採用数の変化の理由

過去5年間ににおける外国人留学生の新卒採用数の変化の理由は、「将来の経営業績の見通し」が42.9%で最も高い。

「その他」では、国籍に関わらず優秀な人材の確保、ダイバーシティ政策の一環、外国人留学生の応募の増加などの理由が挙げられている。

●外国人留学生の新卒採用数の変化の理由（変化があった（増加・減少）企業／複数回答）

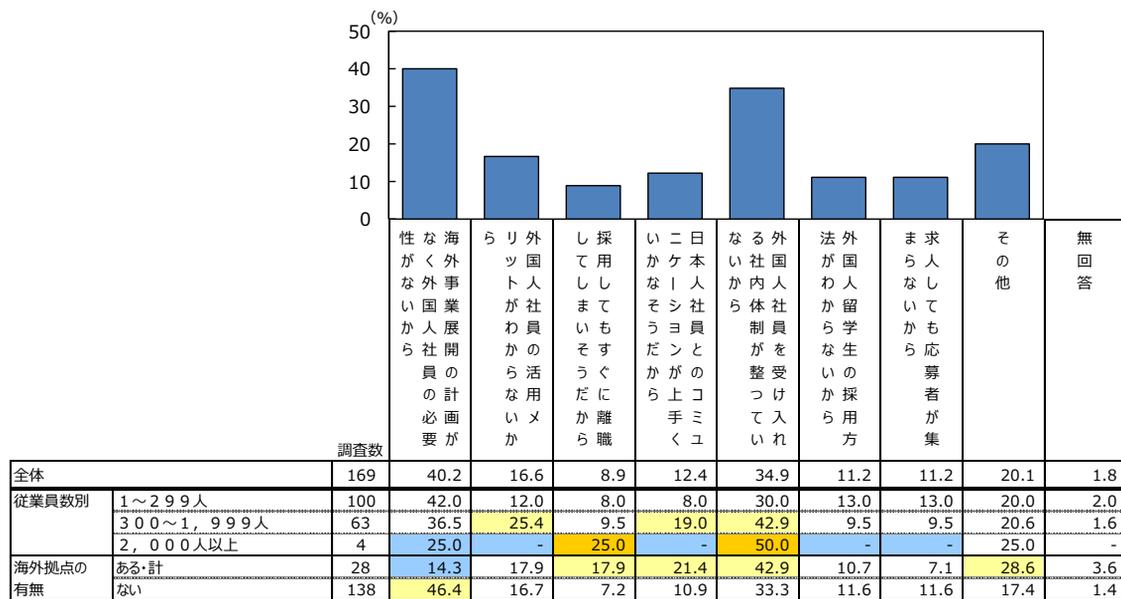


● 外国人留学生を採用していない理由

外国人留学生を採用していない理由は、「海外事業展開の計画がなく外国人社員の必要性がないから」が40.2%で最も高く、「外国人社員を受け入れる社内体制が整っていないから」が34.9%が続く。

- ・ 従業員数別では、300～1,999人の企業は「外国人社員を受け入れる社内体制が整っていない」が42.9%で最も高い。また、他の規模の企業と比べ「外国人社員の活用メリットがわからないから」「日本人社員とのコミュニケーションが上手いかなそうだから」が高い。
- ・ 海外拠点の有無別では、海外拠点がある企業は「外国人社員を受け入れる社内体制が整っていないから」（42.9%）が最も高い。海外拠点がある企業の「その他」では、現在新卒採用をしていない、求める質の人材が確保できない、現地採用などの理由が挙げられている。

●外国人留学生を採用していない理由（過去5年間で採用していない企業／複数回答）



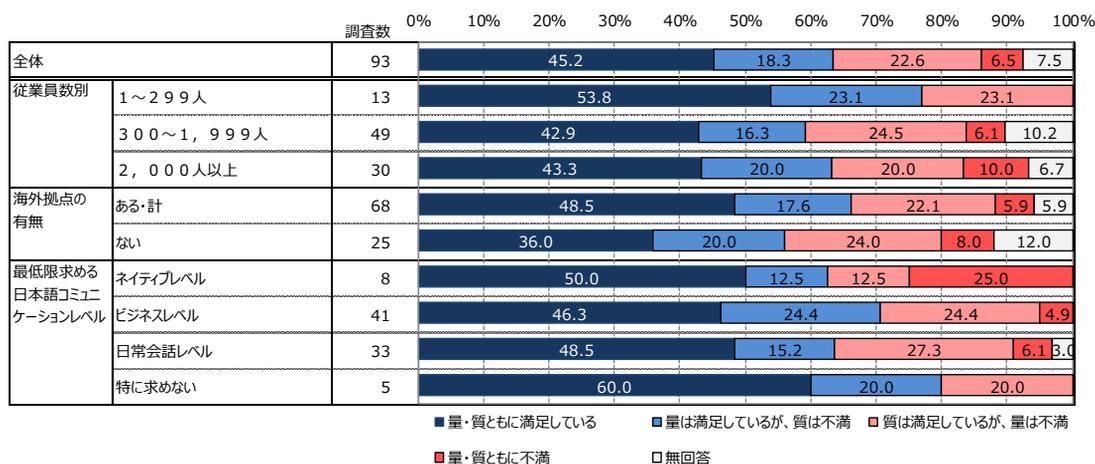
2-3. 外国人留学生の採用

● 外国人留学生採用の満足度

外国人留学生採用の満足度は、「量・質ともに満足している」は45.2%であった。「質は満足しているが、量は不満」は22.6%、「量は満足しているが、質は不満」は18.3%と2割前後であった。

- ・ 従業員数別では、1～299人が「量・質ともに満足している」（53.8%）が高い。
- ・ 海外拠点の有無別では、海外拠点のない企業は「量・質ともに満足している」（36.0%）が低い。
- ・ 最低限求める日本語コミュニケーションレベル別では、ビジネスレベルを求める企業は日常会話レベルを求める企業に比べ「量は満足しているが、質は不満」が高い。

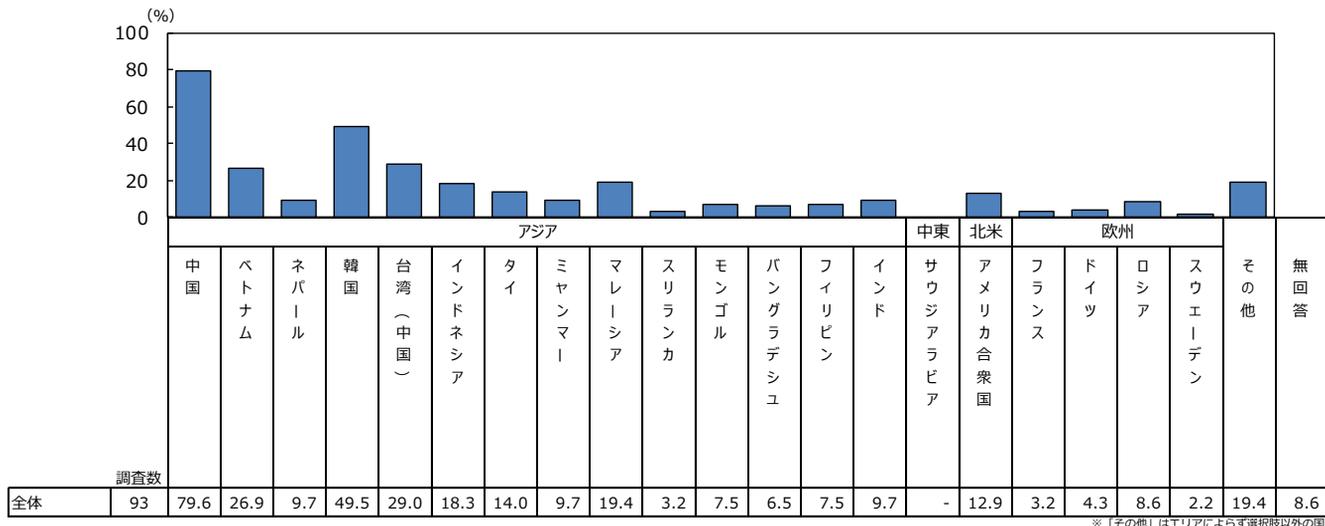
●外国人留学生採用の満足度（過去5年間で採用した企業／単一回答）



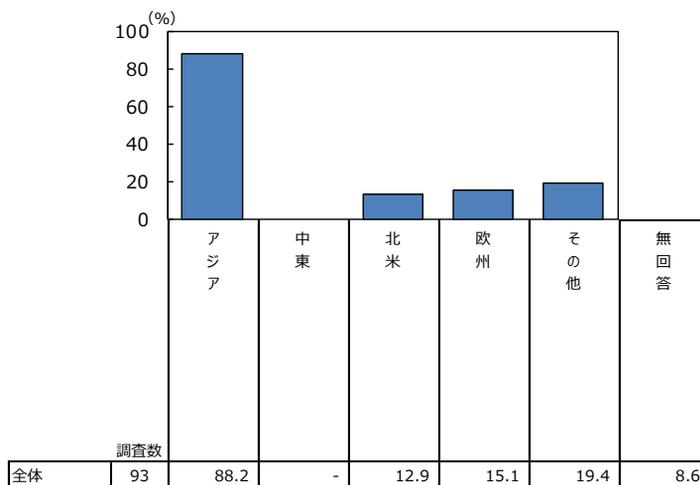
● 採用した外国人留学生の国籍

採用した外国人留学生の国籍は、「中国」が79.6%で突出して高い。次いで、「韓国」が49.5%が続く。エリア別では、「アジア」が88.2%であった。

●採用した外国人留学生の国籍（過去5年間で採用した企業／複数回答）



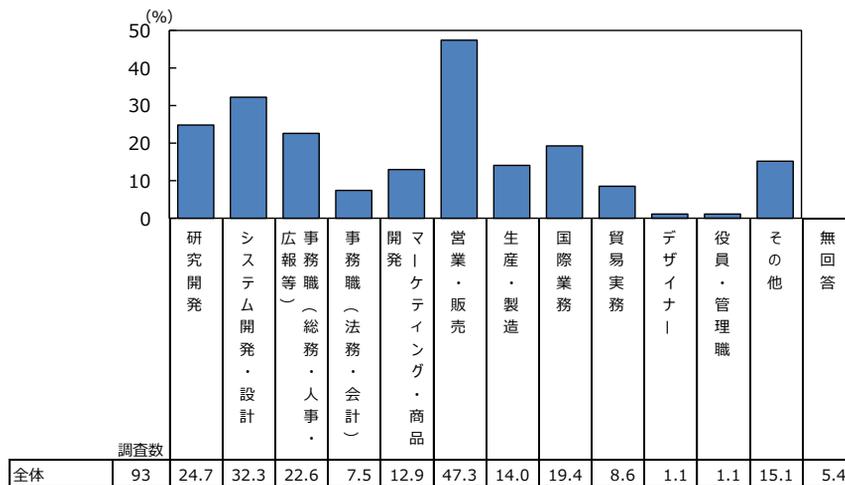
●採用した外国人留学生の国籍（エリア別）（過去5年間で採用した企業／複数回答）



● 採用した外国人留学生の職種

採用した外国人留学生の職種は、「営業・販売」が47.3%で最も高く、「システム開発・設計」(32.3%)、「研究開発」(24.7%)、「事務職(総務・人事・広報等)」(22.6%)が続く。

●採用した外国人留学生の職種（過去5年間で採用した企業／複数回答）



● 外国人留学生の採用手法

外国人留学生の採用手法は、「日本人新卒募集と同じプロセスで採用」が79.6%で突出して高い。続く「外国人向けの合同企業説明会に出展」は21.5%であった。

- ・ 従業員数別では、1～299人の企業は「インターンシップからの採用」（38.5%）、「通年採用を実施」（23.1%）が高い。
- ・ 海外拠点の有無別では、海外拠点が無い企業は「日本人新卒募集と同じプロセスで採用」（68.0%）が低い。
- ・ 最低限求める日本語コミュニケーションレベル別では、ビジネスレベルを求める企業は日常会話レベルを求める企業に比べ「日本人新卒募集と同じプロセスで採用」「外国人採用実施を広報媒体に明記」が高い。日常会話レベルを求める企業は「特定の学校・大学・研究室から採用」、「インターンシップからの採用」（18.2%）が高い。
- ・ 外国人留学生採用の満足度別では、「外国人向けの合同企業説明会に出展」「外国人採用実施を広報媒体に明記」は質は満足しているが、量は不満の企業、量は満足しているが、質は不満の企業、量・質ともに満足している企業の順に実施の割合が高い。量は満足しているが、質は不満の企業は「通年採用の実施」（17.6%）、「外国人留学生新卒紹介の利用」（11.8%）がやや高い。

●外国人留学生の採用手法（過去5年間で採用した企業／複数回答）



調査項目	調査数	日本人新卒募集と同じ	日本人と別に枠を設け	外国人向け合同企業説明会に出展	外国人採用実施を広報媒体に明記	特定の学校・大学・研究室から採用	留学生のネットワークを利用した採用	派遣の留学生紹介予定	外国人留学生新卒紹介	インターンシップから採用	秋期採用を実施	通年採用を実施	その他	無回答
全体	93	79.6	4.3	21.5	8.6	8.6	3.2	2.2	5.4	9.7	2.2	6.5	5.4	7.5
従業員数別	1～299人	13	61.5	7.7	23.1	7.7	7.7	7.7	7.7	38.5	-	23.1	7.7	7.7
	300～1,999人	49	81.6	4.1	20.4	10.2	4.1	2.0	2.0	6.1	2.0	-	4.1	8.2
	2,000人以上	30	83.3	3.3	23.3	6.7	16.7	3.3	-	3.3	10.0	6.7	3.3	-
海外拠点の有無	ある・計	68	83.8	4.4	25.0	7.4	11.8	2.9	1.5	5.9	10.3	2.9	7.4	2.9
	ない	25	68.0	4.0	12.0	12.0	-	4.0	4.0	4.0	8.0	-	4.0	12.0
最低限求める	8	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12.5
日本語コミュニケーションレベル	ビジネスレベル	41	87.8	4.9	22.0	14.6	2.4	-	2.4	7.3	-	2.4	4.9	9.8
	日常会話レベル	33	78.8	6.1	27.3	3.0	18.2	9.1	3.0	3.0	18.2	3.0	6.1	-
	特に求めない	5	60.0	-	40.0	20.0	20.0	-	-	20.0	60.0	-	40.0	-
外国人留学生採用の満足度	量・質ともに満足している	42	83.3	4.8	16.7	2.4	11.9	4.8	2.4	2.4	9.5	-	2.4	4.8
	量は満足しているが、質は不満	17	100.0	-	29.4	17.6	5.9	-	-	11.8	11.8	11.8	17.6	-
	質は満足しているが、量は不満	21	71.4	9.5	33.3	19.0	4.8	-	4.8	4.8	14.3	-	4.8	4.8
	量・質ともに不満	6	83.3	-	-	-	16.7	16.7	-	-	16.7	-	16.7	33.3

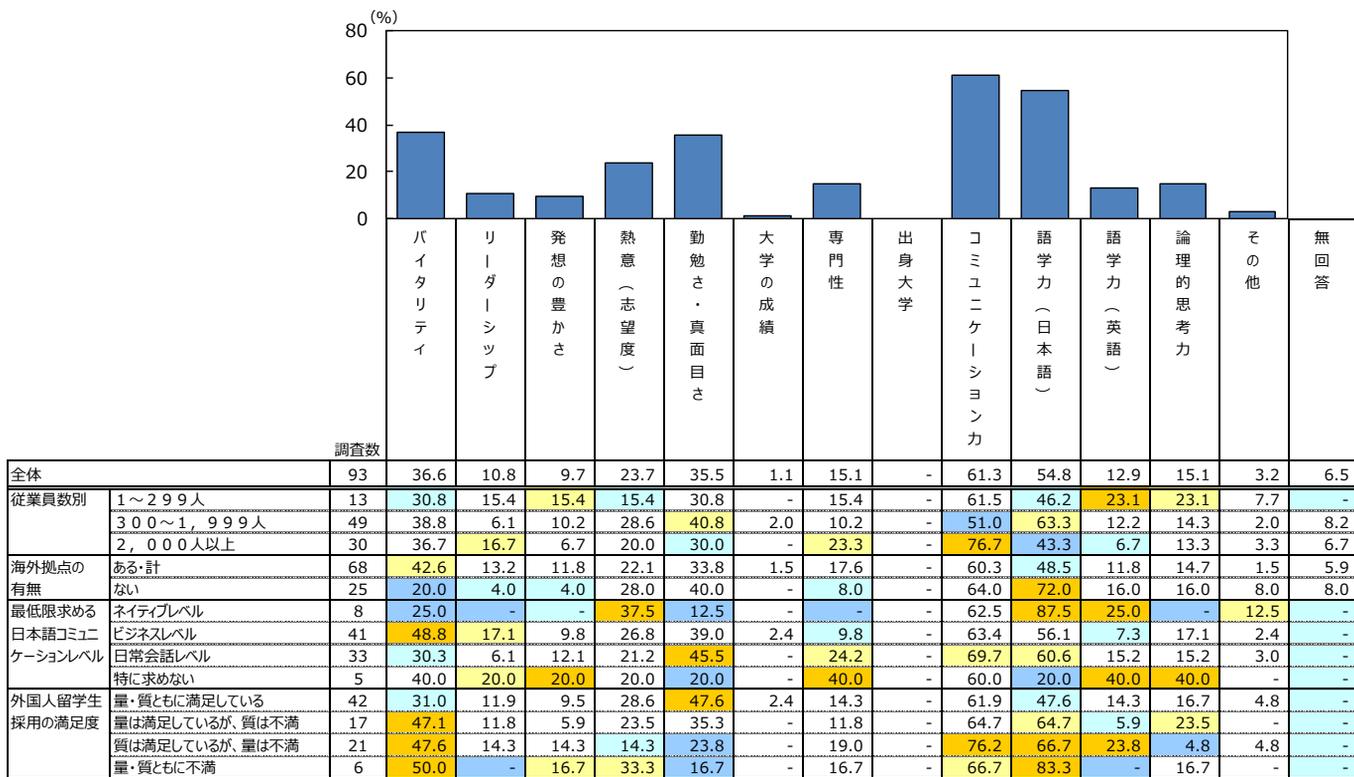
※全体と比較して +5pt以上 +10pt以上 -5pt以下 -10pt以下

● 外国人留学生を採用する際に重視すること

外国人留学生を採用する際に重視することは、「コミュニケーション力」が61.3%で最も高く、「語学力（日本語）」（54.8%）が続く。

- ・ 従業員数別では、1～299人の企業は「語学力（英語）」（23.1%）が高い。300～1,999人の企業は「語学力（日本語）」が63.3%で最も高い。2,000人以上の企業は「コミュニケーション力」が76.7%で突出して高い。
- ・ 海外拠点の有無別では、海外拠点がある企業は「バイタリティ」（42.6%）が高い。
- ・ 最低限求める日本語コミュニケーションレベル別では、ビジネスレベルを求める企業は日常会話レベルを求める企業に比べ「バイタリティ」が高い。
- ・ 外国人留学生採用の満足度別では、量・質ともに満足している企業は「勤勉さ・真面目さ」（47.6%）が「コミュニケーション力」に次いで高い。

●外国人留学生を採用する際に重視すること（過去5年間で採用した企業/3つまで）



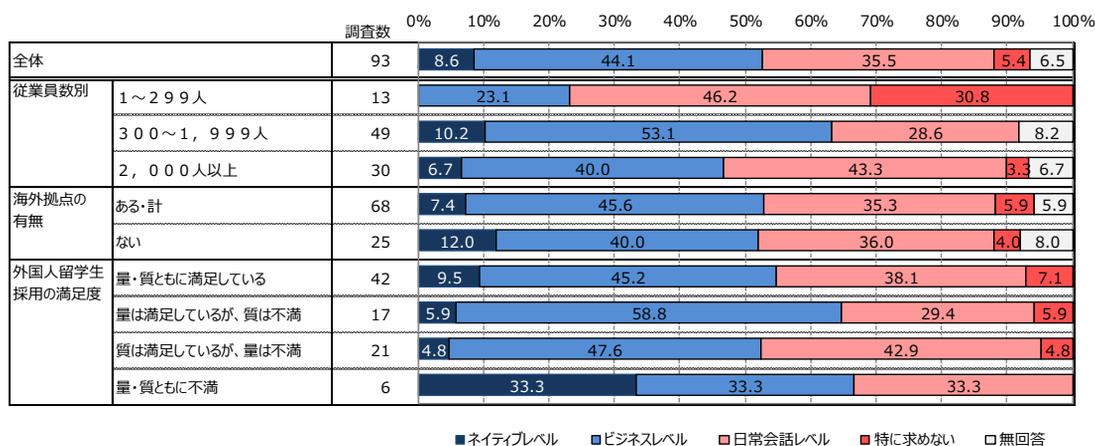
※全体と比較して +5pt以上 +10pt以上 -5pt以下 -10pt以下

● 最低限求める日本語コミュニケーションレベル

最低限求める日本語コミュニケーションレベルは、「ビジネスレベル」が44.1%で最も高く、「日常会話レベル」が35.5%で続く。「ネイティブレベル」は8.6%であった。

- ・ 従業員数別では、1～299人の企業は「特に求めない」（30.8%）が高い。300～1,999人の企業は「ビジネスレベル」（53.1%）が高い。2,000人以上の企業は「日常会話レベル」（43.3%）が最も高い。
- ・ 外国人留学生採用の満足度では、量は満足しているが、質は不満の企業は「ビジネスレベル」（58.8%）が高い。

●最低限求める日本語コミュニケーションレベル（過去5年間で採用した企業／単一回答）

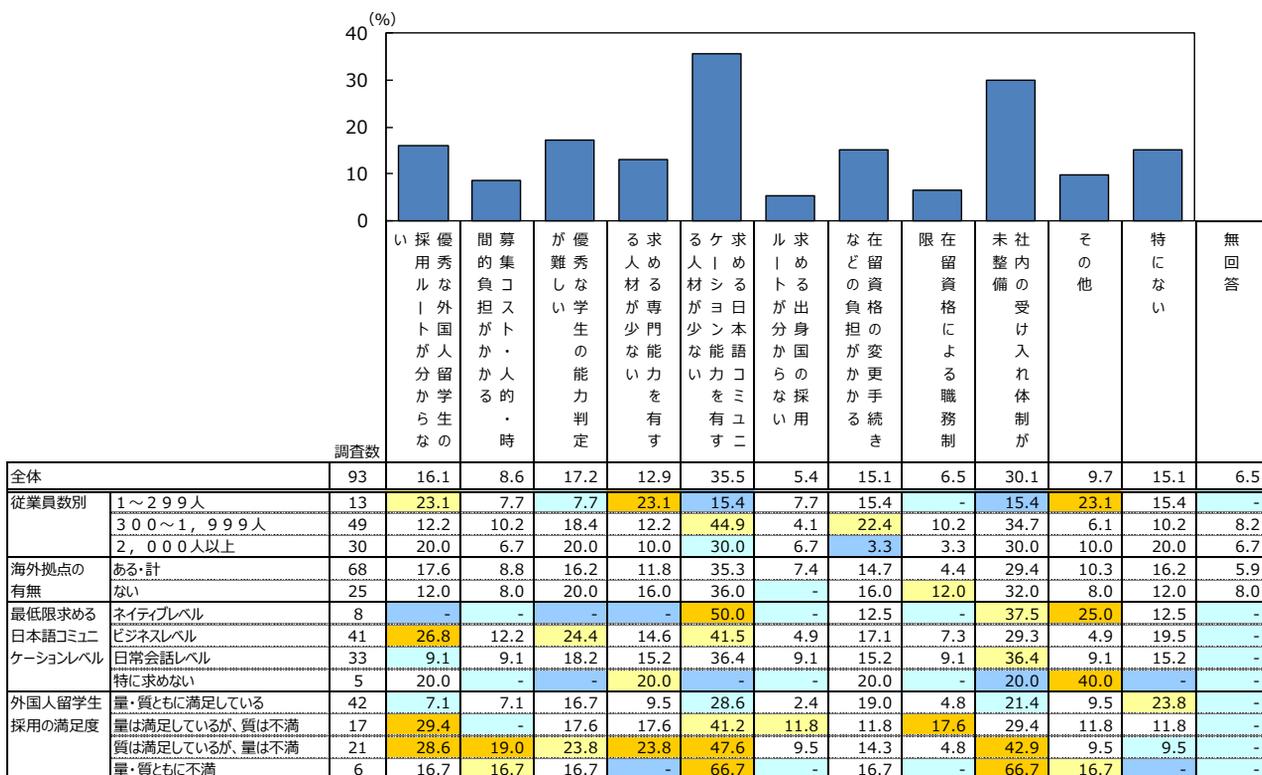


● 外国人留学生の採用活動の課題

外国人留学生の採用活動の課題は、「求める日本語コミュニケーション能力を有する人材が少ない」が35.5%で最も高く、「社内の受け入れ体制が未整備」が30.1%で続く。

- ・ 従業員数別では、1～299人の企業は「優秀な外国人留学生の採用ルートが分からない」「求める専門能力を有する人材が少ない」（23.1%）が最も高い。2,000人以上の企業は「在留資格の変更手続きなどの負担がかかる」（3.3%）が低い。
- ・ 外国人留学生採用の満足度別では、量・質ともに満足している企業は「特にない」（23.8%）が「求める日本語コミュニケーション能力を有する人材が少ない」（28.6%）に次いで高い。量は満足しているが、質は不満の企業は他の分類に比べ「在留資格による職務制限」（17.6%）が高い。質は満足しているが、量が不満の企業は「募集コスト・人的・時間的負担がかかる」（19.0%）が他の分類に比べ高い。

●外国人留学生の採用活動の課題（過去5年間で採用した企業／複数回答）

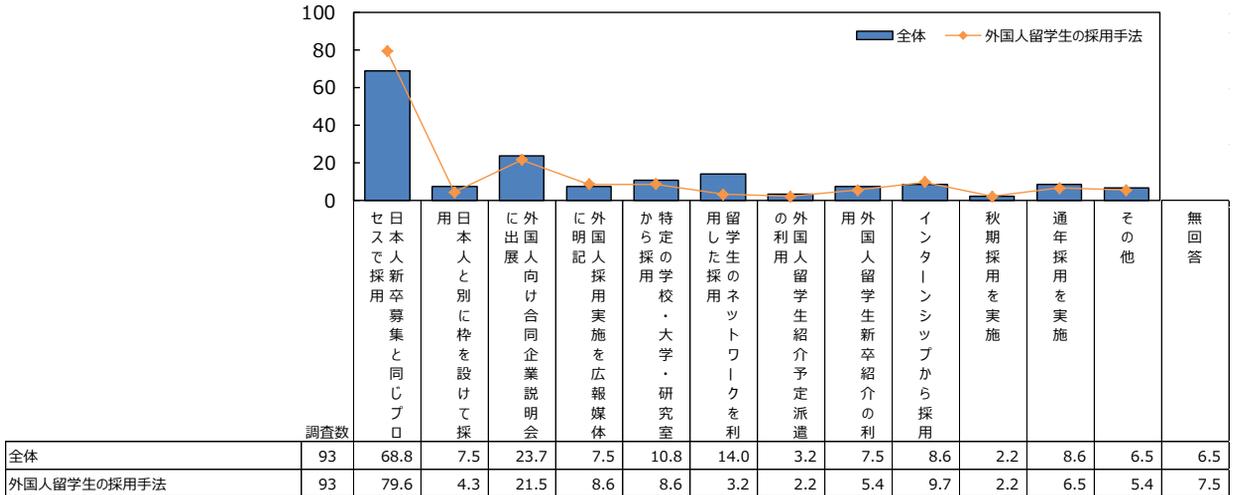


※全体と比較して +5pt以上 +10pt以上 -5pt以下 -10pt以下

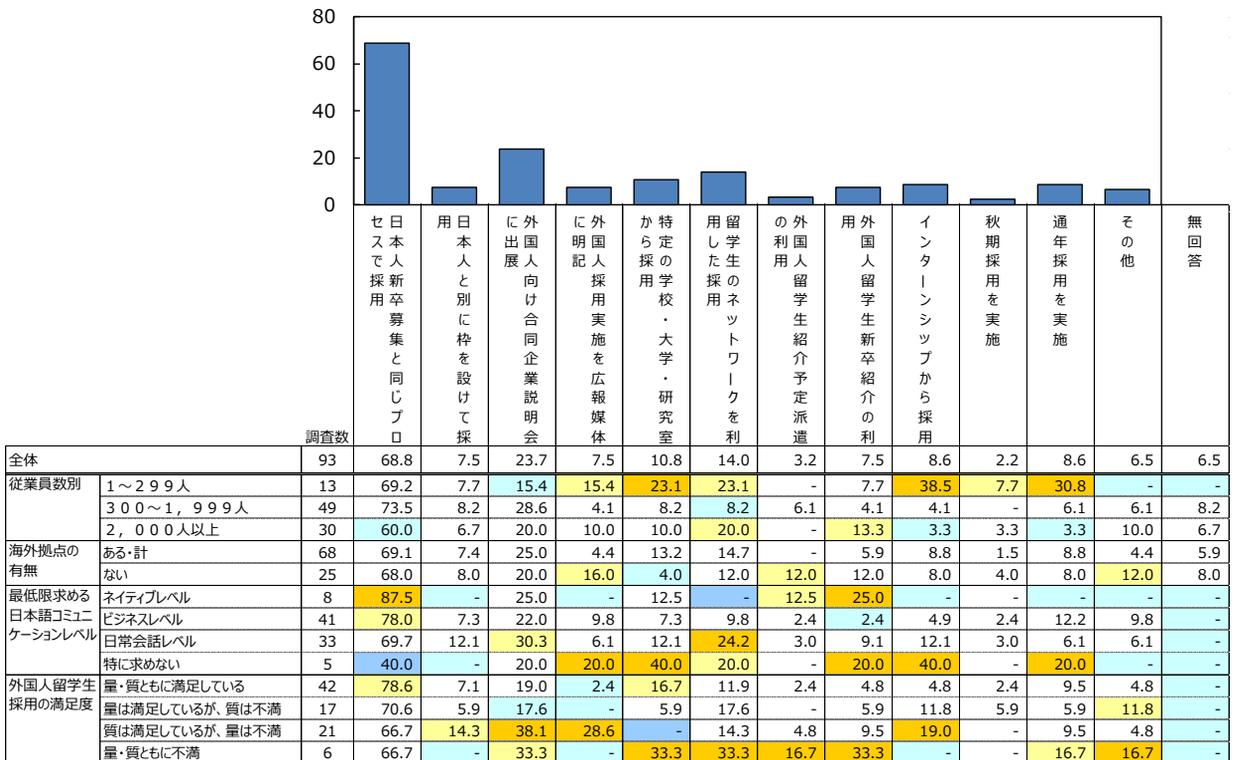
● 今後強化していきたい外国人留学生の採用手法

今後強化していきたい外国人留学生の採用手法は、現在の採用手法と同様「日本人新卒募集と同じプロセスで採用」が68.8%で最も高く突出している。現在の採用手法と比較すると「留学生のネットワークを利用した採用」が14.0%でやや高い。

●今後強化していきたい外国人留学生の採用手法（過去5年間で採用した企業／複数回答）



- ・ 従業員数別では、1～299人の企業は現在の採用手法で高かった「インターンシップからの採用」「通年採用」に加えて、「留学生のネットワークを利用した採用」「特定の学校・大学・研究室からの採用」「外国人採用実施を広報媒体に明記」が高い。2,000人以上の企業は現在の採用手法と比べ「留学生のネットワークを利用した採用」「外国人留学生新卒紹介の利用」が高い。
- ・ 最低限求める日本語コミュニケーションレベル別では、日常会話レベルを求める企業はビジネスレベルを求める企業に比べ「留学生のネットワークを利用した採用」（24.2%）が高い。
- ・ 外国人留学生採用の満足度別では、量・質ともに満足している企業は「特定の学校・大学・研究室からの採用」が高い。質は満足しているが、量は不満な企業は他の企業に比べ「外国人向け合同企業説明会に出席」「外国人採用実施を広報媒体に明記」「インターンシップからの採用」が高い。



※全体と比較して +5pt以上 +10pt以上 -5pt以下 -10pt以下

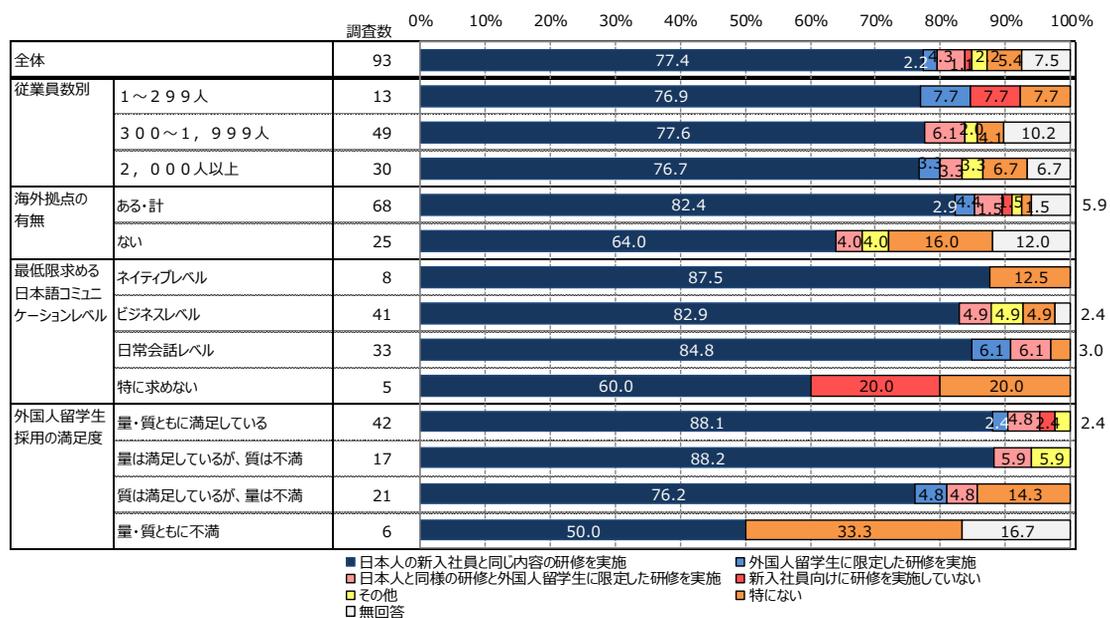
2-4. 入社後の状況

● 外国人留学生採用後に実施している研修

外国人留学生採用後に実施している研修は、「日本人の新入社員と同じ内容の研修を実施」が77.4%で最も高い。

- 海外拠点の有無別では、海外拠点がある企業は海外拠点がない企業に比べ「日本人の新入社員と同じ内容の研修を実施」が15ポイント以上高い。海外拠点がない企業は「特にない」が16.0%。
- 外国人留学生採用の満足度別では、量・質ともに満足している企業、量は満足しているが、質は不満の企業は「日本人の新入社員と同じ内容の研修を実施」が9割近くを占める。

●外国人留学生採用後に実施している研修（過去5年間で採用した企業／単一回答）

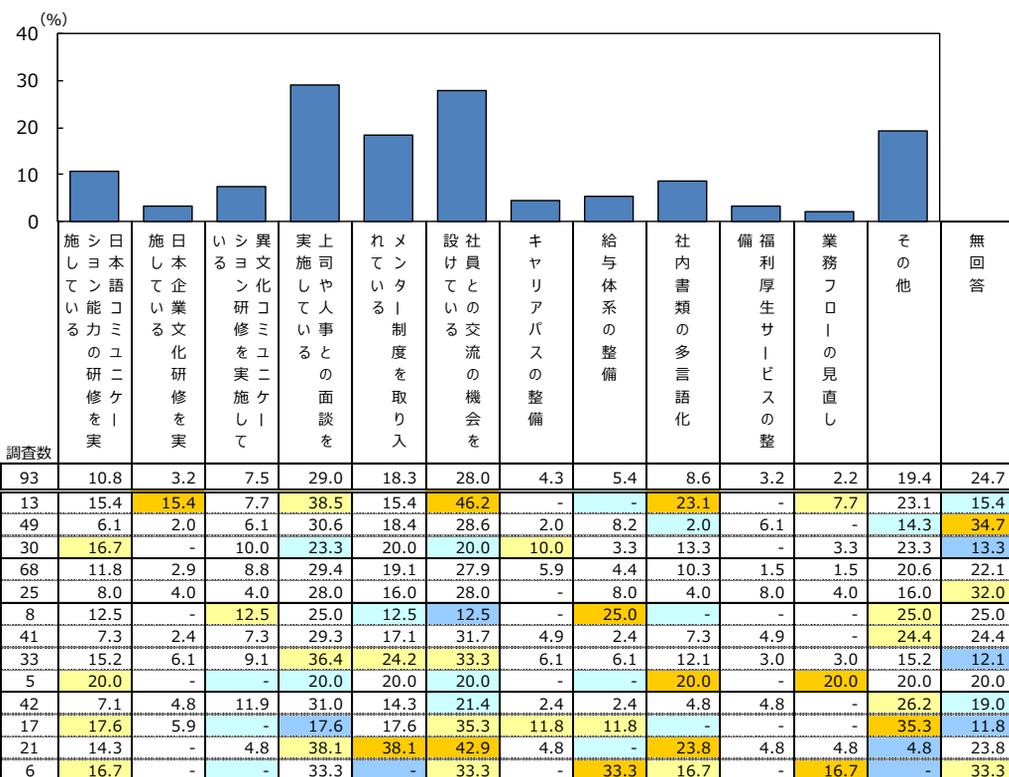


● 外国人留学生受け入れのために実施していること

外国人留学生受け入れのために実施していることは、「上司や人事との面談を実施している」が29.0%で最も高く、「社員との交流の機会を設けている」が28.0%で続く。

- ・ 従業員数別では、1～299人の企業は「社員との交流の機会を設けている」が46.2%で最も高い。
- ・ 最低限求める日本語コミュニケーションレベル別では、日常会話レベルを求める企業はビジネスレベルを求める企業に比べ全般的に施策を実施している割合が高い。
- ・ 外国人留学生採用の満足度別では、量は満足しているが、質は不満の企業は「上司や人事との面談を実施している」(17.6%)が低い。質は満足しているが、量は不満の企業は「メンター制度を取り入れている」(38.1%)が「社員との交流の機会を設けている」(42.9%)に次いで高い。

●外国人留学生受け入れのために実施していること (過去5年間で採用した企業/複数回答)



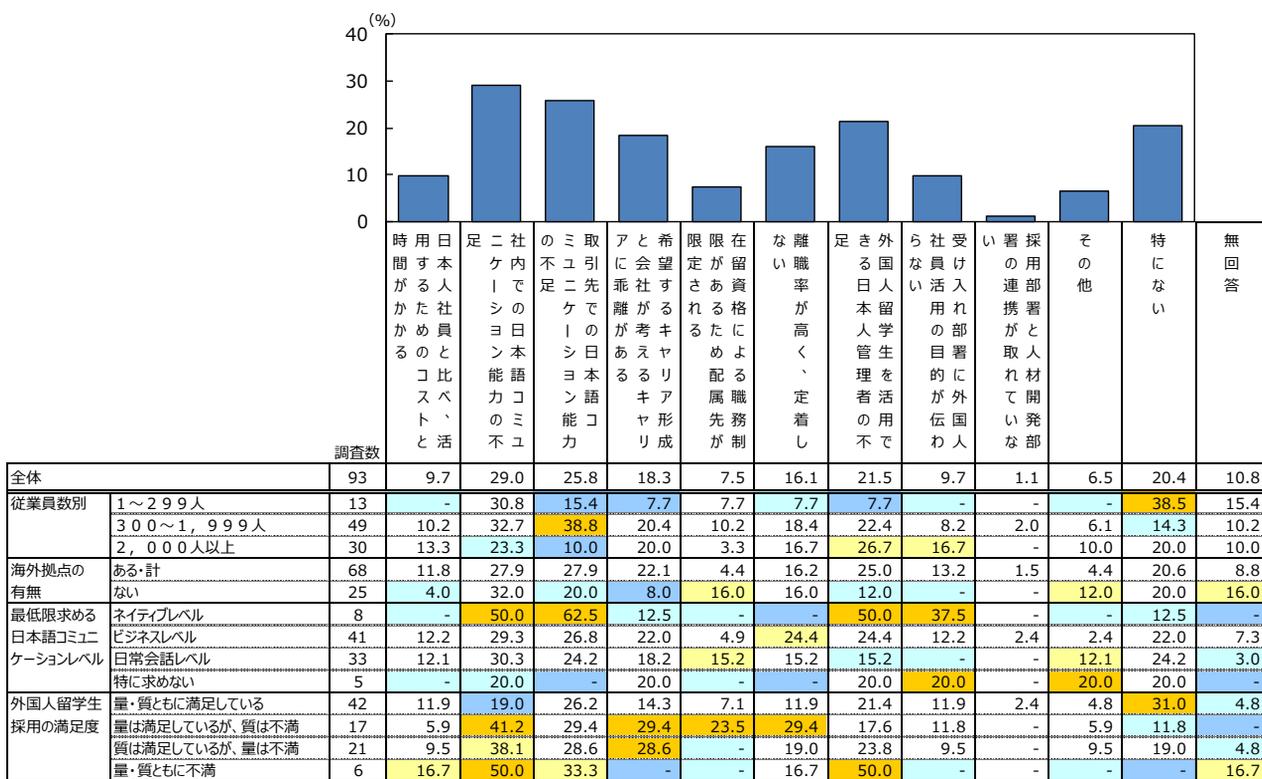
※全体と比較して +5pt以上 +10pt以上 -5pt以下 -10pt以下

● 外国人留学生生活用に向けた課題

外国人留学生生活用に向けた課題は、「社内での日本語コミュニケーション能力の不足」が29.0%で最も高く、「取引先での日本語コミュニケーション能力の不足」(25.8%)、「外国人留学生を活用できる日本人管理者の不足」(21.5%)が続く。「特にない」は20.4%であった。

- ・ 従業員数別では、1～299人の企業は「特にない」(38.5%)が、300～1,999人の企業は「取引先での日本語コミュニケーション能力の不足」(38.8%)、2,000人以上の企業は「外国人留学生を活用できる日本人管理者の不足」(26.7%)が最も高い。
- ・ 海外拠点の有無別では、海外拠点がある企業は海外拠点がない企業に比べ「外国人留学生を活用できる日本人管理者の不足」「希望するキャリア形成と会社が考えるキャリア形成に乖離がある」「受け入れ部署に外国人社員活用の目的が伝わらない」が高く、「在留資格による職務制限があるための配属先が限定される」が低い。
- ・ 外国人留学生採用の満足度別では、量・質ともに満足している企業は「特にない」が31.0%で最も高い。

●外国人留学生生活用に向けた課題（過去5年間で採用した企業／複数回答）



※全体と比較して +5pt以上 +10pt以上 -5pt以下 -10pt以下

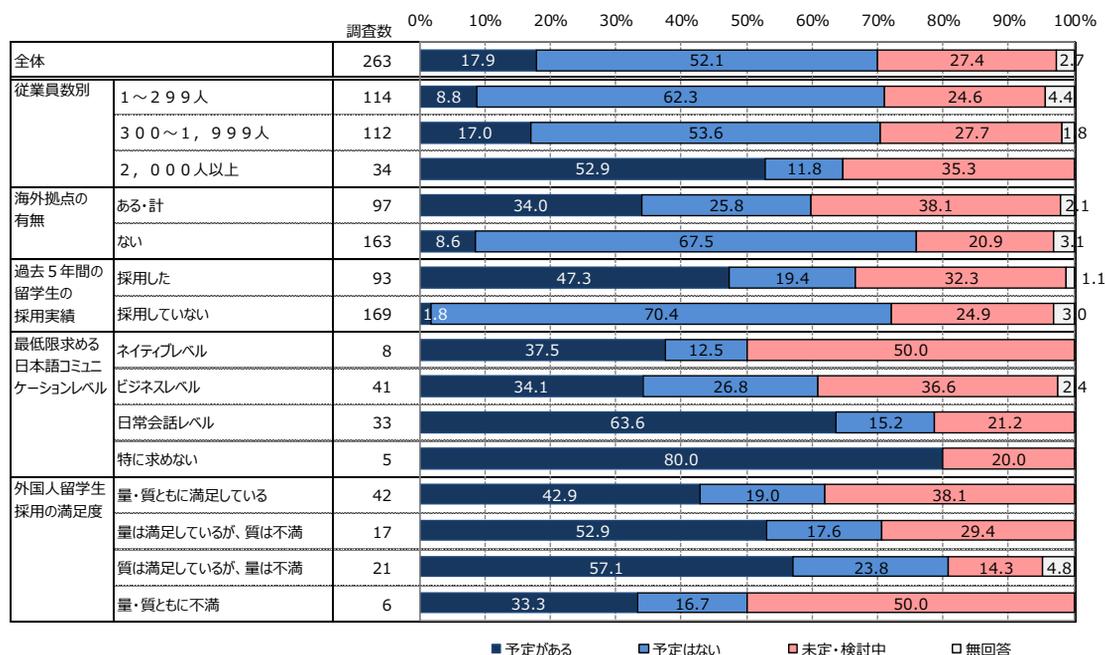
2-5. 今後の外国人留学生の採用

● 今後の外国人留学生の採用予定

今後の外国人留学生の採用予定は、「予定がある」は17.9%であった。「予定はない」が52.1%、「未定・検討中」が27.4%であった。

- ・ 従業員数別では、2,000人以上の企業は「予定がある」が5割を超える。一方、1~299人は8.8%、300~1,999人の企業は17.0%と従業員規模で大きな差がみられた。
- ・ 海外拠点の有無別では、海外拠点がある企業は「予定がある」(34.0%)が高い。「予定はない」が低く、「未定・検討中」が38.1%であった。
- ・ 過去5年間の留学生の採用実績別では、採用した企業は採用していない企業に比べ「予定がある」で大きな差がみられた。
- ・ 最低限求める日本語コミュニケーションレベル別では、日常会話レベルを求める企業は「予定がある」が6割を超える。

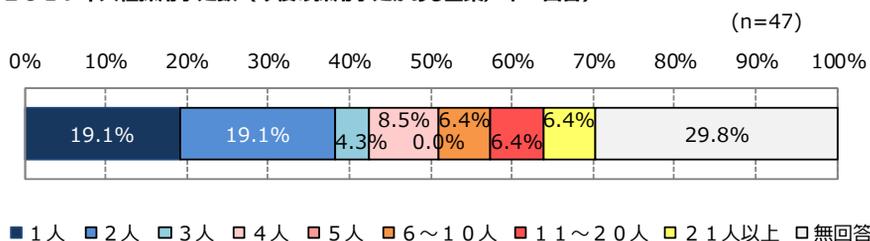
●今後の外国人留学生の採用予定（全体／単一回答）



● 2017年入社採用予定数

今後外国人留学生の採用予定がある企業の2017年入社の採用予定数は、「1人」「2人」が最も高く、19.1%であった。

●2017年入社採用予定数（今後の採用予定がある企業／単一回答）



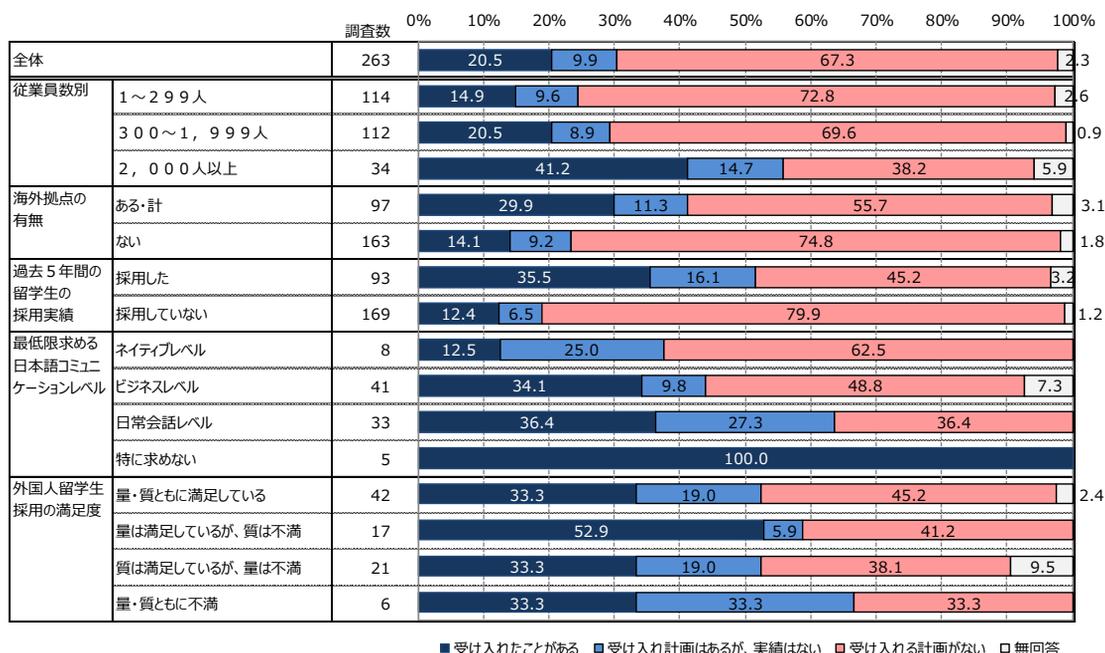
2-6. 外国人留学生のインターンシップ実施状況と課題

● 外国人留学生のインターンシップでの受入実績

外国人留学生のインターンシップでの受入実績は、「受け入れたことがある」が20.5%であった。「受け入れる計画がない」が67.3%と7割近くを占める。

- ・ 従業員数別では、従業員規模が大きくなるほど「受け入れたことがある」が高い。
- ・ 海外拠点の有無別では、海外拠点がある企業は海外拠点がない企業に比べ「受け入れたことがある」が高い。
- ・ 過去5年間の留学生の採用実績別では、採用した企業は採用していない企業に比べ「受け入れたことがある」が高い。
- ・ 最低限求める日本語コミュニケーションレベル別では、日常会話レベルを求める企業はビジネスレベルを求める企業に比べ「受け入れ計画はあるが、実績はない」が高い。
- ・ 外国人留学生採用の満足度別では、量は満足してるが、質は不満の企業は「受け入れたことがある」(52.9%)が高い。

●外国人留学生のインターンシップでの受入実績（全体／単一回答）

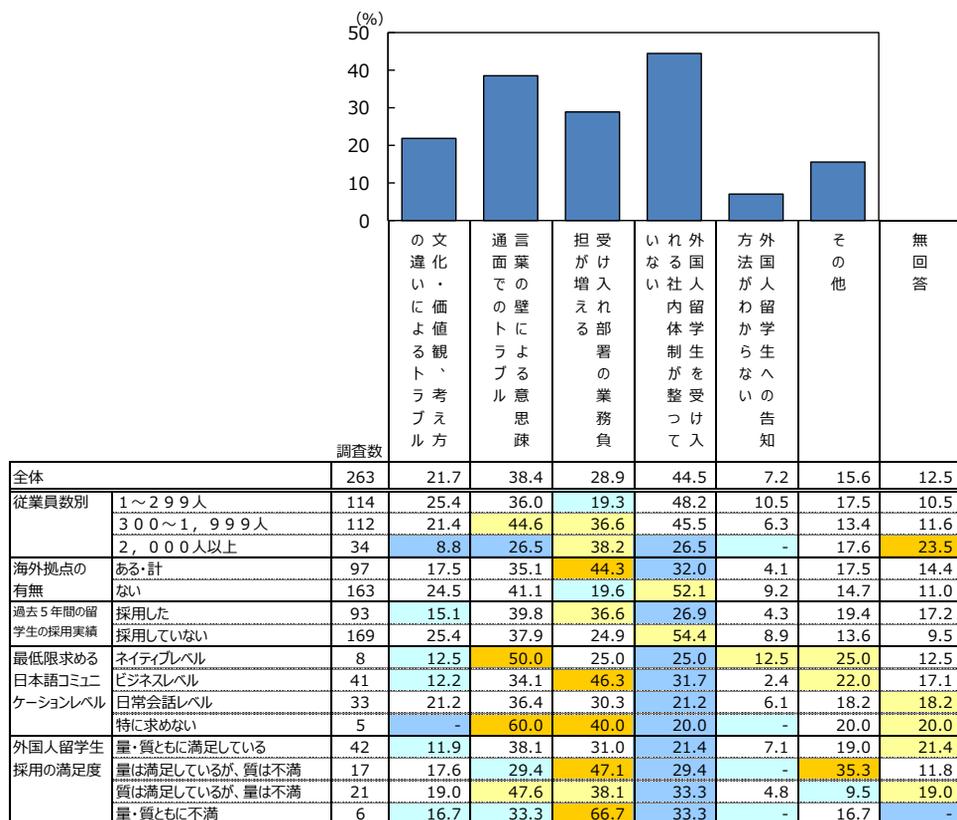


● 外国人留学生を対象にしたインターンシップの課題

外国人留学生を対象にしたインターンシップの課題は、「外国人留学生を受け入れる社内体制が整っていない」が44.5%で最も高く、「言葉の壁による意思疎通面でのトラブル」が38.4%で続く。

- ・ 従業員数別では、1～299人の企業は他の規模に比べ「受け入れ部署の業務負担が増える」（19.3%）が低い。一方、2,000人以上の企業は「外国人留学生を受け入れる社内体制が整っていない」「言葉の壁による意思疎通面でのトラブル」「文化・価値観、考え方の違いによるトラブル」が低い。
- ・ 海外拠点の有無別では、海外拠点がある企業と海外拠点がない企業で「受け入れ部署の業務負担が増える」「外国人留学生を受け入れる社内体制が整っていない」の割合に大きな差がみられた。
- ・ 過去5年間の留学生の採用実績別では、採用した企業は「言葉の壁による意思疎通面でのトラブル」（39.8%）が最も高く、「受け入れ部署の業務負担が増える」（36.6%）が続く。また、採用していない企業に比べ「外国人留学生を受け入れる社内体制が整っていない」が25ポイント以上低い。
- ・ 最低限求める日本語コミュニケーションレベル別では、ビジネスレベルを求める企業は日常会話レベルを求める企業に比べ「受け入れ部署の業務負担が増える」が高い。
- ・ 外国人留学生採用の満足度別では、量・質ともに満足している企業、質は満足しているが、量は不満の企業は「言葉の壁による意思疎通面でのトラブル」が、量は満足しているが、質は不満な企業は「受け入れ部署の業務負担が増える」が最も高い。

●外国人留学生を対象にしたインターンシップの課題（全体／複数回答）



※全体と比較して +5pt以上 +10pt以上 -5pt以下 -10pt以下

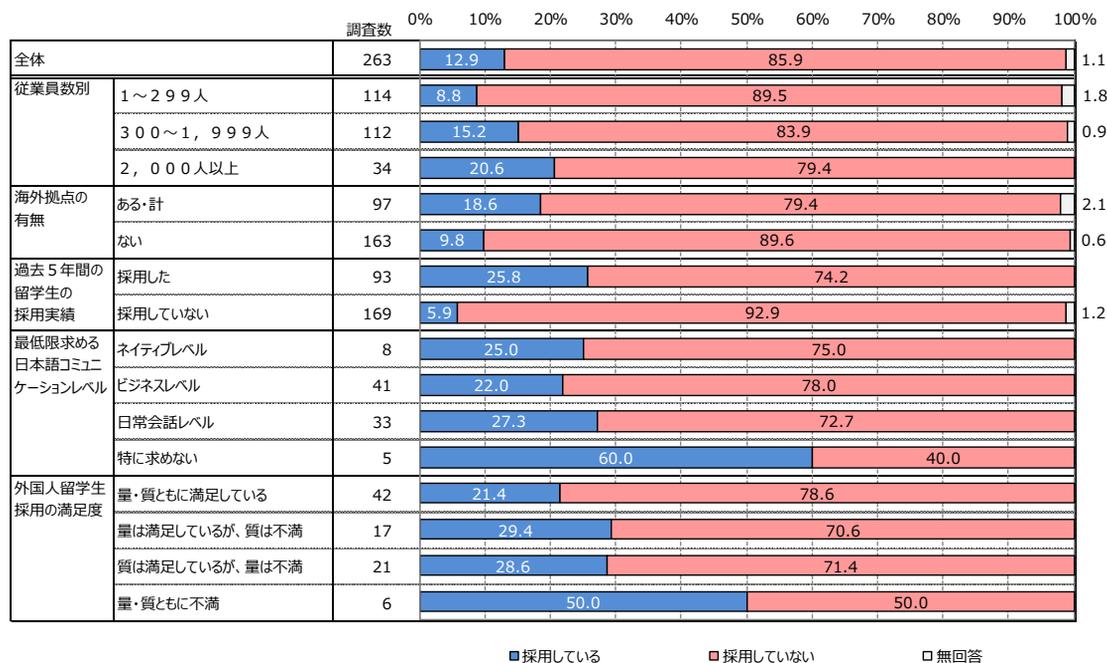
2-7. 外国人留学生のアルバイト状況

● 外国人留学生のアルバイト採用実績

外国人留学生のアルバイト採用実績は、「採用している」が12.9%であった。

- ・ 従業員数別では、従業員規模が大きくなるほど「採用している」が高い。
- ・ 海外拠点の有無別では、海外拠点がある企業は海外拠点がない企業に比べ「採用している」が高い。
- ・ 過去5年間の留学生の採用実績別では、採用した企業は「採用している」が25.8%で高い。

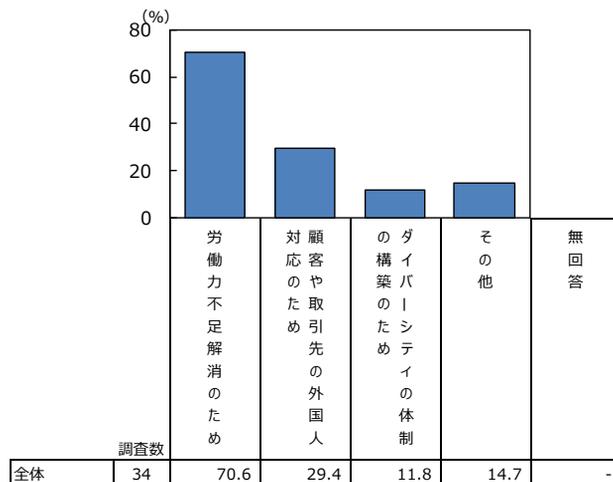
● 外国人留学生のアルバイト採用実績（全体／単一回答）



● 外国人留学生のアルバイト採用目的

外国人留学生のアルバイト採用目的は、「労働力不足解消のため」が70.6%で最も高い。

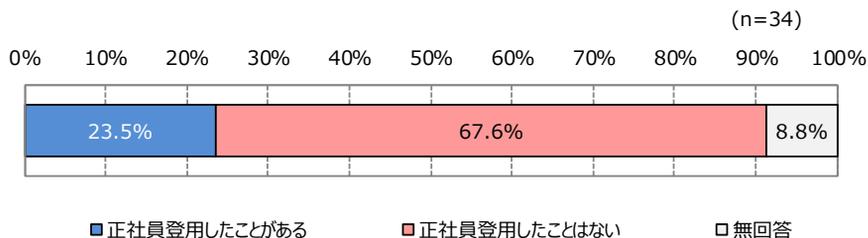
●外国人留学生のアルバイト採用目的（アルバイト採用している企業／複数回答）



● 外国人留学生アルバイトの正社員登用実績

外国人留学生アルバイトの正社員登用実績は、「正社員登用したことがある」が23.5%であった。

●外国人留学生アルバイトの正社員登用実績（アルバイト採用している企業／単一回答）



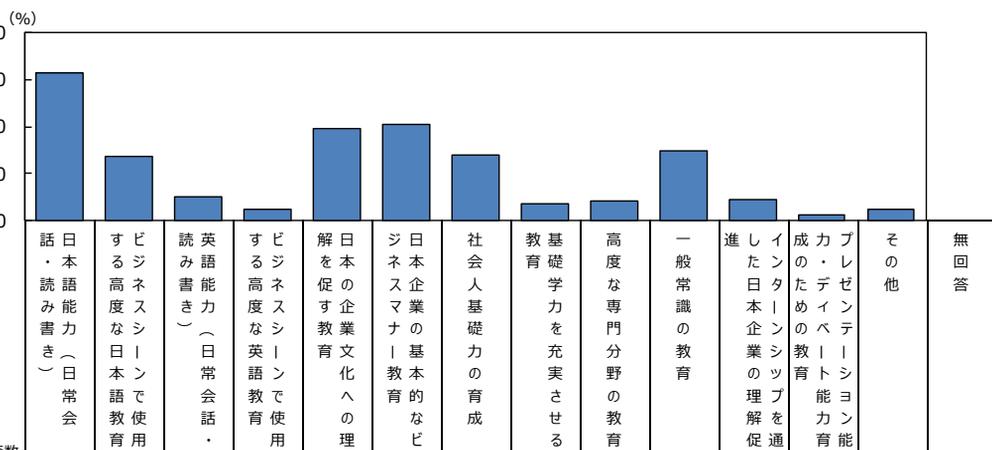
2-8. 教育機関への要望

● 教育機関に求める、外国人留学生の教育で必要なこと

教育機関に求める、外国人留学生の教育で必要なことは、「日本語能力（日常会話・読み書き）」が63.1%で最も高い。次いで、「日本企業の基本的なビジネスマナー教育」（41.1%）、「日本の企業文化への理解を促す教育」（39.2%）が続く。日本の企業で働く基礎力の習得や理解に対する要望が高い。

- ・ 従業員数別では、1～299人の企業は「一般常識の教育」が「日本語能力（日常会話・読み書き）」「日本企業の基本的なビジネスマナー教育」に続き高い。2,000人以上の企業は「日本企業の基本的なビジネスマナー教育」が低く、「社会人基礎力の育成」が「日本語能力（日常会話・読み書き）」次いで高い。
- ・ 海外拠点の有無別では、海外拠点がある企業は「ビジネスシーンで使用する高度な日本語教育」が35.1%で高い。また、海外拠点がない企業に比べ「高度な専門分野の教育」が高い。
- ・ 過去5年間の留学生の採用実績別では、採用した企業と採用していない企業で「ビジネスシーンで使用する高度な日本語教育」の割合に大きな差がみられた。
- ・ 最低限求める日本語コミュニケーションレベル別では、ビジネスレベルを求める企業と日常会話レベルを求める企業で日本語力、日本の企業文化の理解に関して大きな差がみられた。

●教育機関に求める、外国人留学生の教育で必要なこと（全体／複数回答）



調査項目	調査数	63.1	27.4	10.3	4.6	39.2	41.1	28.1	7.2	8.0	29.7	9.1	2.3	4.9	9.1
全体	263	63.1	27.4	10.3	4.6	39.2	41.1	28.1	7.2	8.0	29.7	9.1	2.3	4.9	9.1
従業員数別															
1～299人	114	61.4	21.1	8.8	3.5	29.8	38.6	29.8	3.5	7.0	37.7	8.8	2.6	7.0	13.2
300～1,999人	112	62.5	34.8	12.5	6.3	49.1	50.0	24.1	11.6	5.4	24.1	7.1	0.9	2.7	7.1
2,000人以上	34	70.6	26.5	8.8	2.9	38.2	20.6	38.2	2.9	20.6	23.5	17.6	5.9	5.9	-
海外拠点の有無															
ある・計	97	61.9	35.1	15.5	7.2	45.4	38.1	28.9	9.3	14.4	24.7	10.3	3.1	5.2	3.1
ない	163	63.8	22.1	7.4	3.1	35.6	42.9	27.0	5.5	4.3	32.5	8.0	1.8	4.9	12.9
過去5年間の留学生の採用実績															
採用した	93	63.4	38.7	10.8	6.5	45.2	41.9	33.3	9.7	14.0	26.9	9.7	4.3	6.5	-
採用していない	169	63.3	21.3	10.1	3.6	36.1	40.8	25.4	5.9	4.7	31.4	8.9	1.2	4.1	13.6
最低限求める日本語コミュニケーションレベル															
ネイティブレベル	8	75.0	62.5	-	-	75.0	12.5	-	-	12.5	25.0	12.5	-	-	-
ビジネスレベル	41	46.3	56.1	9.8	9.8	56.1	46.3	41.5	19.5	14.6	26.8	4.9	-	4.9	-
日常会話レベル	33	81.8	21.2	12.1	3.0	33.3	39.4	42.4	3.0	15.2	24.2	15.2	12.1	6.1	-
特に求めない	5	20.0	-	20.0	-	-	20.0	-	-	20.0	20.0	20.0	-	40.0	-
外国人留学生採用の満足度															
量・質ともに満足している	42	54.8	38.1	16.7	11.9	38.1	35.7	33.3	11.9	19.0	28.6	7.1	4.8	7.1	-
量は満足しているが、質は不満	17	64.7	47.1	5.9	-	52.9	35.3	41.2	11.8	5.9	17.6	5.9	11.8	11.8	-
質は満足しているが、量は不満	21	66.7	33.3	4.8	-	47.6	52.4	23.8	4.8	14.3	33.8	19.0	-	4.8	-
量・質ともに不満	6	66.7	66.7	-	-	83.3	33.3	66.7	16.7	16.7	33.3	16.7	-	-	-

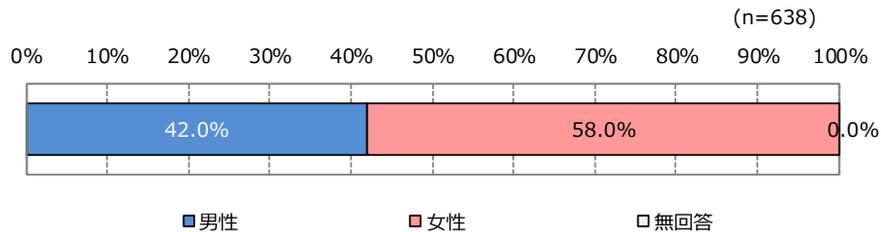
※全体と比較して +5pt以上 +10pt以上 -5pt以下 -10pt以下

第4章 外国人留学生アンケート調査の結果

1. 基本情報

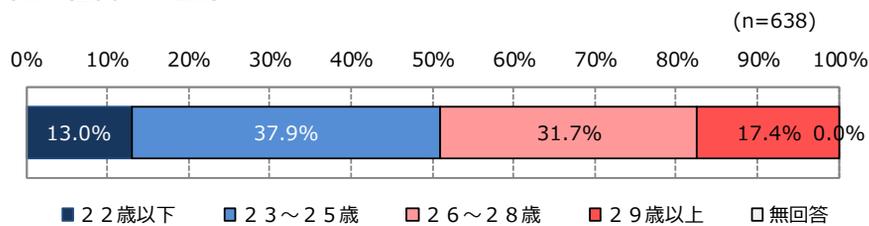
● 性別

●性別 (全体/単一回答)



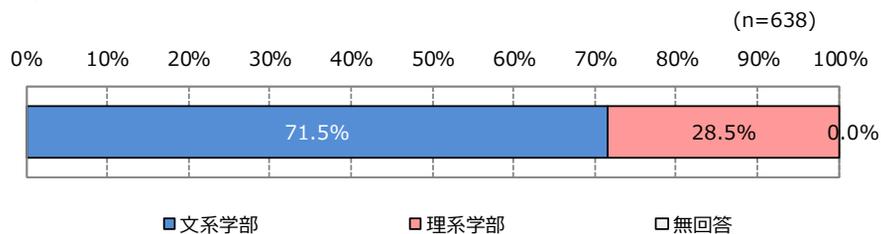
● 年齢

●年齢 (全体/単一回答)



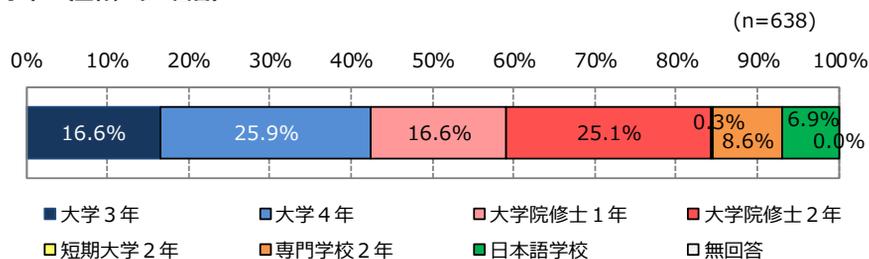
● 学部 (文系学部・理系学部)

●学部 (全体/単一回答)



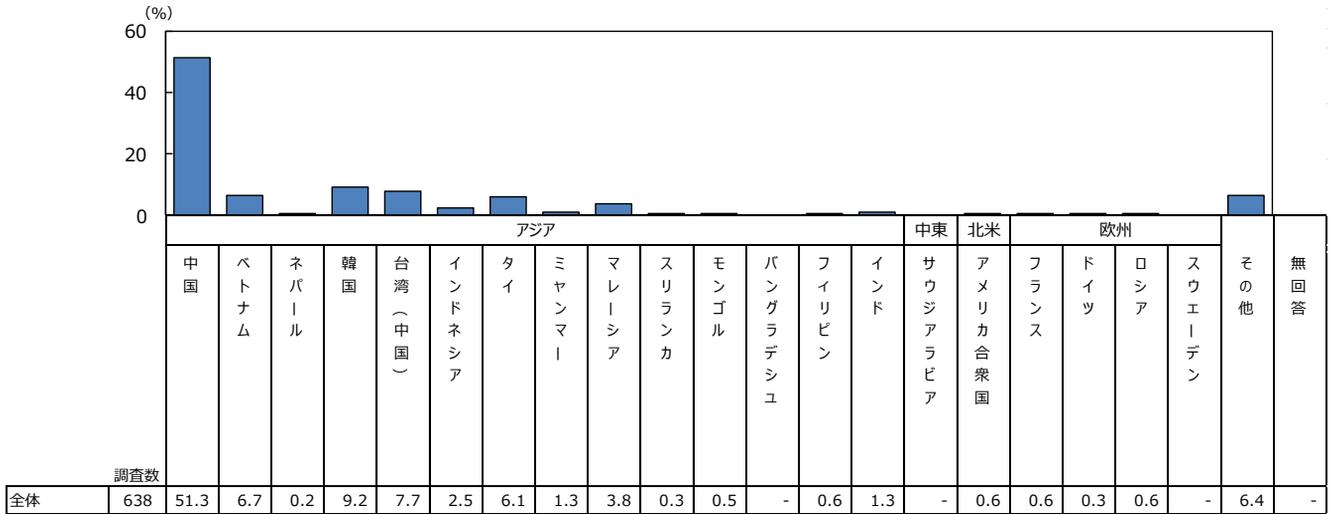
● 学年

●学年 (全体/単一回答)



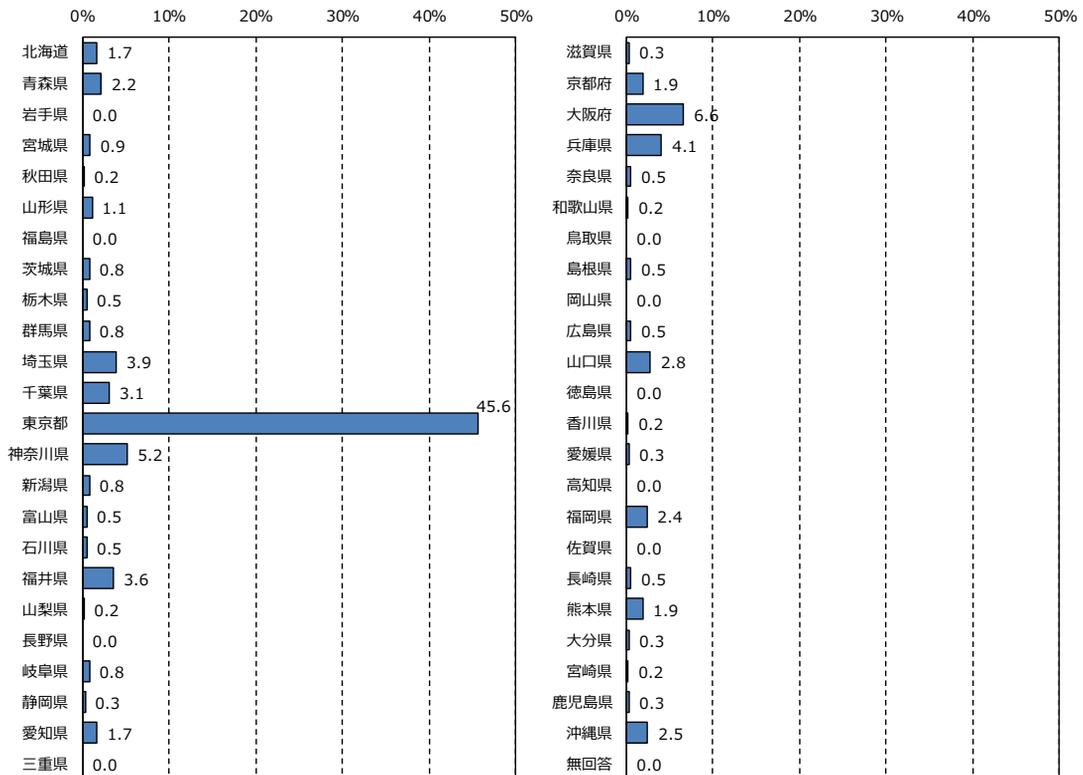
● 出身国

●出身国 (全体/単一回答)

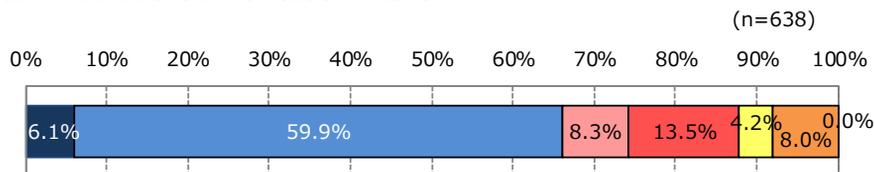


● 住んでいる都道府県

●住んでいる都道府県 (全体/単一回答) (n=638)



●住んでいる都道府県 (地域別) (全体/単一回答)

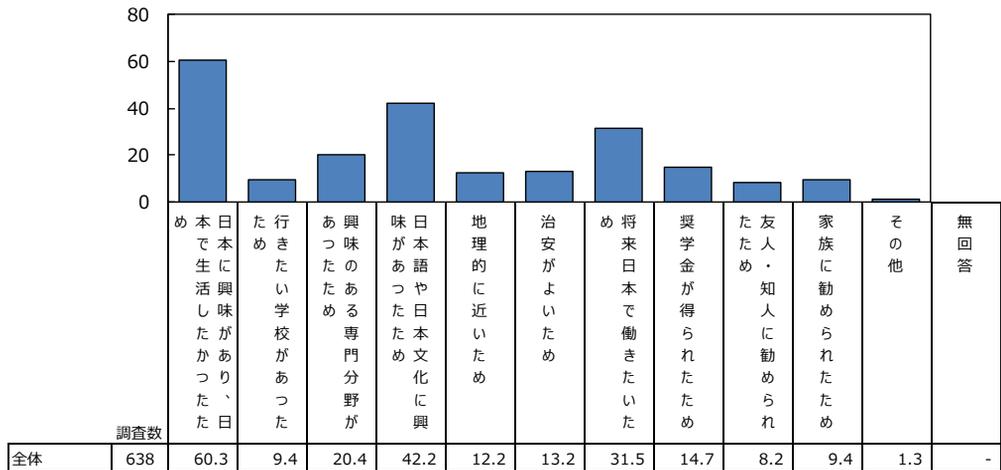


■北海道・東北地方 ■関東地方 ■中部地方 ■近畿地方 ■中国・四国地方 ■九州・沖縄地方 □無回答

● 日本を留学先に選んだ理由

日本を留学先に選んだ理由は、「日本に興味があり、日本で生活したかったため」が60.3%で最も高い。次いで、「日本語や日本文化に興味があったため」（42.2%）、「将来日本で働きたいため」（31.5%）が続く。

●日本を留学先に選んだ理由（全体/複数回答）



- 学部別では、理系学部は文系学部 비해「興味のある専門分野があったため」「奨学金が得られたため」が高く、「日本語や日本文化に興味があったため」が低い。
- 就職意向別では、絶対日本で働きたい、できれば日本で働きたい学生はまだ決めていない学生に比べ、「日本に興味があり、日本で生活したかったため」「将来日本で働きたいため」が高い。一方、まだ決めていない学生は「奨学金が得られたため」（22.4%）が高い。
- 日本で働きたい期間別では、10年以上の学生は「日本に興味があり、日本で生活したかったため」（71.0%）、「日本語や日本文化に興味があったため」（49.5%）、「将来日本で働きたいため」（49.0%）が高い。

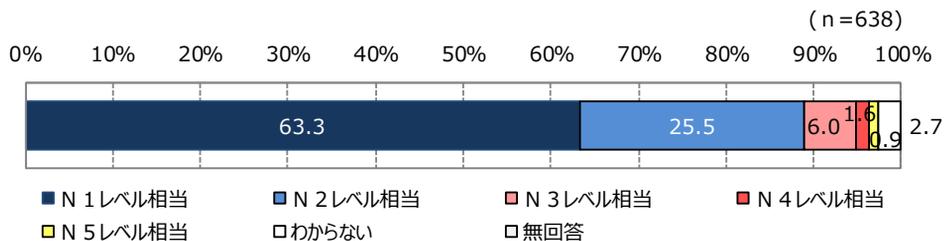
		調査数	日本に興味があり、日本で生活したかったため	日本語や日本文化に興味があったため	将来日本で働きたいため	奨学金が得られたため	友人・知人に勧められたため	家族に勧められたため	その他	無回答				
全体		638	60.3	42.2	31.5	14.7	8.2	9.4	1.3	-				
学部別	文系学部	456	60.5	17.1	44.5	13.4	12.1	30.5	9.6	7.7	9.6	1.3	-	
	理系学部	182	59.9	10.4	28.6	36.3	9.3	15.9	34.1	27.5	9.3	8.8	1.1	-
就職意向	絶対に日本で働きたい	204	68.6	7.4	17.6	41.2	7.4	10.8	41.2	11.3	8.8	9.8	1.0	-
	できれば日本で働きたい	277	60.3	10.8	21.7	47.3	14.4	16.6	36.5	16.6	7.9	8.7	0.7	-
	母国に帰って働きたい	73	52.1	8.2	23.3	32.9	16.4	11.0	5.5	13.7	9.6	12.3	1.4	-
	日本以外・母国以外の国で働きたい	17	41.2	11.8	23.5	29.4	5.9	5.9	29.4	-	5.9	5.9	5.9	-
	まだ決めていない	67	49.3	10.4	19.4	37.3	14.9	10.4	10.4	22.4	6.0	9.0	3.0	-
日本で働きたい期間	1年くらい	5	60.0	-	-	60.0	-	20.0	20.0	20.0	40.0	20.0	-	-
	3年くらい	81	54.3	16.0	17.3	40.7	9.9	11.1	24.7	12.3	7.4	7.4	-	-
	5年くらい	90	60.0	7.8	24.4	41.1	10.0	11.1	32.2	24.4	7.8	11.1	1.1	-
	10年以上	210	71.0	6.2	18.6	49.5	10.5	16.7	49.0	11.9	8.1	9.0	1.0	-
	特に決めていない	95	60.0	12.6	22.1	40.0	16.8	13.7	33.7	11.6	8.4	8.4	1.1	-

※全体と比較して +5pt以上 +10pt以上 -5pt以下 -10pt以下

● 日本語能力試験（JLPT）のレベル

日本語能力試験（JLPT）のレベルは、「N1レベル相当」が63.3%、「N2レベル相当」が25.5%であった。

●日本語能力試験（JLPT）のレベル（全体/単一回答）



- ・ 学部別では、文系学部は「N1レベル相当」（70.8%）が7割で、理系学部と差がみられた。
- ・ 学校以外の活動別では、アルバイト・派遣の仕事やボランティアを行っている学生は行っていない・参加していない学生に比べ「N1レベル相当」が高い。
- ・ インターンシップ参加別では、参加したことがある学生は「N1レベル相当」（70.0%）が高い。
- ・ 就職意向別では、絶対日本で働きたい、できれば日本で働きたい学生はまだ決めていない学生に比べ、「N1レベル相当」が10ポイント以上高い。
- ・ 日本で働きたい期間別では、特に決めていない学生は「N1レベル相当」（75.8%）が高い。
- ・ 学年別では、専門学校2年、日本語学校は「N1レベル相当」がそれぞれ41.8%、22.7%であり、大学・大学院と比べ低い。

		調査数	0%	10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%	90%	100%
全体		638	63.3 25.5 6.0 1.6 0.9 2.7										
学部別	文系学部	456	70.8 21.5 4.4 0.9 1.6 1.5										
	理系学部	182	44.5 35.7 9.9 3.3 15.5										
学校以外の活動	アルバイト・派遣の仕事を行っている	476	66.4 25.4 5.3 1.5 1.3										
	ボランティアを行っている	100	72.0 20.0 5.0 1.0 2.0										
	その他	22	59.1 27.3 13.6										
	行っていない・参加していない	124	54.0 25.0 6.5 4.0 8.1										
インターンシップ参加	参加したことがある	200	70.0 24.5 3.0 1.0 0.5										
	参加したことがない	438	60.3 26.0 7.3 1.4 1.1 3.9										
就職意向	絶対に日本で働きたい	204	65.7 24.5 6.9 1.9 1.5										
	できれば日本で働きたい	277	65.3 25.6 5.4 0.4 1.1 1.8										
	母国に帰って働きたい	73	61.6 24.7 6.8 4.7 2.2 1.4										
	日本以外・母国以外の国で働きたい	17	52.9 23.5 5.9 11.8 5.9										
	まだ決めていない	67	52.2 29.9 4.5 3.0 10.4										
日本で働きたい期間	1年くらい	5	60.0 20.0 20.0										
	3年くらい	81	55.6 32.1 9.9 1.2 1.2										
	5年くらい	90	64.4 27.8 5.6 2.2										
	10年以上	210	65.2 23.8 5.7 1.4 2.9										
	特に決めていない	95	75.8 20.0 3.2 1.1										
学年	大学3年	106	66.0 27.4 1.9 3.8										
	大学4年	165	72.1 20.6 2.4 1.4 2.4										
	大学院修士1年	106	67.0 24.5 4.7 1.8 2.8										
	大学院修士2年	160	69.4 16.3 7.5 1.1 5.0										
	短期大学2年	2	50.0 50.0										
	専門学校2年	55	41.8 49.1 9.1										
	日本語学校	44	22.7 45.5 20.5 6.8 4.5										
学年※ ×内定状況	内定している企業がある	111	76.6 13.5 7.2 1.8 0.9										
	内定している企業はない	131	70.2 21.4 4.6 1.1 1.5										

※学年は「大学4年」と「大学院修士2年」を対象

■ N1レベル相当 ■ N2レベル相当 ■ N3レベル相当 ■ N4レベル相当 ■ N5レベル相当 □ わからない □ 無回答

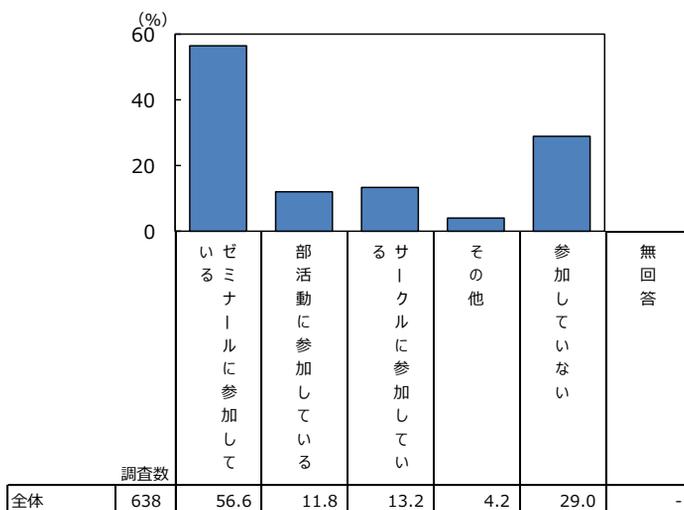
2. 調査結果

2-1. 学生生活の状況

● 学校の授業以外の学内活動の参加状況

学校の授業以外の学内活動は、「ゼミナールに参加している」が56.6%で最も高い。参加している活動の中では、『ゼミナール』が突出して高く、『サークル』『部活動』への参加は1割強であった。「参加していない」は29.0%。

● 学校の授業以外の学内活動の参加状況 (全体/複数回答)



- 学部別では、理系学部は「参加していない」(23.1%)が低い。
- 日本語能力試験(JLPT)のレベル別では、N1レベル相当の学生は「ゼミナールに参加している」が63.1%とN2レベル相当の学生と比べ15ポイント以上高い。
- 学校以外の活動別では、ボランティアを行っている学生は「参加していない」(13.0%)が低く、「ゼミナールに参加している」(65.0%)、「サークルに参加している」(27.0%)が高い。学内・学外活動ともに参加していない学生は約4割。
- インターンシップ参加別では、参加したことがある学生は「ゼミナールに参加している」(67.0%)が高い。
- 学年別では、大学院修士1年・2年の学生は「ゼミナールに参加している」が7割を超える。専門学校2年、日本語学校は「参加していない」が6割前後。
- 大学4年、大学院修士2年を対象とした内定状況別では、内定している企業がある学生は「参加していない」が18.9%で低い。

		調査数	ゼミナールに参加している	部活動に参加している	サークルに参加している	その他	参加していない	無回答
全体		638	56.6	11.8	13.2	4.2	29.0	-
学部	文系学部	456	55.9	10.7	12.1	3.9	31.4	-
	理系学部	182	58.2	14.3	15.9	4.9	23.1	-
日本語能力試験(JLPT)のレベル	N1レベル相当	404	63.1	9.7	11.1	5.0	25.7	-
	N2レベル相当	163	44.2	16.6	14.1	3.1	36.2	-
	N3レベル相当	38	39.5	15.8	18.4	2.6	34.2	-
	N4レベル相当	10	40.0	-	30.0	-	40.0	-
	N5レベル相当	6	83.3	33.3	33.3	-	-	-
	わからない	17	58.8	5.9	23.5	5.9	29.4	-
学校以外の活動	アルバイト・派遣の仕事を行っている	476	59.2	12.0	15.1	3.8	26.7	-
	ボランティアを行っている	100	65.0	16.0	27.0	10.0	13.0	-
	その他	22	54.5	13.6	22.7	9.1	27.3	-
	行っていない・参加していない	124	47.6	8.9	4.8	4.8	41.1	-
インターンシップ参加	参加したことがある	200	67.0	11.0	19.0	3.5	16.0	-
	参加したことがない	438	51.8	12.1	10.5	4.6	34.9	-
学年	大学3年	106	55.7	13.2	15.1	5.7	27.4	-
	大学4年	165	53.9	12.7	17.0	2.4	27.3	-
	大学院修士1年	106	75.5	7.5	12.3	4.7	16.0	-
	大学院修士2年	160	71.3	11.9	11.3	5.0	20.6	-
	短期大学2年	2	-	50.0	-	-	50.0	-
	専門学校2年	55	21.8	12.7	9.1	5.5	58.2	-
	日本語学校	44	15.9	11.4	9.1	2.3	63.6	-
学年××内定状況	内定している企業がある	111	62.2	16.2	17.1	2.7	18.9	-
	内定している企業はない	131	61.8	10.7	13.7	5.3	26.7	-

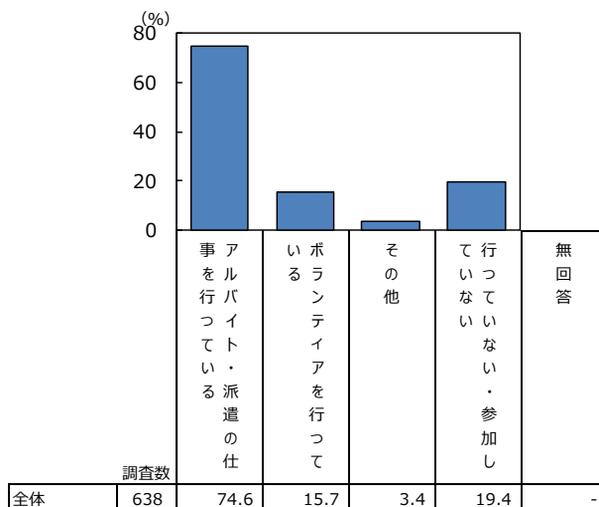
*学年は「大学4年」と「大学院修士2年」を対象

*全体と比較して ■ +5pt以上 ■ +10pt以上 ■ -5pt以下 ■ -10pt以下

● 学外活動の参加状況

学外の活動では、「アルバイト・派遣の仕事を行っている」が74.6%で突出して高い。「ボランティアを行っている」は15.7%であった。
学外の活動を「行っていない・参加していない」は19.4%。

●学外活動の参加状況 (全体/複数回答)



- 学部別では、文系学部、理系学部で大きな差はみられなかった。
- インターンシップ参加別では、参加したことがある学生は「アルバイト・派遣の仕事を行っている」(80.5%)が高い。
- 学年別では、大学4年の学生は「アルバイト・派遣の仕事を行っている」が81.0%と高く、日本語学校の学生は61.4%で低い。大学・大学院に比べ専門学校2年・日本語学校の学生は「ボランティアを行っている」が低い。

		調査数	アルバイト・派遣の仕事	ボランティアを行っている	その他	行っていない・参加していない	無回答
全体		638	74.6	15.7	3.4	19.4	-
学部	文系学部	456	75.9	14.0	3.7	19.1	-
	理系学部	182	71.4	19.8	2.7	20.3	-
日本語能力試験(JLPT)のレベル	N 1レベル相当	404	78.2	17.8	3.2	16.6	-
	N 2レベル相当	163	74.2	12.3	3.7	19.0	-
	N 3レベル相当	38	65.8	13.2	7.9	21.1	-
	N 4レベル相当	10	70.0	10.0	-	30.0	-
	N 5レベル相当	6	16.7	-	-	83.3	-
わからない		17	35.3	11.8	-	58.8	-
インターンシップ参加	参加したことがある	200	80.5	18.0	3.5	14.0	-
	参加していない	438	71.9	14.6	3.4	21.9	-
学年	大学3年	106	77.4	19.8	3.8	14.2	-
	大学4年	165	81.8	17.0	1.2	14.5	-
	大学院修士1年	106	69.8	12.3	5.7	24.5	-
	大学院修士2年	160	71.9	19.4	2.5	21.9	-
	短期大学2年	2	50.0	-	-	50.0	-
	専門学校2年	55	76.4	7.3	-	23.6	-
	日本語学校	44	61.4	6.8	13.6	22.7	-
学年××内定状況	内定している企業がある	111	81.0	20.7	1.7	13.2	-
	内定している企業はない	131	79.0	16.2	1.8	18.6	-

※学年は「大学4年」と「大学院修士2年」を対象 ※全体と比較して +5pt以上 +10pt以上 -5pt以下 -10pt以下

● 具体的な学外活動

行っているアルバイト・派遣の仕事の内容は、コンビニエンスストア、飲食店、販売店などが多く挙げられている。翻訳・通訳・語学講師や学校でのアルバイトを行っている学生も複数みられた。

- 頻度は週3回が最も多く、次いで週2回であった。週5回アルバイトをしている学生もみられた。

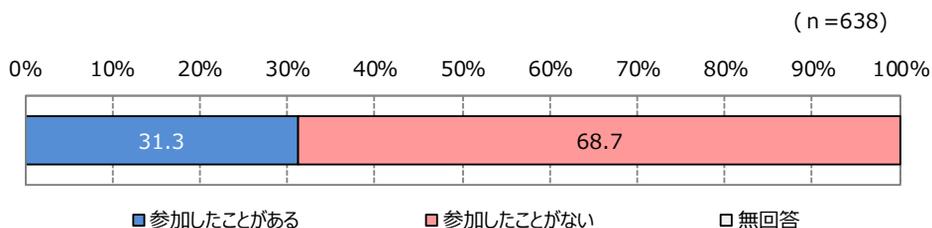
行っているボランティア活動の内容は、通訳・翻訳、国際交流に関する取り組み、地域交流・地域活動が多く挙げられている。

2-2. インターンシップの参加状況

● インターンシップ参加の有無

インターンシップへの参加の有無は、「参加したことがある」が31.3%であった。

● インターンシップ参加の有無 (全体/単一回答)



- 学校以外の活動別では、学外活動を行っていない・参加していない学生は「参加したことがある」(22.6%)が低い。
- 就職意向別では、絶対日本で働きたい学生は、インターンシップの参加が41.2%で高い。
- 日本で働きたい期間別では、特に決めていない学生の「参加したことがある」(42.1%)が最も高い。期間を設定している学生のなかでは働きたい期間が長いほどインターンシップ参加の割合が高い。
- 学年別では、大学3年、大学4年、大学院修士1年の参加が高い。専門学校2年、日本語学校の参加はそれぞれ21.8%、11.4%であった。
- 大学4年、大学院修士2年を対象とした内定状況別では、内定している企業がある学生と内定している企業がない学生でインターンシップの参加の有無で大きな差がみられた。

		調査数	0%	10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%	90%	100%
全体		638	31.3		68.7								
学部	文系学部	456	31.6		68.4								
	理系学部	182	30.8		69.2								
日本語能力試験(JLPT)のレベル	N 1レベル相当	404	34.7		65.3								
	N 2レベル相当	163	30.1		69.9								
	N 3レベル相当	38	15.8		84.2								
	N 4レベル相当	10	40.0		60.0								
	N 5レベル相当	6	16.7		83.3								
	わからない	17			100.0								
学校以外の活動	アルバイト・派遣の仕事を行っている	476	33.8		66.2								
	ボランティアを行っている	100	36.0		64.0								
	その他	22	31.8		68.2								
	行っていない・参加していない	124	22.6		77.4								
就職意向	絶対に日本で働きたい	204	41.2		58.8								
	できれば日本で働きたい	277	31.4		68.6								
	母国に帰って働きたい	73	21.9		78.1								
	日本以外・母国以外の国で働きたい	17	23.5		76.5								
	まだ決めていない	67	13.4		86.6								
日本で働きたい期間	1年くらい	5	20.0		80.0								
	3年くらい	81	27.2		72.8								
	5年くらい	90	33.3		66.7								
	10年以上	210	37.1		62.9								
	特に決めていない	95	42.1		57.9								
学年	大学3年	106	36.8		63.2								
	大学4年	165	37.6		62.4								
	大学院修士1年	106	35.8		64.2								
	大学院修士2年	160	27.5		72.5								
	短期大学2年	2			100.0								
	専門学校2年	55	21.8		78.2								
	日本語学校	44	11.4		88.6								
学年※ ×内定状況	内定している企業がある	111	52.3		47.7								
	内定している企業はない	131	24.4		75.6								

※学年は「大学4年」と「大学院修士2年」を対象

■ 参加したことがある □ 参加したことがない □ 無回答

● インターンシップに参加した時期

インターンシップに参加したことがある学生の参加時期は、現大学3年は「大学3年」が87.2%で最も高い。現大学4年は「大学3年」が67.7%で最も高く、「大学4年」が27.4%で続く。「大学2年」「大学1年」はわずかながらみられた。現大学院修士1年は「大学院修士1年」が89.5%で最も高い。現大学院修士2年は「大学院修士1年」が47.7%で最も高く、「大学院修士2年」が40.9%で続く。

● インターンシップに参加した時期（参加したことがある学生／複数回答）

		調査数	大学 1 年	大学 2 年	大学 3 年	大学 4 年	大学 院 修 士 1 年	大学 院 修 士 2 年	短 期 大 学 1 年	短 期 大 学 2 年	専 門 学 校 1 年	専 門 学 校 2 年	日 本 語 学 校	そ の 他	無 回 答	
全体		200	1.0	7.0	41.5	11.5	28.0	9.0	-	-	3.0	3.0	2.5	1.0	-	
学年	大学3年	39	-	12.8	87.2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.6	-
	大学4年	62	1.6	8.1	67.7	27.4	-	-	-	-	3.2	1.6	-	-	-	-
	大学院修士1年	38	-	2.6	7.9	2.6	89.5	-	-	-	-	-	-	-	2.6	-
	大学院修士2年	44	2.3	6.8	6.8	9.1	47.7	40.9	-	-	-	-	-	-	-	-
	短期大学2年	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	専門学校2年	12	-	-	-	-	-	-	-	-	33.3	41.7	25.0	-	-	-
	日本語学校	5	-	-	20.0	20.0	20.0	-	-	-	-	-	-	40.0	-	-

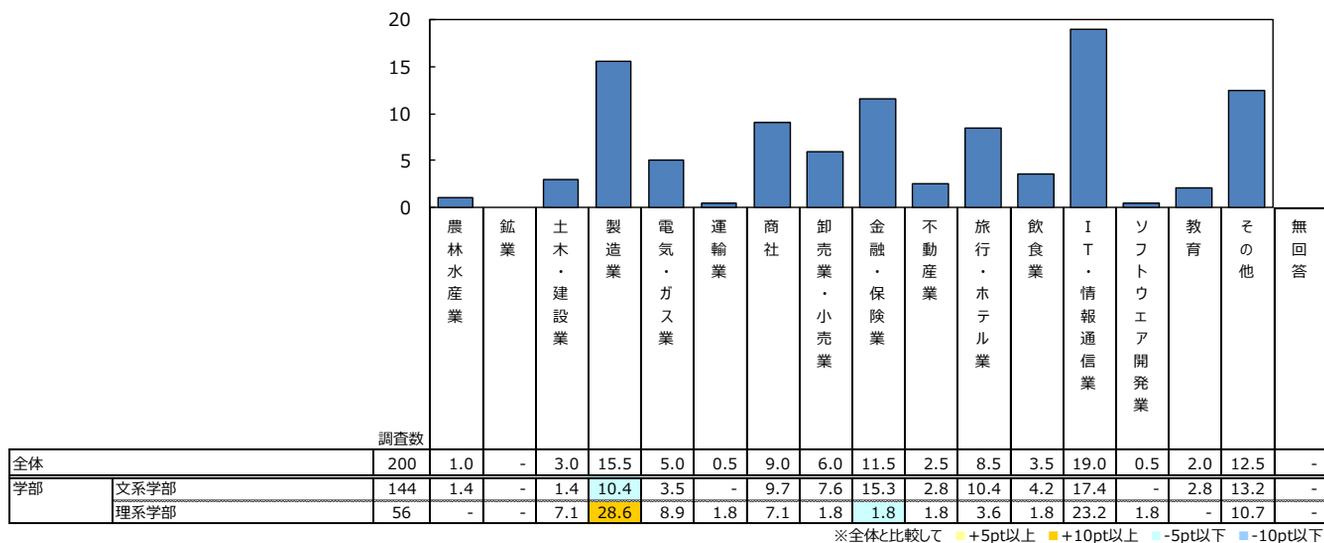
※全体と比較して ■ +5pt以上 ■ +10pt以上 ■ -5pt以下 ■ -10pt以下

● インターンシップに参加した企業の業種

インターンシップに参加したことがある学生の参加企業の業種は、「IT・情報通信業」が19.0%で最も高く、「製造業」が15.5%で続く。

- 学部別では、理系学部は「製造業」が28.6%で最も高い。一方、文系学部は「IT・情報通信業」(17.4%)に次ぎ、「金融・保険業」(15.3%)が高い。

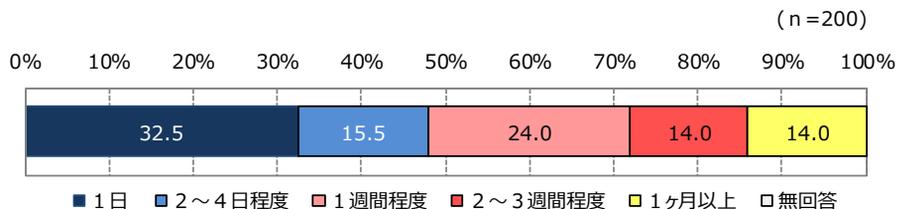
●インターンシップに参加した企業の業種 (参加したことがある学生/単一回答)



● インターンシップの参加期間

インターンシップに参加したことがある学生の参加期間は、「1日」が32.5%で最も高く、「1週間程度」が24.0%で続く。1週間程度よりも短い期間（「1日」「2～4日程度」「1週間程度」の合計）が約7割を占める。

●インターンシップの参加期間 (参加したことがある学生/単一回答)

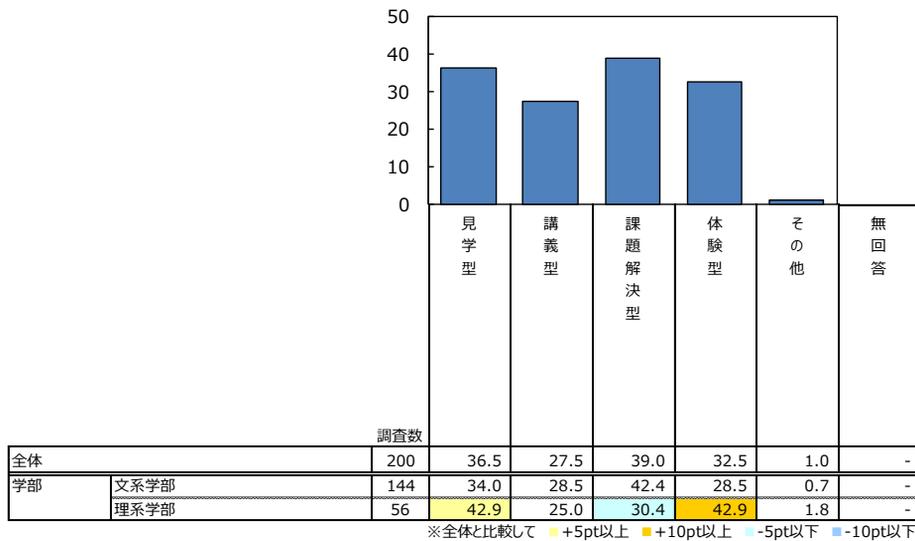


● インターンシップの内容

インターンシップに参加したことがある学生のインターンシップの内容は、「課題解決型」が39.0%で最も高く、「見学型」（36.5%）、「体験型」（32.5%）が続く。

- 学部別では、理系学部は文系学部に比べ「見学型」「体験型」が高く、「課題解決型」が低く、実施の内容に差がみられた。

● インターンシップの内容（参加したことがある学生／複数回答）

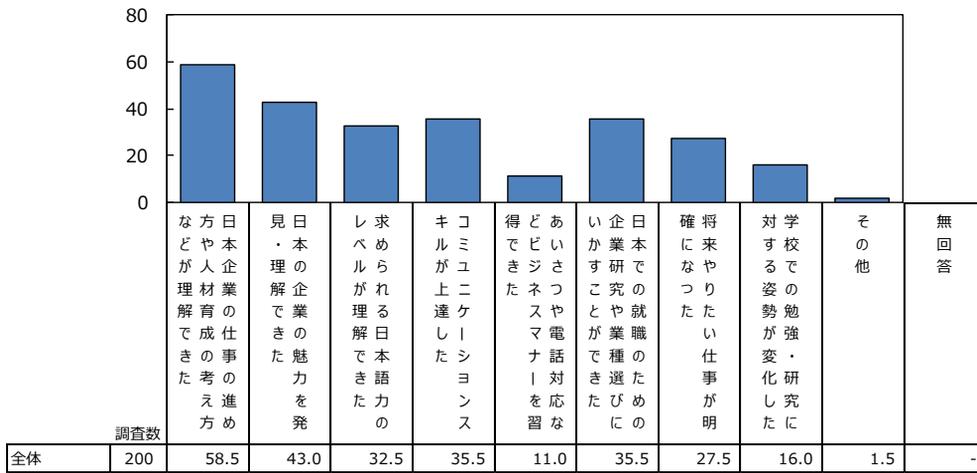


● インターンシップで得られたこと

インターンシップに参加したことがある学生のインターンシップで得られたことは、「日本企業の仕事の進め方や人材育成の考え方などが理解できた」が58.5%で最も高かった。次いで、「日本の企業の魅力を発見・理解できた」が43.0%で続き、日本の企業で働くことへの理解が上位であった。

「コミュニケーションスキルが上達した」「日本での就職のための企業研究や業種選びにいかすことができた」（35.5%）、「求められる日本語力のレベルが理解できた」（32.5%）が続き、自分のスキル・レベルの確認・上達や就職活動につながる成果もみられた。

●インターンシップで得られたこと（参加したことがある学生/複数回答）



- 学部別では、理系学部は「日本企業の仕事の進め方や人材育成の考え方などが理解できた」（69.6%）「日本の企業の魅力を発見・理解できた」（53.6%）が高い。
- インターンシップの内容別では、「日本企業の仕事の進め方や人材育成の考え方などが理解できた」「将来やりたい仕事明確になった」は見学型、講義型、体験型が、「日本の企業の魅力を発見・理解できた」「日本での就職のための企業研究や業種選びにいかすことができた」は見学型、講義型、課題解決型が、「コミュニケーションスキルが上達した」は体験型が高い。

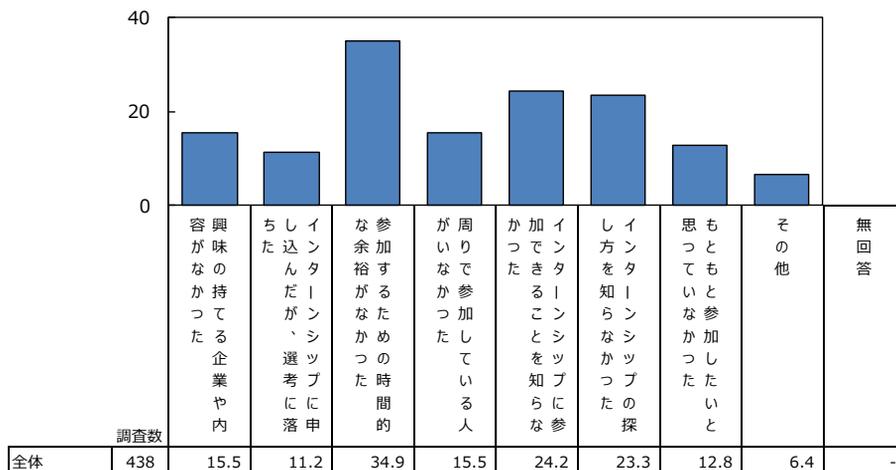
	調査数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
全体	200	58.5	43.0	32.5	35.5	11.0	35.5	27.5	16.0	1.5	-	
学部												
文系学部	144	54.2	38.9	34.0	34.0	11.1	37.5	27.1	14.6	1.4	-	
理系学部	56	69.6	53.6	28.6	39.3	10.7	30.4	28.6	19.6	1.8	-	
インターンシップの内容												
見学型	73	67.1	53.4	37.0	38.4	17.8	41.1	37.0	19.2	2.7	-	
講義型	55	65.5	61.8	40.0	38.2	16.4	56.4	43.6	18.2	1.8	-	
課題解決型	78	53.8	51.3	39.7	33.3	6.4	43.6	24.4	16.7	2.6	-	
体験型	65	64.6	43.1	33.8	49.2	16.9	30.8	33.8	23.1	1.5	-	

※全体と比較して +5pt以上 +10pt以上 -5pt以下 -10pt以下

● インターンシップに参加したことがない理由

インターンシップに参加したことがない学生の参加したことがない理由は、「参加するための時間的な余裕がなかった」が34.9%で最も高かった。次いで、「インターンシップに参加できることを知らなかった」(24.2%)、「インターンシップの探し方を知らなかった」(23.3%)が続く。

●インターンシップに参加したことがない理由 (参加したことがない学生/複数回答)



- ・ 学部別では、理系学部は「参加するための時間的な余裕がなかった」(43.7%)が突出して高い。
- ・ 学校以外の活動別では、学外活動を行っていない・参加していない学生は「インターンシップの探し方を知らなかった」(32.3%)が最も高い。
- ・ 就職意向別では、まだ決めていない学生は「インターンシップに参加できることを知らなかった」(31.0%)が最も高い。
- ・ 日本で働きたい期間別では、特に決めていない学生は「インターンシップの探し方を知らなかった」「参加するための時間的な余裕がなかった」(34.5%)が最も高い。
- ・ 学年別では、大学・大学院は「参加するための時間的な余裕がなかった」が、専門学校2年・日本語学校は「インターンシップに参加できることを知らなかった」が最も高い。日本語学校は「インターンシップの探し方を知らなかった」(35.9%)が高い。

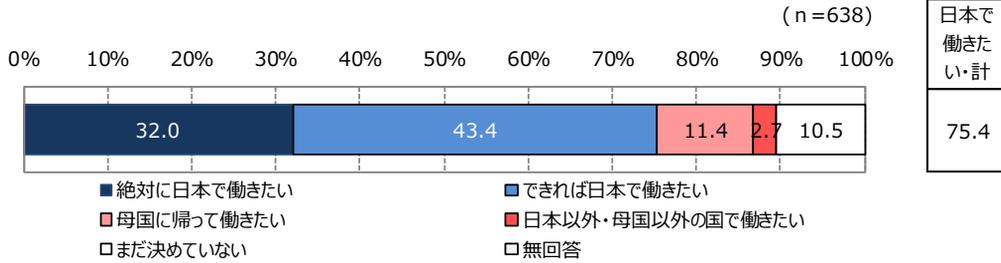
	調査数	興味を持てない	申し込みが、選考に落ちた	参加するための時間的な余裕がなかった	周りでは参加している人がいない	参加できることを知らなかった	インターンシップの探し方を知らなかった	思ってもいなかった	その他	無回答
全体	438	15.5	11.2	34.9	15.5	24.2	23.3	12.8	6.4	-
学部										
文系学部	312	16.3	9.6	31.4	17.0	26.0	24.4	12.8	6.7	-
理系学部	126	13.5	15.1	43.7	11.9	19.8	20.6	12.7	5.6	-
学校以外の活動										
アルバイト・派遣の仕事を行っている	315	16.2	12.1	39.0	14.6	23.2	21.0	11.4	6.7	-
ボランティアを行っている	64	14.1	18.8	40.6	17.2	20.3	23.4	10.9	4.7	-
その他	15	6.7	-	26.7	46.7	66.7	46.7	-	13.3	-
行っていない・参加していない	96	14.6	6.3	26.0	14.6	26.0	32.3	18.8	5.2	-
就職意向										
絶対に日本で働きたい	120	20.0	11.7	37.5	16.7	21.7	19.2	7.5	9.2	-
できれば日本で働きたい	190	12.6	14.7	34.2	12.6	25.8	25.8	12.6	5.8	-
母国に帰って働きたい	57	19.3	5.3	35.1	15.8	21.1	21.1	19.3	3.5	-
日本以外・母国以外の国で働きたい	13	23.1	-	53.8	15.4	7.7	23.1	15.4	7.7	-
まだ決めていない	58	10.3	6.9	27.6	22.4	31.0	25.9	17.2	5.2	-
日本で働きたい期間										
1年くらい	4	25.0	-	-	-	25.0	-	25.0	25.0	-
3年くらい	59	18.6	13.6	30.5	13.6	16.9	25.4	6.8	11.9	-
5年くらい	60	8.3	16.7	45.0	13.3	30.0	16.7	11.7	5.0	-
10年以上	132	15.2	14.4	34.8	13.6	25.8	21.2	12.1	5.3	-
特に決めていない	55	20.0	9.1	34.5	18.2	21.8	34.5	9.1	7.3	-
学年										
大学3年	67	22.4	14.9	41.8	14.9	13.4	19.4	13.4	7.5	-
大学4年	103	11.7	10.7	41.7	14.6	18.4	18.4	12.6	5.8	-
大学院修士1年	68	13.2	13.2	35.3	13.2	20.6	27.9	8.8	16.2	-
大学院修士2年	116	13.8	10.3	34.5	20.7	28.4	25.0	14.7	1.7	-
短期大学2年	2	-	-	50.0	-	50.0	-	-	-	-
専門学校2年	43	14.0	9.3	18.6	9.3	32.6	18.6	16.3	4.7	-
日本語学校	39	25.6	7.7	23.1	15.4	41.0	35.9	10.3	5.1	-

2-3. 就職への意向

● 就職意向

就職意向は、「絶対に日本で働きたい」が32.0%、「できれば日本で働きたい」が43.4%で、日本で働きたい割合は75.4%であった。日本以外では「母国に帰って働きたい」が11.4%で最も高く、「まだ決めていない」は10.5%であった。

●就職意向（全体/単一回答）



- ・ 学部別では、文系学部、理系学部で差はみられなかった。
- ・ 学校以外の活動別では、アルバイト・派遣の仕事、ボランティアを行っている学生は、行っていない・参加していない学生に比べ『日本で働きたい・計』が10ポイント以上高い。
- ・ インターンシップ参加別では、参加したことがある学生は「絶対に日本で働きたい」（42.0%）が高く、日本での高い就職意向がみられる。

●就職意向（全体/単一回答）

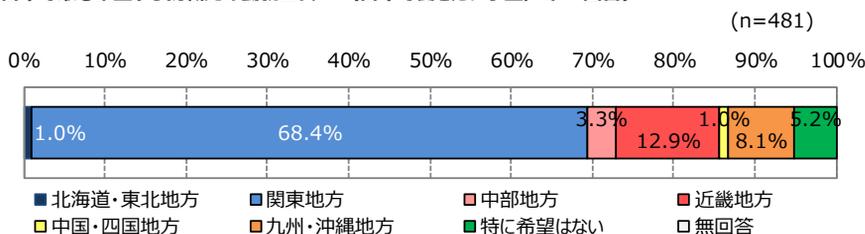
凡例	人数	日本で働きたい・計					母国に帰って働きたい	日本以外・母国以外の国で働きたい	まだ決めていない	無回答	日本で働きたい・計
		絶対に日本で働きたい	できれば日本で働きたい	母国に帰って働きたい	日本以外・母国以外の国で働きたい	まだ決めていない					
全体	638	32.0	43.4	11.4	2.7	10.5				75.4	
学部											
文系学部	456	32.7	43.4	11.4	2.7	10.3				76.1	
理系学部	182	30.2	43.4	11.5	3.8	11.0				73.6	
日本語能力試験(JLPT)のレベル											
N 1レベル相当	404	33.2	44.8	11.1	2.2	8.7				78.0	
N 2レベル相当	163	30.7	43.6	11.0	2.5	12.3				74.3	
N 3レベル相当	38	36.8	39.5	13.2	2.6	7.9				76.3	
N 4レベル相当	10	30.0	10.0	20.0	20.0	20.0				40.0	
N 5レベル相当	6		66.7			33.3				66.7	
わからない	17	17.6	29.4	5.9	5.9	41.2				47.0	
学校以外の活動											
アルバイト・派遣の仕事を行っている	476	33.2	44.7	10.1	2.7	9.2				77.9	
ボランティアを行っている	100	30.0	52.0	9.0	2.0	7.0				82.0	
その他	22		50.0			36.4		13.6		86.4	
行っていない・参加していない	124	24.2	39.5	16.9	3.2	16.1				63.7	
インターンシップ参加											
参加したことがある	200	42.0	43.5	8.0	2.0	4.5				85.5	
参加したことがない	438	27.4	43.4	13.0	3.0	13.2				70.8	

※全体と比較して +5pt以上 +10pt以上 -5pt以下 -10pt以下

● 日本で最も希望する就職先の勤務エリア

日本での就職意向がある学生の最も希望する就職先の勤務エリアは、「関東地方」が68.4%で最も高い。

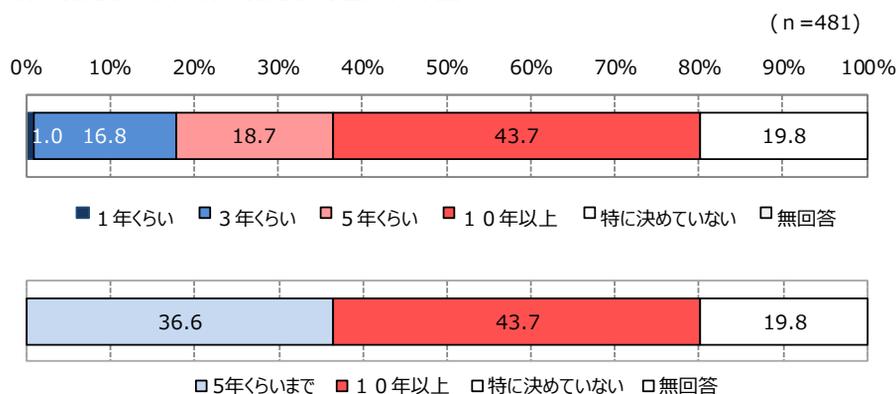
● 日本で最も希望する就職先の勤務エリア (日本で働きたい学生/単一回答)



● 日本で働きたい期間

日本での就職意向がある学生の日本で働きたい期間は、「10年以上」が43.7%で最も高い。日本で働きたい期間を決めている学生のなかでは「10年以上」が最も高い一方で、5年くらいまでと考えている学生も36.6%みられた。「特に決めていない」は19.8%であった。

● 日本で働きたい期間 (日本で働きたい学生/単一回答)



● 学部別では、理系学部は「5年くらい」(26.9%)が高い。

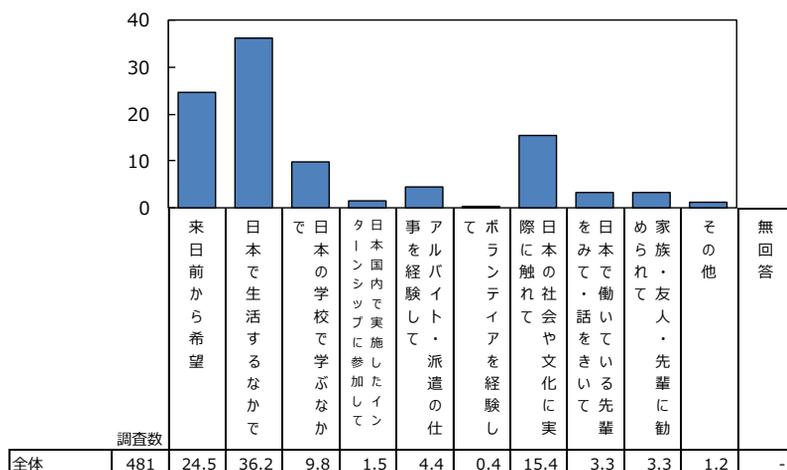
		調査数	1年くらい	3年くらい	5年くらい	10年以上	特に決めていない	無回答
全体		481	1.0	16.8	18.7	43.7	19.8	
学部	文系学部	347	1.2	17.3	15.6	43.8	22.2	
	理系学部	134	0.7	15.7	26.9	43.3	13.4	
日本語能力試験(JLPT)のレベル	N1レベル相当	315	1.0	14.3	18.4	43.5	22.9	
	N2レベル相当	121	0.8	21.5	20.7	41.3	15.7	
	N3レベル相当	29	3.4	27.6	17.2	41.4	10.3	
	N4レベル相当	4			50.0	50.0		
	N5レベル相当	4		25.0		75.0		
	わからない	8		12.5		75.0	12.5	
学校以外の活動	アルバイト・派遣の仕事を行っている	371	1.1	17.3	19.7	43.4	18.6	
	ボランティアを行っている	82	2.4	19.5	18.3	42.7	17.1	
	その他	19	5.3	21.1		42.1	31.6	
	行っていない・参加していない	79		16.5	13.9	46.8	22.8	
インターンシップ参加	参加したことがある	171	0.6	12.9	17.5	45.6	23.4	
	参加したことがない	310	1.3	19.0	19.4	42.6	17.7	

■ 1年くらい ■ 3年くらい ■ 5年くらい ■ 10年以上 □ 特に決めていない □ 無回答

● 日本で働きたいと思った一番のきっかけ

日本での就職意向がある学生の日本で働きたいと思った一番のきっかけは、「日本で生活するなかで」が36.2%で最も高く、「来日前から希望」が24.5%で続く。

● 日本で働きたいと思った一番のきっかけ（日本で働きたい学生/単一回答）



- 学部別では、文系学部、理系学部で差はみられなかった。
- 学校以外の活動別では、ボランティアを行っている学生は「日本で生活するなかで」（24.4%）が低く、「日本の社会や文化に実際に触れて」（20.7%）、「日本の学校で学ぶなかで」（17.1%）が高い。学外の活動を行っていない・参加していない学生は「来日前から希望」（32.9%）が高い。
- インターンシップ参加別では、参加したことがある学生は「来日前から希望」（30.4%）が高い。
- 日本で働きたい期間別では、5年くらいの学生は他の期間の学生に比べ「日本で生活するなかで」、「来日前から希望」が低く、「日本の学校で学ぶなかで」が高い。10年以上の学生は「来日前から希望」（30.5%）が高い。特に決めていない学生は「日本で生活するなかで」（45.3%）が突出して高い。

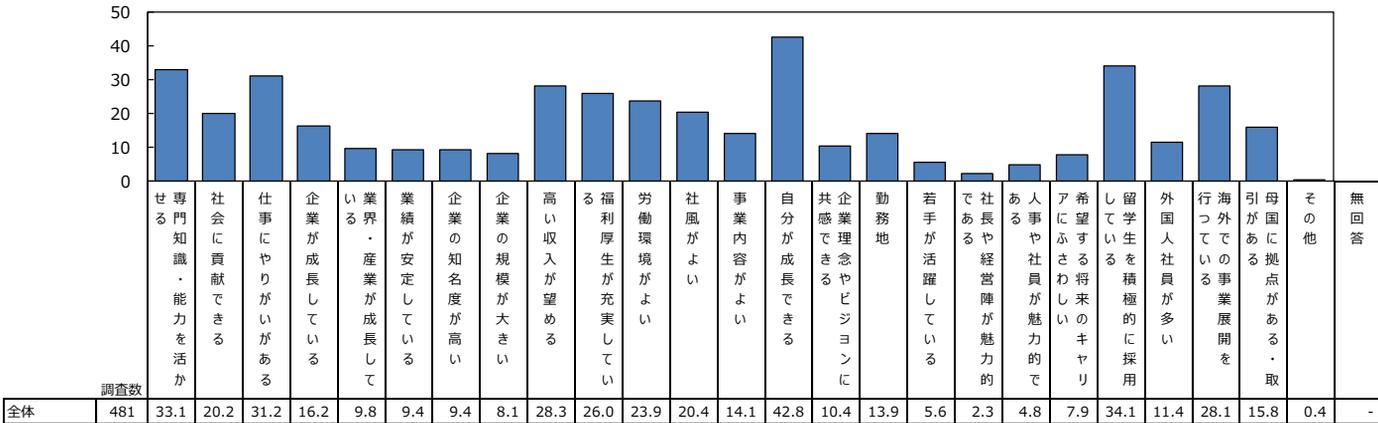
		調査数	来日前から希望	日本で生活するなかで	日本の学校で学ぶなか	日本国内で実施したインターンシップに参加して	アルバイト・派遣の仕事を経験して	ボランティアを経験して	実際に触れて	日本での社会や文化に実際に触れて	日本をみて・話をきいている先輩	められた	家族・友人・先輩に勧められた	その他	無回答
全体		481	24.5	36.2	9.8	1.5	4.4	0.4	15.4	3.3	3.3	3.3	1.2	-	
学部	文系学部	347	25.9	35.7	9.5	1.2	4.6	0.3	15.9	1.7	3.7	1.4	-		
	理系学部	134	20.9	37.3	10.4	2.2	3.7	0.7	14.2	7.5	2.2	0.7	-		
日本語能力試験(JLPT)のレベル	N 1レベル相当	315	26.0	33.7	9.5	1.9	5.7	-	15.9	2.9	2.9	1.6	-		
	N 2レベル相当	121	22.3	40.5	11.6	0.8	0.8	1.7	14.9	3.3	3.3	0.8	-		
	N 3レベル相当	29	24.1	41.4	6.9	-	-	-	13.8	3.4	10.3	-	-		
	N 4レベル相当	4	-	50.0	-	-	25.0	-	-	25.0	-	-	-		
	N 5レベル相当	4	50.0	-	-	-	25.0	-	-	25.0	-	-	-		
わからない	8	-	62.5	12.5	-	-	-	25.0	-	-	-	-			
学校以外の活動	アルバイト・派遣の仕事を行っている	371	22.6	37.5	9.2	1.3	5.1	0.3	15.1	3.8	3.5	1.6	-		
	ボランティアを行っている	82	22.0	24.4	17.1	3.7	2.4	1.2	20.7	3.7	4.9	-			
	その他	19	31.6	26.3	10.5	-	5.3	-	21.1	-	5.3	-			
	行っていない・参加していない	79	32.9	36.7	8.9	1.3	2.5	1.3	13.9	1.3	1.3	-			
インターンシップ参加	参加したことがある	171	30.4	33.9	11.7	4.1	2.9	-	12.3	1.8	1.8	1.2			
	参加したことがない	310	21.3	37.4	8.7	-	5.2	0.6	17.1	4.2	4.2	1.3			
日本で働きたい期間	1年くらい	5	40.0	20.0	20.0	-	-	-	-	-	20.0	-			
	3年くらい	81	21.0	33.3	9.9	1.2	8.6	2.5	14.8	1.2	6.2	1.2			
	5年くらい	90	15.6	27.8	18.9	3.3	3.3	-	18.9	6.7	3.3	2.2			
	10年以上	210	30.5	37.1	5.7	0.5	2.4	-	16.7	3.8	2.9	0.5			
	特に決めていない	95	22.1	45.3	9.5	2.1	6.3	-	10.5	1.1	1.1	2.1			

※全体と比較して ■ +5pt以上 ■ +10pt以上 ■ -5pt以下 ■ -10pt以下

● 企業を選ぶ際に重要視すること

日本での就職意向がある学生の企業を選ぶ際に重視することは、「自分が成長できる」が42.8%で最も高く、「留学生を積極的に採用している」(34.1%)、「専門知識・能力を活かせる」(33.1%)、「仕事にやりがいがある」(31.2%)が続く。企業の知名度・業績、業界の成長より、自分の成長や能力を活かせる企業、留学生の採用をしている企業を重要視している傾向がみられる。

●企業を選ぶ際に重要視すること (日本で働きたい学生/5つまで)



- 学部別では、理系学部は「専門知識・能力を活かせる」(46.3%)が最も高い。
- 日本語能力試験(JLPT)レベル別では、N2レベル相当はN1レベル相当に比べ「専門知識・能力を活かせる」(43.8%)が高い。
- 学校以外の活動別では、ボランティアを行っている学生は「自分が成長できる」が5割を超える。また、「事業内容がよい」(26.8%)が他の活動の学生に比べ高い。
- インターンシップ参加別では、参加したことがある学生は「専門知識・能力を活かせる」(28.1%)、「高い収入が望める」(21.1%)が低く、「仕事にやりがいがある」(36.8%)、「海外での事業展開を行っている」(33.9%)が高い。

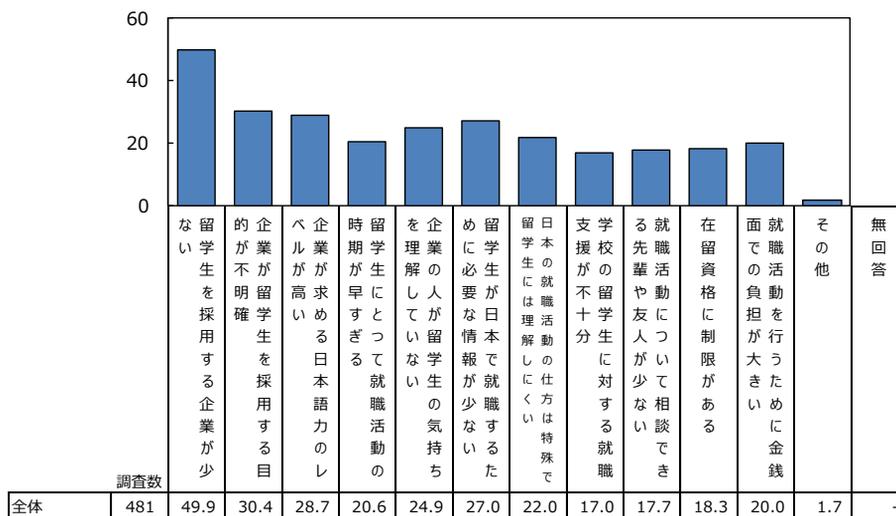
	調査数	33.1	20.2	31.2	16.2	9.8	9.4	9.4	8.1	28.3	26.0	23.9	20.4	14.1	42.8	10.4	13.9	5.6	2.3	4.8	7.9	34.1	11.4	28.1	15.8	0.4	-	
全体	481	33.1	20.2	31.2	16.2	9.8	9.4	9.4	8.1	28.3	26.0	23.9	20.4	14.1	42.8	10.4	13.9	5.6	2.3	4.8	7.9	34.1	11.4	28.1	15.8	0.4	-	
学部	文系学部	347	28.0	18.2	32.9	17.0	9.5	7.8	9.8	8.9	28.2	27.4	24.5	23.3	15.0	42.9	11.0	16.7	7.2	2.9	4.3	7.5	35.4	10.7	26.8	15.9	0.3	-
	理系学部	134	46.3	25.4	26.9	14.2	10.4	13.4	8.2	6.0	28.4	22.4	22.4	12.7	11.9	42.5	9.0	6.7	1.5	0.7	6.0	9.0	30.6	13.4	31.3	15.7	0.7	-
日本語能力試験(JLPT)のレベル	N1レベル相当	315	28.6	17.1	35.9	16.8	9.5	8.6	8.9	8.9	27.3	29.5	24.4	23.5	15.9	40.6	10.2	17.8	6.7	2.5	5.1	6.0	34.6	8.3	29.8	14.3	0.3	-
	N2レベル相当	121	43.8	23.1	22.3	16.5	9.9	9.9	9.1	8.3	31.4	18.2	24.0	17.4	9.1	45.5	9.1	5.8	4.1	2.5	5.0	9.1	34.7	17.4	24.8	18.2	0.8	-
	N3レベル相当	29	37.9	31.0	17.2	10.3	10.3	20.7	13.8	3.4	31.0	17.2	17.2	3.4	17.2	51.7	17.2	6.9	3.4	-	-	13.8	31.0	20.7	31.0	27.6	-	-
	N4レベル相当	4	25.0	75.0	50.0	25.0	25.0	-	-	-	-	-	25.0	25.0	25.0	50.0	-	-	-	-	-	25.0	50.0	25.0	25.0	-	-	-
	N5レベル相当	4	25.0	25.0	-	25.0	-	25.0	-	-	-	25.0	50.0	25.0	25.0	-	25.0	25.0	-	-	-	-	50.0	-	-	-	-	-
学校以外の活動	アルバイト・派遣の仕事を行っている	371	33.2	21.6	33.2	15.9	9.2	8.9	9.7	8.6	29.4	26.7	22.4	20.2	15.4	43.9	9.4	15.1	5.4	2.4	5.4	7.8	34.0	10.5	25.9	15.9	0.3	-
ボランティアを行っている	82	34.1	19.5	29.3	15.9	6.1	8.5	9.8	12.2	24.4	24.4	22.0	25.6	26.8	52.4	6.1	11.0	4.9	3.7	7.3	12.2	31.7	8.5	34.1	18.3	-	-	
その他	19	36.8	21.1	31.6	10.5	5.3	26.3	5.3	10.5	21.1	10.5	36.8	31.6	5.3	42.1	15.8	21.1	5.3	-	-	-	36.8	15.8	47.4	26.3	-	-	
インターンシップ参加	行っていない・参加していない	79	32.9	15.2	22.8	19.0	13.9	6.3	7.6	3.8	29.1	26.6	31.6	19.0	8.9	39.2	12.7	10.1	7.6	1.3	2.5	6.3	39.2	16.5	35.4	16.5	1.3	-
日本で働きたい期間	参加したことがある	171	28.1	17.5	36.8	19.3	11.1	8.8	9.9	10.5	21.1	25.1	21.6	22.8	14.6	42.1	10.5	10.5	6.4	2.3	5.8	8.2	31.6	8.8	33.9	14.6	-	
	参加したことがない	310	35.8	21.6	28.1	14.5	9.0	9.7	9.0	6.8	32.3	26.5	25.2	19.0	13.9	43.2	10.3	15.8	5.2	2.3	4.2	7.7	35.5	12.9	24.8	16.5	0.6	-
	1年くらい	5	60.0	-	20.0	40.0	20.0	20.0	-	20.0	20.0	-	20.0	-	20.0	40.0	20.0	20.0	-	-	-	-	20.0	20.0	-	40.0	-	-
	3年くらい	81	32.1	22.2	22.2	14.8	14.8	11.1	9.9	4.9	27.2	11.1	21.0	11.1	14.8	45.7	13.6	9.9	6.2	3.7	4.9	2.5	28.4	9.9	24.7	23.5	-	-
	5年くらい	90	40.0	16.7	37.8	12.2	6.7	10.0	5.6	5.6	24.4	21.1	20.0	20.0	15.6	47.8	11.1	11.1	6.7	1.1	6.7	10.0	25.6	16.7	32.2	17.8	-	
10年以上	210	35.7	21.9	31.0	18.2	6.5	7.6	11.4	10.4	32.9	31.9	26.2	21.0	14.3	43.3	9.0	18.1	2.9	1.4	3.8	9.0	37.6	8.6	24.3	13.3	1.0	-	
特に決めていない	95	20.0	18.9	33.7	14.7	8.4	10.5	8.4	8.4	23.2	31.6	25.3	26.3	10.5	35.8	9.5	11.6	10.5	4.2	5.3	7.4	40.0	14.7	34.7	13.7	-		

※全体と比較して +5pt以上 +10pt以上 -5pt以下 -10pt以下

● 日本での就職活動で不安な点・障害となる点

日本での就職意向がある学生の就職活動で不安な点・障害となる点は、「留学生を採用する企業が少ない」が49.9%で最も高い。次いで、「企業が留学生を採用する目的が不明確」（30.4%）、「企業が求める日本語力のレベルが高い」（28.7%）、「留学生が日本で就職するために必要な情報が少ない」（27.0%）が続く。

● 日本での就職活動で不安な点・障害となる点（日本で働きたい学生／複数回答）



- ・ 学部別では、理系学部は「企業の人々が留学生の気持ちを理解していない」（15.7%）が低い。
- ・ 日本語能力試験（JLPT）のレベル別では、N2レベル相当の学生は「企業が求める日本語力のレベルが高い」（34.7%）が高い。
- ・ 学校以外の活動別では、学外活動を行っていない・参加していない学生は「企業が求める日本語能力のレベルが高い」（39.2%）が高い。

	調査数	留学生を採用する企業が少ない	企業が留学生を採用する目的が不明確	企業が求める日本語力のレベルが高い	留学生にとつて就職活動の時期が早すぎる	企業の人々が留学生の気持ちを理解していない	留学生が日本で就職するために必要な情報が少ない	留学生には理解しにくい日本の就職活動の仕方は特殊で	学校の留学生に対する就職支援が不十分	就職活動について相談できる先輩や友人が少ない	在留資格に制限がある	就職活動を行うために金銭面の負担が大きい	その他	無回答
全体	481	49.9	30.4	28.7	20.6	24.9	27.0	22.0	17.0	17.7	18.3	20.0	1.7	-
学部														
文系学部	347	48.1	30.8	28.5	21.9	28.5	28.5	22.5	17.3	19.3	19.9	21.3	2.0	-
理系学部	134	54.5	29.1	29.1	17.2	15.7	23.1	20.9	16.4	13.4	14.2	16.4	0.7	-
日本語能力試験(JLPT)のレベル														
N1レベル相当	315	46.7	35.2	20.6	22.5	27.3	28.6	22.9	18.4	17.5	18.1	24.8	1.6	-
N2レベル相当	121	55.4	23.1	34.7	16.5	19.8	23.1	19.0	13.2	18.2	20.7	12.4	1.7	-
N3レベル相当	29	62.1	20.7	65.5	20.7	24.1	27.6	27.6	17.2	20.7	6.9	6.9	-	-
N4レベル相当	4	75.0	-	50.0	25.0	-	25.0	25.0	-	-	-	-	-	-
N5レベル相当	4	25.0	-	100.0	-	25.0	-	25.0	-	-	-	-	-	-
わからない	8	50.0	12.5	75.0	12.5	25.0	37.5	25.0	25.0	25.0	50.0	12.5	12.5	-
学校以外の活動														
アルバイト・派遣の仕事を行っている	371	47.7	30.5	26.4	19.9	23.7	27.8	21.6	16.7	17.3	18.1	20.8	1.6	-
ボランティアを行っている	82	48.8	31.7	15.9	22.0	24.4	32.9	30.5	22.0	20.7	17.1	25.6	1.2	-
その他	19	63.2	21.1	31.6	26.3	36.8	31.6	5.3	15.8	10.5	10.5	21.1	10.5	-
行っていない・参加していない	79	58.2	31.6	39.2	20.3	30.4	22.8	24.1	19.0	21.5	25.3	19.0	-	-
日本で働きたい期間														
1年くらい	5	20.0	40.0	20.0	40.0	-	20.0	60.0	-	-	-	20.0	-	-
3年くらい	81	46.9	30.9	32.1	25.9	34.6	22.2	21.0	12.3	14.8	12.3	16.0	1.2	-
5年くらい	90	37.8	23.3	34.4	16.7	21.1	24.4	21.1	16.7	17.8	12.2	14.4	1.1	-
10年以上	210	58.1	29.5	28.6	19.5	23.8	28.6	23.8	17.6	18.1	22.4	23.3	2.4	-
特に決めていない	95	47.4	37.9	21.1	21.1	24.2	30.5	17.9	21.1	20.0	21.1	21.1	1.1	-

*全体と比較して +5pt以上 +10pt以上 -5pt以下 -10pt以下

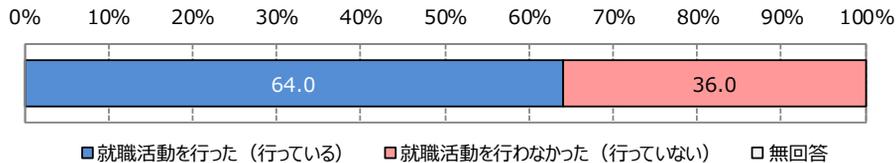
2-4. 就職活動の状況

● 日本での就職活動の実施の有無

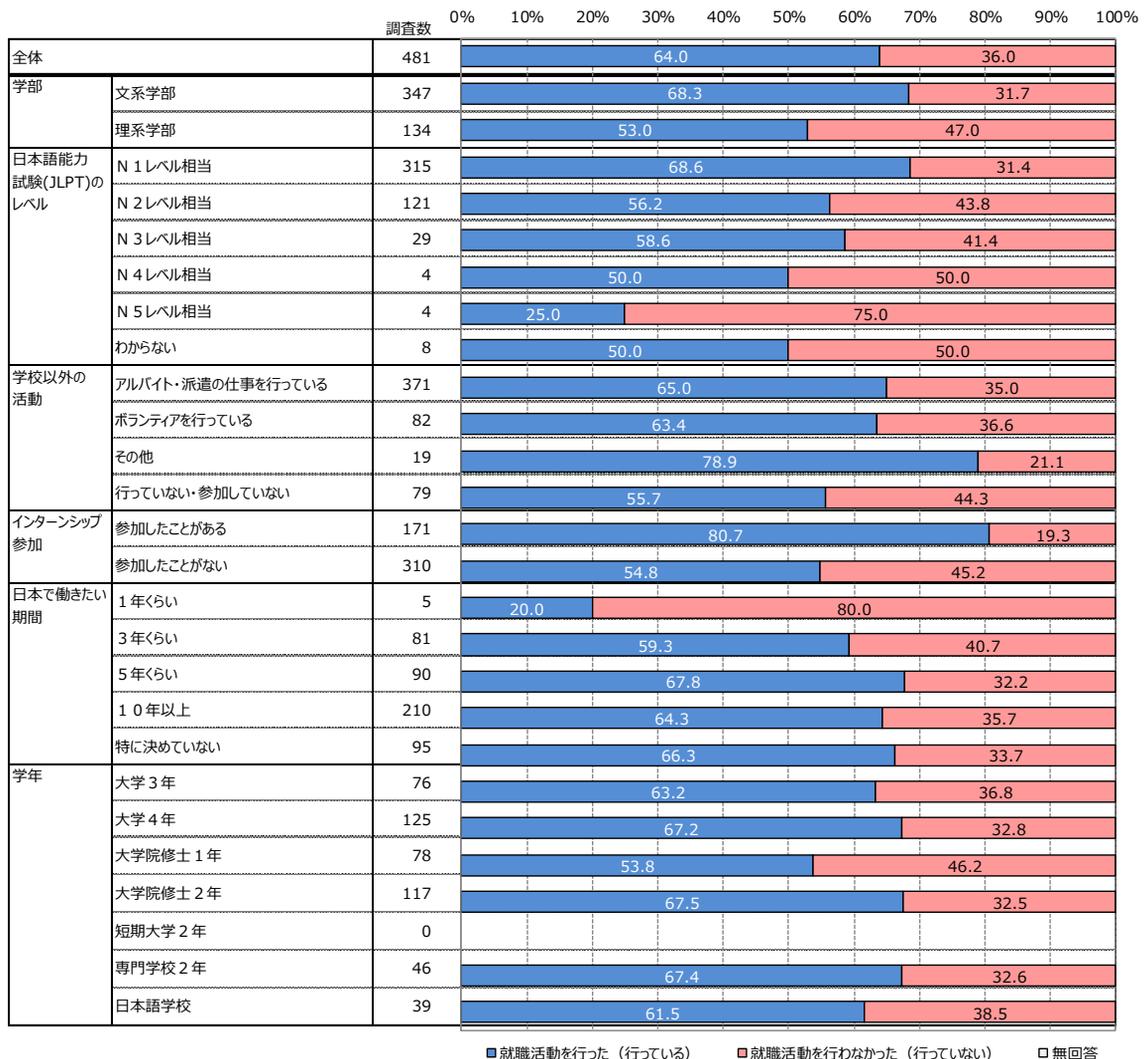
日本での就職意向がある学生のなかで、「就職活動を行った（行っている）」は64.0%であった。

● 日本での就職活動の実施の有無（日本で働きたい学生／単一回答）

(n=481)



- 学部別では、文系学部は理系学部に比べ「就職活動を行った（行っている）」（68.3%）が高い。
- 日本語能力試験（JLPT）のレベル別では、N1レベル相当の学生はN2レベル相当の学生に比べ「就職活動を行った（行っている）」（68.6%）が高い。
- インターンシップ参加別では、参加したことがある学生は「就職活動を行った（行っている）」（80.7%）が高い。
- 学年別では、大学4年・大学院修士2年・専門学校2年は「就職活動を行った（行っている）」が7割弱であった。



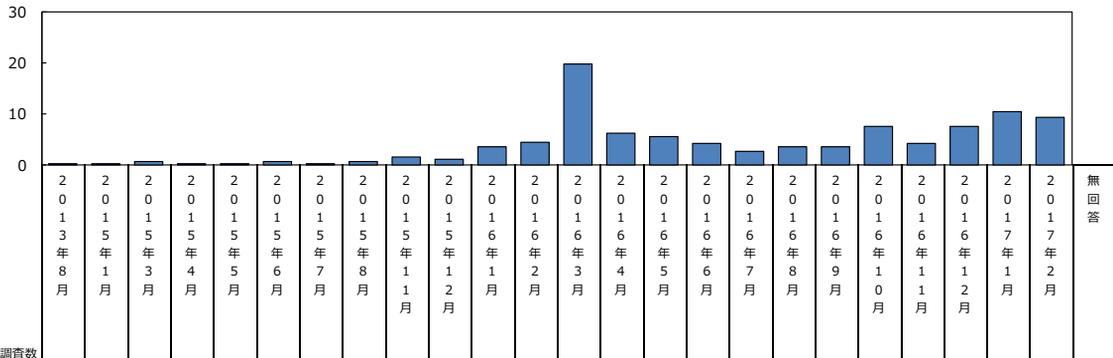
■ 就職活動を行った（行っている） □ 就職活動を行わなかった（行っていない） □ 無回答

● 日本で就職活動を始めた時期

日本での就職活動を行った（行っている）学生の始めた時期は、大学4年、大学院修士2年の学生は「2016年3月」に就職活動を開始した学生が最も高く、それぞれ34.5%、29.1%であった。専門学校2年の学生も「2016年3月」が最も高いものの大学4年、大学院修士2年に比べ割合が低く、就職活動の時期が遅い傾向がみられる。日本語学校の学生は2016年12月以降に開始している割合が高い。

- 大学4年、大学院修士2年を対象とした内定状況別では、内定している企業がある学生は「2016年3月」が39.8%と高い。内定している企業がない学生は内定している企業がある学生に比べ就職活動を始めた時期が遅い傾向がみられる。

● 日本で就職活動を始めた時期（就職活動を行った（行っている）学生／単一回答）



調査数	0.3	0.3	0.6	0.3	0.3	0.6	0.3	0.6	1.6	1.0	3.6	4.5	19.8	6.2	5.5	4.2	2.6	3.6	3.6	7.5	4.2	7.5	10.4	9.4	1.3	
全体	308	0.3	0.3	0.6	0.3	0.3	0.6	0.3	0.6	1.6	1.0	3.6	4.5	19.8	6.2	5.5	4.2	2.6	3.6	3.6	7.5	4.2	7.5	10.4	9.4	1.3
学年																										
大学3年	48	-	2.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.2	4.2	2.1	-	6.3	10.4	6.3	4.2	10.4	8.3	10.4	10.4	18.8	2.1
大学4年	84	-	-	-	1.2	1.2	-	-	2.4	2.4	1.2	7.1	8.3	34.5	4.8	9.5	3.6	-	2.4	2.4	6.0	2.4	4.8	2.4	3.6	-
大学院修士1年	42	-	-	-	-	-	-	2.4	2.4	-	-	2.4	2.4	4.8	-	4.8	4.8	-	4.8	-	7.1	7.1	14.3	26.2	14.3	-
大学院修士2年	79	1.3	-	2.5	-	-	1.3	-	-	3.8	1.3	5.1	3.8	29.1	10.1	7.6	2.5	1.3	-	2.5	5.1	2.5	2.5	8.9	5.1	3.8
短期大学2年	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
専門学校2年	31	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.2	16.1	12.9	3.2	-	6.5	9.7	6.5	12.9	3.2	6.5	9.7	9.7	-
日本語学校	24	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8.3	-	12.5	-	4.2	12.5	8.3	4.2	16.7	16.7	16.7	-
学年××	103	-	-	1.9	-	1.0	1.0	-	1.9	4.9	1.0	8.7	6.8	39.8	10.7	5.8	1.0	1.0	1.9	1.0	6.8	1.9	1.0	-	1.0	1.0
内定状況	60	1.7	-	-	1.7	-	-	-	-	-	1.7	1.7	5.0	18.3	1.7	13.3	6.7	-	-	5.0	3.3	3.3	8.3	15.0	10.0	3.3

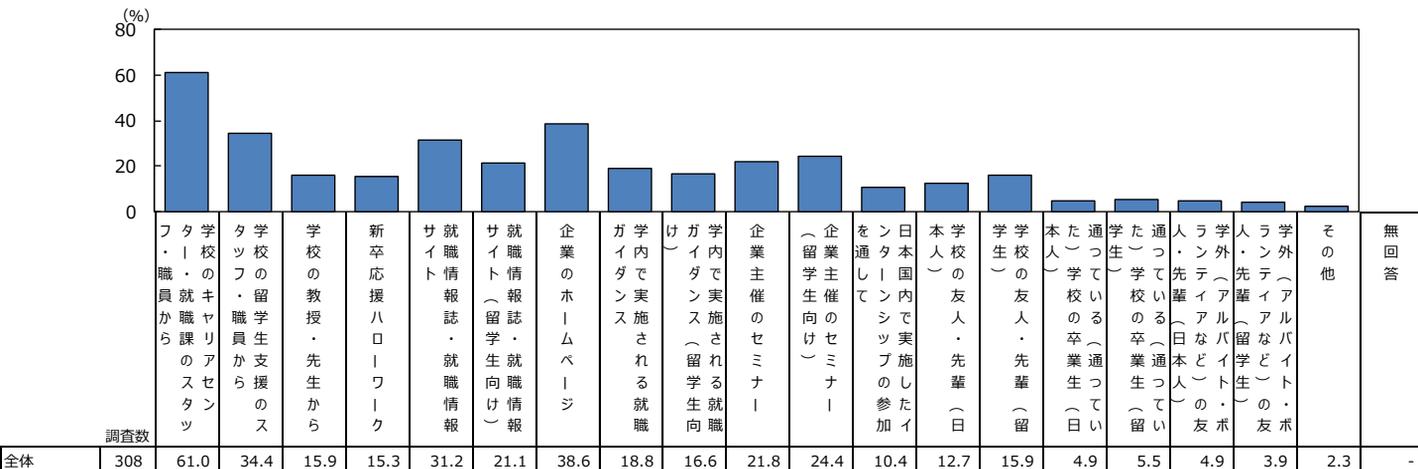
※学年は「大学4年」「大学院修士2年」を対象

※全体と比較して +5pt以上 +10pt以上 -5pt以下 -10pt以下

● 就職活動や企業の情報の収集方法

日本での就職活動を行った（行っている）学生の就職活動や企業の情報の収集方法は、「学校のキャリアセンター・就職課のスタッフ・職員から」が61.0%で最も高い。次いで、「企業のホームページ」（38.6%）、「学校の留学生支援のスタッフ・職員から」（34.4%）、「就職情報誌・就職情報サイト」（31.2%）が続く。学校が留学生にとって就職活動や企業情報の重要な情報源となっている。

●就職活動や企業の情報の収集方法（就職活動を行った（行っている）人／複数回答）



- 学部別では、理系学部は「学校のキャリアセンター・就職課のスタッフ・職員から」（70.4%）が高い。また、文系学部には「学校の教授・先生から」（22.5%）、「学校の友人・先輩（日本人）」（21.1%）が高い。
- 日本語能力試験（JLPT）のレベル別では、N2レベル相当の学生は「学校友人・先輩（留学生）」が「学校のキャリアセンター・就職課のスタッフ・職員から」「企業のホームページ」に次いで高い。
- 学校以外の活動別では、ボランティアの活動を行っている学生は「学校の留学生支援のスタッフ・職員から」（46.2%）が高い。学外活動を行っていない・参加していない学生は「企業のホームページ」（52.3%）が高い。
- 日本で働きたい期間別では、3年くらいの学生は全般的に情報収集の実施の割合が低く、特に「学校のキャリアセンター・就職課のスタッフ・職員から」は他の学生に比べ低い。
- 大学4年、大学院修士2年を対象とした内定状況別では、内定している企業がない学生は内定している企業がある学生に比べ「新卒ハローワーク」が高く、「企業主催のセミナー」（留学生向けともに）が低い。

調査数	フ・職員から	学校のキャリアセンター	学校の留学生支援のスタッフ・職員から	学校の教授・先生から	新卒応援ハローワーク	就職情報誌・就職情報サイト（留学生向け）	就職情報誌・就職情報サイト（留学生向け）	企業のホームページ	学内で実施される就職ガイダンス	学内で実施される就職ガイダンス（留学生向け）	企業主催のセミナー（留学生向け）	企業主催のセミナー（留学生向け）	（留学生向け）	日本国内で実施したイベント・参加	本人）	学校の友人・先輩（日本人）	学校の友人・先輩（留学生）	通っている（通っている）卒業生（日本人）	通っている（通っている）卒業生（留学生）	ランティアなどの友人・先輩（日本人）	ランティアなどの友人・先輩（留学生）	その他	無回答
全体	308	61.0	34.4	15.9	15.3	31.2	21.1	38.6	18.8	16.6	21.8	24.4	10.4	12.7	15.9	4.9	5.5	4.9	3.9	2.3	-		
学部																							
文系学部	237	58.2	35.9	13.9	17.3	30.4	22.8	38.8	20.7	16.5	24.9	26.6	12.2	10.1	14.8	4.2	5.5	6.3	4.6	1.7	-		
理系学部	71	70.4	29.6	22.5	8.5	33.8	15.5	38.0	12.7	16.9	11.3	16.9	4.2	21.1	19.7	7.0	5.6	-	1.4	4.2	-		
日本語能力試験（JLPT）のレベル																							
N1レベル相当	216	59.3	37.0	13.4	15.3	32.9	22.7	40.7	21.8	18.5	24.1	26.4	13.9	11.6	12.5	4.6	4.6	5.6	4.2	2.8	-		
N2レベル相当	68	60.3	25.0	17.6	10.3	23.5	17.6	35.3	11.8	13.2	20.6	19.1	2.9	11.8	27.9	4.4	5.9	2.9	4.4	1.5	-		
N3レベル相当	17	70.6	29.4	17.6	23.5	35.3	17.6	35.3	5.9	-	5.9	23.5	-	23.5	11.8	5.9	11.8	-	-	-	-		
N4レベル相当	2	100.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	-	50.0	-	-	-	-	50.0	-	-	50.0	50.0	-	-	-		
N5レベル相当	1	100.0	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
わからない	4	100.0	50.0	100.0	50.0	50.0	-	25.0	25.0	50.0	-	-	-	25.0	25.0	25.0	-	-	-	-	-		
学校以外の活動																							
アルバイト・派遣の仕事をやっている	241	63.1	36.1	14.5	15.4	29.0	21.2	35.3	18.3	16.6	20.7	22.4	10.8	10.4	14.9	5.4	5.8	5.0	4.6	2.1	-		
ボランティアを行っている	52	61.5	46.2	15.4	15.4	25.0	15.4	36.5	15.4	23.1	11.5	32.7	7.7	19.2	19.2	5.8	1.9	5.8	9.6	1.9	-		
その他	15	60.0	26.7	40.0	20.0	60.0	26.7	46.7	60.0	33.3	26.7	26.7	6.7	26.7	33.3	6.7	6.7	20.0	-	6.7	-		
行っていない・参加していない	44	54.5	22.7	18.2	13.6	36.4	25.0	52.3	15.9	13.6	29.5	31.8	11.4	15.9	15.9	2.3	4.5	2.3	-	2.3	-		
インターンシップ参加																							
参加したことがある	138	63.8	36.2	18.1	8.0	35.5	21.0	42.8	26.8	18.1	25.4	28.3	23.2	13.8	14.5	5.1	5.8	2.9	3.6	2.9	-		
参加したことがない	170	58.8	32.9	14.1	21.2	27.6	21.2	35.3	12.4	15.3	18.8	21.2	-	11.8	17.1	4.7	5.3	6.5	4.1	1.8	-		
日本で働きたい期間																							
1年くらい	1	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
3年くらい	48	47.9	31.3	12.5	8.3	31.3	12.5	27.1	12.5	6.3	18.8	18.8	6.3	10.4	18.8	2.1	4.2	2.1	2.1	-	-		
5年くらい	61	63.9	21.3	13.1	9.8	34.4	24.6	45.9	18.0	16.4	29.5	21.3	4.9	18.0	13.1	9.8	6.6	6.6	3.3	3.3	-		
10年以上	135	66.7	39.3	19.3	20.7	33.3	22.2	40.0	21.5	23.7	17.8	25.9	14.8	14.1	17.0	5.2	5.2	5.9	5.2	1.5	-		
特に決めていない	63	57.1	38.1	14.3	14.3	23.8	22.2	38.1	19.0	9.5	25.4	28.6	9.5	6.3	14.3	1.6	6.3	3.2	3.2	4.8	-		
学年×内定状況																							
内定している企業がある	103	54.4	38.8	15.5	13.6	30.1	20.4	35.9	18.4	12.6	28.2	27.2	8.7	16.5	12.6	5.8	5.8	6.8	2.9	1.9	-		
内定している企業はない	60	56.7	36.7	15.0	26.7	30.0	18.3	36.7	15.0	11.7	10.0	13.3	11.7	8.3	21.7	8.3	8.3	3.3	3.3	5.0	-		

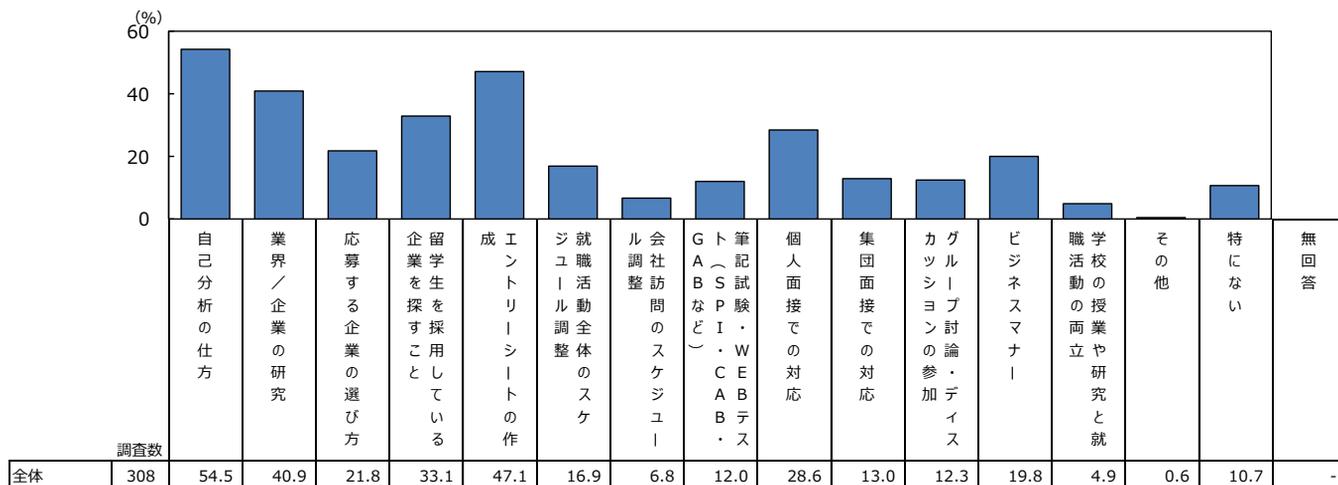
※学年は「大学4年」と「大学院修士2年」を対象

※全体と比較して +5pt以上 +10pt以上 -5pt以下 -10pt以下

● 学校で受けた就職支援

日本での就職活動を行った（行っている）学生の学校で受けた就職支援は、「自己分析の仕方」が54.5%で最も高く、「エントリーシートの作成」（47.1%）、「業界/企業研究」（40.9%）が続く。就職活動に入る前の準備段階のテーマが高くなっている。

● 学校で受けた就職支援（就職活動を行った（行っている）学生/複数回答）



- 学部別では、理系学部は文系学部に比べ「自己分析の仕方」「業界/企業の研究」「個人面接での対応」が10ポイント以上高い。
- 日本語能力試験（JLPT）のレベル別では、N2レベル相当の学生は「業界/企業の研究」が22.1%と低く、「個人面接での対応」が「自己分析の仕方」「エントリーシートの作成」に次いで高い。
- 学校以外の活動別では、学外活動を行っていない・参加していない学生は学校の就職支援を受けている割合が高い傾向がみられる。
- インターンシップ参加別では、参加したことがある学生は参加していない学生に比べ、学校で受けた支援の割合が高い傾向がみられる。
- 日本で働きたい期間別では、期間が決まっている学生のなかで3年くらいの学生は、全体で高かった「自己分析の仕方」「業界/企業の研究」「エントリーシートの作成」が低い。特に決めていない学生は「ビジネスマナー」が低い。
- 大学4年、大学院修士2年を対象とした内定状況別では、内定している企業がある学生は内定していない企業がない学生に比べ「自己分析の仕方」「エントリーシートの作成」が高い。内定している企業がない学生は「特にない」が21.7%で高い。

調査数	自己分析の仕方	業界/企業の研究	応募する企業の選び方	留学生を採用している企業を探している	エントリーシートの作成	就職活動全体のスケジュール調整	会社訪問のスケジュール調整	GABなど	筆記試験・WCEABテスト	個人面接での対応	集団面接での対応	グループ討論・ディスカッションの参加	ビジネスマナー	学校の授業や研究と就職活動の両立	その他	特にない	無回答		
全体	308	54.5	40.9	21.8	33.1	47.1	16.9	6.8	12.0	28.6	13.0	12.3	19.8	4.9	0.6	10.7	-		
学部	文系学部	237	49.8	38.4	22.4	33.3	45.1	16.5	5.5	10.1	26.2	12.7	12.7	19.0	4.6	0.8	12.7	-	
	理系学部	71	70.4	49.3	19.7	32.4	53.5	18.3	11.3	18.3	36.6	14.1	11.3	22.5	5.6	-	4.2	-	
日本語能力試験(JLPT)のレベル	N 1レベル相当	216	53.2	49.1	19.4	31.5	49.1	18.1	6.0	10.6	23.6	13.0	13.9	17.1	3.2	0.9	11.1	-	
	N 2レベル相当	68	55.9	22.1	29.4	39.7	42.6	14.7	10.3	13.2	39.7	14.7	8.8	26.5	5.9	-	10.3	-	
	N 3レベル相当	17	58.8	17.6	17.6	23.5	41.2	17.6	5.9	23.5	41.2	5.9	5.9	23.5	23.5	-	5.9	-	
	N 4レベル相当	2	100.0	50.0	50.0	50.0	50.0	-	-	50.0	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-
	N 5レベル相当	1	-	-	-	100.0	100.0	-	-	-	-	100.0	100.0	100.0	100.0	-	-	-	-
学校以外の活動	アルバイト・派遣の仕事を行っている	241	53.5	39.4	18.7	32.8	44.8	16.6	6.6	12.4	28.6	15.4	12.0	19.5	5.0	0.4	10.4	-	
	ボランティアを行っている	52	53.8	36.5	19.2	34.6	44.2	19.2	3.8	7.7	26.9	11.5	9.6	17.3	5.8	3.8	5.8	-	
	その他	15	66.7	40.0	26.7	20.0	46.7	33.3	6.7	13.3	26.7	-	-	13.3	-	-	26.7	-	
インターンシップ	参加したことがある	138	60.9	55.1	23.9	30.4	52.2	19.6	7.2	13.8	27.5	14.5	15.9	17.4	2.2	0.7	7.2	-	
	参加したことがない	170	49.4	29.4	20.0	35.3	42.9	14.7	6.5	10.6	29.4	11.8	9.4	21.8	7.1	0.6	13.5	-	
日本で働きたい期間	1年くらい	1	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	3年くらい	48	47.9	29.2	27.1	29.2	27.1	18.8	2.1	4.2	27.1	12.5	4.2	18.8	-	2.1	16.7	-	
	5年くらい	61	59.0	47.5	19.7	31.1	52.5	14.8	9.8	18.0	36.1	13.1	11.5	24.6	8.2	-	8.2	-	
	10年以上	135	58.5	43.7	18.5	35.6	50.4	18.5	5.9	14.1	27.4	14.1	17.0	23.7	6.7	-	6.7	-	
特に決めていない	63	47.6	38.1	27.0	33.3	50.8	12.7	9.5	7.9	25.4	11.1	9.5	7.9	1.6	1.6	17.5	-		
学年×内定状況	内定している企業がある	103	52.4	38.8	19.4	32.0	53.4	12.6	5.8	12.6	30.1	12.6	12.6	20.4	4.9	-	8.7	-	
	内定している企業はない	60	41.7	36.7	25.0	25.0	41.7	16.7	5.0	26.7	13.3	15.0	11.7	-	-	21.7	-		

※学年は「大学4年」と「大学院修士2年」を対象 ※全体と比較して +5pt以上 +10pt以上 -5pt以下 -10pt以下

● 学校で受けた就職支援の満足度

学校で就職支援を受けた学生の満足度は、「満足している」が20.4%で、「やや満足している」(41.1%)を含めた『満足・計』は61.5%であった。『不満・計』は12.4%と低いものの、「どちらともいえない」が26.2%を占めている。

● 学校で受けた就職支援の満足度 (学校で就職支援を受けた学生/単一回答)

		満足・計			不満・計				
		満足している	やや満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	無回答	満足・計	不満・計
凡例		[Blue]			[White]	[Red]		[Grey]	
全体	275	20.4	41.1	26.2	9.5	2.9		61.5	12.4

- 学部別では、「満足している」は文系学部のほうが高いものの、『満足・計』は理系学部が高い。
- 日本語能力試験 (JLPT) のレベル別では、N2レベル相当の学生はN1レベル相当の学生に比べ、『満足・計』が10ポイント高い。
- 学校以外の活動別では、学外活動を行っていない・参加していない学生は『満足・計』が高く、ボランティアを行っている学生と比べ15ポイントの差がみられた。
- インターンシップ参加別では、参加したことがある学生は『満足・計』が68.0%と、参加したことがない学生に比べ12ポイント高い。参加したことがある学生は学校での就職支援を受けた割合が高く、満足度も高い。

		満足・計			不満・計				
		満足している	やや満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	無回答	満足・計	不満・計
凡例		[Blue]			[White]	[Red]		[Grey]	
全体	275	20.4	41.1	26.2	9.5	2.9		61.5	12.4
学部	文系学部	22.2	37.7	26.6	10.6	2.9		59.9	13.5
	理系学部	14.7	51.5	25.0	5.9	2.9		66.2	8.8
日本語能力試験(JLPT)のレベル	N1レベル相当	22.4	36.5	28.1	10.4	2.6		58.9	13.0
	N2レベル相当	13.1	55.7	21.3	6.6	3.3		68.9	9.8
	N3レベル相当	18.8	43.8	25.0	12.5			62.5	12.5
	N4レベル相当	50.0	50.0					100.0	-
	N5レベル相当	100.0						100.0	-
	わからない	33.3	33.3	33.3				33.3	33.3
学校以外の活動	アルバイト・派遣の仕事を行っている	19.9	42.1	25.5	9.3	3.2		62.0	12.5
	ボランティアを行っている	14.3	36.7	30.6	14.3	4.1		51.0	18.4
	その他	36.4	18.2	36.4	9.1			54.5	9.1
	行っていない・参加していない	20.5	46.2	23.1	7.7	2.6		66.7	10.3
インターンシップ参加	参加したことがある	21.1	46.9	23.4	7.8	0.3		68.0	8.6
	参加したことがない	19.7	36.1	28.6	10.9	4.8		55.8	15.6
日本で働きたい期間	1年くらい	100.0						100.0	-
	3年くらい	15.0	45.0	35.0	5.0			60.0	5.0
	5年くらい	25.0	41.1	21.4	8.9	3.6		66.1	12.5
	10年以上	20.6	39.7	27.0	8.7	4.0		60.3	12.7
	特に決めていない	19.2	40.4	23.1	15.4	1.9		59.6	17.3

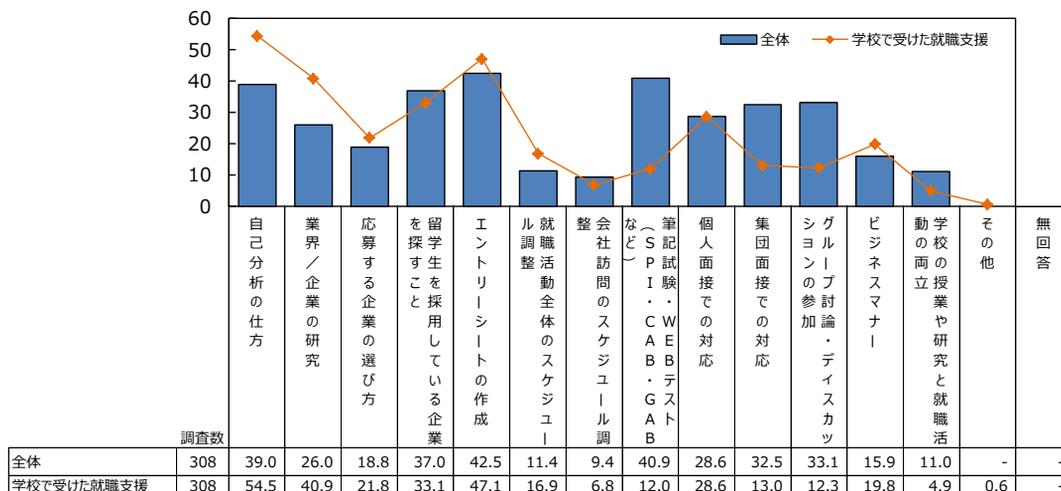
※全体と比較して +5pt以上 +10pt以上 -5pt以下 -10pt以下

● 日本での就職活動で大変な点

日本での就職活動を行った（行っている）学生の就職活動で大変だった点は、「エントリーシートの作成」が42.5%で最も高く、「筆記試験・WEBテスト」（40.9%）、「自己分析の仕方」（39.0%）、「留学生を採用している企業を探すこと」（37.0%）が続く。

日本での就職活動で大変な点と学校で受けた就職支援と比較すると、「筆記試験・WEBテスト」「集団面接での対応」「グループ討論・ディスカッションの参加」は、学生が大変な点と回答した割合が高かったが、学校で支援を受けた割合は低い。

● 日本での就職活動で大変な点（就職活動を行った（行っている）人/複数回答）



- 学部別では、理系学部は「応募する企業の選び方」（9.9%）が低く、「ビジネスマナー」が文系学部に比べ10ポイント高い。
- 日本語能力試験（JLPT）のレベル別では、N2レベル相当の学生はN1レベル相当の学生に比べ「グループ討論・ディスカッションの参加」「留学生を採用している企業を探すこと」が低く、「個人面接での対応」「ビジネスマナー」が高い。
- 学校以外の活動別では、学外活動を行っていない・参加していない学生は「グループ討論・ディスカッションの参加」（50.0%）が最も高い。
- 日本で働きたい期間別では、10年以上、特に決めていない学生は「留学生を採用している企業を探すこと」が高い。

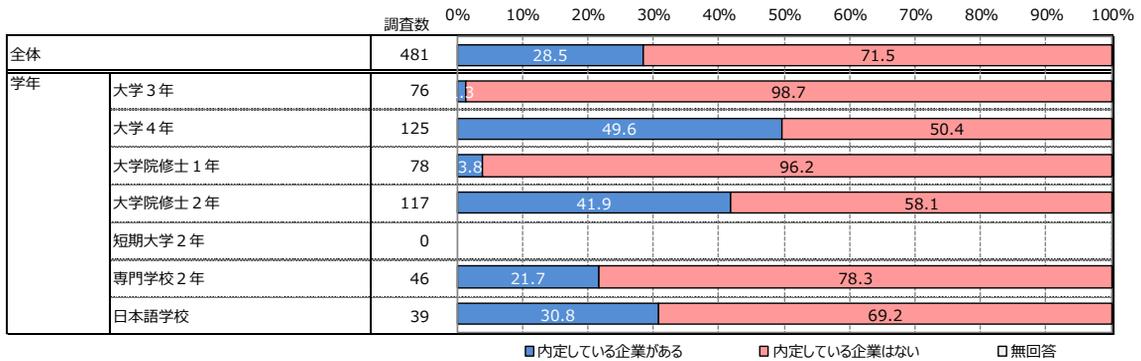
調査数	自己分析の仕方	業界／企業の研究	応募する企業の選び方	留学生を採用している企業を探すこと	エントリーシートの作成	就職活動全体のスケジュール調整	会社訪問のスケジュール調整	筆記試験・WEBテスト（SPI・CAB・GABなど）	個人面接での対応	集団面接での対応	グループ討論・ディスカッションの参加	ビジネスマナー	学校の授業や研究と就職活動の両立	その他	無回答	
全体	308	39.0	26.0	18.8	37.0	42.5	11.4	9.4	40.9	28.6	32.5	33.1	15.9	11.0	-	-
学部																
文系学部	237	37.6	27.0	21.5	38.4	41.4	12.7	8.4	40.5	28.3	33.8	33.8	13.5	12.2	-	-
理系学部	71	43.7	22.5	9.9	32.4	46.5	7.0	12.7	42.3	29.6	28.2	31.0	23.9	7.0	-	-
日本語能力試験(JLPT)のレベル																
N1レベル相当	216	38.4	27.3	19.4	39.8	43.5	9.7	9.3	42.6	25.9	35.2	38.0	11.6	12.0	-	-
N2レベル相当	68	38.2	23.5	19.1	29.4	39.7	8.8	8.8	36.8	33.8	29.4	27.9	22.1	7.4	-	-
N3レベル相当	17	58.8	17.6	5.9	41.2	47.1	35.3	-	47.1	41.2	11.8	5.9	29.4	11.8	-	-
N4レベル相当	2	50.0	-	-	-	-	-	-	50.0	50.0	-	50.0	-	-	-	-
N5レベル相当	1	-	100.0	100.0	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-
わからない	4	-	25.0	25.0	25.0	50.0	50.0	50.0	25.0	25.0	-	75.0	25.0	-	-	
学校以外の活動																
アルバイト・派遣の仕事を行っている	241	39.8	28.2	19.1	36.5	41.1	11.2	8.3	39.8	30.3	32.4	31.1	15.4	10.4	-	-
ボランティアを行っている	52	36.5	19.2	15.4	36.5	50.0	15.4	17.3	44.2	23.1	34.6	26.9	17.3	11.5	-	-
その他	15	20.0	13.3	33.3	66.7	60.0	13.3	13.3	46.7	13.3	26.7	13.3	20.0	13.3	-	-
行っていない・参加していない	44	43.2	20.5	18.2	40.9	45.5	9.1	11.4	43.2	31.8	40.9	50.0	18.2	11.4	-	-
インターンシップ参加																
参加したことがある	138	37.7	26.8	19.6	37.0	45.7	9.4	10.1	42.8	26.8	33.3	37.7	16.7	13.0	-	-
参加したことがない	170	40.0	25.3	18.2	37.1	40.0	12.9	8.8	39.4	30.0	31.8	29.4	15.3	9.4	-	-
日本で働きたい期間																
1年くらい	1	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-
3年くらい	48	37.5	22.9	10.4	27.1	39.6	10.4	8.3	31.3	31.3	27.1	14.6	14.6	6.3	-	-
5年くらい	61	41.0	31.1	21.3	27.9	42.6	8.2	13.1	42.6	31.1	32.8	27.9	11.5	11.5	-	-
10年以上	135	40.7	25.2	19.3	42.2	41.5	11.1	8.1	44.4	28.1	37.0	40.0	17.8	11.1	-	-
特に決めていない	63	34.9	25.4	22.2	42.9	47.6	15.9	7.9	39.7	25.4	27.0	38.1	17.5	14.3	-	-

※全体と比較して +5pt以上 +10pt以上 -5pt以下 -10pt以下

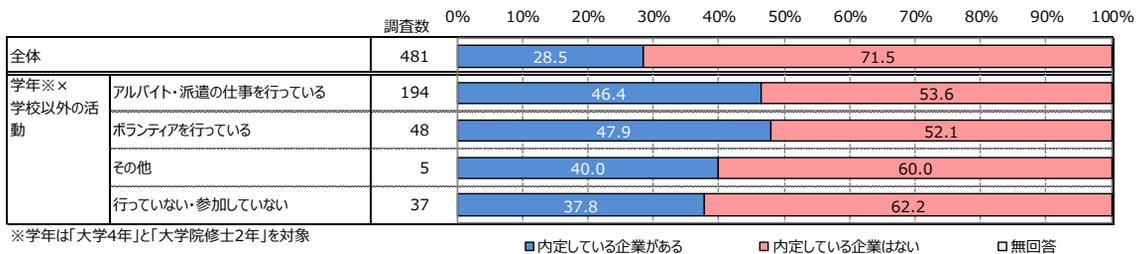
● 内定状況

日本での就職意向がある学生の内定状況は、「内定している企業がある」は大学4年が49.6%で最も高い。次いで、大学院修士2年が41.9%で続く。日本語学校は30.8%、専門学校2年は21.7%であった。大学・大学院と比べ内定状況に差がみられた。

● 内定状況（日本で働きたい学生／単一回答）

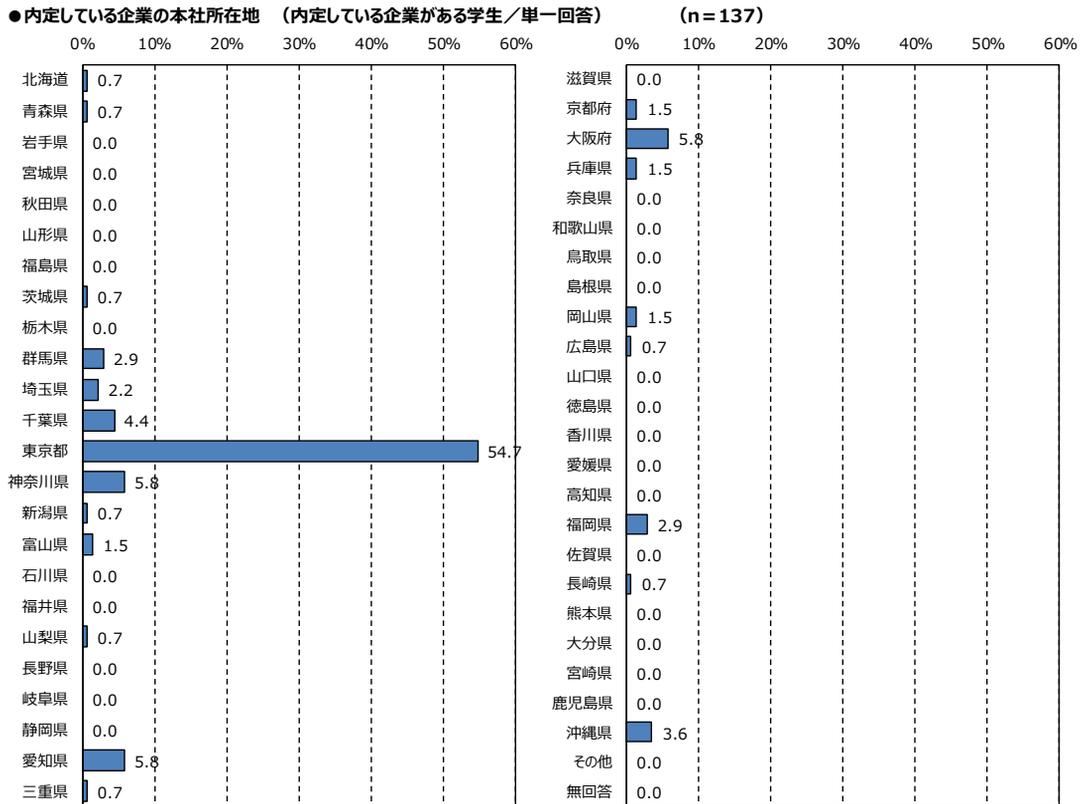


- 大学4年、大学院修士2年を対象とした学校以外の活動別では、アルバイト・派遣の仕事、ボランティアを行っている学生は行っていない・参加していない学生に比べ、「内定している企業がある」が高い。



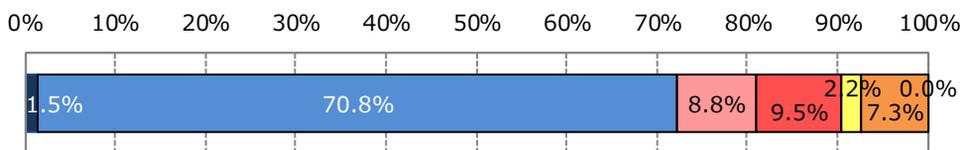
● 内定している企業の本社所在地

内定している企業がある学生の内定先企業の本社所在地は、「東京都」が54.7%で突出して高い。「神奈川県」「愛知県」「大阪府」が5.8%、「千葉県」が4.4%であった。地域別では『関東地方』が70.8%を占める。



● 内定している企業の本社所在地 (地域別) (内定している企業がある学生/単一回答)

(n=137)

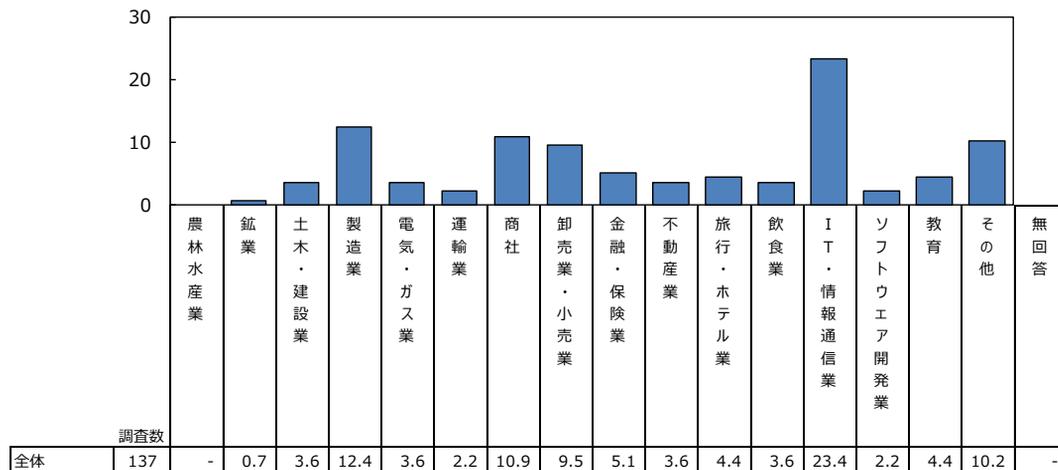


■ 北海道・東北地方 ■ 関東地方 ■ 中部地方 ■ 近畿地方 ■ 中国・四国地方 ■ 九州・沖縄地方 □ 無回答

● 内定している企業の業種

内定している企業がある学生の内定先企業の業種は、「IT・情報通信業」が23.4%で最も高い。次いで、「製造業」(12.4%)、「商社」(10.9%)、「卸売業・小売業」(9.5%)が続く。

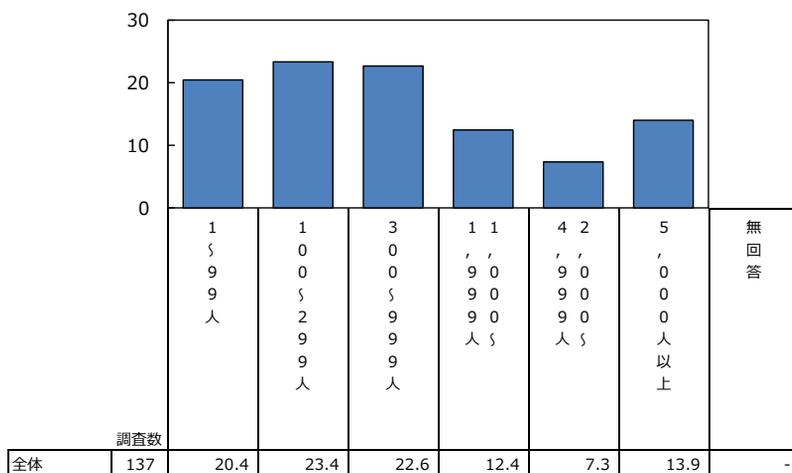
●内定している企業の業種 (内定している企業がある学生/単一回答)



● 内定している企業の従業員規模

内定している企業がある学生の内定先企業の従業員規模は、「100~299人」が23.4%で最も高く、「300~999人」(22.6%)、「1~99人」(20.4%)が続く。1,000人未満の企業が66.4%であった。

●内定している企業の従業員規模 (内定している企業がある学生/単一回答)



2-5. 日本語・文化の習得状況

● 各項目の習得度

『日本語の日常会話』『ビジネス日本語』『日本の企業文化』『ビジネスマナー』の習得度は、「習得できている」は『日本語の日常会話』が66.0%で最も高い。『ビジネス日本語』『日本の企業文化』『ビジネスマナー』は2割以下であった。

「ある程度習得できている」を含めた『習得できている・計』でも『日本語の日常会話』が95.1%で最も高い。次いで、『ビジネス日本語』が68.8%、『日本の企業文化』が64.3%、『ビジネスマナー』が60.2%であった。

●各項目の習得度（全体／単一回答）

	凡例	習得できている・計		習得できていない・計		無回答	習得できている・計	習得できていない・計
		習得できている	ある程度習得できている	あまり習得できていない	習得できていない			
日本語の日常会話	638	66.0	29.2	4.1	0.8	95.1	4.9	
ビジネス日本語	638	18.5	50.3	24.8	6.4	68.8	31.2	
日本の企業文化	638	17.7	46.6	28.1	7.7	64.3	35.7	
ビジネスマナー	638	14.7	45.5	30.7	9.1	60.2	39.8	

※全体と比較して ■ +5pt以上 ■ +10pt以上 ■ -5pt以下 ■ -10pt以下

● 日本語の日常会話の習得度

日本語の日常会話の習得度は、「習得できている」は66.0%、「ある程度習得できている」を含めた『習得できている・計』は95.1%と高い習得度であった。

●各項目の習得度/日本語の日常会話 (全体/単一回答)

		習得できている・計		習得できていない・計		無回答	習得できている・計	習得できていない・計
		習得できている	ある程度習得できている	あまり習得できていない	習得できていない			
凡例								
全体	638	66.0		29.2		4.1	95.1	4.9

- ・ 学部別では、文系学部は理系学部に比べ「習得できている」が高い。
- ・ 日本語能力試験 (JLPT) のレベル別では、「習得できている」がN1レベル相当は77.7%、N2レベル相当は49.7%で大きな差がみられた。
- ・ 学校以外の活動別では、アルバイト・派遣の仕事、ボランティアを行っている学生は行っていない・参加していない学生に比べ「習得できている」が10ポイント以上高い。
- ・ インターンシップ参加別では、参加している学生は「習得できている」(75.0%)が高い。
- ・ 大学4年、大学院修士2年を対象とした内定状況別では、内定している企業がある学生は内定していない学生に比べ「習得できている」がやや高い。

		習得できている・計		習得できていない・計		無回答	習得できている・計	習得できていない・計	
		習得できている	ある程度習得できている	あまり習得できていない	習得できていない				
凡例									
全体	638	66.0		29.2		4.1	95.1	4.9	
学部	文系学部	456	68.9		27.0		3.3	95.8	4.2
	理系学部	182	58.8		34.6		6.0	93.4	6.6
日本語能力試験(JLPT)のレベル	N1レベル相当	404	77.7		19.3		2.3	97.0	3.0
	N2レベル相当	163	49.7		47.2		3.1	96.9	3.1
	N3レベル相当	38	47.4		44.7		7.9	92.1	7.9
	N4レベル相当	10	30.0		50.0		20.0	80.0	20.0
	N5レベル相当	6	33.3		50.0		16.7	83.3	16.7
	わからない	17	17.6	35.3	29.4	17.6	52.9	47.1	
学校以外の活動	アルバイト・派遣の仕事を行っている	476	68.5		27.9		2.9	96.4	3.6
	ボランティアを行っている	100	70.0		25.0		4.0	95.0	5.0
	その他	22	90.9		9.1			100.0	-
	行っていない・参加していない	124	54.8		35.5		8.1	90.3	9.7
インターンシップ参加	参加したことがある	200	75.0		24.0		1.0	99.0	1.0
	参加したことがない	438	61.9		31.5		5.5	93.4	6.6
学年※ ×内定状況	内定している企業がある	111	73.9		20.7		4.5	94.6	5.4
	内定している企業はない	131	66.4		29.8		3.1	96.2	3.8

※学年は「大学4年」と「大学院修士2年」を対象

※全体と比較して ■ +5pt以上 ■ +10pt以上 ■ -5pt以下 ■ -10pt以下

● ビジネス日本語の習得度

ビジネス日本語の習得度は、「習得できている」は18.5%、「ある程度習得できている」を含めた『習得できている・計』は68.8%であった。「習得できていない」は6.4%と低いものの、「あまり習得できていない」が24.8%であった。

●各項目の習得度/ビジネス日本語（全体/単一回答）

		習得できている・計		習得できていない・計		無回答	習得できている・計	習得できていない・計
		習得できている	ある程度習得できている	あまり習得できていない	習得できていない			
凡例								
全体	638	18.5	50.3	24.8	6.4		68.8	31.2

- ・ 学部別では、理系学部は『習得できている・計』（63.2%）がやや低い。
- ・ 日本語能力試験（JLPT）のレベル別では、『習得できている・計』がN1レベル相当は80.0%、N2レベル相当は56.4%と大きな差がみられた。
- ・ 学校以外の活動別では、アルバイト・派遣の仕事、ボランティアを行っている学生は行っていない・参加していない学生に比べ『習得できている・計』が10ポイント以上高い。
- ・ インターンシップ参加別では、参加したことがある学生は『習得できている・計』が82.5%、参加していない学生は62.6%と大きな差がみられた。
- ・ 大学4年、大学院修士2年を対象とした内定状況別では、内定している企業がある学生は内定している企業がない学生に比べ『習得できている・計』が10ポイント以上高い。

		習得できている・計		習得できていない・計		無回答	習得できている・計	習得できていない・計
		習得できている	ある程度習得できている	あまり習得できていない	習得できていない			
凡例								
全体	638	18.5	50.3	24.8	6.4		68.8	31.2
学部	文系学部	456	20.2	50.9	23.5	5.5	71.1	28.9
	理系学部	182	14.3	48.9	28.0	8.8	63.2	36.8
日本語能力試験(JLPT)のレベル	N1レベル相当	404	24.5	55.4	17.6	2.5	80.0	20.0
	N2レベル相当	163	8.0	48.5	37.4	6.1	56.4	43.6
	N3レベル相当	38	2.6	31.6	36.8	28.9	34.2	65.8
	N4レベル相当	10		40.0	40.0	20.0	40.0	60.0
	N5レベル相当	6		50.0	33.3	16.7	50.0	50.0
わからない	17	11.8	11.8	35.3	41.2		23.5	76.5
学校以外の活動	アルバイト・派遣の仕事を行っている	476	19.1	51.5	23.9	5.5	70.6	29.4
	ボランティアを行っている	100	19.0	55.0	23.0	3.0	74.0	26.0
	その他	22	31.8	45.5	22.7		77.3	22.7
	行っていない・参加していない	124	12.9	46.0	29.0	12.1	58.9	41.1
インターンシップ参加	参加したことがある	200	25.5	57.0	16.5	1.0	82.5	17.5
	参加したことがない	438	15.3	47.3	28.5	8.9	62.6	37.4
学年※×内定状況	内定している企業がある	111	31.5	53.2	13.5	1.8	84.7	15.3
	内定している企業はない	131	19.1	52.7	20.6	7.6	71.8	28.2

※学年は「大学4年」と「大学院修士2年」を対象

※全体と比較して +5pt以上 +10pt以上 -5pt以下 -10pt以下

● 日本の企業文化の習得度

日本の企業文化の習得度は、「習得できている」は17.7%、「ある程度習得できている」を含めた『習得できている・計』は64.3%であった。「習得できていない」は7.7%と低いものの、「あまり習得できていない」が28.1%であった。

●各項目の習得度/日本の企業文化 (全体/単一回答)

	凡例	習得できている・計		習得できていない・計		無回答	習得できている・計	習得できていない・計
		習得できている	ある程度習得できている	あまり習得できていない	習得できていない			
全体	638	17.7	46.6	28.1	7.7		64.3	35.7

- 学部別では、文系学部・理系学部で大きな差はみられなかった。
- 日本語能力試験 (JLPT) のレベル別では、N1レベル相当はN2レベル相当と比べ『習得できている・計』が高い。
- 学校以外の活動別では、アルバイト・派遣の仕事、ボランティアを行っている学生は行っていない・参加していない学生に比べ『習得できている・計』がやや高い。
- インターンシップ参加別では、参加したことがある学生はない学生に比べ『習得できている・計』が20ポイント以上高い。
- 大学4年、大学院修士2年を対象とした内定状況別では、内定している企業がある学生は『習得できている・計』が81.1%、内定している企業がない学生は61.8%と大きな差がみられた。

	凡例	習得できている・計		習得できていない・計		無回答	習得できている・計	習得できていない・計
		習得できている	ある程度習得できている	あまり習得できていない	習得できていない			
全体	638	17.7	46.6	28.1	7.7		64.3	35.7
学部	文系学部	456	18.4	47.1	26.5	7.9	65.6	34.4
	理系学部	182	15.9	45.1	31.9	7.1	61.0	39.0
日本語能力試験(JLPT)のレベル	N1レベル相当	404	21.3	48.0	24.5	6.2	69.3	30.7
	N2レベル相当	163	12.3	49.1	30.1	8.6	61.3	38.7
	N3レベル相当	38	7.9	34.2	50.0	7.9	42.1	57.9
	N4レベル相当	10	10.0	50.0	30.0	10.0	60.0	40.0
	N5レベル相当	6	33.3	33.3	16.7	16.7	66.7	33.3
わからない	17	5.9	17.6	47.1	29.4	23.5	76.5	
学校以外の活動	アルバイト・派遣の仕事を行っている	476	18.5	46.8	28.4	6.3	65.3	34.7
	ボランティアを行っている	100	16.0	49.0	29.0	6.0	65.0	35.0
	その他	22	22.7	50.0	27.3		72.7	27.3
インターンシップ参加	行っていない・参加していない	124	15.3	43.5	27.4	13.7	58.9	41.1
	参加したことがある	200	28.0	51.5	17.5	3.0	79.5	20.5
学年※×内定状況	参加したことがない	438	13.0	44.3	32.9	9.8	57.3	42.7
	内定している企業がある	111	28.8	52.3	18.9		81.1	18.9
	内定している企業はない	131	16.0	45.8	26.7	11.5	61.8	38.2

※学年は「大学4年」と「大学院修士2年」を対象

※全体と比較して +5pt以上 +10pt以上 -5pt以下 -10pt以下

● ビジネスマナーの習得度

ビジネスマナーの習得度は、「習得できている」は14.7%、「ある程度習得できている」を含めた『習得できている・計』は60.2%であった。「あまり習得できていない」は30.7%。

●各項目の習得度/ビジネスマナー（全体/単一回答）

		習得できている・計		習得できていない・計				
		習得できている	ある程度習得できている	あまり習得できていない	習得できていない	無回答		
凡例							習得できている・計	習得できていない・計
全体	638	14.7	45.5	30.7	9.1		60.2	39.8

- ・ 学部別では、理系学部は『習得できている・計』（54.9%）がやや低い。
- ・ 日本語能力試験（JLPT）のレベル別では、N1レベル相当はN2レベル相当と比べ『習得できている・計』が10ポイント以上高い。
- ・ 学校以外の活動別では、アルバイト・派遣の仕事、ボランティアを行っている学生は行っていない・参加していない学生に比べ『習得できている・計』が高い。
- ・ インターンシップ参加別では、参加したことがある学生は『習得できている・計』が74.5%で高い。
- ・ 大学4年、大学院修士2年を対象とした内定状況別では、内定している企業がある学生は内定している企業がない学生に比べ『習得できている・計』が15ポイント高い。

		習得できている・計		習得できていない・計				
		習得できている	ある程度習得できている	あまり習得できていない	習得できていない	無回答		
凡例							習得できている・計	習得できていない・計
全体	638	14.7	45.5	30.7	9.1		60.2	39.8
学部	文系学部	16.0	46.3	29.4	8.3		62.3	37.7
	理系学部	11.5	43.4	34.1	11.0		54.9	45.1
日本語能力試験(JLPT)のレベル	N1レベル相当	17.6	48.8	28.0	5.7		66.3	33.7
	N2レベル相当	9.8	44.2	35.0	11.0		54.0	46.0
	N3レベル相当	7.9	18.4	50.0	23.7		26.3	73.7
	N4レベル相当	10.0	70.0	10.0	10.0		80.0	20.0
	N5レベル相当	16.7	50.0	16.7	16.7		66.7	33.3
	わからない	11.8	23.5	29.4	35.3		35.3	64.7
学校以外の活動	アルバイト・派遣の仕事を行っている	15.1	47.3	29.4	8.2		62.4	37.6
	ボランティアを行っている	9.0	51.0	33.0	7.0		60.0	40.0
	その他	22.7	36.4	40.9			59.1	40.9
	行っていない・参加していない	12.9	37.1	36.3	13.7		50.0	50.0
インターンシップ参加	参加したことがある	24.5	50.0	22.0	3.5		74.5	25.5
	参加したことがない	10.3	43.4	34.7	11.6		53.7	46.3
学年※×内定状況	内定している企業がある	22.5	53.2	23.4	0.9		75.7	24.3
	内定している企業はない	9.9	50.4	30.5	9.2		60.3	39.7

※学年は「大学4年」と「大学院修士2年」を対象

※全体と比較して ■ +5pt以上 ■ +10pt以上 ■ -5pt以下 ■ -10pt以下

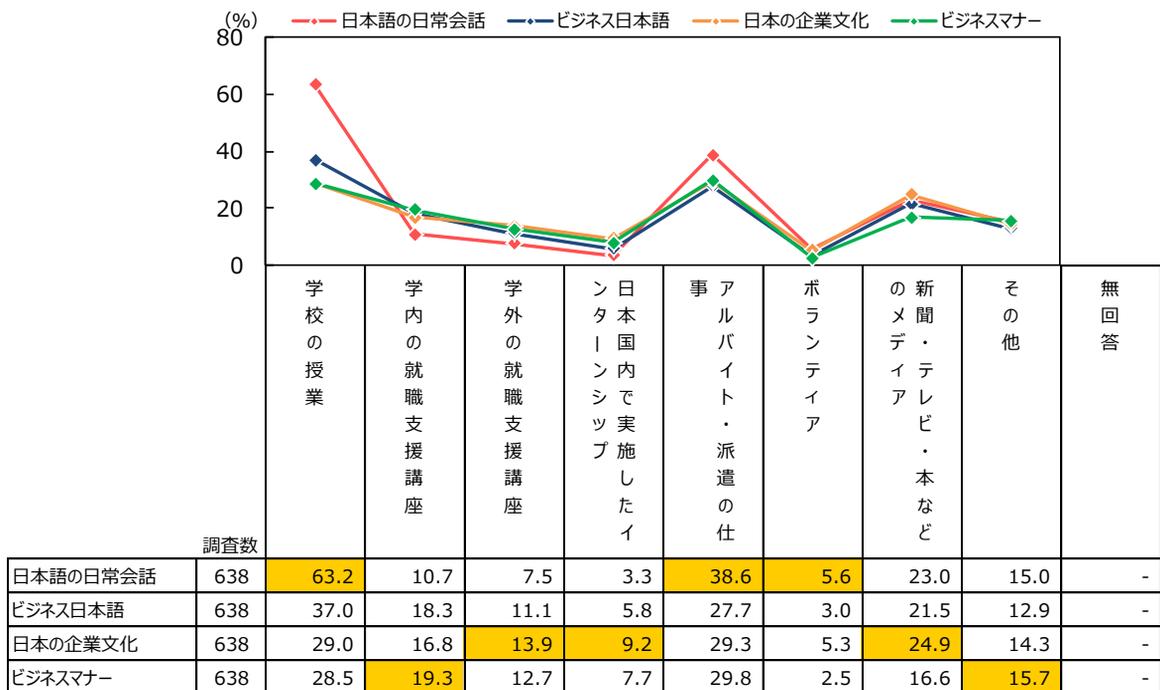
● 各項目の習得方法

『日本語の日常会話』『ビジネス日本語』『日本の企業文化』『ビジネスマナー』の習得方法を各項目で比較すると、「学校の授業」「アルバイト・派遣の仕事」は『日本語の日常会話』の習得方法でそれぞれ63.2%、38.6%と最も高い。

その他の項目は大きな差はみられないものの、「学内の就職支援講座」は『ビジネスマナー』が、「学外の就職支援講座」「日本国内のインターンシップ」は『日本の企業文化』が、「ボランティア」は『日本語の日常会話』が、「新聞・テレビ・本などのメディア」は『日本の企業文化』が最も高い。

また、『日本語の日常会話』『ビジネス日本語』『日本の企業文化』『ビジネスマナー』ともに、「学校の授業」「アルバイト・派遣の仕事」が習得方法として実施が高い。

● 各項目の習得方法（全体／複数回答）

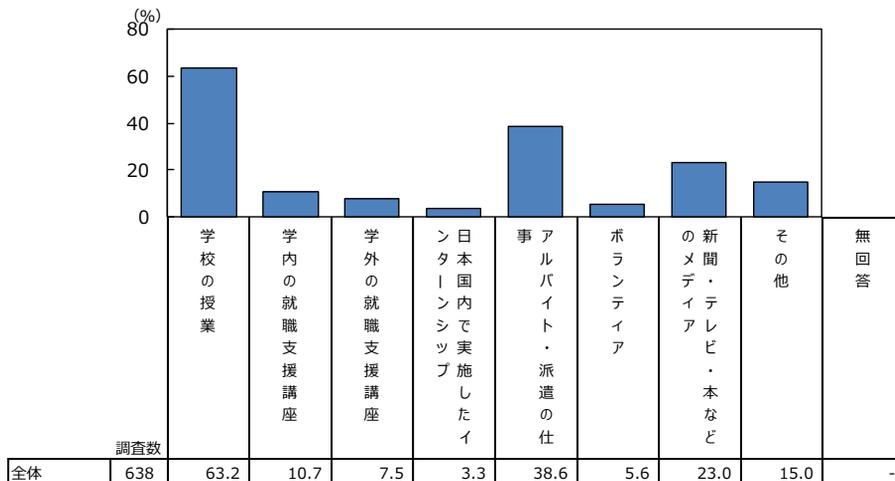


※各項目で比較して、■最もスコアが高い項目

● 日本語の日常会話の習得方法

日本語の日常会話の習得方法では、「学校の授業」が63.2%で突出して高い。次いで、「アルバイト・派遣の仕事」(38.6%)、「新聞・テレビ・本などのメディア」(23.0%)が続く。

●各項目の習得方法/日本語の日常会話 (全体/複数回答)



- ・ 学部別では、理系学部は「アルバイト・派遣の仕事」(31.9%)が低い。
- ・ 学校以外の活動別では、ボランティアを行っている学生は「学校の授業」が7割を超える。学外活動を行っていない・参加していない学生は、「学校の授業」(62.9%)に続き、「新聞・テレビ・本などのメディア」(28.2%)が高い。
- ・ インターンシップ参加別では、参加したことがある学生は「学内の就職支援講座」(16.5%)、「日本国内で実施したインターンシップ」(10.5%)が高い。
- ・ 大学4年、大学院修士2年を対象とした内定状況別では、内定している企業がない学生は「学校の授業」が73.3%、「アルバイト・派遣の仕事」が48.1%で高い。

		調査数	学校の授業	学内の就職支援講座	学外の就職支援講座	日本国内で実施したインターンシップ	アルバイト・派遣の仕事	ボランティア	新聞・テレビ・本などのメディア	その他	無回答
全体		638	63.2	10.7	7.5	3.3	38.6	5.6	23.0	15.0	-
学部	文系学部	456	62.1	9.4	7.5	3.5	41.2	5.5	24.6	15.4	-
	理系学部	182	65.9	13.7	7.7	2.7	31.9	6.0	19.2	14.3	-
日本語能力試験(JLPT)のレベル	N 1レベル相当	404	63.9	9.4	5.0	3.5	41.8	5.9	23.5	15.1	-
	N 2レベル相当	163	62.6	12.3	11.0	3.1	36.8	5.5	22.1	16.0	-
	N 3レベル相当	38	71.1	13.2	18.4	5.3	31.6	5.3	21.1	7.9	-
	N 4レベル相当	10	50.0	20.0	-	-	20.0	-	30.0	10.0	-
	N 5レベル相当	6	50.0	16.7	16.7	-	33.3	-	16.7	16.7	-
	わからない	17	47.1	11.8	11.8	-	5.9	5.9	23.5	23.5	-
学校以外の活動	アルバイト・派遣の仕事を行っている	476	62.8	10.7	6.3	3.4	45.8	5.9	22.1	13.2	-
	ボランティアを行っている	100	74.0	13.0	12.0	8.0	38.0	25.0	24.0	14.0	-
	その他	22	68.2	22.7	9.1	4.5	31.8	-	36.4	36.4	-
インターンシップ参加	行っていない・参加していない	124	62.9	9.7	10.5	2.4	20.2	3.2	28.2	18.5	-
	参加したことがある	200	67.0	16.5	8.0	10.5	36.0	7.5	19.0	14.0	-
学年※	参加したことがある	438	61.4	8.0	7.3	-	39.7	4.8	24.9	15.5	-
	内定している企業がある	111	51.4	15.3	9.0	4.5	37.8	4.5	21.6	12.6	-
×内定状況	内定している企業はない	131	73.3	7.6	5.3	3.8	48.1	6.9	26.0	12.2	-
	内定している企業がある										

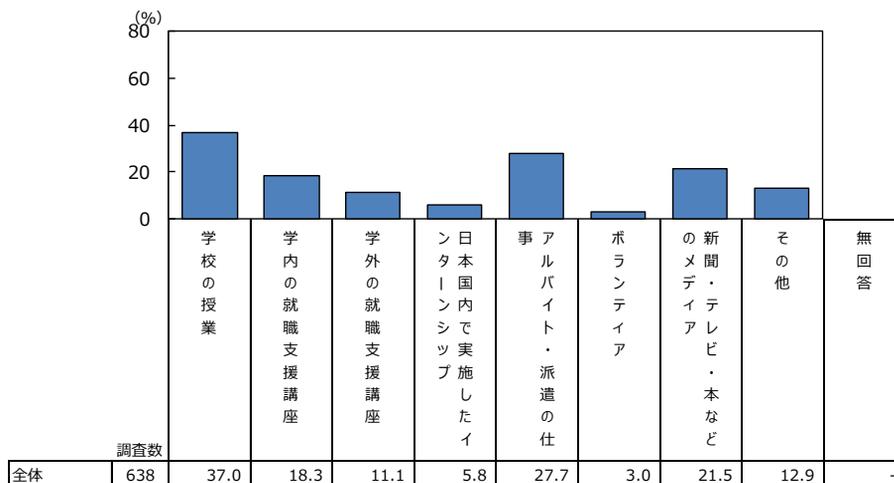
※学年は「大学4年」と「大学院修士2年」を対象

※全体と比較して +5pt以上 +10pt以上 -5pt以下 -10pt以下

● ビジネス日本語の習得方法

ビジネス日本語の習得方法は、「学校の授業」が37.0%で最も高く、「アルバイト・派遣の仕事」(27.7%)、「新聞・テレビ・本などのメディア」(21.5%)が続く。

●各項目の習得方法/ビジネス日本語 (全体/複数回答)



- ・ 学部別では、理系学部は文系学部に比べ「学校の授業」が低く、「学外の就職支援講座」が高い。
- ・ 日本語能力試験 (JLPT) のレベル別では、N2レベル相当の学生はN1レベル相当の学生に比べ「学校の授業」(44.8%)が高い。
- ・ 学校以外の活動別では、アルバイト・派遣の仕事、ボランティアを行っている学生は行っていない・参加していない学生に比べ「アルバイト・派遣の仕事」で習得した割合が高い。
- ・ インターンシップ参加別では、参加したことがある学生は参加したことがない学生に比べ「学内の就職支援講座」「日本国内で実施したインターンシップ」が高い。
- ・ 大学4年、大学院修士2年を対象とした内定状況別では、内定している企業がない学生は「学校の授業」「新聞・テレビ・本などのメディア」が30.5%で高い。

調査数		学校の授業	学内の就職支援講座	学外の就職支援講座	インターンシップで実施したイ	アルバイト・派遣の仕事	ボランティア	の新聞・テレビ・本など	その他	無回答	
全体	638	37.0	18.3	11.1	5.8	27.7	3.0	21.5	12.9	-	
学部	文系学部	456	41.4	17.8	9.0	5.7	28.5	3.3	21.5	11.6	-
	理系学部	182	25.8	19.8	16.5	6.0	25.8	2.2	21.4	15.9	-
日本語能力試験(JLPT)のレベル	N1レベル相当	404	34.9	17.8	9.7	6.4	31.7	3.2	22.5	12.6	-
	N2レベル相当	163	44.8	20.2	11.7	4.9	23.9	3.1	20.2	11.0	-
	N3レベル相当	38	39.5	21.1	10.5	5.3	10.5	2.6	21.1	10.5	-
	N4レベル相当	10	20.0	10.0	10.0	10.0	40.0	-	20.0	10.0	-
	N5レベル相当	6	-	33.3	16.7	-	-	-	16.7	33.3	-
わからない	17	29.4	5.9	17.6	-	11.8	-	11.8	35.3	-	
学校以外の活動	アルバイト・派遣の仕事を行っている	476	36.1	18.1	10.7	5.7	32.8	3.2	21.6	11.3	-
	ボランティアを行っている	100	37.0	22.0	17.0	9.0	33.0	7.0	19.0	6.0	-
	その他	22	50.0	22.7	13.6	9.1	36.4	-	36.4	22.7	-
行っていない・参加していない	124	37.1	19.4	9.7	4.8	12.9	2.4	24.2	19.4	-	
インターンシップ参加	参加したことがある	200	34.0	26.5	12.5	18.5	22.5	2.5	19.0	12.0	-
	参加したことがない	438	38.4	14.6	10.5	-	30.1	3.2	22.6	13.2	-
学年※	内定している企業がある	111	30.6	18.9	16.2	7.2	25.2	6.3	20.7	12.6	-
	内定している企業はない	131	43.5	15.3	8.4	5.3	32.1	1.5	30.5	8.4	-

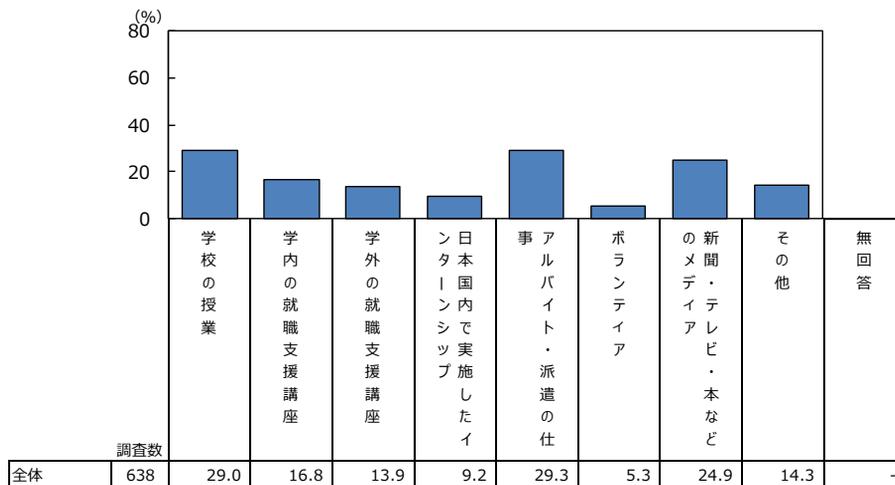
※学年は「大学4年」と「大学院修士2年」を対象

※全体と比較して +5pt以上 +10pt以上 -5pt以下 -10pt以下

● 日本の企業文化の習得方法

日本の企業文化の習得方法は、「アルバイト・派遣の仕事」が29.3%で最も高く、「学校の授業」(29.0%)、「新聞・テレビ・本などのメディア」(24.9%)が続く。

●各項目の習得方法/日本の企業文化 (全体/複数回答)



- ・ 学部別では、理系学部は「学校の授業」(24.4%)がやや低い。
- ・ 日本語能力試験(JLPT)のレベル別では、N2レベル相当はN1レベル相当と比べ「学校の授業」が高い。
- ・ インターンシップ参加別では、参加したことがある学生は日本の企業文化の習得方法として「日本国内で実施したインターンシップ」(29.5%)、「学内の就職支援講座」(22.5%)、「学外の就職支援講座」(22.0%)が高い。

		調査数	学校の授業	学内の就職支援講座	学外の就職支援講座	日本国内で実施したインターンシップ	アルバイト・派遣の仕事	ボランティア	新聞・テレビ・本などのメディア	その他	無回答
全体		638	29.0	16.8	13.9	9.2	29.3	5.3	24.9	14.3	-
学部	文系学部	456	30.9	17.5	13.6	10.3	30.5	5.3	26.3	13.8	-
	理系学部	182	24.2	14.8	14.8	6.6	26.4	5.5	21.4	15.4	-
日本語能力試験(JLPT)のレベル	N1レベル相当	404	27.2	16.6	14.1	11.6	30.9	5.2	26.2	12.6	-
	N2レベル相当	163	35.0	17.8	11.7	5.5	28.2	5.5	23.9	14.1	-
	N3レベル相当	38	39.5	18.4	23.7	5.3	21.1	7.9	18.4	10.5	-
	N4レベル相当	10	10.0	10.0	10.0	-	30.0	10.0	30.0	30.0	-
	N5レベル相当	6	-	16.7	16.7	16.7	-	-	16.7	33.3	-
わからない		17	11.8	11.8	11.8	-	29.4	-	17.6	47.1	-
学校以外の活動	アルバイト・派遣の仕事を行っている	476	28.8	16.0	14.5	9.2	34.2	5.9	23.9	11.8	-
	ボランティアを行っている	100	25.0	14.0	17.0	7.0	34.0	15.0	23.0	10.0	-
	その他	22	27.3	18.2	22.7	18.2	27.3	4.5	45.5	13.6	-
	行っていない・参加していない	124	30.6	19.4	11.3	9.7	15.3	2.4	27.4	24.2	-
インターンシップ参加	参加したことがある	200	30.5	22.5	22.0	29.5	26.5	7.0	20.5	8.0	-
	参加したことがない	438	28.3	14.2	10.3	-	30.6	4.6	26.9	17.1	-
学年※	内定している企業がある	111	24.3	19.8	15.3	14.4	28.8	6.3	23.4	10.8	-
×内定状況	内定している企業はない	131	31.3	12.2	8.4	9.9	34.4	4.6	28.2	12.2	-

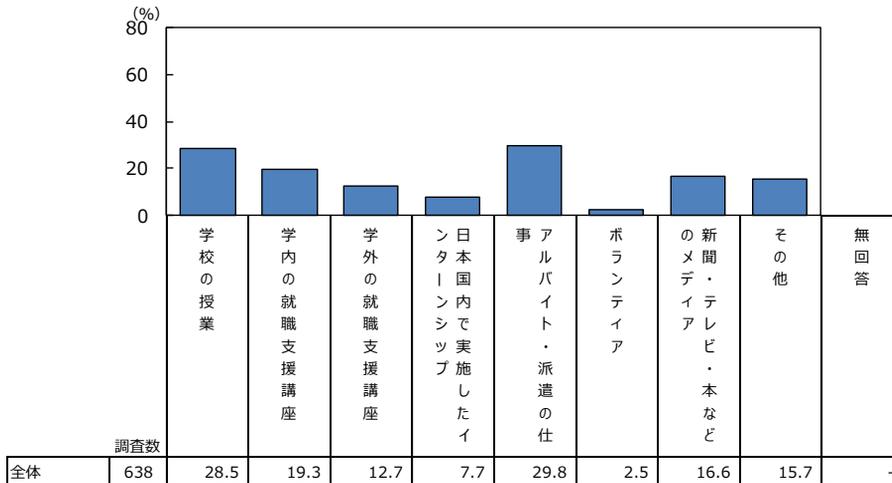
※学年は「大学4年」と「大学院修士2年」を対象

※全体と比較して +5pt以上 +10pt以上 -5pt以下 -10pt以下

● ビジネスマナーの習得方法

ビジネスマナーの習得方法は、「アルバイト・派遣の仕事」が29.8%で最も高く、「学校の授業」が28.5%で続く。

●各項目の習得方法/ビジネスマナー（全体/複数回答）



- ・ 学部別では、理系学部は「学校の授業」（18.7%）が低い。
- ・ 日本語能力試験（JLPT）のレベル別では、N2レベル相当の学生は「学内の就職支援講座」（27.6%）が「学校の授業」（33.1%）に続き高い。
- ・ インターンシップ参加別では、参加したことがある学生は参加したことがない学生に比べ「学内の就職支援講座」「日本国内で実施したインターンシップ」が高い。
- ・ 大学4年、大学院修士2年を対象とした内定状況別では、内定している企業がない学生は「新聞・テレビ・本などのメディア」が29.0%で高い。

		調査数	学校の授業	学内の就職支援講座	学外の就職支援講座	日本国内で実施したインターンシップ	アルバイト・派遣の仕事	ボランティア	新聞・テレビ・本などのメディア	その他	無回答
全体		638	28.5	19.3	12.7	7.7	29.8	2.5	16.6	15.7	-
学部	文系学部	456	32.5	18.9	11.0	8.6	29.6	2.9	16.9	14.5	-
	理系学部	182	18.7	20.3	17.0	5.5	30.2	1.6	15.9	18.7	-
日本語能力試験(JLPT)のレベル	N 1レベル相当	404	27.2	17.8	13.6	8.7	32.9	3.0	17.8	12.9	-
	N 2レベル相当	163	33.1	27.6	9.2	4.9	25.8	1.8	15.3	16.6	-
	N 3レベル相当	38	39.5	10.5	23.7	7.9	18.4	-	15.8	15.8	-
	N 4レベル相当	10	-	-	-	20.0	50.0	-	-	40.0	-
	N 5レベル相当	6	-	16.7	-	16.7	16.7	-	16.7	33.3	-
	わからない	17	17.6	5.9	11.8	-	11.8	5.9	11.8	52.9	-
学校以外の活動	アルバイト・派遣の仕事を行っている	476	28.2	20.2	12.8	7.4	34.7	2.1	15.5	13.4	-
	ボランティアを行っている	100	29.0	18.0	14.0	7.0	31.0	7.0	16.0	13.0	-
	その他	22	18.2	22.7	13.6	18.2	27.3	-	40.9	18.2	-
	行っていない・参加していない	124	31.5	16.9	10.5	8.9	16.1	2.4	20.2	24.2	-
インターンシップ参加	参加したことがある	200	28.0	26.5	16.5	24.5	28.0	4.0	12.0	11.0	-
	参加したことがない	438	28.8	16.0	11.0	-	30.6	1.8	18.7	17.8	-
学年※ ×内定状況	内定している企業がある	111	22.5	25.2	16.2	11.7	28.8	4.5	13.5	11.7	-
	内定している企業はない	131	32.1	18.3	6.9	6.1	31.3	3.1	29.0	12.2	-

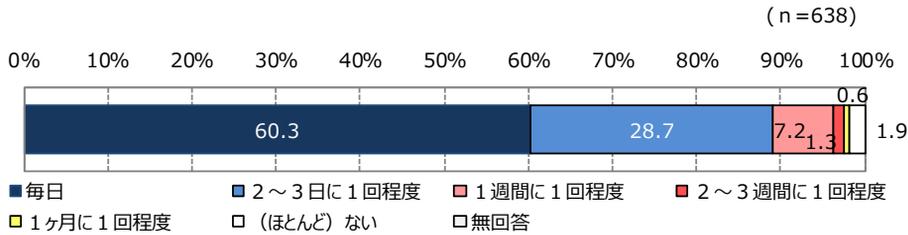
※学年は「大学4年」と「大学院修士2年」を対象

※全体と比較して +5pt以上 +10pt以上 -5pt以下 -10pt以下

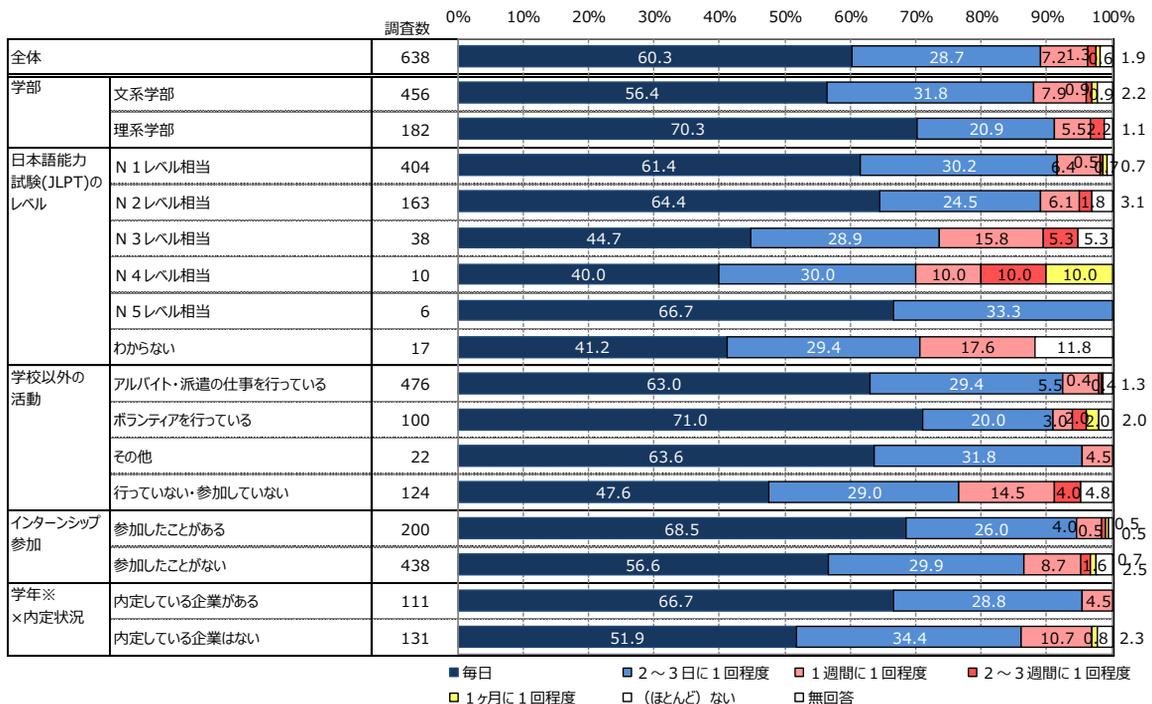
● 日常生活で日本人と話す機会の頻度

日常生活で日本人と話す機会の頻度は、「毎日」が60.3%で最も高く、「2～3日に1回程度」が28.7%で続く。

● 日常生活で日本人と話す機会の頻度（全体／単一回答）



- 学部別では、理系学部は「毎日」（70.3%）が高い。
- 日本語能力試験（JLPT）のレベル別では、N1レベル相当の学生とN2レベル相当の学生で大きな差はみられなかった。
- 学校以外の活動別では、学外活動を行っていない・参加していない学生は「毎日」（47.6%）が低い。
- インターンシップ参加別では、参加したことがある学生は「毎日」（68.5%）が高い。
- 大学4年、大学院修士2年を対象とした内定状況別では、内定している企業がある学生は「毎日」（66.7%）が高い。

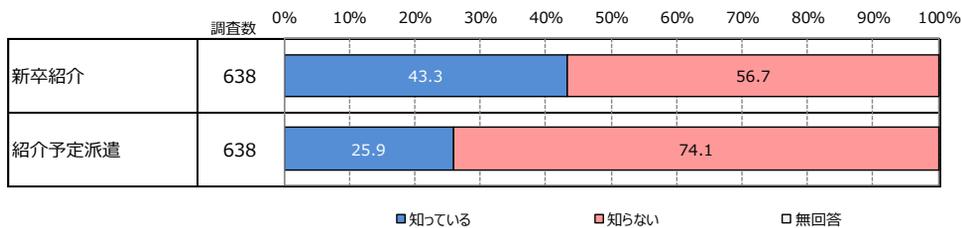


2-6. 就職支援へのニーズ

● 外国人留学生向けの就職支援サービスの認知度

外国人留学生向け就職支援サービスの認知度は、『新卒紹介』が43.3%、『紹介予定派遣』が25.9%であった。

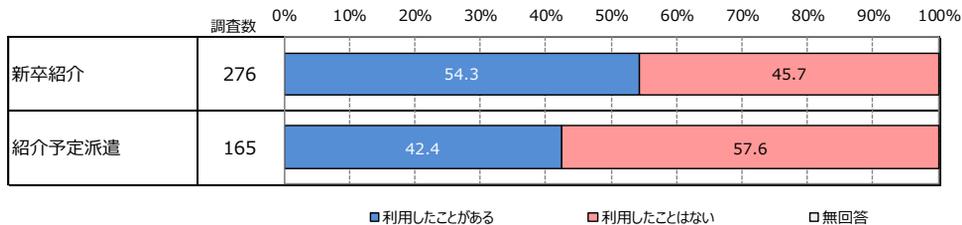
●外国人留学生向けの就職支援サービスの認知度（全体／単一回答）



● 外国人留学生向けの就職支援サービスの利用実績

外国人留学生向けの就職支援サービスを知っている学生の利用実績は、『新卒紹介』が54.3%、『紹介予定派遣』が42.4%であった。

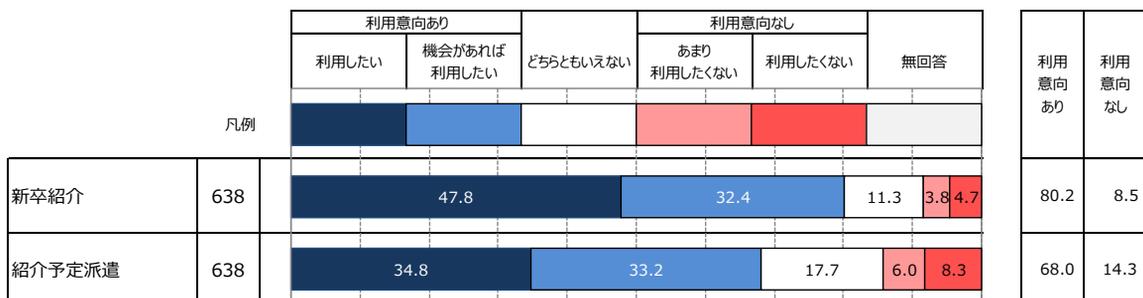
●外国人留学生向けの就職支援サービスの利用実績（各就職支援サービス認知者／単一回答）



● 外国人留学生向けの就職支援サービスの利用意向

外国人留学生向けの就職支援サービスの利用意向は、『新卒紹介』は「利用したい」が47.8%、「機会があれば利用したい」を含めた『利用意向あり』は80.2%であった。『紹介予定派遣』は『利用意向あり』が68.0%で7割近くを占める。

●外国人留学生向けの就職支援サービスの利用意向（全体／単一回答）

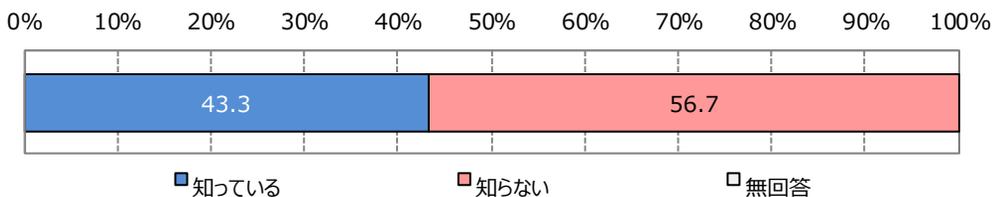


● 新卒紹介の認知度

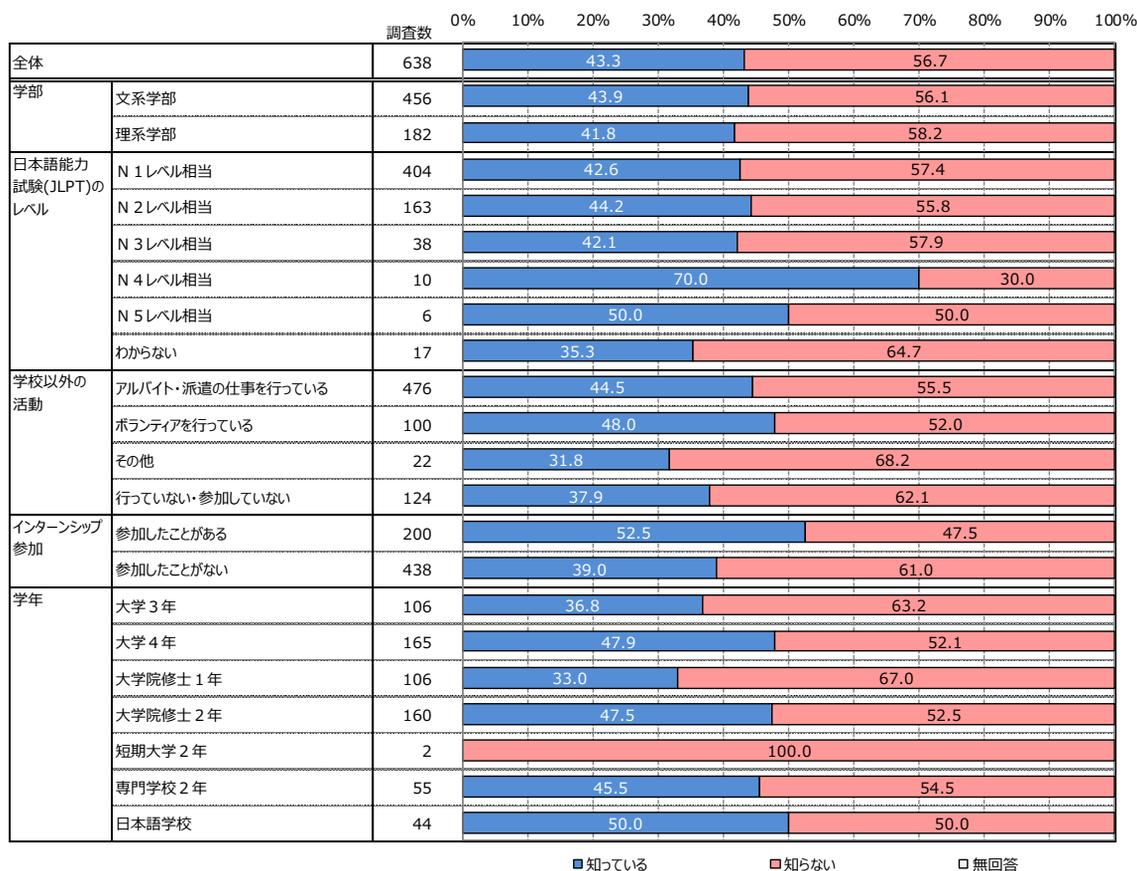
新卒紹介の認知度は43.3%であった。

● 外国人留学生向けの就職支援サービスの認知度／新卒紹介（全体／単一回答）

(n=638)



- 学部別では、文系学部・理系学部で差はみられなかった。
- 日本語能力試験（JLPT）のレベル別では、N1レベル相当とN2レベル相当で差はみられなかった。
- 学校以外の活動別では、アルバイト・派遣の仕事、ボランティアを行っている学生は行っていない・参加していない学生に比べ認知度がやや高かった。
- インターンシップ参加別では、参加したことがある学生は「知っている」（52.5%）が高い。
- 学年別では、大学4年・大学院修士2年・専門学校2年・日本語学校の認知度は5割程度であった。

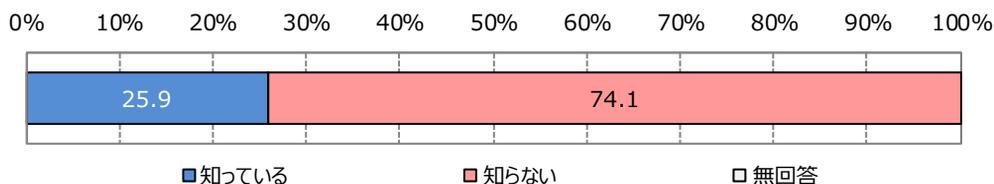


● 紹介予定派遣の認知度

紹介予定派遣の認知度は25.9%であった。

● 外国人留学生向けの就職支援サービスの認知度／紹介予定派遣（全体／単一回答）

(n=638)



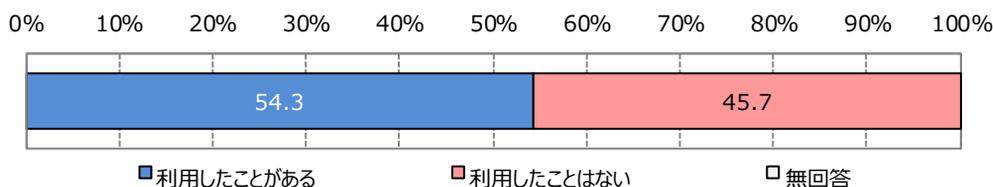
- 学部別では、理系学部は文系学部に比べ認知度がやや高い。
- 日本語能力試験（JLPT）のレベル別では、N2レベル相当はN1レベル相当に比べ認知度がやや高い。
- インターンシップ参加別では、参加したことがある学生は参加したことがない学生に比べ認知度がやや高い。
- 学年別では、日本語学校の学生の認知度が43.2%で最も高い。次いで、専門学校2年が34.5%、大学4年が33.3%で続く。大学院修士2年は23.8%であった。

		調査数	0%	10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%	90%	100%
全体		638	25.9		74.1								
学部	文系学部	456	23.9		76.1								
	理系学部	182	30.8		69.2								
日本語能力試験(JLPT)のレベル	N1レベル相当	404	22.5		77.5								
	N2レベル相当	163	31.9		68.1								
	N3レベル相当	38	28.9		71.1								
	N4レベル相当	10	40.0		60.0								
	N5レベル相当	6	50.0		50.0								
	わからない	17	23.5		76.5								
学校以外の活動	アルバイト・派遣の仕事をやっている	476	27.5		72.5								
	ボランティアを行っている	100	26.0		74.0								
	その他	22	18.2		81.8								
	行っていない・参加していない	124	21.8		78.2								
インターンシップ参加	参加したことがある	200	30.5		69.5								
	参加したことがない	438	23.7		76.3								
学年	大学3年	106	13.2		86.8								
	大学4年	165	33.3		66.7								
	大学院修士1年	106	18.9		81.1								
	大学院修士2年	160	23.8		76.3								
	短期大学2年	2			100.0								
	専門学校2年	55	34.5		65.5								
	日本語学校	44	43.2		56.8								

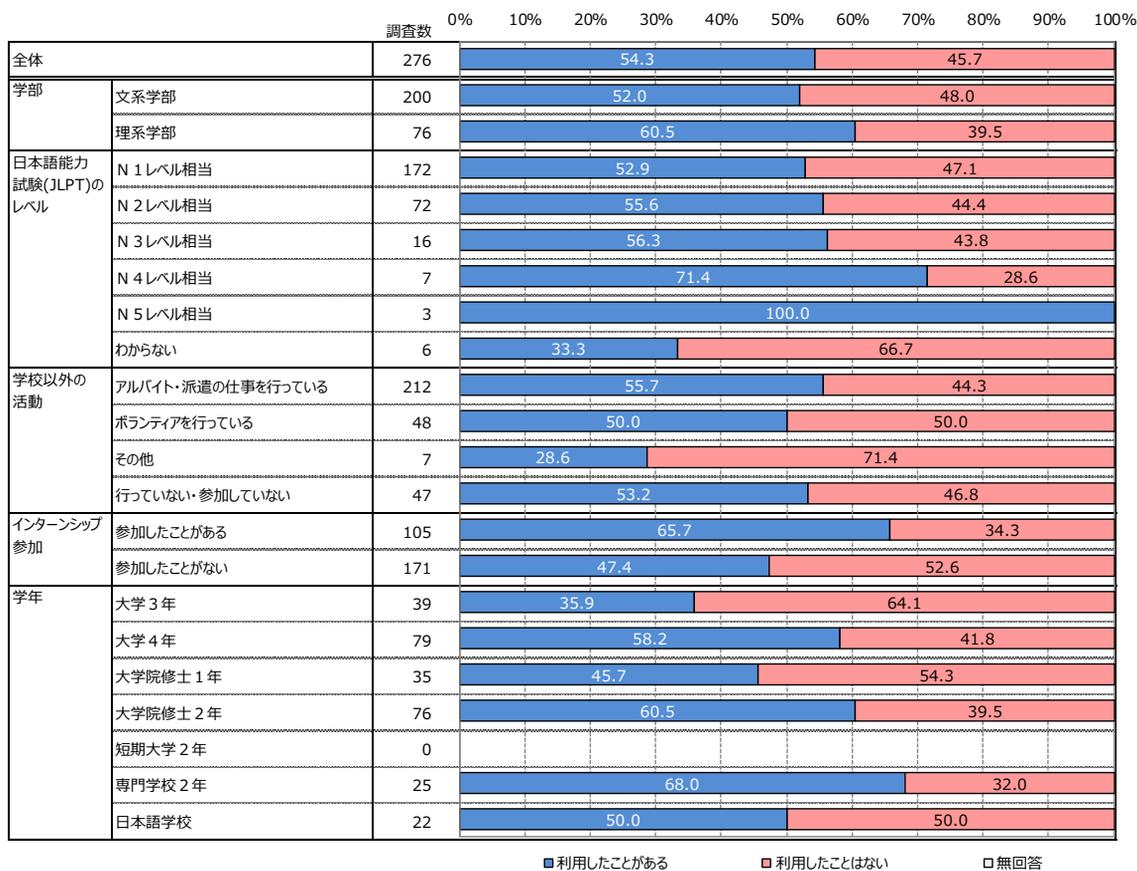
● 新卒紹介の利用実績

新卒紹介を知っている学生の利用実績は、「利用したことがある」が54.3%であった。

●外国人留学生向けの就職支援サービスの利用実績／新卒紹介（各就職支援サービス認知者／単一回答）
(n=276)



- ・ 学部別では、理系学部は文系学部に比べ「利用したことがある」がやや高い。
- ・ インターンシップ参加別では、参加したことがある学生は「利用したことがある」（65.7%）が高い。
- ・ 学年別では、専門学校2年が68.0%で最も高く、大学院修士2年が60.5%、大学4年が58.2%で続く。

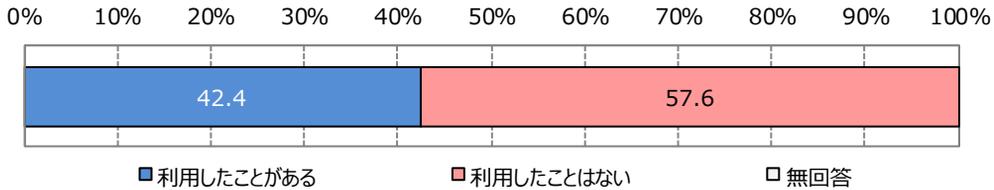


● 紹介予定派遣の利用実績

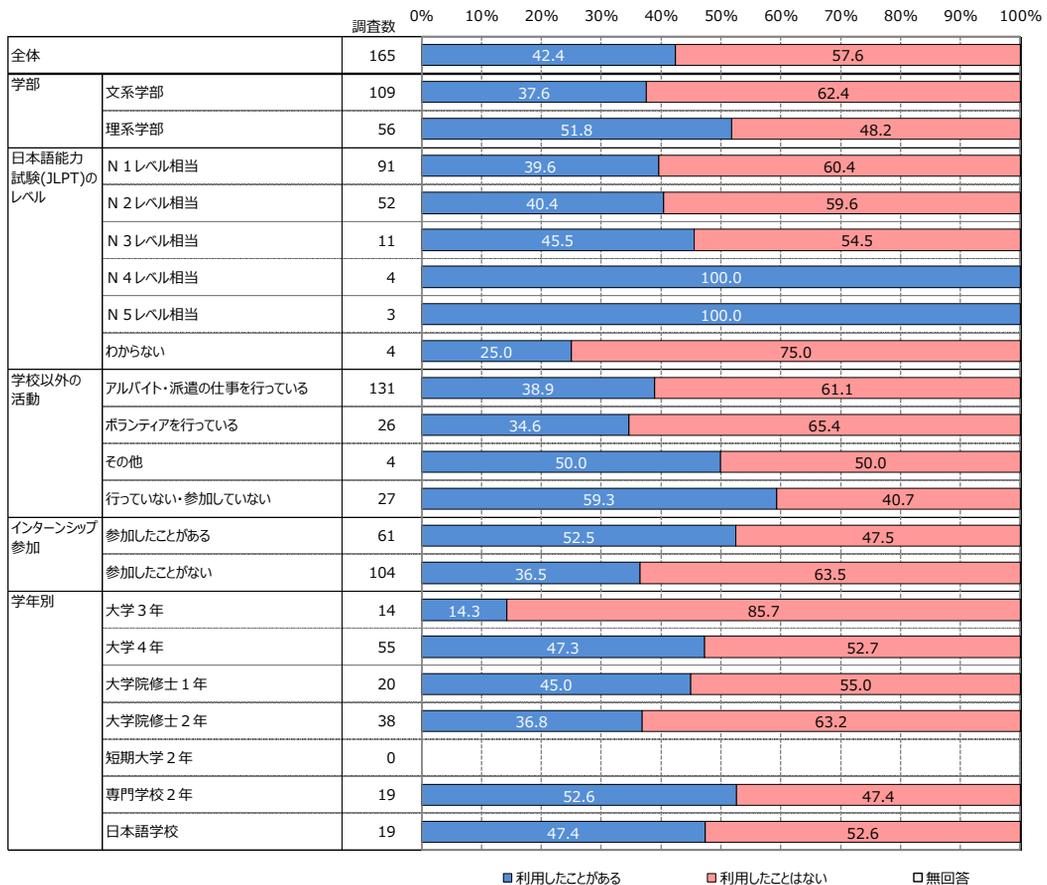
紹介予定派遣を知っている学生の利用実績は、「利用したことがある」が42.4%であった。

● 外国人留学生向けの就職支援サービスの利用実績／紹介予定派遣（各就職支援サービス認知者／単一回答）

(n=165)



- ・ 学部別では、理系学部は文系学部に比べ「利用したことがある」が高い。
- ・ インターンシップ参加別では、参加したことがある学生は利用実績（52.5%）が高い。



● 新卒紹介の利用意向

新卒紹介の利用意向は、「利用したい」が47.8%、「機会があれば利用したい」を含めた『利用意向あり』は80.2%であった。

●外国人留学生向けの就職支援サービスの利用意向/新卒紹介（全体/単一回答）

	凡例	利用意向あり			どちらともいえない	利用意向なし		無回答	利用意向あり	利用意向なし		
		利用したい	機会があれば利用したい	あまり利用したくない		利用したくない						
全体	638	47.8				32.4		11.3	3.8	4.7	80.2	8.5

- ・ 学部別では、文系学部と理系学部で大きな差はみられなかった。
- ・ 日本語能力試験（JLPT）のレベル別では、N1レベル相当の学生はN2レベルの学生に比べ「利用したい」が高い。
- ・ 学校以外の活動別では、「利用したい」では大きな差はみられないが、『利用意向あり』はボランティアを行っている学生は89.0%で9割近くを占める。
- ・ インターンシップ参加別では、参加したことがある学生はない学生に比べ「利用したい」が13ポイント高い。

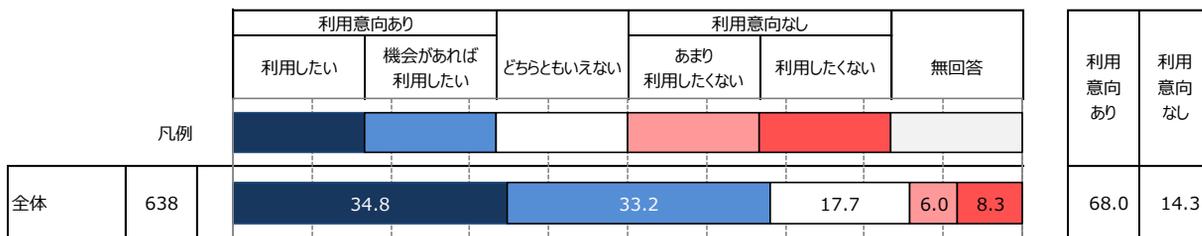
	凡例	利用意向あり			どちらともいえない	利用意向なし		無回答	利用意向あり	利用意向なし			
		利用したい	機会があれば利用したい	あまり利用したくない		利用したくない							
全体	638	47.8				32.4		11.3	3.8	4.7	80.2	8.5	
学部	文系学部	456	46.3				33.1		11.6	4.2	4.8	79.4	9.0
	理系学部	182	51.6				30.8		10.4	2.7	4.4	82.4	7.1
日本語能力試験(JLPT)のレベル	N1レベル相当	404	52.2				29.0		10.9	3.9	4.5	81.2	8.0
	N2レベル相当	163	39.9				43.6		9.8	3.7	3.1	83.5	6.8
	N3レベル相当	38	39.5				21.1		21.1	5.3	13.2	60.6	18.5
	N4レベル相当	10	50.0				20.0		20.0		10.0	70.0	10.0
	N5レベル相当	6	33.3				66.7					100.0	-
わからない	17	41.2				29.4		11.8	5.9	11.8	70.6	17.7	
学校以外の活動	アルバイト・派遣の仕事を行っている	476	49.2				31.7		10.7	3.2	5.3	80.9	8.5
	ボランティアを行っている	100	47.0				42.0		6.0	4.0	1.0	89.0	5.0
	その他	22	45.5				36.4		13.6	4.5		81.9	4.5
インターンシップ参加	行ったことがある	200	57.0				30.5		6.5	10.5	0.0	87.5	6.0
	参加したことがない	438	43.6				33.3		13.5	5.0	4.6	76.9	9.6

※全体と比較して ■ +5pt以上 ■ +10pt以上 ■ -5pt以下 ■ -10pt以下

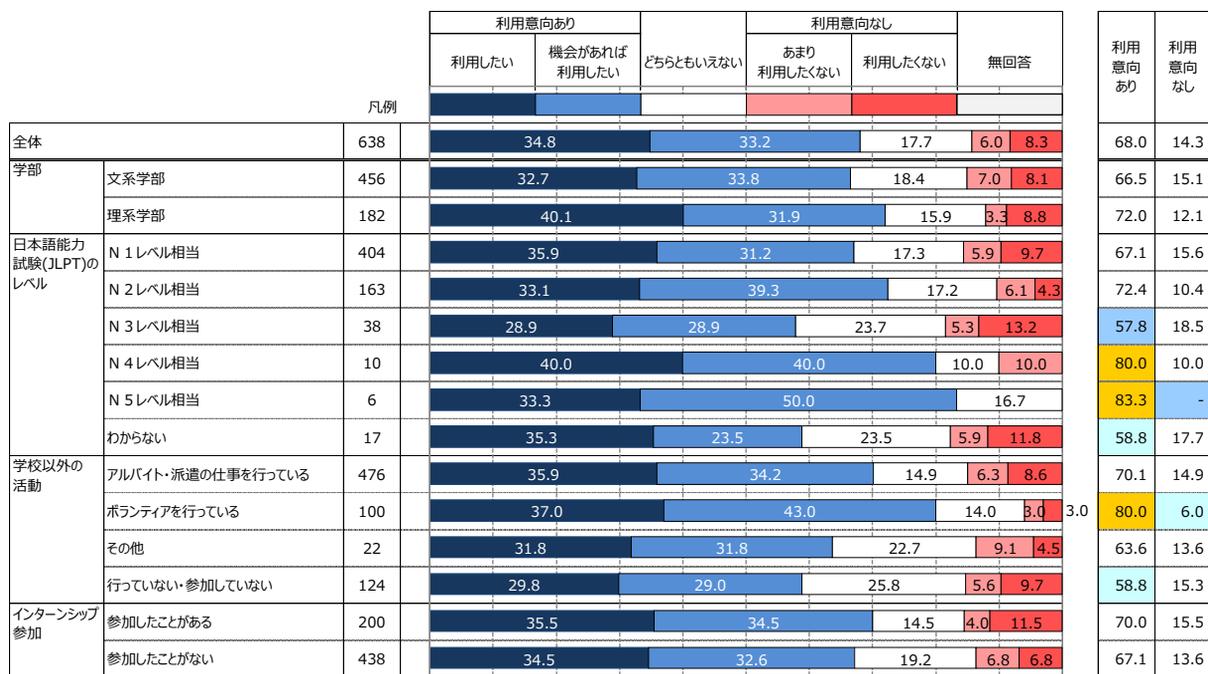
● 紹介予定派遣の利用意向

紹介予定派遣の利用意向は、「利用したい」が34.8%、「機会があれば利用したい」を含めた『利用意向あり』は68.0%であった。

●外国人留学生向けの就職支援サービスの利用意向／紹介予定派遣（全体／単一回答）



- ・ 学部別では、理系学部は文系学部に比べ「利用したい」がやや高い。
- ・ 学校以外の活動別では、学外活動を行っていない・参加していない学生は他の学生に比べ『利用意向あり』が低い。



※全体と比較して +5pt以上 +10pt以上 -5pt以下 -10pt以下

第5章 ヒアリング調査結果

1. ヒアリング先一覧

アンケート調査と併せて、ヒアリング調査を実施。ヒアリングを実施した企業、留学生のヒアリング先は以下の通りである。

●企業

	社名	業種※	従業員数※	海外拠点
1	アリババ株式会社	IT・情報通信業	1～99人	70拠点
2	リングロー株式会社	卸売業・小売業	1～99人	1拠点
3	株式会社長津製作所	製造業	100～299人	2拠点
4	トランスコスモス株式会社	その他（アウトソーシング・サービス）	5,000人以上	20拠点以上
5	日本たばこ産業株式会社	製造業	5,000人以上	13拠点

※業種、従業員数はアンケート調査の回答を記入

●外国人留学生

	国籍	日本での学歴	日本語能力試験（JLPT）	内定先企業の業種
1	ベトナム	大学学士	N1	IT・情報通信業
2	中国	大学学士	N1	建設業
3	マレーシア	大学院修士	N1	製造業
4	中国	日本語学校（イギリスの大学卒業後）	N1	IT・情報通信業
5	タイ	日本語学校（タイの大学卒業後）	N3	製造業

2. 調査結果

2-1. 企業の採用・定着状況・新卒紹介等二ーズ

外国人留学生の採用について

● 外国人留学生の採用目的

外国人留学生の採用目的は、国籍に関係なく優秀な人材の確保、ダイバーシティ政策の一環、海外拠点との架け橋が挙げられている。事業を実施する上で多言語対応だけでなく、各国の文化理解が必要なため外国人留学生を採用している企業もみられた。一方、結果的に留学生の採用につながっている企業もみられた。

- 外国人留学生の採用を戦略的に実施しているのではなく、結果的に留学生の応募が半数となっている（1～99人）
- 今後の日本の労働環境、会社の将来を見据え、ダイバーシティ政策の一環として（1～99人）
- 優秀な人材の確保と、海外拠点の関連業務促進が目的（100～299人）
- 事業を遂行する上で、語学だけではなく、各国の文化理解も必要なため（5,000人以上）
- ダイバーシティ政策の一環、国籍、性別に関係なく優秀な人材の確保、そして海外拠点との架け橋になってほしい（5,000人以上）

● 外国人留学生の採用方法

外国人留学生の採用方法は、日本人学生と同様の採用手法に加えて、外国人留学生が参加するフェアや合同企業説明会、セミナーに参加している。ナビサイトを利用していない企業は2社であった。新卒紹介を活用し、採用につながっている企業もみられた。

- 以前はナビサイトの広報を主に実施していたが、現在はインターン生からが中心（1～99人）
- 新卒紹介、留学生が集まるイベント出展、学校からの紹介。海外からの受入れとして海外インターンシップを実施。新卒紹介から採用に至るケースが多い（1～99人）
- 募集職種が特定の分野の技術職採用のため、ナビサイトは利用せず、学校への求人票、ハローワーク等の外国人留学生向け合同企業説明会への出展、自社ホームページでの採用情報の掲載。大学経由の応募が多い（100～299人）
- 基本、日本人学生と同様だが、外国人留学生が参加するフェアなどに積極的に参加。海外での直接採用も行っており、海外の就職イベントに参加している（5,000人以上）
- 基本、日本人学生と同様だが、加えて、外国人留学生向けのセミナーに積極的に参加。海外の大学に留学しており就職活動に間に合わない学生や第二新卒向けに秋採用を実施しており、外国人留学生からの応募もある（5,000人以上）

● 外国人留学生の採用基準

外国人留学生の採用基準は、日本人学生と同様であり、どの企業も選考は日本語で行っていた。求める日本語能力は基準を設定している企業と設定していない企業がみられた。設定していない企業は選考を通してポテンシャルを見極める工夫を行っていた。

- 日本人学生と同様。日本語能力は、採用時には資格ではなく、来日期間や履歴書の内容をみて、ビジネスレベルになりそうかで判断している。日本のために何かしたい人を大事にしている（1～99人）
- 日本人学生と同様に、適性と志望動機で判断。明確な日本語能力基準は決めていないが、わからないことを質問できる程度の日本語力は希望（1～99人）
- 書類と面接で判断。日本語力は以前はN1取得を基準としていたが、現在はN2まで広げている。面接で質問の受け答えができるくらいの日本語力は求める（100～299人）
- 人物重視で、技術職の場合はスキルや経験も重視している。日本語力はできればN1取得を希望しており、英語だけの採用は行っていない（5,000人以上）
- 日本語力はできればN1取得を希望、メール、電話が問題なくでき、会議で意見を言える程度の日本語力は求める（5,000人以上）

● 外国人留学生の選考方法

外国人留学生の選考方法は、日本人学生と同様であった。日本で働く期間や日本で身に付けたいこと、留学で経験したことなど外国人留学生ならではのテーマを切り口とした質問から掘り下げる工夫をしている。

- 日本人学生と同様。面接を重視しており、集団面接と個別面接を行っている。将来のキャリアやビジョン、これまでの経験を中心に深掘し、入社後のパフォーマンスにつながるか判断している（1～99人）
- 日本人学生と同様。学業・学外活動問わず、何を行ったかではなく、何を得たかを重視（1～99人）
- 日本人学生と同様。ライフプランを質問し、長く働いてくれる人を採用している（100～299人）
- 日本人学生と同様。自社のサービスを理解し、サービスマインド、人間力、変化への対応力、リーダーシップ、チャレンジ精神がある学生を求めている。外国人留学生の場合は、留学で経験したことや、日本で何を身につけたいかを聞く（5,000人以上）
- 日本人学生と同様。成績、履歴書はひとつの切り口であり、アルバイトやサークルなど自身が学生時代に取り組んだことから掘り下げて、どんな価値観、強みをもっているかみる。特に、自ら考える力、実行する力をみている（5,000人以上）

● 外国人留学生を受け入れるために実施していること（社内の取り組み）

外国人留学生を受け入れるために実施していることは、ヒアリング調査を行ったすべての企業が特に行っていないとの回答であった。

● 外国人留学生採用の課題

外国人留学生採用の課題は、外国人留学生への日本語力を上げる企業が複数みられた。日本企業で働くことへの理解や応募する企業への理解を課題に上げる企業もみられた。

- 日本で働きたいからという理由で応募してくる外国人留学生が多い（1～99人）
- 採用した外国人留学生は質・量ともに満足しているが、募集の職種が特殊なため、対象の学生が少ないことが課題（100～299人）
- 特にないが、外国人留学生向け採用に力をいれていきたいことと、日本語力がもう少し高いとさらに良い。ジョブ志向の学生が多いが、ジョブローテーションが基本のためジョブ志向の学生はあまり定着しない（5,000人以上）
- ビザの手続き、日本語力（5,000人以上）

外国人留学生の採用後の定着について

● 定着状況

外国人留学生の採用後の取り組みは、対象を限定した研修や教育を行っている企業はなかったが、海外赴任経験のある人事担当者による個別のフォローや多様な文化等の相互理解の取り組み、外国人留学生の経験等を考慮した配属、家族へのフォローを行っている企業がみられた。

- 外国人留学生からの採用で離職した社員はいない。優秀な人材を採用できているので、今後定着・育成への取り組みを行っていきたい（1～99人）
- 海外赴任経験のある人事担当者による個別のフォロー、多様な文化等の相互理解のための取り組みとして、「外国人の会」（母国の料理を振る舞う）、「英語の会」（英語のみで話す会）を実施（1～99人）
- 外国人留学生に限定した教育は行ってないが、企業規模的に全員の顔がみえる環境（100～299人）
- 外国人留学生に限らず定着は課題であり定着率をあげていきたい。外国人留学生向けにはコミュニケーション力、居住地、案件等での配属、家族へのフォローなど行っている（5,000人以上）
- ・外国人留学生向けのプログラムは実施していないが、日本人社員と同様に新卒対象の面談を実施。全社的には離職率は少ないが、日本人社員に比べると多い傾向（5,000人以上）

● 外国人留学生に期待すること

外国人留学生へ期待することは、日本人学生と同様との回答が複数みられた。また、海外拠点との懸け橋として期待しているとの意見がみられた。

- 日本人学生、外国人留学生問わず、自ら行動をして変えていくバイタリティ（1～99人）
- できる限り長く働いてほしい（1～99人）
- 海外工場とのコミュニケーションの役割を担ってほしい（100～299人）
- 日本人学生と同様、現場で成長し、より幅広い仕事をしてほしい。海外拠点との架け橋（5,000人以上）

その他

● 外国人留学生のインターンシップの実施状況

外国人留学生に限定したインターンシップを実施している企業はみられなかった。対象を日本人学生・外国人留学生で分けることなく広く募集し、結果的に外国人留学生が参加しているケースが多かった。海外インターンを受入れている企業がみられた。

- 長期（半年～1年）のインターン生を受け入れている。外国人留学生には限定していないが、結果として日本人学生と外国人留学生が半数ずつ。採用にもつながっている（1～99人）
- 外国人留学生に限定していないが、業務理解を促す目的でインターンシップ（1日～）を通年で実施。インターンシップの過程で選考や内定辞退がある。海外でのブランディングとして海外インターンを受入れている（1～99人）
- 以前はインターンを受け入れていたが、対応する社員の確保が難しく現在は実施していない。外国人留学生の参加実績はない。海外での工場設立をきっかけに海外インターンを受入れている（100～299人）
- 職種別プログラムを夏に行い、日本人学生・外国人留学生を区別なく受け入れており、外国人留学生も参加している。大学と連携した長期インターンシップ等を実施しており、今後も多様な取り組みを行っていききたい（5,000人以上）
- 春から秋にかけてプレゼンテーション型インターンシップを各部門で実施しており、外国人留学生も参加している（5,000人以上）

● 新卒紹介・紹介予定派遣の利用・ニーズ

新卒紹介を利用している企業は2社であった。1社は外国人留学生の採用の柱となっていた。紹介予定派遣は利用している企業はないが、外国人留学生と相互理解が進む点で評価がある一方で、技術職を募集している企業では中途採用を優先させるとの意見もみられた。

- 現状は実施していない（1～99人）
- 新卒紹介を利用している。外国人留学生の質が担保される。紹介予定派遣は、サービスの仕組み自体よいと思う。面接だけでは外国人留学生も会社の理解や自分を表現することが難しいと思うので、アルバイトを通しお互い理解をすることは大切（1～99人）
- 採用数が2～3名ということもあり、現状の学校への求人票、ハローワーク等の外国人留学生向け合同企業説明会への出展、自社ホームページでの採用情報の掲載で優秀な人材を確保できている。募集職種が技術職のため、派遣から正社員化は難しく、その場合、新卒ではなく中途採用を優先させる（100～299人）
- 新卒紹介は母集団形成として活用。紹介予定派遣は現状ニーズはない（5,000人以上）

2-2. 外国人留学生のキャリアプラン・就職活動・新卒紹介等ニーズ

● 来日のきっかけ・理由

ヒアリング調査を行った外国人留学生5名のうち、3人が母国の大学に入学、その後奨学金取得、編入などをきっかけに来日している。他の2名は大学入学以前に日本人・日本文化と接点あり、来日するきっかけとなっている。

- 母国の大学入学半年後、日本の大学から奨学金を取得した（大学・ベトナム）
- 高校のとき日本語を勉強しており、母国での大学の進学がうまくいかず日本への留学を決める（大学・中国）
- 母国で大学3年のときに日本の大学の3年に編入した（大学院修士・マレーシア）
- 親の仕事の関係で日本人や日本文化（漫画・アニメ）と触れる機会があり、日本へ留学したいと考えていた。留学先（イギリス）での就職が難しく、日本への留学を決めた（日本語学校・中国）
- 母国の大学で学んだ専攻分野を極めるため（日本語学校・タイ）

● 日本で働きたいと思ったきっかけ

来日時に日本で働くことを決めていた学生は1名であった。日本で生活や勉強をするなかで決定した学生が多い。就職活動のタイミングで考える学生は、日本で学んだことを母国と日本でどう活かすことができるかを検討し日本で働くことを決定している。

- 日本の環境に慣れたことと、日本で経験を積みたかった（大学・ベトナム）
- 日本で学んだことを活かすため（大学・中国）
- 日本か母国か悩んだが、日本語を習得し、日本で勉強を頑張ってきたので（大学院修士・マレーシア）
- 日本での生活が良かったことと、日本の匠の精神や物事への取り組み姿勢など共感できることがあった（日本語学校・中国）
- 母国で起業したいと思っており、日本でビジネスを学びたかった（日本語学校・タイ）

● 就職活動

開始時期

ヒアリングを行った外国人留学生は全員、就職先企業へは2017年4月入社であったが、就職活動解禁の2016年3月に就職活動を開始した学生は1名であった。4月、6月、10月からと開始が遅い傾向であった。また、卒論作成や就職活動が上手くいかないことを理由に、途中で就職活動を行っていない期間がある学生がみられた。

終了時期

就職活動を開始して、2ヶ月で就職先が決まる学生がいる一方で、半年ほど就職活動を行っている学生もみられた。

- 大学院への進学を検討しており、就職活動を始めるのが遅くなり、2016年6月から始めた。8月上旬まで実施（大学・ベトナム）
- 2016年4月下旬から始めたが、卒論作成と重なり夏から9月末までは未内定のまま就職活動をしていなかった。10月から再開し、2月末に内定（大学・中国）
- 2016年3月に始めたが、3～4月で面接に落ち2ヶ月ほど就職活動をやめていた。6月末から再開し、秋に内定（大学院修士・マレーシア）
- 2016年10月から開始、12月に就職先決定（日本語学校・タイ）

活動内容

活動内容は、主に外国人留学生向けの合同説明会への参加やナビサイトの活用であった。外国人留学生に限定していないナビサイトへの登録もみられる。

- リクナビ、マイナビ、アジアリンク、オリジネーター、ハローワークに登録、ベトナム人向けの説明会に参加（大学・ベトナム）
- 外国人向け就職サイトに登録したが、行きたい企業がなくマイナビに登録、大学キャリアセンターに相談（大学・中国）
- 留学生向けの合同説明会に参加、外国人留学生向け新卒紹介会社へ登録（大学院修士・マレーシア）
- 留学生向け合同説明会に参加、就職活動に関する情報はインターネットで収集（日本語学校・中国）
- 外国人雇用サービスセンターの説明会に参加、学校からの紹介（日本語学校・タイ）

大変だったことと対策

SPI、エントリーシート、面接それぞれのフローで苦労した点がみられた。今回ヒアリングを行った外国人留学生は面接含めて日本語で行われており、言葉の壁が挙げられている。対策としては、学校の先生や日本人の友人から添削やアドバイスを受けているケースが多い。就職活動中に敬語の使い方を習得するために営業のアルバイトをする学生もみられた。

- SPIの言語問題が難しかった。小論文も規定の分量を書くことができなかった。グループ面接は他の人の話を覚えることに必死で力を発揮できなかった。大学の就職課や日本人の友人に添削・アドバイスをもらった（大学・ベトナム）
- 面接は独特の緊張感があり慣れなかった。自分の思いを伝えたいが言葉の壁があった。大学4年の秋から営業のアルバイトを始め敬語の使い方など学び、面接に活かすことができた（大学・中国）
- 大学の研究との両立が大変だった。SPI、エントリーシートの作成、面接が難しかった。SPIは対策本を買ひ、エントリーシートは研究室の日本人の同期にチェックしてもらい、面接は新卒紹介会社の面接対策講座を受けた。マンツーマンの模擬面接が役立った（大学院修士・マレーシア）
- 就職活動を開始して1ヶ月40社エントリーしたが書類が通過できなかった。志望動機以外同じ内容にしていたのが原因。各社ごとに作成したら面接まで進めるようになった（日本語学校・中国）
- エントリーシートの作成、企業探しが大変だった。エントリーシートは学校の先生や留学生のOB・OGにみてもらった（日本語学校・タイ）

● 就職先企業を決めた要因

就職先企業を決めた要因は、自分のやりたいことができる、学んだことを活かせる、雰囲気が良いなどが挙げられている。外国人社員がいることも要因のひとつとなっている。日本での就職や就職先について、親と相談している学生が複数みられた。

- 会社見学したとき、会社の雰囲気が良かった。ベトナム出身の先輩、同期がいることも心強く、困ったことがあれば相談できる（大学・ベトナム）
- 資格取得ができ、自分が成長できる。大手企業の子会社で安定しており、親会社への転籍のチャンスがある（大学・中国）
- 自分の学んだことを活かせることと、会社が関東なこと（大学院修士・マレーシア）
- 親とも相談し最終的には内定辞退した会社に決めた。将来自分がやりたいことや内定辞退の事情も含め受け入れてくれたことが決めた理由（日本語学校・中国）
- 自分のやりたいことと合っていたことと、学校の先輩が就職していた（日本語学校・タイ）

● キャリアプラン

日本で働く期間を決めている学生は3名であった。日本で働いた後は、3名とも母国へ戻って働きたいと考えており、日本と母国の架け橋として働くキャリアプランを描いている。他の2名は日本で働く期間は決めておらず、日本で仕事の実績を積んでいきたいと考えている。

- 3年ほど働き、母国へ帰ろうと考えている。就職先の企業がベトナムに新しい拠点を作ったので、3年後にそこで働くことも考えている。日本とベトナムの架け橋となる仕事がしたい（大学・ベトナム）
- 資格を取得し、一人前になるまで日本で働きたい。日本で働く期間はまだ決めていない（大学・中国）
- 10年ほど日本で働き、将来はマレーシアで起業したい。経験を活かし、日本とマレーシアの架け橋となる企業を起したい（大学院修士・マレーシア）
- 入社する会社でできるだけ長く働きたい。少しでも早く会社の役に立てるよう、会社の成長に貢献したい。1~2年で仕事を覚え、10~20年で自分の裁量で仕事ができるようになっていきたい（日本語学校・中国）
- 3~5年日本で働き、その後タイで起業したい（日本語学校・タイ）

● 学内外の活動状況

学内の活動状況

学内の活動状況は、大学在籍の留学生はともにゼミナールに参加していた。

- 3、4年に日本語で行うゼミナールを履修（大学・ベトナム）
- ゼミナールに参加（大学・中国）

学外の活動状況

学外の活動状況は、アルバイトをしていない学生は1名で、他の学生はアルバイトを行っていた。アルバイトの経験がある学生は、複数のアルバイトを行っており、飲食系のアルバイトが多い。母国の留学生会の会長として活動している学生もみられた。

- レストラン、スーパーマーケット、不動産、学内アルバイトなどいろいろ行った（大学・ベトナム）
- 居酒屋、コンビニなどのアルバイト、新卒紹介会社の紹介で営業のアルバイト（大学・中国）
- マレーシア留学生会（メンバー300名程度）に所属し、会長を行っている。メンバーの相談にのったり、マレーシア政府との情報交換等行っていた。異業種交流のアルバイトを1年行った（大学院修士・マレーシア）
- アルバイトはしていない（日本語学校・中国）
- タイ料理でホール、日本茶のお店で受発注の入力サポートのアルバイト（日本語学校・タイ）

● 就職活動で役に立ったこと

就職活動で役に立ったこととして、日本語力を向上することができた活動が多く挙げられている。アルバイトを通し、敬語の使い方や職場の雰囲気理解、日本語で考える力がつき、就職活動に役立てることができている。また、日本語でのゼミナールも強制的に日本語を使う必要があるため、話す聞くだけでなく、書く力への向上につながっている。

- 日本語のゼミナールで、日本語力があがり、卒論が日本語で書けるまでになった（大学・ベトナム）
- 営業のアルバイトで日本語で考える力、敬語の使い方を学ぶことができた。いろいろなアルバイトを経験し、日本での仕事や職場の違いを知ることができた（大学・中国）
- アルバイトを経験し、学校と企業では言葉づかいや対応の仕方が違うことがわかった。マレーシア留学生会での経験を通して、リーダーシップやコミュニケーションを学ぶことができた（大学院修士・マレーシア）
- 学校の先生に相談、エントリーシートの添削をしてもらえたのが役に立った。学校のイベントに積極的に参加して、日本人と触れ合い日本語をみがくようにした（日本語学校・中国）
- アルバイトで店長や日本人の先輩の話し方を真似して敬語を学ぶことができた（日本語学校・タイ）

● 就職活動で求められる日本語力

就職活動を通して、日本の企業が外国人留学生へ高い日本語力を求めていることがうかがえる。日本語能力試験（JLPT）ではN1、最低限N2が必要と感じている。ただ、資格のレベルではなく、相手の話していること・伝えたいことの理解、自分の気持ちを伝えることが大切との意見もみられた。敬語の必要性も挙げられている。

- 日本で就職するためには高い日本語力が求められる。N1を取得しているが、資格ではなく、相手が何を言っているか、伝えたいかを理解することが大切（大学・ベトナム）
- 敬語が必要（大学・中国）
- 日本の企業に就職するにはN1、N2レベルの日本語力が必要（大学院修士・マレーシア）
- 企業によっては日本語を求められない場合もあったが、自分の考えを伝えるためにはN2は最低限必要だと思う。ただ、N1でも自分の気持ちを伝えるのは難しい（日本語学校・中国）
- 面接時に、日本の企業で就職するには高い日本語力が求められるのだと感じた。面接で落ちた企業は日本語力が原因だと思う（日本語学校・タイ）

● 外国人留学生向けの就職支援サービス

外国人留学生向けの新卒紹介

外国人留学生向けの新卒紹介に対して全般的に好意的であり、役立つ、便利との声が挙げられている。一方で、企業を自分で調べることで自力勉強になるので、自分で探した方がよいという意見もみられた。

- 紹介を受けるより、自分で探した方がよいと思う。企業を自分で調べることが勉強になる（大学・ベトナム）
- 友人に勧めたい（大学院修士・マレーシア）
- 就職活動を始めたばかりの時期は役立つと思う（日本語学校・中国）
- 学校の紹介で就職先が決まったので、自分の希望と合う企業を紹介してくれる新卒紹介は便利だと思う（日本語学校・タイ）

外国人留学生向けの紹介予定派遣

アルバイトの経験がある学生は、派遣というアルバイトに近いスタイルから始める紹介予定派遣に親和性があるようで、好意的な意見が多い。正社員になる前に仕事や職場を体験できることが良い点として挙げられている。

- アルバイトとして仕事を体験し、仕事を覚えて正社員になれるので良いと思い（大学・ベトナム）
- 内定がない場合は、紹介予定派遣から正社員という道があれば嬉しい（大学・中国）
- いろいろな会社を派遣のスタイルで体験できるのが良い。期間が3ヶ月、6ヶ月では長いので、1ヶ月程度がよいのでは（大学院修士・マレーシア）
- 紹介予定派遣のニーズはあると思う。アルバイトのなかで仕事を覚えられるのはよい（日本語学校・タイ）

F7. 貴社の業種をお選びください。(ひとつに○)

- | | | | | |
|-------------|---------|--------------|---------------|-----------|
| 1. 農林水産業 | 2. 鉱業 | 3. 土木・建設業 | 4. 製造業 | 5. 電気・ガス業 |
| 6. 運輸業 | 7. 商社 | 8. 卸売業・小売業 | 9. 金融・保険業 | 10. 不動産業 |
| 11. 旅行・ホテル業 | 12. 飲食業 | 13. IT・情報通信業 | 14. ソフトウェア開発業 | 15. 教育 |
| 16. その他() | | | | |

「新卒採用全体の状況」についてお伺いいたします。

Q1. 貴社の2016年新卒入社の採用実績をお答えください。

1. 採用した (採用人数 人) 2. 採用していない

Q2. 貴社における過去5年間の新卒採用数の変化についてお答えください。(ひとつに○)

1. 増加傾向 →**Q3**へお進みください
 2. 変化なし →**Q4**へお進みください
 3. 減少傾向 →**Q3**へお進みください

【Q2で「1」「3」と回答の方のみ】**Q3. 新卒採用数の変化の理由をお選びください。(いくつでも○)**

1. 将来の経営業績の見通し 2. 従業員の年齢構成 3. 定年退職者等の退職予定による欠員数
 4. 人件費に関する財務的な判断 5. 配属予定先各部署の意見
 6. その他()

「外国人留学生の採用状況」についてお伺いいたします。

Q4. 貴社の過去5年間における外国人留学生の採用実績をお答えください。

1. 採用した (採用人数: 人)
 a. 採用人数の内訳 (大学(院)卒: 人/専門学校卒: 人/日本語学校卒: 人)
 →**Q5**へお進みください
 2. 採用していない →**Q9**へお進みください

【Q4で「1」と回答の方のみ】**Q5. 貴社の外国人留学生の採用目的をお選びください。(いくつでも○)**

1. 国籍に関係なく優秀な人材の確保 2. 海外との取引に係る業務を行うため
 3. 新規に海外への事業展開を行うため 4. 自社(グループ)海外現地法人との調整業務
 5. 本社のダイバーシティ政策の一環
 6. 日本人学生では確保しにくくなった専門分野を補うため
 7. その他()

【Q4で「1」と回答の方のみ】**Q6. 採用した外国人留学生の希望する勤続年数(期間)をお選びください。(ひとつに○)**

1. 3年以内 2. 5年程度 3. 10年程度 4. できるだけ長く
 5. 特に想定していない

【Q4で「1」と回答の方のみ】

Q12. これまで採用した外国人留学生の職種をお選びください。(いくつでも○)

- | | | |
|---------------|-----------------|-------------------|
| 1. 研究開発 | 2. システム開発・設計 | 3. 事務職(総務・人事・広報等) |
| 4. 事務職(法務・会計) | 5. マーケティング・商品開発 | 6. 営業・販売 |
| 7. 生産・製造 | 8. 国際業務 | 9. 貿易実務 |
| 10. デザイナー | | |
| 11. 役員・管理職 | 12. その他() | |

【Q4で「1」と回答の方のみ】

Q13. 貴社において外国人留学生を採用する際に重視することをお選びください。(3つまで)

- | | | | |
|---------------|--------------|-------------|------------|
| 1. バイタリティ | 2. リーダーシップ | 3. 発想の豊かさ | 4. 熱意(志望度) |
| 5. 勤勉さ・真面目さ | 6. 大学の成績 | 7. 専門性 | 8. 出身大学 |
| 9. コミュニケーション力 | 10. 語学力(日本語) | 11. 語学力(英語) | 12. 論理的思考力 |
| 13. その他() | | | |

【Q4で「1」と回答の方のみ】

Q14. 貴社において外国人留学生を採用する際に最低限求める日本語コミュニケーションレベルをお選びください。(ひとつに○)

- | | | | |
|-------------|------------|------------|-----------|
| 1. ネイティブレベル | 2. ビジネスレベル | 3. 日常会話レベル | 4. 特に求めない |
|-------------|------------|------------|-----------|

【Q4で「1」と回答の方のみ】

Q15. 貴社で今後強化していきたい外国人留学生の採用手法をお選びください。(いくつでも○)

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1. 日本人新卒募集と同じプロセスで採用 | 2. 日本人と別に枠を設けて採用 |
| 3. 外国人向け合同企業説明会に出展 | 4. 外国人採用実施を広報媒体に明記 |
| 5. 特定の学校・大学・研究室から採用 | 6. 留学生のネットワークを利用した採用 |
| 7. 外国人留学生紹介予定派遣の利用 | 8. 外国人留学生新卒紹介の利用 |
| 9. インターンシップから採用 | 10. 秋期採用を実施 |
| 11. 通年採用を実施 | |
| 12. その他() | |

【Q4で「1」と回答の方のみ】

Q16. 貴社における外国人留学生の採用活動の課題をお選びください。(いくつでも○)

- | | |
|--------------------------------|------------------------|
| 1. 優秀な外国人留学生の採用ルートが分からない | 2. 募集コスト・人的・時間的負担がかかる |
| 3. 優秀な学生の能力判定が難しい | 4. 求める専門能力を有する人材が少ない |
| 5. 求める日本語コミュニケーション能力を有する人材が少ない | |
| 6. 求める出身国の採用ルートが分からない | 7. 在留資格の変更手続きなどの負担がかかる |
| 8. 在留資格による職務制限 | 9. 社内の受け入れ体制が未整備 |
| 10. その他() | |
| 11. 特になし | |

【Q4で「1」と回答の方のみ】

Q17. 貴社において外国人留学生採用の満足度をお選びください。(ひとつに○)

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1. 量・質ともに満足している | 2. 量は満足しているが、質は不満 |
| 3. 質は満足しているが、量は不満 | 4. 量・質ともに不満 |

「入社後の状況」についてお伺いいたします。

【Q4で「1」と回答の方のみ】

Q18. 貴社で外国人留学生採用後に実施している研修をお選びください。(ひとつに○)

1. 日本人の新入社員と同じ内容の研修を実施
2. 外国人留学生に限定した研修を実施
3. 日本人と同様の研修と外国人留学生に限定した研修を実施
4. 新入社員向けに研修を実施していない
5. その他()
6. 特にない

【Q4で「1」と回答の方のみ】

Q19. 貴社で外国人留学生受け入れのために実施していることをお選びください。(いくつでも○)

1. 日本語コミュニケーション能力の研修を実施している
2. 日本企業文化研修を実施している
3. 異文化コミュニケーション研修を実施している
4. 上司や人事との面談を実施している
5. メンター制度を取り入れている
6. 社員との交流の機会を設けている
7. キャリアパスの整備
8. 給与体系の整備
9. 社内書類の多言語化
10. 福利厚生サービスの整備
11. 業務フローの見直し
12. その他()

【Q4で「1」と回答の方のみ】

Q20. 貴社の外国人留生活活用に向けた課題についてお答えください。(いくつでも○)

1. 日本人社員と比べ、活用するためのコストと時間がかかる
2. 社内での日本語コミュニケーション能力の不足
3. 取引先での日本語コミュニケーション能力の不足
4. 希望するキャリア形成と会社が考えるキャリアに乖離がある
5. 在留資格による職務制限があるため配属先が限定される
6. 離職率が高く、定着しない
7. 外国人留学生を活用できる日本人管理者の不足
8. 受け入れ部署に外国人社員活用の目的が伝わらない
9. 採用部署と人材開発部署の連携が取れていない
10. その他()
11. 特にない

「今後の外国人留学生の採用・インターンシップ」についてお伺いいたします。

Q21. 今後の外国人留学生の採用予定をお答えください。

1. 予定がある (2017年入社採用予定数: 人)
2. 予定はない
3. 未定・検討中

Q22. 貴社ではこれまでに外国人留学生をインターンシップで受け入れたことがありますか。(ひとつに○)

1. 受け入れたことがある
2. 受け入れ計画はあるが、実績はない
3. 受け入れる計画がない

Q23. 貴社の外国人留学生を対象にしたインターンシップの課題をお選びください。(いくつでも○)

1. 文化・価値観、考え方の違いによるトラブル
2. 言葉の壁による意思疎通面でのトラブル
3. 受け入れ部署の業務負担が増える
4. 外国人留学生を受け入れる社内体制が整っていない
5. 外国人留学生への告知方法がわからない
6. その他()

「アルバイトの実施状況」についてお伺いいたします。

Q24. 貴社では外国人留学生をアルバイトとして採用していますか。(ひとつに○)

1. 採用している → **Q25** へお進みください
 2. 採用していない → **Q27** へお進みください

【Q24で「1」と回答の方のみ】

Q25. 外国人留学生の採用目的をお答えください。(いくつでも○)

1. 労働力不足解消のため
 2. 顧客や取引先の外国人対応のため
 3. ダイバーシティの体制の構築のため
 4. その他()

【Q24で「1」と回答の方のみ】

Q26. 外国人留学生のアルバイトを正社員登用したことはありますか。(ひとつに○)

1. 正社員登用したことがある
 2. 正社員登用したことはない

「教育機関への要望」についてお伺いいたします。

Q27. 教育機関(大学等)に求める、外国人留学生の教育で必要と感じるものをお答えください。(いくつでも○)

1. 日本語能力(日常会話・読み書き)
 2. ビジネスシーンで使用する高度な日本語教育
 3. 英語能力(日常会話・読み書き)
 4. ビジネスシーンで使用する高度な英語教育
 5. 日本の企業文化への理解を促す教育
 6. 日本企業の基本的なビジネスマナー教育
 7. 社会人基礎力の育成
 8. 基礎学力を充実させる教育
 9. 高度な専門分野の教育
 10. 一般常識の教育
 11. インターンシップを通じた日本企業の理解促進
 12. プレゼンテーション能力・ディベート能力育成のための教育
 13. その他()

Q28. 本調査の結果概要等の送付をご希望の方へはメールにてお送りいたします。ご希望の方は送付先のお名前・ご所属の部署、メールアドレスをご記入ください。

※ご記入いただいた情報は、本調査結果概要の送付等本調査目的のみで使用し、本調査以外の目的では使用しません。

貴社名 : _____

所属部署・役職 : _____

お名前 : _____

メールアドレス : _____ @ _____

Q29. 本調査では外国人留学生を採用している企業様向けにヒアリング取材を実施予定です。ヒアリング取材を承諾いただける場合は下記にチェックの上、ご連絡先をご記入ください。

※ご記入いただいた電話番号は、ヒアリング取材の実施等本調査目的のみで使用し、本調査以外の目的では使用しません

※ご承諾いただきました企業様へは調査実施機関より取材の実施に関してご連絡させていただきます

ヒアリング取材の承諾

ご連絡先電話番号 : () _____

質問はこれで終了です。ご協力いただきありがとうございました。

(参考資料1) 外国人留学生アンケート調査票

外国人留学生向け日本企業への就職に関するアンケート

こちらは、日本の大学・大学院・専門学校・日本語学校に在籍(ざいせき)している外国人留学生向けの日本企業への就職(しゅうしょく)に関するアンケート調査(ちようさ)です。

本アンケートの対象(たいしょう)は、大学院1、2年生、大学3、4年生、短期大学2年生、専門学校2年生、日本語学校生となります。

回答(かいとう)いただきました内容(ないよう)は、集計結果(しゅうけいけっか)を「外国人留学生の就職率向上(しゅうしょくりつこうじょう)のための基礎資料(きそしりょう)」として活用させていただきます。それ以外の目的で利用することも、個別(こべつ)の回答(かいとう)の内容(ないよう)を公表(こうひょう)することもありません。

「外国人留学生の就職率向上(しゅうしょくりつこうじょう)に向けた調査(ちようさ)」の実施機関(じっしきかん)
株式会社リクルートスタッフィング
調査協力(ちようさきょうりょく): 一般社団法人留学生支援ネットワーク
調査委託先(ちようさいたくさき): 本調査(ほんちようさ)に関する
お問合せ(といあわせ)先(さき): 株式会社クオリティ・オブ・ライフ
担当(たうとう): 原田
メール: info@qol-ino.com

・ ①必須入力

Q1 あなたの性別をお選びください。

1	2
男性	女性
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>



ここで改ページ

・ ①必須にする(全てのF4欄)
・ 1.N: 半角数字 / 最小0 / 最大100 / 整数

Q2 あなたの年齢をお知らせください。

(半角数字)



ここで改ページ

・ ①必須にする(全てのF4欄)

Q3 現在あなたが在籍(ざいせき)している学校名をご記入(きこゆう)ください。



ここで改ページ

・ ①必須入力
・ ①.FA: 必須入力
・ ②.FA: 必須入力

Q4 現在あなたが在籍(ざいせき)している学部名・学科名をご記入(きこゆう)ください。

回答例) 文系学部: 経済学部経済学科
理系学部: 工学部電気電子工学科

・ ①. 文系学部(ぶんけいぶ)

・ ②. 理系学部(りけいぶ)



ここで改ページ

・ ①必須入力

Q5 現在のあなたの学年をお選(えら)びください。

- 1. 大学3年
- 2. 大学4年
- 3. 大学院修士1年
- 4. 大学院修士2年
- 5. 短期大学2年
- 6. 専門学校2年
- 7. 日本語学校

・ ①必須入力

Q6 あなたの出身国(しゅっしんこ)をお選(えら)びください。

【アジア】

- 1. 中国
- 2. ベトナム
- 3. ネパール
- 4. 韓国
- 5. 台湾(中国)
- 6. インドネシア
- 7. タイ
- 8. ミャンマー
- 9. マレーシア
- 10. スリランカ
- 11. モンゴル
- 12. バングラデシュ
- 13. フィリピン
- 14. インド

【中東】

- 15. サウジアラビア

【北米】

- 16. アメリカ合衆国

【ヨーロッパ】

- 17. フランス
- 18. ドイツ
- 19. ロシア
- 20. スウェーデン

【その他】

- 21. その他

ここで改ページ

・ ①必須入力

Q7 現在あなたの住んでいる都道府県(とどうふけん)をお選(えら)びください。

- | | |
|--------------------------------|--------------------------------|
| <input type="radio"/> 1. 北海道 | <input type="radio"/> 25. 滋賀県 |
| <input type="radio"/> 2. 青森県 | <input type="radio"/> 26. 京都府 |
| <input type="radio"/> 3. 岩手県 | <input type="radio"/> 27. 大阪府 |
| <input type="radio"/> 4. 宮城県 | <input type="radio"/> 28. 兵庫県 |
| <input type="radio"/> 5. 秋田県 | <input type="radio"/> 29. 奈良県 |
| <input type="radio"/> 6. 山形県 | <input type="radio"/> 30. 和歌山県 |
| <input type="radio"/> 7. 福島県 | <input type="radio"/> 31. 鳥取県 |
| <input type="radio"/> 8. 茨城県 | <input type="radio"/> 32. 島根県 |
| <input type="radio"/> 9. 栃木県 | <input type="radio"/> 33. 岡山県 |
| <input type="radio"/> 10. 群馬県 | <input type="radio"/> 34. 広島県 |
| <input type="radio"/> 11. 埼玉県 | <input type="radio"/> 35. 山口県 |
| <input type="radio"/> 12. 千葉県 | <input type="radio"/> 36. 徳島県 |
| <input type="radio"/> 13. 東京都 | <input type="radio"/> 37. 香川県 |
| <input type="radio"/> 14. 神奈川県 | <input type="radio"/> 38. 愛媛県 |
| <input type="radio"/> 15. 新潟県 | <input type="radio"/> 39. 高知県 |
| <input type="radio"/> 16. 富山県 | <input type="radio"/> 40. 福岡県 |
| <input type="radio"/> 17. 石川県 | <input type="radio"/> 41. 佐賀県 |
| <input type="radio"/> 18. 福井県 | <input type="radio"/> 42. 長崎県 |
| <input type="radio"/> 19. 山梨県 | <input type="radio"/> 43. 熊本県 |
| <input type="radio"/> 20. 長野県 | <input type="radio"/> 44. 大分県 |
| <input type="radio"/> 21. 岐阜県 | <input type="radio"/> 45. 宮崎県 |
| <input type="radio"/> 22. 静岡県 | <input type="radio"/> 46. 鹿児島県 |
| <input type="radio"/> 23. 愛知県 | <input type="radio"/> 47. 沖縄県 |
| <input type="radio"/> 24. 三重県 | |

ここで改ページ

・ ①必須入力

Q8 日本を留学先(りゅうがくさき)として選(えら)んだ理由(りゆう)をすべてお選(えら)びください。

- 1. 日本に興味(きょうみ)があり、日本で生活(せいかつ)したかったため
- 2. 行きたい学校があったため
- 3. 興味(きょうみ)のある専門分野(せんもんぶんや)があったため
- 4. 日本語や日本文化(ぶんり)に興味(きょうみ)があったため
- 5. 地理的(ちりてき)に近いため
- 6. 治安(ちあん)がよいため
- 7. 将来(しょうらい)日本で働(はたら)きたいため
- 8. 奨学金(しょうがきん)が得(え)られたため
- 9. 友人・知人に勧め(すす)められたため
- 10. 家族に勧め(すす)められたため
- 11. その他

- ①必須入力

Q9 現在あなたの日本語能力試験(JLPT)のレベルをお選びください。

- 1. N1レベル相当(そうとう)
- 2. N2レベル相当(そうとう)
- 3. N3レベル相当(そうとう)
- 4. N4レベル相当(そうとう)
- 5. N5レベル相当(そうとう)
- 6. わからない

ここで改ページ

- ①必須入力

- 排他選択肢:5.参加していない

Q10 学校の授業以外(じゅぎょういがい)で、現在参加している学校の活動(かつどう)をすべてお選びください。

- 1. ゼミナールに参加している
※ゼミナールとは、教授(きょうじゅ)の指導(しどう)のもと、特定(とくてい)のテーマについて少人数(しょうにんず)で研究(けんきゅう)や討論(とうろん)をすること
- 2. 部活動(ぶかつどう)に参加している
- 3. サークルに参加している
- 4. その他
- 5. 参加していない

ここで改ページ

- ①必須入力

- 排他選択肢:4.行っていない・参加していない

Q11 学校以外(がっこういがい)で現在実施(じっし)参加している活動(かつどう)をすべてお選びください。

- 1. アルバイト・派遣(はけん)の仕事(しごと)を行っている
- 2. ボランティアを行っている
- 3. その他
- 4. 行っていない・参加していない

ここで改ページ

- セレクト条件 1.FA:【Q11】で1と答えた方
- セレクト条件 2.FA:【Q11】で2と答えた方
- ①必須にする(全てのFA欄)

Q12 学校以外(がっこういがい)で現在実施(じっし)参加している活動(かつどう)について、
具体的(くわいてき)に行っていることをそれぞれ記入(きにゅう)ください。
例)週回(しゅうかい)コンピニでアルバイト

アルバイト・派遣(はけん)の仕事(しごと)を行っている
⇒

ボランティアを行っている
⇒

ここで改ページ

- ①必須入力

Q13 これまで日本国内で実施したインターンシップに参加したことがありますか。

1
参加したことがある

2
参加したことがない

ここで改ページ

- セレクト条件:【Q13】で2と答えた方
- ①必須入力

Q14 日本国内で実施したインターンシップに参加したことがない理由(りゆう)をすべてお選びください。

- 1. 興味(きょうみ)の持てる企業(かいしゃ)や内容(ないよう)がなかった
- 2. インターンシップに申し込んだが、選考(せんこう)に落ちた
- 3. 参加するための時間的(じかん)な余裕(よゆう)がなかった
- 4. 周(まわ)りで参加している人がいなかった
- 5. インターンシップに参加できることを知らなかった
- 6. インターンシップの探(さが)し方(かた)を知らなかった
- 7. もともと参加したいと思っていなかった
- 8. その他

- セレクト条件：【Q13】で1と答えた方
- ①必須入力

Q15 日本国内で実施したインターンシップに参加した時期(じき)をすべてお答え(えら)びください。

- 1. 大学1年
- 2. 大学2年
- 3. 大学3年
- 4. 大学4年
- 5. 大学院修士1年
- 6. 大学院修士2年
- 7. 短期大学1年
- 8. 短期大学2年
- 9. 専門学校1年
- 10. 専門学校2年
- 11. 日本語学校
- 12. その他

ここで改ページ

- セレクト条件：【Q13】で1と答えた方
- ①必須入力

Q16 日本国内で実施したインターンシップの参加企業の業種(ぎょうしゆ)をお選(えら)びください。

※複数回(ふくすうかい)に参加したことがある場合は、直近(ちよきん)で参加したものについてお答えください。

- 1. 農林水産業(のうりんすいさんぎょう)
- 2. 鉱業(こうぎょう)
- 3. 土木(どぼく)・建設業(けんせつぎょう)
- 4. 製造業(せいぞうぎょう)
- 5. 電気(でんき)・ガス業
- 6. 運輸業(うんゆぎょう)
- 7. 商社(しょうしゃ)
- 8. 卸売業(おろしうりぎょう)・小売業(こうりぎょう)
- 9. 金融(きんゆう)・保険業(ほけんぎょう)
- 10. 不動産業(ふどうさんぎょう)
- 11. 旅行(りょこう)・ホテル業(ぎょう)
- 12. 飲食業(いんじきぎょう)
- 13. IT・情報通信(じょうほうつうしん)業(ぎょう)
- 14. ソフトウェア開発(かいはいはつ)業(ぎょう)
- 15. 教育(きょういく)
- 16. その他

ここで改ページ

- セレクト条件：【Q13】で1と答えた方
- ①必須入力

Q17 日本国内で実施したインターンシップについて、参加した期間(きかん)をお選(えら)びください。

※複数回(ふくすうかい)に参加したことがある場合は、直近(ちよきん)で参加したものについてお答えください。

- 1. 1日
- 2. 2～4日程度(ていど)
- 3. 1週間程度(ていど)
- 4. 2～3週間程度(ていど)
- 5. 1ヶ月以上(いじょう)

ここで改ページ

- セレクト条件：【Q13】で1と答えた方
- ①必須入力

Q18 日本国内で実施したインターンシップについて、参加したインターンシップの内容(ないよう)をすべてお選(えら)びください。

※複数回(ふくすうかい)に参加したことがある場合は、直近(ちよきん)で参加したものについてお答えください。

- 1. 見学型(けんがくがた)
 - 【職場(しょくば)を見学(けんがく)して、業務(ぎょうむ)について説明(せつめい)を受ける。仕事を少しだけ体験(たいけん)できるものもある。】
- 2. 講義型(こうぎがた)
 - 【講義形式(こうぎけいしき)で、業界(ぎやうかい)・企業(きやう)・仕事(しごと)についての説明(せつめい)を受ける。】
- 3. 課題解決型(かたいかいけつがた)
 - 【学生同士でグループワークをしたり、与(あた)えられた課題(かたい)の解決(かいけつ)に取り組む。】
- 4. 体験型(たいけんがた)
 - 【社員同僚(しゃいんどうよう)の業務(ぎょうむ)を任(まか)される。社員同僚(しゃいんどうよう)の成果(せいこ)を求められることもある。】
- 5. その他

- セレクト条件：【Q13】で1と答えた方
- ①必須入力

Q19 日本国内で実施したインターンシップについて、インターンシップに参加して得(え)られたことをすべてお選(えら)びください。

- 1. 日本企業の仕事の進(すす)め方(かた)や人材育成(じんざい)の考(かん)がえ方(かた)などが理解(りかい)できた
- 2. 日本企業の魅力(みりょく)を認(た)げ、理(り)解(かい)できた
- 3. 求められる日本語力(にほんご)のレベ(れ)ルが理(り)解(かい)できた
- 4. コミュニケーションスキルが上(あ)げられた
- 5. あいさつや電話対(たい)応(おう)などビジネスマナーを習(しゅう)得(とく)できた
- 6. 日本での就(しゅう)業(ぎょう)のた(た)めの企(き)業(ぎょう)研(けん)究(きゅう)や業(ぎょう)種(しゅ)選(えら)びにいかすこ(こと)ができた
- 7. 将(しょう)来(らい)のや(や)り方(かた)が明(めい)確(かく)になった
- 8. 学(がく)校(こう)での勉(べん)強(きょう)研(けん)究(きゅう)に對(たい)する姿(すがた)勢(せい)が変(へん)化(か)した
- 9. その他 _____



ここで改ページ

- ①必須入力

Q20 あなたの就(しゅう)業(ぎょう)の意(い)向(こう)をお選(えら)びください。

- 1. 絶(ぜつ)對(たい)に日(に)本(ぽん)で働(はたら)きたい
- 2. できれば日(に)本(ぽん)で働(はたら)きたい
- 3. 母(はは)国(こく)に帰(かえ)って働(はたら)きたい
- 4. 日(に)本(ぽん)以(い)外(がい)・母(はは)国(こく)以(い)外(がい)の国(こく)で働(はたら)きたい
- 5. まだ決(き)めていない



ここで改ページ

- セレクト条件：【Q20】で1,2と答えた方
- ①必須入力

Q21 日本でも希(き)望(ぼう)する就(しゅう)業(ぎょう)先(せん)の勤(きん)務(む)エリ(り)アをお選(えら)びください。

- 1. 北(ほく)海(かい)道(どう)・東(とう)北(ほく)地方(ちほう)
 - 【北海道・青森県・岩手県・宮城県・秋田県・山形県・福島県】
- 2. 関(かん)東(とう)地方(ちほう)
 - 【茨城県・栃木県・群馬県・埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県】
- 3. 中(ちゅう)部(ぶ)地方(ちほう)
 - 【新潟県・富山県・石川県・福井県・山梨県・長野県・岐阜県・静岡県・愛知県】
- 4. 近(きん)畿(ぎ)地方(ちほう)
 - 【三重県・滋賀県・京都府・大阪府・兵庫県・奈良県・和歌山県】
- 5. 中(ちゅう)国(こく)・四(し)国(こく)地方(ちほう)
 - 【鳥取県・島根県・岡山県・広島県・山口県・徳島県・香川県・愛媛県・高知県】
- 6. 九(きゅう)州(しゅう)地方(ちほう)
 - 【福岡県・佐賀県・長崎県・熊本県・大分県・宮崎県・鹿児島県・沖縄県】
- 7. 特(とく)に希(き)望(ぼう)はない



ここで改ページ

- セレクト条件：【Q20】で1,2と答えた方
- ①必須入力

Q22 日本でも働(はたら)きたいと思(おも)っている期(き)間(かん)をお選(えら)びください。

- 1. 1年(ねん)くらい
- 2. 3年(ねん)くらい
- 3. 5年(ねん)くらい
- 4. 10年(ねん)以上(いじょう)【永(えい)住(じゅう)権(けん)の獲(かく)得(とく)か】
- 5. 特(とく)に決(き)めていない

- セレクト条件：【Q20】で1,2と答えた方
- 選択肢セレクト条件
選択肢【4】：【Q13】で1と答えた方
- 必須入力

Q23 日本で働(はたら)きたいと思(おも)った一番のきっかけをお選(えら)びください。

- 1. 来日前(らいにち・まえ)から希望(きぼう)
- 2. 日本で生活(せいかつ)するなかで
- 3. 日本の学校(がく)で学(まな)ぶなかで
- 4. 日本国内で実施したインターンシップに参加して
- 5. アルバイト・派遣(はけん)の仕事(しごと)を経験(けいけん)し(れい)て
- 6. ボランティアを経験(けいけん)し(れい)て
- 7. 日本の社会(しゃかい)や文化(ぶんか)に実際(じっさい)に接(ふ)れて
- 8. 日本で働(はたら)いている先輩(せんぱい)をみて、話(わ)をきいて
- 9. 家族(かぞ)・友人(とも)・先輩(せんぱい)に勧め(すす)められて
- 10. その他 _____



ここで改ページ

- セレクト条件：【Q20】で1,2と答えた方
- 必須入力
- マルチの選択数：上限を設定→【5】個まで選択

Q24 働(はたら)きたい企業を選(えら)ぶ際に重要視(じゅうよう)することを お選(えら)びください。(最大5つまで)

* (5個まで)

- | | |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 1. 専門知識(せんもんちしき)・能力(のりよ)を活(い)かせる <input type="checkbox"/> 2. 社会(しゃかい)に貢献(こうげん)できる <input type="checkbox"/> 3. 仕事(しごと)にやりがいがある <input type="checkbox"/> 4. 企業が成長(せいちょう)している <input type="checkbox"/> 5. 業界(ぎやう)・産業(さんぎょう)が成長(せいちょう)している <input type="checkbox"/> 6. 業績(ぎよく)が安定(あんてい)している <input type="checkbox"/> 7. 企業の知名度(ちめいど)が高い <input type="checkbox"/> 8. 企業の規模(きぼう)が大きい(大企業) <input type="checkbox"/> 9. 高い収入(しゅうにゅう)が望(のぞ)める <input type="checkbox"/> 10. 福利厚生(ふくりこうせい)が充実(じゅうじつ)している <input type="checkbox"/> 11. 労働環境(らうどうかんきよう)がよい <input type="checkbox"/> 12. 社風(しゃふう)がよい <input type="checkbox"/> 13. 事業内容(じぎょうないよう)がよい | <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 14. 自分(じぶん)が成長(せいちょう)できる <input type="checkbox"/> 15. 企業理念(きぎょうりねん)やビジョンに共感(きょうかん)できる <input type="checkbox"/> 16. 勤務地(きんむち) <input type="checkbox"/> 17. 若手(わかて)が活躍(かつやく)している <input type="checkbox"/> 18. 社長(しゃちょう)や経営陣(けいぎやじん)が魅力的(みりよくてき)である <input type="checkbox"/> 19. 人事(じんし)や社員(しゃいん)が魅力的(みりよくてき)である <input type="checkbox"/> 20. 希望(きぼう)する将来(しょうらい)のキャリアにふさわしい <input type="checkbox"/> 21. 留学生を積極的(せきごく)に採用(さいよう)している <input type="checkbox"/> 22. 外国人社員(がいこくじんしゃいん)が多い <input type="checkbox"/> 23. 海外(がいがい)での事業展開(じぎょうてんがいの)を行っている <input type="checkbox"/> 24. 母国(ぼこくに)拠点(きょてん)がある・取引(とりひき)がある <input type="checkbox"/> 25. その他 _____ |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|



ここで改ページ

- セレクト条件：【Q20】で1,2と答えた方
- 必須入力

Q25 日本での就職活動(しゅうしょくかつどう)で不安(ふあん)な点・障害(しょうがい)となる点をすべてお選(えら)びください。

- 1. 留学生を採用(さいよう)する企業が少ない
- 2. 企業が留学生を採用(さいよう)する目的(もくてき)が不明確(ふめいかく)
- 3. 企業が求(もと)める日本語力(にほんごりよ)のレベルが高い
- 4. 留学生にとって就職活動(しゅうしょくかつどう)の時期(じき)が早(はや)すぎる
- 5. 企業(きや)の人が留学生の気持ち(きもち)を理解(りかい)していない
- 6. 留学生が日本で就職(しゅうしょく)するために必要(ひつよう)な情報が少ない
- 7. 日本の就職活動(しゅうしょくかつどう)の仕方(しかた)は特殊(とくしゆ)で留学生には理解(りかい)しにくい
- 8. 学校の留学生に対する就職支援(しゅうしょくしえん)が不十分(ふじゅうぶん)
- 9. 就職活動(しゅうしょくかつどう)について相談(そうたん)できる先輩(せんぱい)や友人(とも)が少ない
- 10. 在留資格(ざいりゅうしかく)に制限(せいげん)がある
- 11. 就職活動(しゅうしょくかつどう)を行うために金銭面(きんせんめん)での負担(ふたん)が大きい
- 12. その他 _____



ここで改ページ

- セレクト条件：【Q20】で1,2と答えた方
- 必須入力

Q26 日本での就職活動(しゅうしょくかつどう)の実施(じっし)の有無(うむ)をお選(えら)びください。

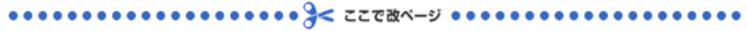
- 1. 就職活動(しゅうしょくかつどう)を行った(行っている)
- 2. 就職活動(しゅうしょくかつどう)を行わなかった(行っていない)

- ・ セレクト条件：【Q26】で1と答えた方
- ・ 必須にする(全てのF4欄)

Q27 あなたが日本で就職活動(しゅうしょく・かつどう)を始めた時期(じき)をご記入(きこ)ください。

【回答例】2016年3月

*



- ・ セレクト条件：【Q26】で1と答えた方
- ・ 選択肢セレクト条件
選択肢【12】：【Q13】で1と答えた方
- ・ 必須入力

Q28 就職活動(しゅうしょく・かつどう)や企業の情報の収集方法(しゅうしゅう・ほうほう)として行(おこな)ったものをすべてお選(えら)びください。

- 1. 学校のキャリアセンター・就職課(しゅうしょく・か)のスタッフ・職員(しよくいん)から
- 2. 学校の留学生支援(しえん)のスタッフ・職員(しよくいん)から
- 3. 学校の教授(きょうじゆ)・先生から
- 4. 新卒応援(しんそつ おうえん)ハローワーク
- 5. 就職情報誌(しゅうしょく・じよほうし)【紙の冊子(さっし)・本】・就職情報(しゅうしょく・じよほう)サイト
- 6. 就職情報誌(しゅうしょく・じよほうし)【紙の冊子(さっし)・本】・就職情報(しゅうしょく・じよほう)サイト(留学生向け)
- 7. 企業のホームページ
- 8. 学内で実施(じっし)される就職(しゅうしょく)ガイダンス
- 9. 学内で実施(じっし)される就職(しゅうしょく)ガイダンス(留学生向け)
- 10. 企業主催(しゆさい)のセミナー
- 11. 企業主催(しゆさい)のセミナー(留学生向け)
- 12. 日本国内で実施したインターンシップの参加を通して
- 13. 学校の友人・先輩(日本人)
- 14. 学校の友人・先輩(留学生)
- 15. 通っている(通っていた)学校の卒業生(日本人)
- 16. 通っている(通っていた)学校の卒業生(留学生)
- 17. 学外(アルバイト・ボランティアなど)の友人・先輩(日本人)
- 18. 学外(アルバイト・ボランティアなど)の友人・先輩(留学生)
- 19. その他



- ・ セレクト条件：【Q26】で1と答えた方
- ・ 必須入力
- ・ 排他選択肢：15. 特になし

Q29 在籍(ざいせき)する学校で受(う)けた就職支援(しゅうしょく・しえん)をすべてお選(えら)びください。

- 1. 自己分析(じこぶんせき)の仕方(しかた)
- 2. 業界(きよかい)／企業(けいぎ)の研究(けんきゆ)
- 3. 応募(おうぼ)する企業の選(えら)び方
- 4. 留学生を採用(さいよう)している企業を探(たづ)ねること
- 5. エントリーシートの作成(さくせい)
- 6. 就職活動(しゅうしょく・かつどう)全体のスケジュール調整(ちようせい)
- 7. 会社訪問(かいしゃたつもん)のスケジュール調整(ちようせい)
- 8. 筆記試験(ひきしけん)・WEBテスト(SF・DAB・GABなど)
- 9. 個人面接(こじんめんせつ)での対応(たいおう)
- 10. 集団面接(しゅうだんめんせつ)での対応(たいおう)
- 11. グループ討論(ぐろーぷたつろん)・ディスカッションの参加
- 12. ビジネスマナー
- 13. 学校の授業(じゆぎょう)や研究(けんきゆ)と就職活動(しゅうしょく・かつどう)の両立(りやうりつ)
- 14. その他
- 15. 特になし



- ・ セレクト条件：【Q29】で1-4と答えた方
- ・ 必須入力

Q30 在籍(ざいせき)する学校で受(う)けた就職支援(しゅうしょく・しえん)の満足度(まんぞく)をお選(えら)びください。

*

1	2	3	4	5
満足(まんぞく)している	やや満足(まんぞく)している	どちらともいえない	やや不満(ふまん)である	不満(ふまん)である
<input type="radio"/>				

- セレクト条件：【Q26】で1と答えた方
- 必須入力

Q31 日本での就職活動(しゅうしやくかつどう)で大変な点(大変だった点)をすべてお答え(えら)びください。

- *
- 1. 自己分析(じこぶんせき)の仕方(しかた)
 - 2. 業界(ぎやうがい)ノ企業(けいさ)の研究(けんきゆう)
 - 3. 応募(おうぼ)する企業(けいさ)の選(えら)び方
 - 4. 留学生(れいしゅうせい)を採用(さいよう)している企業(けいさ)を探すこと
 - 5. エントリーシート(えんてりしーと)の作成(さくせい)
 - 6. 就職活動(しゅうしやくかつどう)全体(ぜんたい)のスケジュール調整(ちようせい)
 - 7. 会社訪問(かいしゃほうもん)のスケジュール調整(ちようせい)
 - 8. 筆記試験(ひきしけん)・WEBテスト(SPI・OAB・GABなど)
 - 9. 個人面接(こじんめんせつ)での対応(たいおう)
 - 10. 集団面接(しゅうだんめんせつ)での対応(たいおう)
 - 11. グループ討論(ぐろーぷていろん)・ディスカッションの参加
 - 12. ビジネスマナー
 - 13. 学校の授業(じゅぎょう)や研究(けんきゆう)と就職活動(しゅうしやくかつどう)の両立(りやうりつ)
 - 14. その他



ここで改ページ

- セレクト条件：【Q20】で1,2と答えた方
- 必須入力

Q32 現時点(げんじつてん)での内定(ないてい)状況(じょうきょう)をお答え(えら)びください。

- *
- 1. 内定(ないてい)している企業(けいさ)がある
 - 2. 内定(ないてい)していない企業(けいさ)はない



ここで改ページ

- セレクト条件：【Q32】で1と答えた方
- 必須入力

Q33 内定(ないてい)している企業(けいさ)の本社所在地(ほんしゃしよゐ)をお答え(えら)びください。

※複数企業(ふくすうかぎよ)より内定(ないてい)を得(え)ている場合は、実際に就職(しゅうしやく)をする予定(よそ)の企業(けいさ)のことについてお答え(えら)びください。

- *
- | | |
|-----------------------------------|-----------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 1. 北海道 | <input type="checkbox"/> 25. 滋賀県 |
| <input type="checkbox"/> 2. 青森県 | <input type="checkbox"/> 26. 京都府 |
| <input type="checkbox"/> 3. 岩手県 | <input type="checkbox"/> 27. 大阪府 |
| <input type="checkbox"/> 4. 宮城県 | <input type="checkbox"/> 28. 兵庫県 |
| <input type="checkbox"/> 5. 秋田県 | <input type="checkbox"/> 29. 奈良県 |
| <input type="checkbox"/> 6. 山形県 | <input type="checkbox"/> 30. 和歌山県 |
| <input type="checkbox"/> 7. 福島県 | <input type="checkbox"/> 31. 鳥取県 |
| <input type="checkbox"/> 8. 茨城県 | <input type="checkbox"/> 32. 島根県 |
| <input type="checkbox"/> 9. 栃木県 | <input type="checkbox"/> 33. 岡山県 |
| <input type="checkbox"/> 10. 群馬県 | <input type="checkbox"/> 34. 広島県 |
| <input type="checkbox"/> 11. 埼玉県 | <input type="checkbox"/> 35. 山口県 |
| <input type="checkbox"/> 12. 千葉県 | <input type="checkbox"/> 36. 徳島県 |
| <input type="checkbox"/> 13. 東京都 | <input type="checkbox"/> 37. 香川県 |
| <input type="checkbox"/> 14. 神奈川県 | <input type="checkbox"/> 38. 愛媛県 |
| <input type="checkbox"/> 15. 新潟県 | <input type="checkbox"/> 39. 高知県 |
| <input type="checkbox"/> 16. 富山県 | <input type="checkbox"/> 40. 福岡県 |
| <input type="checkbox"/> 17. 石川県 | <input type="checkbox"/> 41. 佐賀県 |
| <input type="checkbox"/> 18. 福井県 | <input type="checkbox"/> 42. 長崎県 |
| <input type="checkbox"/> 19. 山梨県 | <input type="checkbox"/> 43. 熊本県 |
| <input type="checkbox"/> 20. 長野県 | <input type="checkbox"/> 44. 大分県 |
| <input type="checkbox"/> 21. 岐阜県 | <input type="checkbox"/> 45. 宮崎県 |
| <input type="checkbox"/> 22. 静岡県 | <input type="checkbox"/> 46. 鹿児島県 |
| <input type="checkbox"/> 23. 愛知県 | <input type="checkbox"/> 47. 沖縄県 |
| <input type="checkbox"/> 24. 三重県 | <input type="checkbox"/> 48. その他 |

- セレクト条件：【032】で1と答えた方
- 必須入力

Q34 内定(ないてい)している企業の業種(ぎょうしゆ)をお選(えら)びください。

※複数企業(ふくすう・きぎょう)より内定を得ている場合は、実際に就職をする予定の企業のことについてお答えください。

- 1. 農林水産業(のうりんすいさん・ぎょう)
- 2. 鉱業(こう・ぎょう)
- 3. 土木(とぼく)・建設業(けんせつ・ぎょう)
- 4. 製造業(せいぞう・ぎょう)
- 5. 電気(でんき)・ガス業
- 6. 運輸業(うんゆ・ぎょう)
- 7. 商社(しょうしゃ)
- 8. 卸売業(おろしりや・ぎょう)・小売業(こうりや・ぎょう)
- 9. 金融(きんゆう)・保険業(ほけん・ぎょう)
- 10. 不動産業(ふどうさん・ぎょう)
- 11. 旅行(りょこう)・ホテル業(ぎょう)
- 12. 飲食業(いんじきょう)
- 13. IT・情報通信(じょうほうつうしん)業(ぎょう)
- 14. ソフトウェア開発(かいはいはつ)業(ぎょう)
- 15. 教育(きょういく)
- 16. その他 _____

✂ ここまで改ページ

- セレクト条件：【032】で1と答えた方
- 必須入力

Q35 内定(ないてい)している企業の従業員規模(じゅうぎょういん・きび)をお選(えら)びください。

※複数企業(ふくすう・きぎょう)より内定を得ている場合は、実際に就職をする予定の企業のことについてお答えください。

- 1. 1～99人
- 2. 100～299人
- 3. 300～999人
- 4. 1,000～1,999人
- 5. 2,000～4,999人
- 6. 5,000人以上

✂ ここまで改ページ

- 必須入力(全項目)

Q36 現時点(げんじてん)での次(つぎ)の項目(こうもく)の習得度(しゅうとく)をそれぞれお選(えら)びください。

	1 習得(しゅうとく)できている	2 ある程度(ていど)習得(しゅうとく)できている	3 あまり習得(しゅうとく)できていない	4 習得(しゅうとく)できていない
1. 日本語の日常会話(にちじょう・かいわ)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2. ビジネス日本語	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3. 日本の企業文化(ぶんか)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4. ビジスマナー	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

✂ ここまで改ページ

- 選択肢(せんたくし)セレクト条件
選択肢【4】：【013】で1と答えた方
- 必須入力(全項目)

Q37 次(つぎ)の項目(こうもく)の習得方法(しゅうとくほうほう)をそれぞれすべてお選(えら)びください。

	1 学校の授業(じゆく)の 授業(じゆく)の 授業(じゆく)の 授業(じゆく)の	2 学内の 就業(しゅうごふ)の 就業(しゅうごふ)の 就業(しゅうごふ)の	3 学外の 就業(しゅうごふ)の 就業(しゅうごふ)の 就業(しゅうごふ)の	4 日本国 内(うち)で実 施(し)したイ ンタラク ティブ シヤッフ	5 アルバイ ト・派遣 (はけ ん)の仕 事(しごと)	6 ボランテ ィア	7 新聞(し んぶん)・テ レビ ジョン のメ ディア	8 その他
1. 日本語の日常会話(にちじょう・かいわ)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2. ビジネス日本語	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3. 日本の企業文化(ぶんか)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4. ビジスマナー	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

・  必須入力

Q38 日常生活(にちじゆう せいかつ)で日本人と話す機会(きかい)の頻度(ひんど)をお選(えら)びください。

- ① 毎日(まいにち)
- ② 2~3日(に) 回程度(かい ちいでい)
- ③ 1週間(いっしゅうかん) 回程度(かい ちいでい)
- ④ 2~3週間(いっしゅうかん) 回程度(かい ちいでい)
- ⑤ 1ヶ月(いっかげつ) 回程度(かい ちいでい)
- ⑥ (ほとんど)ない

.....  ここまで改ページ

・  必須入力(全項目)

・「新卒紹介(しんそつしょうかい)・・・新卒(しんそつ)の就職(しゅうしょく)エージェントサービス
 ・「紹介予定派遣(しょうがいよていはいけん)・・・派遣(はけん)スタッフとして一定(いってい)の期間(きかん)企業(きやうぎや)に就業(しゅうぎよ)したあと、自分(じぶん)と企業が合意(ごうい)すれば、その企業(きやうぎや)に直接雇用(ちやくぎよ)せよとの社員(しゃいん)として入社(にゅうしゃ)する仕組み(しくみ)。働(はたら)いている期間(きかん)に「社員(しゃいん)として働(はたら)きたい会社(かいしゃ)かどうか」を見極(みきわ)めることができる。 ※ともに学生(がくせい)は無料(むりよう)でサービスを利用(りよう)できます。

Q39 外国人留学生向けの就職支援(しゅうしょくしえん)サービス「新卒紹介(しんそつしょうかい)」「紹介予定派遣(しょうがいよていはいけん)」を知(し)っていますか。

	1 知(し)っている	2 知(し)らない
1. 新卒紹介(しんそつしょうかい)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2. 紹介予定派遣(しょうがいよていはいけん)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

.....  ここまで改ページ

・ セレク条件 項目 [1]-[2] : Q39項目 [1],[2] でと答えた方
 ・  必須入力(全項目)

Q40 外国人留学生向けの就職支援(しゅうしょくしえん)サービスを利用(りよう)したことがありますか。

	1 利用(りよう)したことがある	2 利用(りよう)したことはない
1. 新卒紹介(しんそつしょうかい)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2. 紹介予定派遣(しょうがいよていはいけん)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

.....  ここまで改ページ

・  必須入力(全項目)

Q41 外国人留学生向けの就職支援(しゅうしょくしえん)サービスを利用(りよう)したいですか。

	1 利用(りよう)したい	2 機会(きかい)があれば利用(りよう)したい	3 どちらともいえない	4 あまり利用(りよう)したくない	5 利用(りよう)したくない
1. 新卒紹介(しんそつしょうかい)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2. 紹介予定派遣(しょうがいよていはいけん)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

回答(こたへ)もれがないか確認(かくにん)、よろしければ「送信(はうしん)」ボタンをクリックしてください。

送信

内容(ないよう)に関するお問い合わせ: info@qol-inc.com
 主催(しゆざい)社(しゃ):株式会社(かぶしがいしゃ)ルートスタッフイング
 調査(くささ)委託(くわいし)先(せん):株式会社(かぶしがいしゃ)クオリティ・オブ・ライフ

(参考資料2) 比較資料

本調査の実施にあたって参考とした、経済産業省「平成24年度アジア人財資金構想プロジェクトサポートセンター事業『日本企業における高度外国人材の採用・活用に関する調査』」の結果との比較を参考資料として添付する。

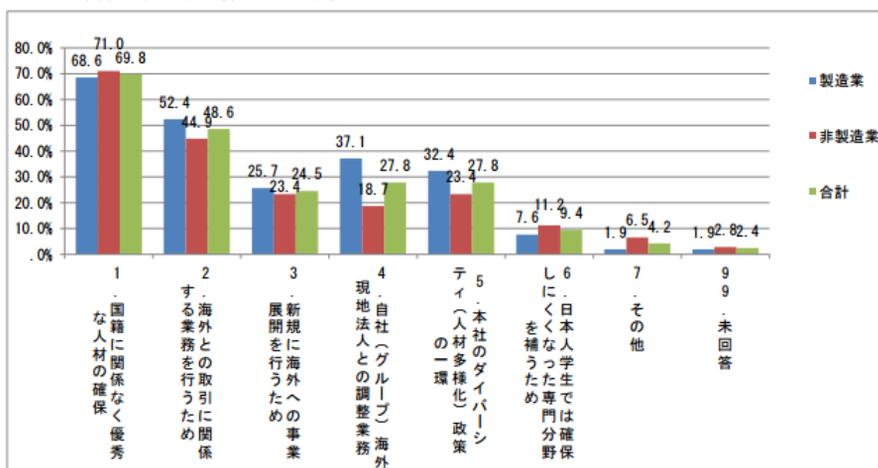
経済産業省 平成24年度アジア人財資金構想プロジェクトサポートセンター事業
『日本企業における高度外国人材の採用・活用に関する調査』調査概要

- 調査方法
Webにてアンケート回答サイトを構築し、企業 8,587 社にメールにて調査協力の配信にて実施
調査期間は、平成 24 年 10 月 23 日～平成 24 年 11 月 16 日
- 回収結果
送付件数 8,587 社 回収件数 433 社 (回収率 5.0%)

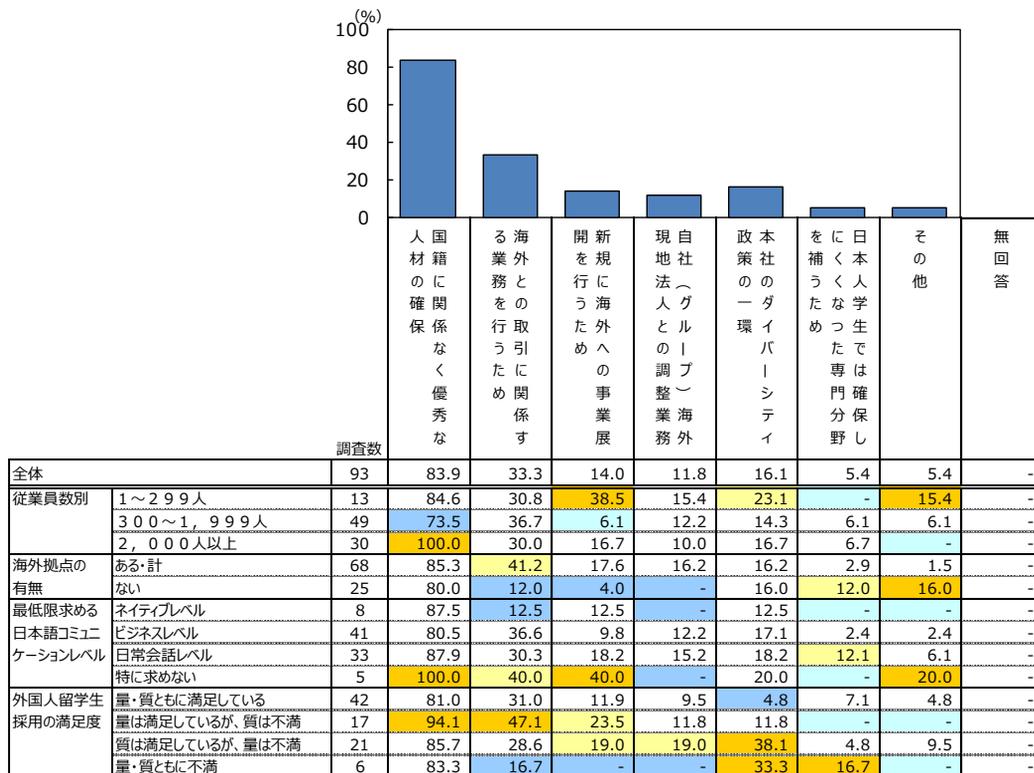
● 外国人留学生の採用目的

経済産業省調査

図 I-4 高度外国人材の採用目的(業種別)



● 外国人留学生の採用目的 (過去5年間で採用した企業/複数回答)



※全体と比較して +5pt以上 +10pt以上 -5pt以下 -10pt以下

● 過去5年間の外国人留学生の採用実績

経済産業省調査

図 I-8 過去5年間における外国人留学生の新卒採用実績(業種別)

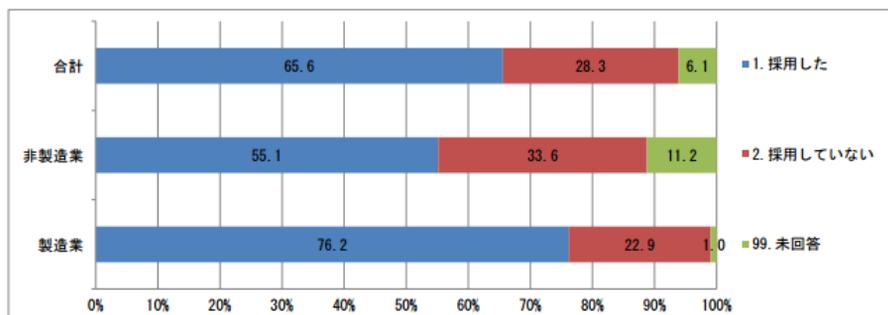
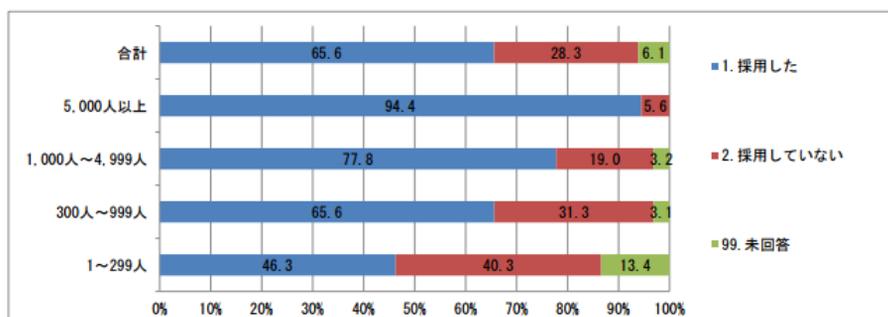
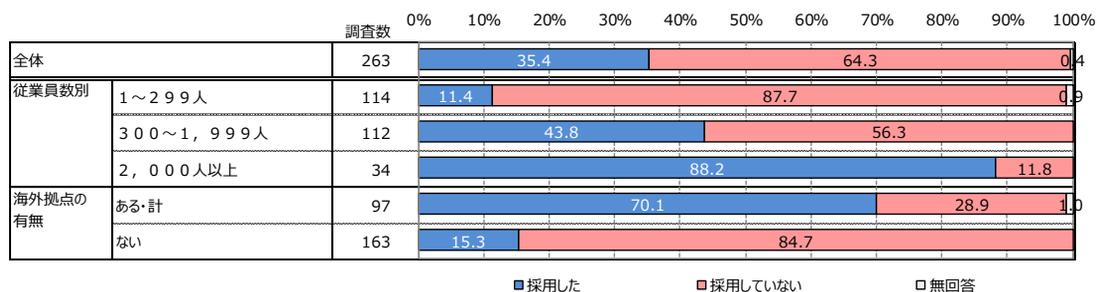


図 I-9 過去5年間における外国人留学生の新卒採用実績(規模別)



● 過去5年間の外国人留学生の採用実績(全体/単一回答)



● 外国人留学生採用の満足度

経済産業省調査

図 I-17 2012年4月外国人留学生採用の結果満足度(業種別)

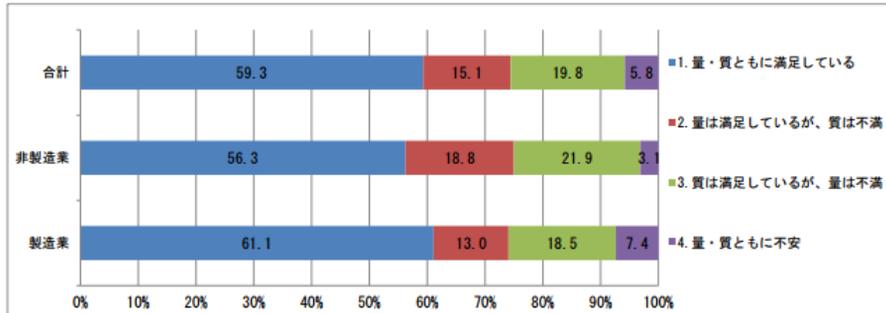
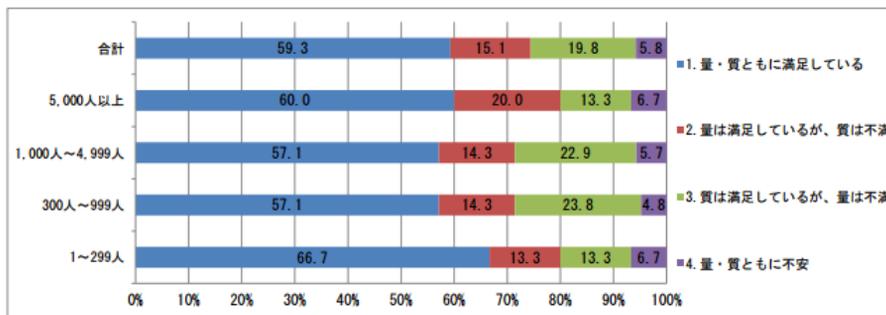
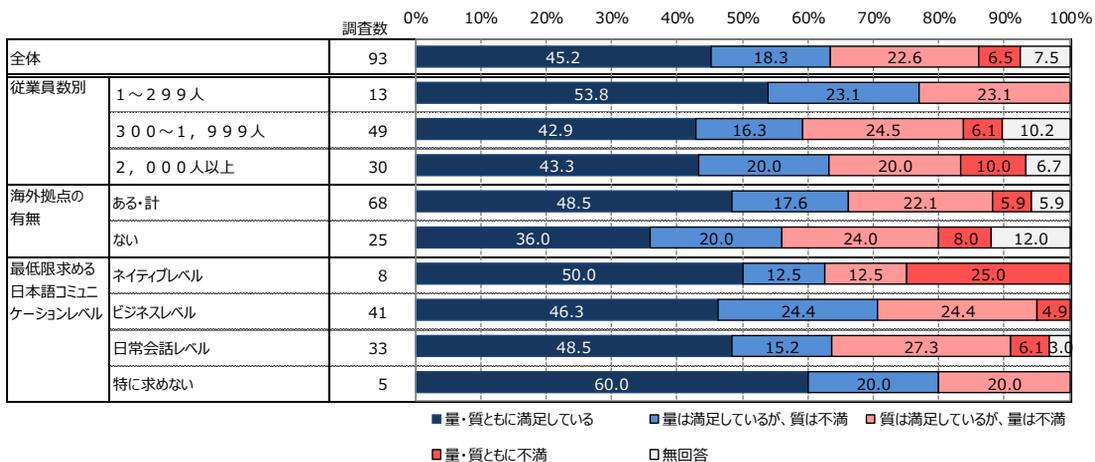


図 I-18 2012年4月外国人留学生採用の結果満足度(規模別)



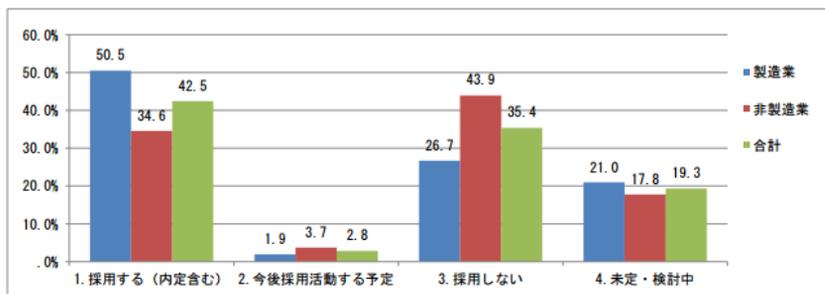
● 外国人留学生採用の満足度(過去5年間で採用した企業/単一回答)



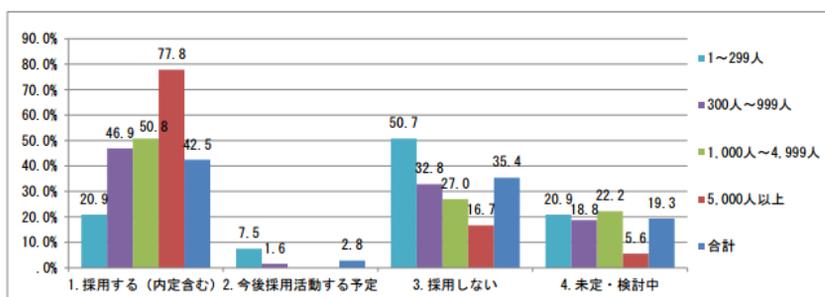
● 今後の外国人留学生の採用予定

経済産業省調査

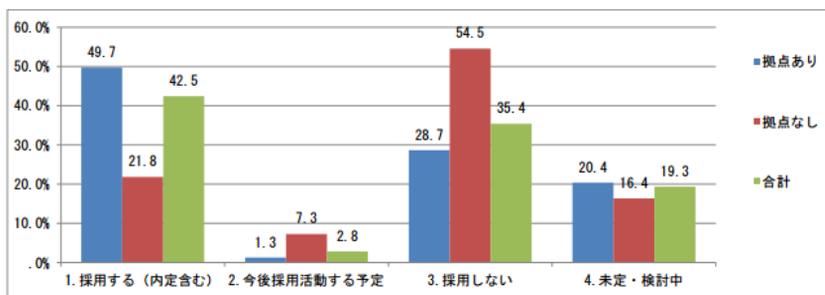
図Ⅱ-1 外国人留学生の2013年4月採用(業種別)



図Ⅱ-2 外国人留学生の2013年4月採用(規模別)



図Ⅱ-3 外国人留学生の2013年4月採用(海外拠点有無別)



●今後の外国人留学生の採用予定 (全体/単一回答)

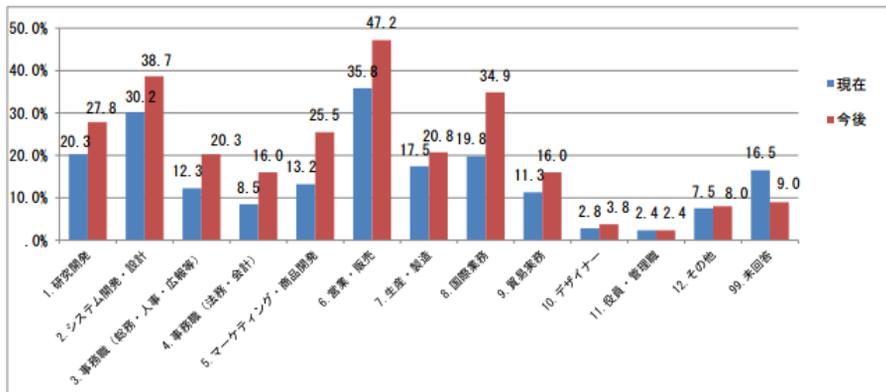
		調査数	0%	10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%	90%	100%
全体		263	17.9 (予定がある) / 52.1 (予定はない) / 27.4 (未定・検討中) / 2.7 (無回答)										
従業員数別	1~299人	114	8.8 / 62.3 / 24.6 / 4.4										
	300~1,999人	112	17.0 / 53.6 / 27.7 / 1.8										
	2,000人以上	34	52.9 / 11.8 / 35.3										
海外拠点の有無	ある・計	97	34.0 / 25.8 / 38.1 / 2.1										
	ない	163	8.6 / 67.5 / 20.9 / 3.1										
過去5年間の留学生の採用実績	採用した	93	47.3 / 19.4 / 32.3 / 1.1										
	採用していない	169	1.8 / 70.4 / 24.9 / 3.0										
最低限求める日本語コミュニケーションレベル	ネイティブレベル	8	37.5 / 12.5 / 50.0										
	ビジネスレベル	41	34.1 / 26.8 / 36.6 / 2.4										
	日常会話レベル	33	63.6 / 15.2 / 21.2										
	特に求めない	5	80.0 / 20.0										
外国人留学生採用の満足度	量・質ともに満足している	42	42.9 / 19.0 / 38.1										
	量は満足しているが、質は不満	17	52.9 / 17.6 / 29.4										
	質は満足しているが、量は不満	21	57.1 / 23.8 / 14.3 / 4.8										
	量・質ともに不満	6	33.3 / 16.7 / 50.0										

■ 予定がある ■ 予定はない ■ 未定・検討中 □ 無回答

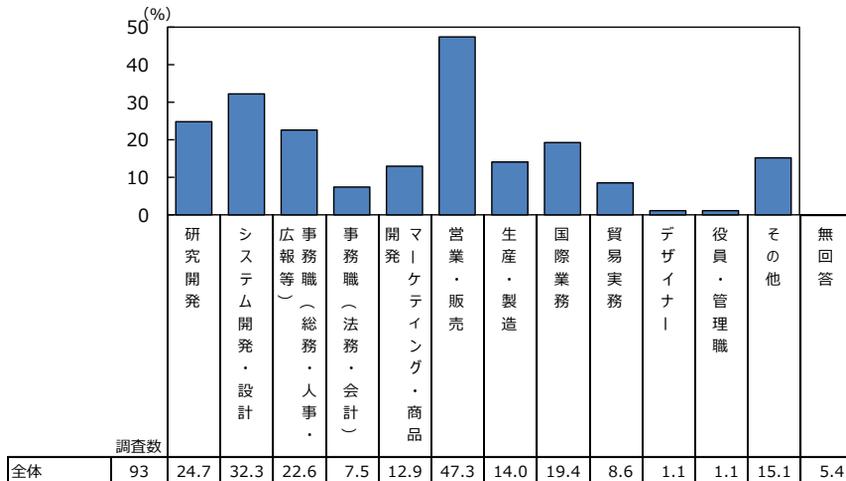
● 採用した外国人留学生の職種

経済産業省調査

図Ⅱ-10 外国人留学生の採用職種の現在と今後



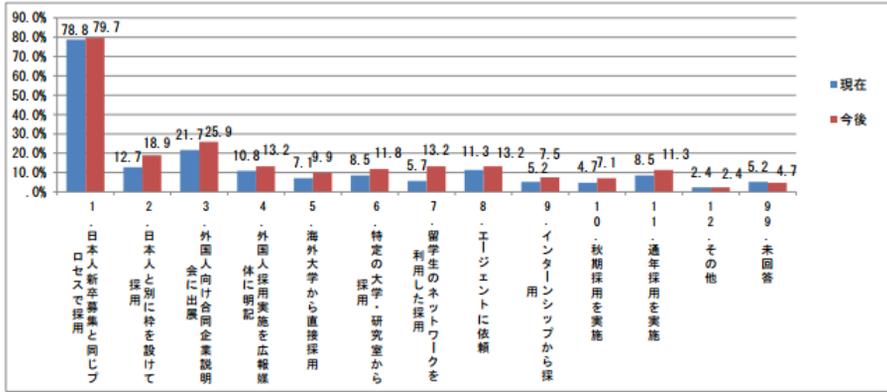
● 採用した外国人留学生の職種 (過去5年間で採用した企業/複数回答)



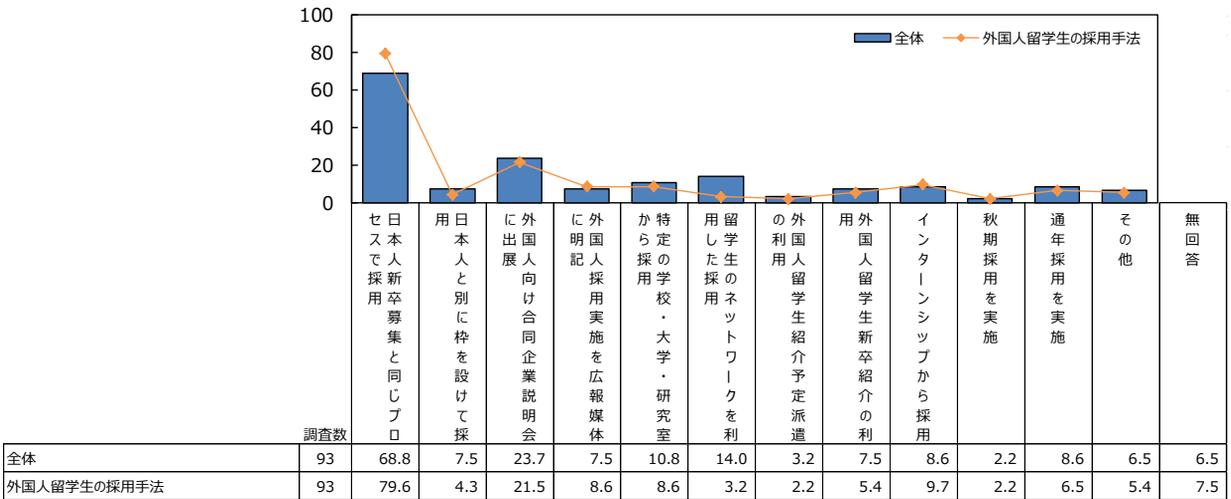
● 採用した外国人留学生の職種

経済産業省調査

図Ⅱ-12 外国人留学生の採用手法の現在と今後



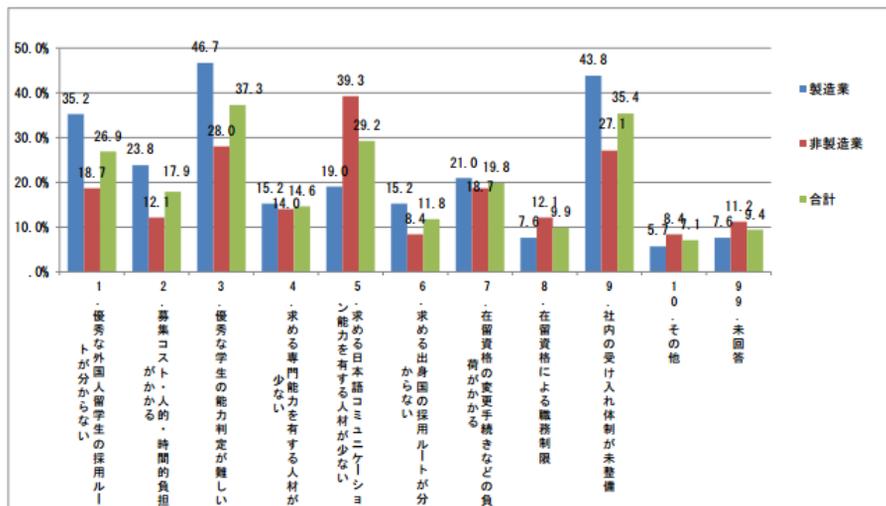
● 今後強化していきたい外国人留学生の採用手法（過去5年間で採用した企業/複数回答）



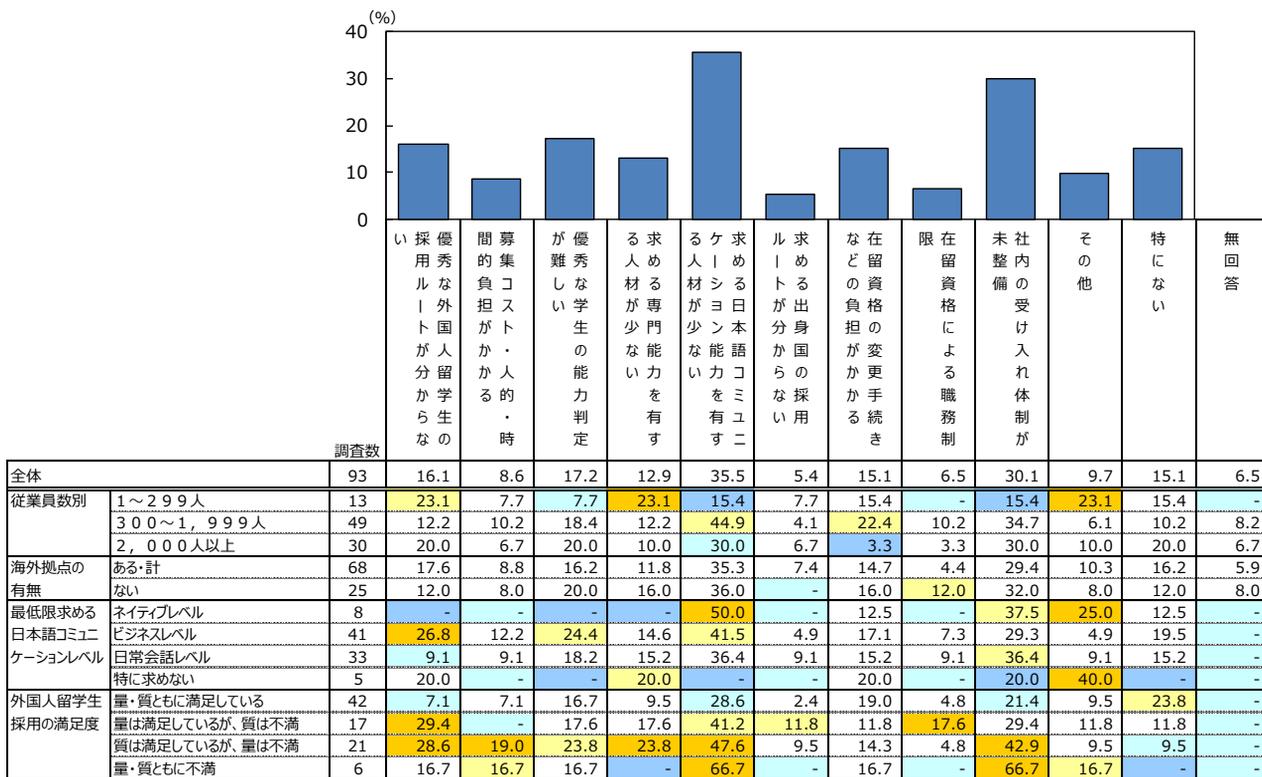
● 外国人留学生の採用活動の課題

経済産業省調査

図Ⅱ-13 外国人留学生の採用活動の課題(業種別)



●外国人留学生の採用活動の課題(過去5年間で採用した企業/複数回答)

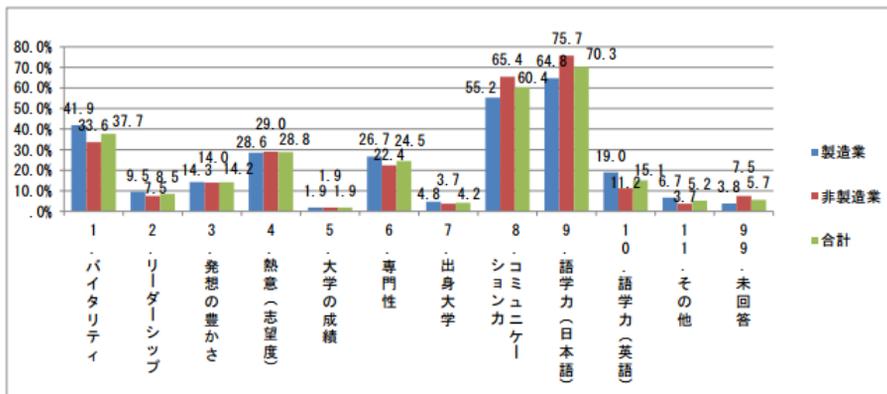


※全体と比較して +5pt以上 +10pt以上 -5pt以下 -10pt以下

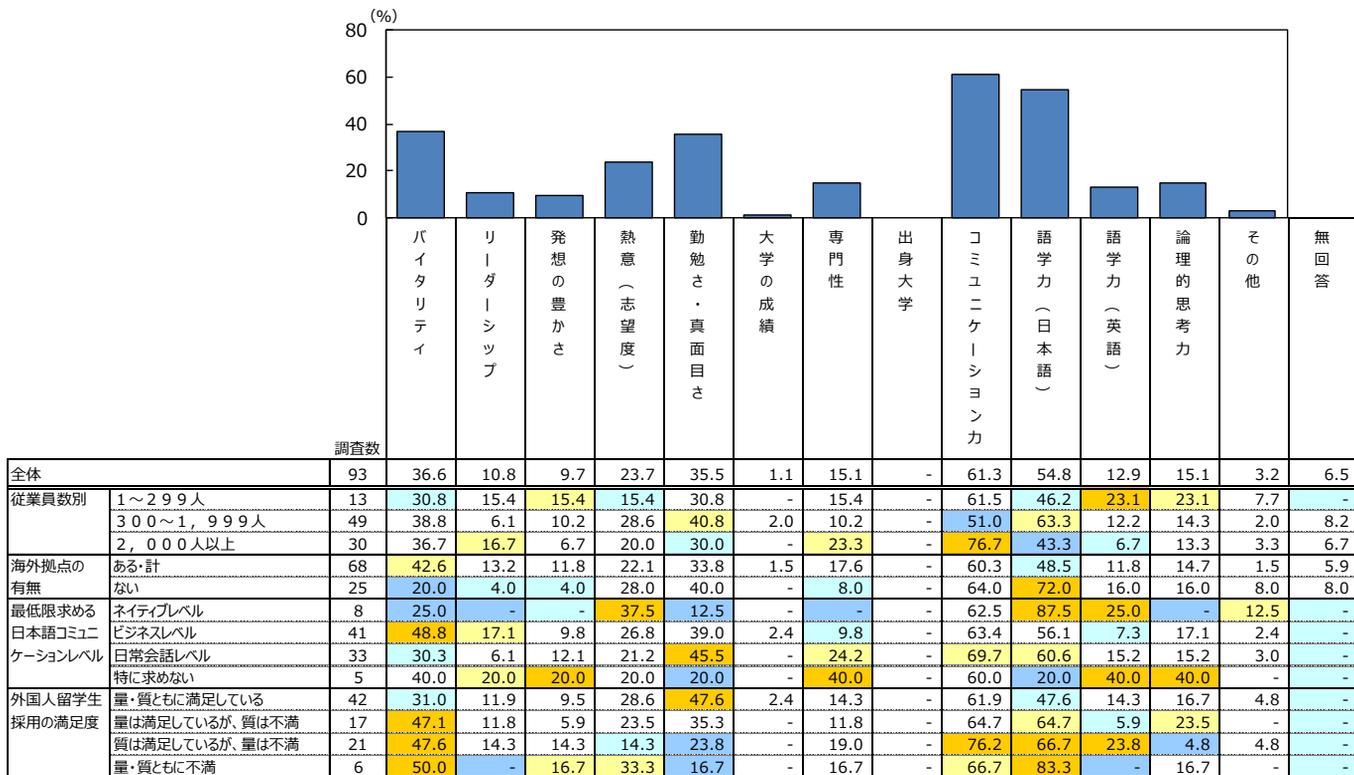
● 外国人留学生を採用する際に重視すること

経済産業省調査

図Ⅲ-3 外国人留学生の採用時に重視すること(業種別)



● 外国人留学生を採用する際に重視すること(過去5年間で採用した企業/3つまで)

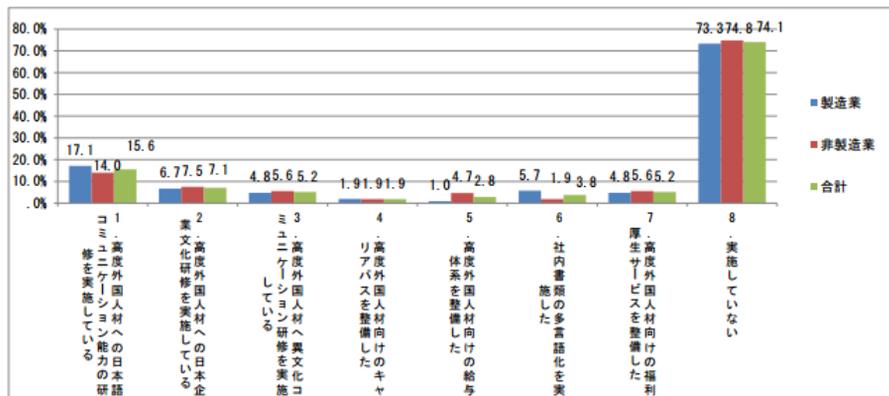


※全体と比較して +5pt以上 +10pt以上 -5pt以下 -10pt以下

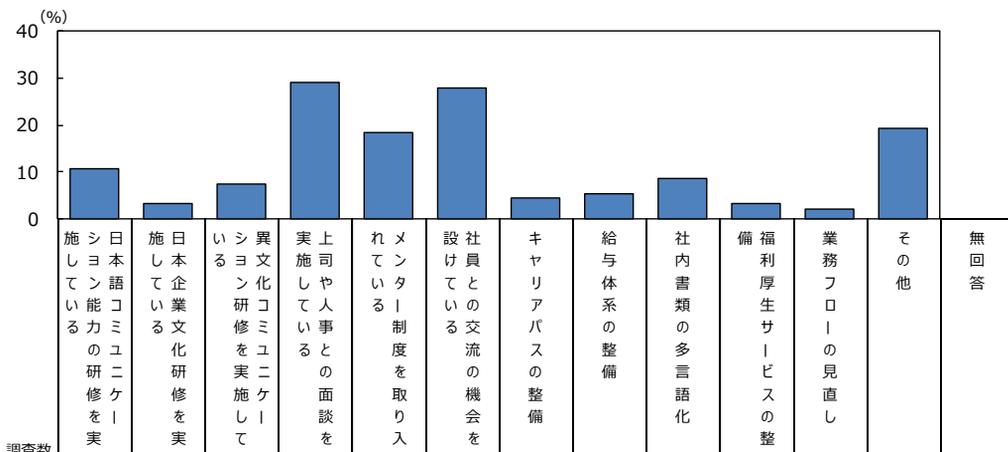
● 外国人留学生受け入れのために実施していること

経済産業省調査

図IV-3 高度外国人材受け入れのための取り組み（業種別）



● 外国人留学生受け入れのために実施していること（過去5年間で採用した企業／複数回答）



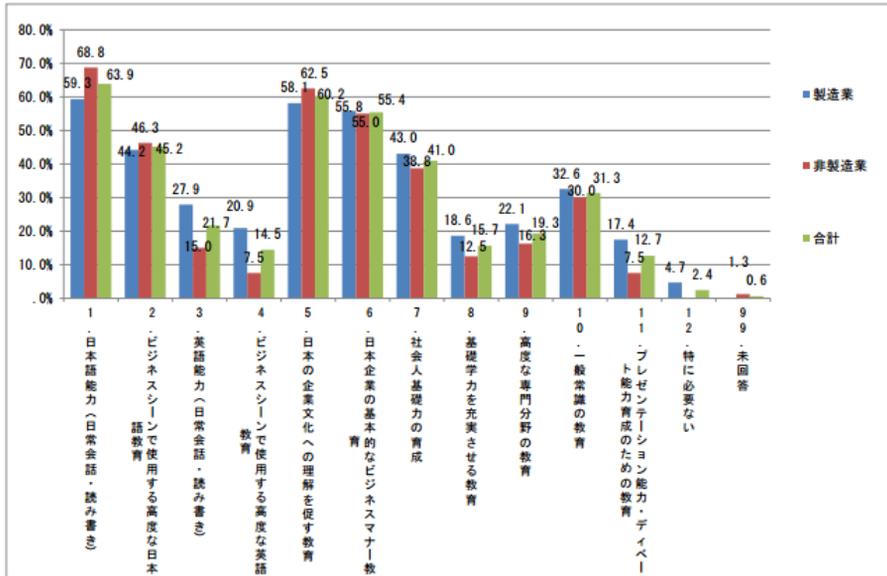
調査項目	調査数	割合 (%)													
全体	93	10.8	3.2	7.5	29.0	18.3	28.0	4.3	5.4	8.6	3.2	2.2	19.4	24.7	
従業員数別	1~299人	13	15.4	15.4	7.7	38.5	15.4	46.2	-	-	23.1	-	7.7	23.1	15.4
	300~1,999人	49	6.1	2.0	6.1	30.6	18.4	28.6	2.0	8.2	2.0	6.1	-	14.3	34.7
	2,000人以上	30	16.7	-	10.0	23.3	20.0	20.0	10.0	3.3	13.3	-	3.3	23.3	13.3
海外拠点の有無	ある・計	68	11.8	2.9	8.8	29.4	19.1	27.9	5.9	4.4	10.3	1.5	1.5	20.6	22.1
	ない	25	8.0	4.0	4.0	28.0	16.0	28.0	-	8.0	4.0	8.0	4.0	16.0	32.0
最低限求める日本語コミュニケーションレベル	ネイティブレベル	8	12.5	-	12.5	25.0	12.5	12.5	-	25.0	-	-	-	25.0	25.0
	ビジネスレベル	41	7.3	2.4	7.3	29.3	17.1	31.7	4.9	2.4	7.3	4.9	-	24.4	24.4
	日常会話レベル	33	15.2	6.1	9.1	36.4	24.2	33.3	6.1	6.1	12.1	3.0	3.0	15.2	12.1
特に求めない	5	20.0	-	-	20.0	20.0	20.0	-	-	20.0	-	20.0	20.0	20.0	
外国人留学生採用の満足度	量・質ともに満足している	42	7.1	4.8	11.9	31.0	14.3	21.4	2.4	2.4	4.8	4.8	-	26.2	19.0
	量は満足しているが、質は不満	17	17.6	5.9	-	17.6	17.6	35.3	11.8	11.8	-	-	-	35.3	11.8
	質は満足しているが、量は不満	21	14.3	-	4.8	38.1	38.1	42.9	4.8	-	23.8	4.8	4.8	4.8	23.8
	量・質ともに不満	6	16.7	-	-	33.3	-	33.3	-	33.3	16.7	-	16.7	-	33.3

※全体と比較して +5pt以上 +10pt以上 -5pt以下 -10pt以下

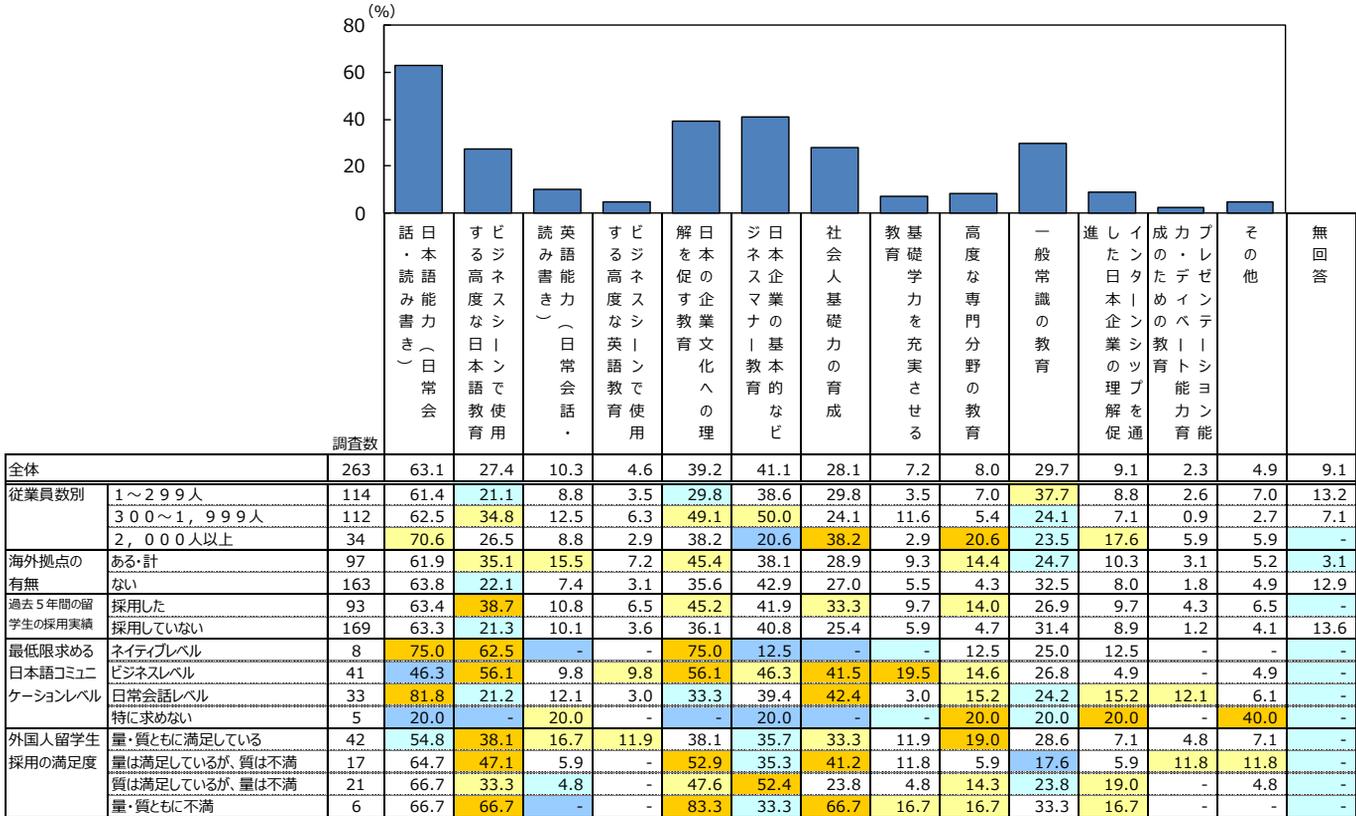
● 外国人留学生受け入れのために実施していること

経済産業省調査

図IV-3 教育機関（大学等）に求める外国人留学生教育（業種別）



● 教育機関に求める、外国人留学生の教育に必要なこと（全体／複数回答）



※全体と比較して +5pt以上 +10pt以上 -5pt以下 -10pt以下